

- 1 1 これは、アブラハムの子ダビデの息子であるイエス・キリストの誕生の書です。
2 アブラハムはイサクを生んだ。イサクはヤコブを生んだ。
ヤコブはユダと彼の兄弟たちをもうけました。
3 ユダはペレスとタマルのセラを生んだ。ペレスはヘズロンを生んだ。ヘズロンはラムを生んだ。
4 ラムはアミナダブを生んだ。アミナダブはナヘッソンの父となった。
ナヘッソンはサルマの父です。
5 サルマはラハブのボアズを生んだ。ボアズはルツのオベドを生んだ。オベドはジェシーの父です。
6 エッサイはダビデ王を生んだ。ダビデ王はウリヤの妻によってソロモンをもうけました。
7 ソロモンはレハベアムを生んだ。レハベアムはアビアを生んだ。アビアはアサを生んだ。
8 アサはヨシャパテを生んだ。ヨシャパテはヨラムを生んだ。ヨラムはウジヤを生んだ。
9 ウジヤはヨタムを生んだ。ヨタムはアハズを生んだ。アハズはヒゼキヤを生んだ。
10 ヒゼキヤはマナセを生んだ。マナセはアモンを生んだ。アモンはヨサイアを生んだ。
11 ヨシヤはバビロン捕囚の頃に、エコニヤとその兄弟たちをもうけた。
12 バビロン捕囚の後、エコニヤはシールティエルを生んだ。
シールティエルはゼルバベルを生んだ。
13 ゼルバベルはアビウドを生んだ。アビウドはエリアキムを生んだ。
エリアキムはアゾールを生んだ。
14 アゾールはザドクを生んだ。ザドクはアヒム之父となった。アヒムはエリウド之父です。
15 エリウドはエレアザルを生んだ。エレアザルはマタンを生んだ。マタイはヤコブを生んだ。
16 ヤコブはマリヤの夫ヨセフを生んだ。ヨセフは、キリストと呼ばれるイエスを生んだ。
17 アブラハムからダビデまでのすべての肢体は、十四人の肢体である。
ダビデから捕囚までは14人のメンバーです。バビロン捕囚からキリストまでは14人のメンバーです。
18 しかし、キリストの誕生はこのようにして行われた。
彼の母であるマリヤがヨセフに打ち明けたとき、彼が彼女を家に連れて行く前に、彼女が聖霊によって妊娠していることがわかりました。
19
しかし、夫ヨセフは敬虔で、彼女に恥をかかせたくなかったが、彼女をひそかに放っておこうと思った。
20
彼がこのように考えていると、見よ、主の御使いが夢の中で彼に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、恐れずにあなたの夫マリヤを自分のところに連れて行きなさい。彼女のうちに生まれたものは聖霊から出たものだからです。」
21
彼女は男の子を産むでしょう、その子をあなたの名前はイエスとします、彼は彼の民を彼らの罪から救うからです。
22 しかし、主が預言者を通じて言われた「
見よ、おとめがひとりの男の子を産む。そして、彼らはその子をインマヌエルと名づける」と言われたことが成就するため、これらすべてが成就したのである。
24 ヨセフは眠りから目覚めると、主の御使いが命じたとおりにして、夫を連れて行った。
25 そして、彼女が長男を産むまで、彼は彼女を認めなかった、そして彼の名はイエスと名乗った。

2¹

- イエスがユダヤの地のベツレヘムでお生まれになったとき、ヘロデ王の時代に、東方から博士たちがエルサレムにきて言った、「
2 新しく生まれたユダヤ人の王は、どこにいますか」。
私たちは東方で彼の星を見て、彼を崇拝するようになりました。
3 ヘロデ王はこれを聞いて、恐れおのき、エルサレム全土と共にあった。
4
そこで彼は、すべての祭司長と律法学者を民の中から集めて、キリストがどこで生まれるのか、彼らに尋ねた。
5 彼らは彼に言った、「ユダの地のベツレヘムで、預言者はこう書いてある。

6

「ユダの地のベツレヘム、あなたがたは、決してユダのつかさたちの中では、決して小さい者ではない。

あなたの中から公爵がわたしのもとに来るからであり、公爵はわたしの民イスラエルの君主となるであろう。」

7そこでヘロデは、博士たちをこっそりと呼び、彼らから熱心に星が現れる時期を聞き、

8

彼らをベツレヘムに導いて言った、「行って、その幼児を熱心に探しなさい。もし彼を見つけたら、もう一度、わたしも来て彼を拝むと言いなさい」。

9彼らは王の言うことを聞いて、立ち去った。

見よ、彼らが東で見た星は、彼らの前に出て、その上に、幼児のいるところに立っていた。

10彼らはその星を見て喜び、

11

喜び、家にはいて、幼子とその母マリヤを見つけ、ひれ伏して彼を拝み、宝物を開けて、金と乳香と没薬を彼に与えた。

12

すると神は夢の中で彼らに、ヘロデに立ち返ってはならないと命じられたので、彼らは別の道で自分たちの地に帰った。

13

彼らが去って行くと、見よ、主の御使いが夢の中でヨセフに現れて言った、「起きて、その赤ん坊とその母を連れてエジプトの地に逃げ、わたしが言うまでそこにいなさい。ヘロデがその赤ん坊を殺そうとしているのは本当だからです」。

14彼は起きて、夜のうちにその子と母とを連れてエジプトの地に逃げた。

15

そして、彼はヘロデの死後までそこに留まり、主が預言者を通じて言われた「わたしはエジプトからわたしの子を呼んだ」と言ったことが成就するためであった。

16

ヘロデは、自分が博士たちに騙されたのを見て、非常に怒って、ベツレヘムのすべての子供たちを殺し、また、博士たちから熱心に学んだ時間に従って、ベツレヘムのすべての国境で殺させた。

17それから、預言者エレミヤが言ったことが成就した:

18

「彼らは山々で、叫び声、ひどい嘆き、泣き声を聞いた。レイチェルは子供たちのために泣きましたが、慰められませんでした、なぜなら、それは彼らと一緒にすべて終わったからです。」

19しかし、ヘロデが死んだとき、見よ、主の御使いがエジプトの地で夢の中でヨセフに現れて言った、「起きて、赤ん坊とその母とを連れて、イスラエルの地に行きなさい。その子の命を狙っていた者たちは死んだからである」。

21彼は立ち上がって、幼な子とその母とを連れて、イスラエルの地に入ってきた。

22

しかし、父ヘロデの代わりにアルケラオスがユダヤの地の王であると聞いたとき、彼はそこに来るのを恐れた。そして、夢の中で彼は神から命令を受け、ガリラヤの地の場所に行きました。

23

彼は来て、ナザレという町に住んだ、それは預言者たちが言った、彼がナザレと呼ばれるべきだと言ったことが成就するためだった。

3

1 その時、バプテスマのヨハネが来て、ユダヤの地の荒野で説教し、

2 「悔い改めなさい。天の国が近づいたからだ」と言った。

3

また、預言者イザヤが言った、「荒野に、ある説教者の声がある。『主のために道を整え、その道を正しいものにしなさい』」。

4

ヨハネという彼は、らくだの毛の衣を着て、腰に革の帯を巻いており、食べ物はいなごと野の蜜であった。

5エルサレムの町と、ユダヤの全地と、ヨルダン川の周りのすべての地が彼のところに出て行き、

6ヨルダン川で彼からバプテスマを受け、自分たちの罪を告白した。

7

彼は、多くのパリサイ人やサドカイ人が彼のバプテスマに来るのを見て、彼らに言った、「まむしたちよ、だれがあなたがたに、来るべき怒りから逃れることを示したのですか。

8 心に留めて、正しい悔い改めの実を結べ。

9

あなたがたは、「わたしたちはアブラハムを父としている」と自分に言い聞かせたいとは思わないでください。

神はこれらの石からアブラハムのために子供を育てることができると私はあなたに言います。

10 斧はすでに木の根元に置かれています。

したがって、良い実を結ばない木は切り倒され、火の中に投げ込まれます。

11

わたしは悔い改めのために、あなたがたに水でバプテスマを授けますが、わたしの後に来る者は、その靴を履くのには十分でないわたしよりも強く、聖霊と火とであなたがたにバプテスマを授けます。

12

彼はシャベルを手に持ち、脱穀の床を掃き、麦を納屋に集めますが、もみ殻は永遠の火で焼き尽くします。

13 その時、イエスはガリラヤからヨルダン川に来られ、ヨハネからバプテスマを受けられた。

14

ヨハネは彼を叱って言った、「わたしはあなたからバプテスマを受ける必要があるのに、あなたはわたしのところに来るのですか」。

15

しかし、イエスは答えて言われた、「今はそうしなさい。だから、わたしたちはすべての正しいことを果たすべきです」。そして、彼はそれを許した。

16

イエスがバプテスマを受けると、すぐに水から上がって来られると、見よ、彼の上には天が開けていた。そして、神の霊が鳩のように降りてきて、彼に襲いかかるのを見た。

17

すると、見よ、天から声がして、「これがわたしの愛する子です。わたしは彼を喜ばしく思っています」と言った。

4

1 それから、イエスは悪魔に誘惑されるために、御霊に導かれて荒野に行かれた。

2 そして、四十日四十夜断食をしたとき、彼は空腹だった。

3

すると、誘惑する者が彼のところに来て言った、「もしあなたが神の子なら、これらの石がパンになると言いなさい」。

4

彼は答えて言った、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』と書いてあります」。

5 そこで悪魔は彼を連れて聖なる都に連れて行き、³彼を神殿の頂点に立たせて言った

、「もしあなたが神の子であるなら、身を落とせ。『彼は御使いたちに命じてあなたを治め、彼らはあなたをその手で運ぶ。』

だから、あなたは石に足をぶつけないようにする』と書いてあるからである」。

7 イエスは彼に言われた、「また、『あなたがたの神、主を試みてはならない』とも書いてある」。

8 また、悪魔は彼を連れて高い山に連れて行き、彼に世界のすべての王国とその栄光とを見せ、

9 彼に言った、「もしひれ伏してわたしを拝むなら、わたしはこれらすべてのものをあなたにあげます」。

10

イエスは彼に言われた、「サタンよ、わたしから離れなさい。『あなたがたは、あなたの神、主を拝み、彼だけに仕えなさい』と書いてあるからである」。

11 それから悪魔が彼を去ったので、見よ、御使いたちが彼のところに来て、彼に仕えた。

12 イエスはヨハネが引き渡されたと聞いて、ガリラヤの地に行かれた。

13 彼はナザレの町を去り、ゼブルンとナフタリの地にある海沿いのカペナウムに来て住んだ、

14 預言者イザヤの言ったことが成就するため、

15 「ゼブルンの地とナフタリの地、海沿いのヨルダン川と異邦人のガリラヤと、

16

暗やみの中にすわっていた民は大いなる光を、その場所にすわっていた人々は、死の影とを照らして、光を見た。」

17

その時から、イエスは説教を始めて、「悔い改めなさい。天の国が近づいたからです」と言われました。

18

イエスがガリラヤ湖のほとりを歩いていたとき、ふたりの兄弟、シモン、ペテロとアンデレが、漁師であったので、海に網を投げ込んでいるのを見た。

19

イエスは彼らに言った、「わたしに従ってきなさい。そうすれば、あなたがたを人漁師にしよう」。

20 彼らはすぐに網を捨てて、イエスの後を追った。

21

そこから進んでいくと、ほかにふたりの兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父ゼベダイと共に船に乗って彼らの網を繕っているのが見えたので、彼等と呼んだ。

22 彼らはすぐに舟と父とを離れて、彼に従った。

23

イエスはガリラヤの全地を巡り、彼らを学校で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる疫病と病をいやした。

24 彼の報告はシリア全土に広まった。

そして、彼らは、さまざまな疫病や苦痛に苦しんでいるあらゆる種類の病人、悪魔に取り憑かれた人々、月に打たれた人々、痛風に苦しんでいる人々を彼に連れてきました。

そして、彼はそれらをすべてうまく作りました。

25

彼らはガリラヤから、十の町から、エルサレムから、ユダヤの地から、ヨルダン川の向こうから、大勢の民の後を追って来た。

5

1 彼は民を見て、山に登ってすわったので、弟子たちが彼のところに来て、

2 口を開いて彼らに教え

た、「3 「心の貧しい人々はさいわいです。天の国は彼らのものです」。

4 悲しむ者は幸いである、彼らは慰められるであろう。

5 柔和な者は幸いである、彼らは地を所有するであろう。

6 義に飢え渴く者は幸いである。

7 憐れみ深き者は幸いである、彼らは憐れみを受けるからである。

8 心の清い者は幸いである、彼らは神を見るからである。

9 平和をつくりだす者たちは幸いである、彼らは神の子と呼ばれるからである。

10 義のために迫害される人々は幸いである、天の国は彼らのものである。

11 人々がわたしのためにあなたを非難し、迫害し、もし彼らが偽りを言うならば、あなたに対してあらゆる悪口を言うとき、あなたがたは幸いである。

12 喜び、元気を出してください、あなたは天国で報われるからです。彼らがあなたがたより前にいた預言者たちを迫害したのは、このようにしているからです。

13 あなたは地の塩です。塩が愚かになった今、あなたはそれを何で塩漬けにすべきですか? 今後は、それを注ぎ出して足元で踏みにじる以外に無駄です。

あなたは世の光です。山の上にある街は隠すことができません。

15 また、ろうそくを一つのブッシュの下につけて、燭台に置いて、家にいるすべての人を照らしてはならない。

16 だから、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、彼らがあなたがたの良い行いを見て、天にいますあなたがたの父をあがめることができるようにしなさい。

17 わたしが来たのは、律法や預言者を廃止するためではなく、廃止するためではなく、成就するためであると考えてはならない。

18 わたしがあなたがたに告げる、天と地が過ぎ去るまでは、すべてのことが起こるまで、律法の一文字も一言も過ぎ去ることはない。

19 これらの最も小さい戒めの一つを破り、このように民に教える者は、天の王国で最も小さい者と呼ばれ、それを行い、それを教える者は、天の王国で偉大と呼ばれる。

20 あなたがたに告げるが、あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義よりも優れていなければ、あなたがたは天の国に入ることはできない。

21 あなたがたは、古代人に言われた、「殺してはならない。しかし、殺す者は誰でも裁きの罪を犯すでしょう。」

22 しかし、あなたがたに言うが、自分の兄弟に怒る者は、さばく罪を犯し、兄弟に『ラチャ』と言う者は、罪を犯し、『愚か者め』と言う者は、地獄の火の罪を犯す。

23 それゆえ、もし祭壇にささげ物をささげて、兄弟が自分に敵対する何かを持っていることを覚えているなら、

24 祭壇の前にささげ物を置いておき、まず行って兄弟と和解し、それから来てささげ物をささげなさい。

25 敵があなたを裁判官に引き渡し、裁判官があなたをしもべに引き渡して牢獄に入れられることのないように、あなたがまだ彼と一緒にいるうちに、すぐに敵に従順になりなさい。

26 本当に言うておくが、最後のファージングを払うまで、君はそこから出られない。

27 あなたがたは、古代人に「姦淫してはならない」と言われたと聞いたことがある。

28 しかし、あなたがたに言うておくが、女を見つめて欲情する者は、すでに心の中で彼女と姦淫を犯しているのである。

29 しかし、もし右目があなたを怒らせるなら、それを抜いて捨てなさい。あなたがたにとっては、自分の部下の一人が死ぬ方がましであり、全身が地獄に投げ込まれるよりもよい。

30 もし右手があなたを怒らせるなら、それを切り落として捨てなさい。あなたがたにとっては、自分の部下の一人が死ぬ方がましであり、全身が地獄に投げ込まれるよりもよい。

31 また、「妻と離婚する者は、彼女に離婚証明書を出さなければならない」とも言われています。

32 しかし、あなたがたに告げるが、自分の妻を離婚する者は(姦淫を除く)、彼女に姦淫を犯させ、また、死んだ女と結婚する者は、姦淫を犯すのである。

33 また、古代人に言われた、「偽りの誓いを立ててはならない。神への誓いを守らなければならない」とも聞いたことがあるでしょう。

34 しかし、あなたがたに告げるが、それは神の位である天によって、

35 地によって、また彼の足の足台であるからエルサレムによって、それは大王の町であるから、決して誓ってはならない。

36 また、頭をさして誓ってはならない、髪の毛一本たりとも黒くも白くすることもできないからである。

37 しかし、あなたがたの言葉を「はい、はい、いいえ」としましょう。その上にあるものは悪です。

38 「目には目を、歯には歯を」と言われたと聞いたことがあるでしょう。

39 しかし、あなたがたに言うが、悪に逆らってはならない。しかし、もしだれかがあなたの右の頬を打つならば、もう片方の頬も差し出せ。

40 もし、あなたがたと議論して、あなたの上着を取りたいと願う者がいたら、彼にも彼の上着を持たせなさい。

41 もしだれかがあなたを一マイル強要するなら、彼と一緒に二マイル行きなさい。

42 あなたがたに求める者に与え、あなたから借りようとする者に背を向けてはならない。

43 あなたがたは、「隣人を愛し、敵を憎みなさい」と言われるのを聞いたことがあるでしょう。

44 しかし、わたしはあなたがたに言う、「あなたの敵を愛し、あなたをののす者を祝福し、あなたを憎む者に善を行い、あなたを侮辱し、あなたを迫害する者のために祈りなさい。

45 それは、あなたがたが天にいますあなたがたの父の子となるためである。父は、その太陽を悪しき者と善良な者の上に昇らせ、正しい者と不正な者にとり雨を降らせるからである。

46 もしあなたがたを愛する者を愛するなら、どんな報いがあるのでしょうか。徴税人も同じことをしないのですか？

47 そして、もし兄弟たちだけに親切にするなら、あなたはどんな特別なことをするのでしょうか。税関職員も同じことをしないのですか？

ですから、天国にいるあなたの父が完全であるように、あなたも完全でなければならないのです。

6

1 施しを人の前で与えることのないように、心に留めておけ。

そうでなければ、天にいますあなたがたの父に対して、何の報いも受けることはないであろう。

2

施しをするとき、偽善者が学校や街頭で行うように、彼らにあなたがたの前でラッパを吹かせてはならない。まことに、あなたがたに言うておくが、彼らは報酬を失った。

3 しかし、施しをするときは、右の手が何をしているのかを左手に知らせてはならない、

4

そうすれば、あなたの慈善が隠され、ひそかに見ているあなたの父が公に報いるようになるからである。

5 また、祈るときは、学校や通りの角に立って祈ることを好む偽善者のようになってはならない。

まことに、あなたがたに言っておくが、彼らは報酬を失った。

しかし、祈るときは、クローゼットに入ってドアを閉め、ひそかに父に祈りなさい。

そうすれば、ひそかに見ているあなたの父が公に報いてくれるでしょう。

7 また、祈るときは、異邦人のようにあまり喋ってはいけません。

彼らは、たくさん話せば聞いてもらえんと思っています。

8 それゆえ、あなたがたは彼らと同等であってはならない。

あなたのお父さんは、あなたが彼に尋ねる前に、あなたが何を必要としているかを知っています。

9 それゆえ、あなたがたは「天にいますわたしたちの父よ」と祈らなければならない。

あなたの名前が聖別されますように。

10 あなたの王国が来ますように。あなたの御心が天で行われるように、地でも行われますように。

11 きょう、わたしたちの日々のパンをお与えください。

12 また、わたしたちにむかってそむく者を赦すように、わたしたちのそむしを赦してください。

13 そして、私たちを誘惑に導かないで、悪から救い出してください。

あなたの国と力と栄光はとこしえにあります。アーメン。

14 あなたがたが人々の欠点を赦すなら、天の父もまたあなたを赦してくださるでしょう、

15

しかし、もし人々が彼らの欠点を赦さないなら、あなたがたの父はあなたがたの違反を赦さないでしょう。

16

あなたがたが断食するとき、偽善者のように不機嫌に見えてはならない、彼らは自分の顔を偽装して、断食をして人々の前に現れるからである。

まことに、あなたがたに言っておくが、彼らは報酬を失った。

17 しかし、あなたがたが断食するときは、頭に油を塗り、顔を洗いなさい、

18

それは、あなたがたが断食をして人々の前に現れるのではなく、隠れているあなたがたの父の前に現れ、隠れて見ているあなたがたの父が公に報いるためです。

19

あなたがたは、蛾やさびが食い荒らし、盗人が掘り起こして盗む地上に、自分のために宝を蓄えてはならない。

20

しかし、あなたがたは、蛾やさびを食べず、盗人が掘ったり盗んだりしないから、天に宝を蓄えなさい。

6

21 あなたの宝のあるところには、あなたの心もあります。

22 目はからだの光です。あなたの目が単純であれば、あなたの全身は明るくなります。

23 しかし、もしあなたの目がならず者であれば、あなたの全身は暗くなります。

もしあなたの中にある光が闇であるなら、その闇はどれほど大きいことでしょう。

24 だれも、ふたりの主人に仕えることはできない。

それは、一方を憎んで他方を愛するか、それとも一方にしがみついて他方を軽むかのどちらかである。神様や富に仕えることはできません。

25

だから、あなたがたに言う、「あなたがたのいのち、何を食べ、何を飲むか、自分のからだ、何を着るか、と心配するな」。命は食べ物以上のものではありませんか? そして、服よりも体?

26

空の鳥たちを見よ、彼らは種を蒔かず、刈り取らず、納屋に集まらないのに、あなたがたの天の父が彼らを養っている。あなたは彼らよりはるかに多くないのですか?

27

しかし、あなたがたのうちで、彼がすぐにそれを世話しても、彼の長さに一キュビトを足す者がいるだろうか。

28 なぜあなたは衣服を大切にするのですか。

野原のユリを見て、どのように成長するか、彼らは働かず、回転もしません。

29

あなたがたに告げるが、その栄光のすべてにあったソロモンでさえ、彼のような服を着ていなかった。

30

もし神が、今日立っていて明日には炉に投げ込まれる野の草をこのように着せられるなら、信仰の薄いあなたたちよ、神はあなたにこれをすべきではないのか。

31

だから、『わたしたちは何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようか』と言って、心配してはならない。

32 異邦人はこれらすべてのものを求めています。

なぜなら、あなたの天の父は、あなたがこれらすべてのものを必要としていることをご存知だからです。

33 まず、神の国とその義とを求めなさい。

そうすれば、これらすべてのものがあなたがたに加えられるでしょう。

34 ですから、翌朝のことは心配しないでください、朝はおのずとおのおします。

毎日がそれ自身の疫病を持っているだけで十分です。

7

1 あなたがたがさばかれることのないように、さばいてはならない。

なぜなら、あなたがどのような判断で判断するかは、あなたが判断されるのであり、あなたがどのような判断で判断するかは、あなたにとって評価されるからです。

3

しかし、なぜあなたは、自分の兄弟の目には斑点が見え、自分の目には光線が見えないのでしょうか。

4

それとも、どうして兄に『やめなさい、わたしがあなたの目から斑点を取り除いてやる』と言っても、見よ、あなたの目には一筋の光が差し込んでいる」。

5

偽善者よ、まず自分の目からビームを取り除き、次に兄弟の目からどのように斑点を取り除くかを見てみなさい。

6

あなたがたは、犬に聖所を与えたり、豚の前に真珠を投げたりしてはならず、豚が彼らを踏みつけ、ひっくり返って引き裂くことのないようにしてはならない。

7 求めなさい、そうすればそれはあなたに与えられるでしょう、探せば見つけられるでしょう。

たたくと、それはあなたに開かれます。

8 求める者は受け取り、求める者は見つけ、たたく者には開かれる。

9 あなたがたのうちに、だれが息子にパンを求め、⁷だれが石を差し出すのか。

10 それとも、もし彼が蛇を捧げる魚を求めたら。

11

もし悪であるあなたがたが、まだ自分の子供たちに良い贈り物をすることができるなら、天にいますあなたがたの父は、彼を求める者に良いものを与えることは、なおさらのことであろうか。

12 あなたが人々にしてほしいことは何でも、あなたは彼らに対してするのです。

これが律法であり、預言者です。

13 狭い門から入ります。門は広く、道は広く、天罰につながるからです。

そして、その上を歩く人はたくさんいます。

14 また、門は狭く、いのちに通じる道は狭く、それを見つかる者はほとんどいない。

15 羊の衣を着てあなたがたのところに來る偽預言者たちに気をつけなさい。

しかし、彼らは中には貪欲な狼たちです。

16 あなたがたは、その実によって彼らを知るであろう。

とげからブドウを摘んだり、アザミからイチジクを摘んだりすることもできますか？

17 このように、すべての良い木は良い実を結び、腐った木は悪い実を結ぶ。

18 良い木は悪い実を結ぶことができず、腐った木は良い実を結ぶことができません。

19 良い実を結ばない木は、すべて切り倒されて火の中に投げ込まれる。

20 それゆえ、あなたがたは、その実によって彼らを知るであろう。

21

わたしに「主よ、主よ」と言うすべての人が天国に入るのではなく、天にいますわたしの父の御心を行う者が天国に入るわけではありません。

22

その日、多くの者がわたしに言うであろう、『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出したことはなく、また、あなたの名によって多くの行いをしたではありませんか』。

23

それから、わたしは彼らに告白する、『わたしはあなたがたを知らない。すべての悪を行う者たちよ、わたしから離れなさい』。

24

それゆえ、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は、わたしは彼を岩の上に家を建てた知恵ある人に例える。

25

そこで、土砂降りの雨が降り、水が溜まってきて、風が家を打ったとき、それは岩の上にあったので、落ちなかった。

26 わたしのこれらの言葉を聞いて、それを行わない者は、砂の上に家を建てた愚かな人のようだ。

27 そこで、土砂降りの雨が降り、水が一汲み、風が吹いて家を打つと、雨は落ちて大雨となった。

28 イエスがこの言葉を終えたとき、人々は彼の教えに驚いた。

29 彼は、律法学者のようにではなく、大いなる権威をもって宣べ伝えた。

8

¹ しかし、彼が山から下って行くと、大勢の民が彼について来た。

²

すると見よ、ひとりのらい病人が来て、彼を拝んで言った、「主よ、もしよろしければ、わたしをきよめてください」。

3 イエスは彼の手を伸ばして彼に触れて言われた、「わたしが行います。きよめられてください」。そしてすぐに彼はらい病からきよめられました。

4

イエスは彼に言われた、「彼に見て、だれにも言わないで、行って祭司のところに行って、モーセが彼らについての証しのために命じた贈り物をささげなさい」。

5 しかし、イエスがカペナウムに入られたとき、百人隊長が彼のところに来て、

6 彼に懇願した、「主よ、わたしのしもべは家にいて、痛風にかかって、ひどく苦しんでいます」。

7 イエスは彼に言われた、「わたしが来て、彼をいやします」。

8

百人隊長は答えて言った、「主よ、わたしはあなたがわたしの屋根の下に行くのにふさわしい者ではありません。ただ一言だけ話せば、わたしのしもべは癒されます」。

9

わたしは権威に服従する者であり、わたしの下には兵士がおり、もしわたしがひとりに『行きなさい』と言うと、彼は行き、また、もうひとりに『こっちに來なさい』と言うと、彼は行き、わたしのしもべには『これをしなさい』と言うと、彼はそうする。

10

イエスはこれを聞いて、驚いて、自分に従う者たちに言った、「まことに、あなたがたに言っておく。わたしはイスラエルでそのような信仰を見いだしたことがない。

11

しかし、あなたがたに告げる、朝から夕にかけて多くの人々が来て、アブラハム、イサク、ヤコブとともに天の国にすわる。

12 しかし、御国の子供たちは暗闇に追いやられ、泣き叫び、歯ぎしりをするであろう。

13 イエスは百人隊長に言われた、「行って、信仰に従って、あなたがたにそれを行なわせなさい」。そして、その時に彼のしもべは癒された。

14 イエスはペテロの家に来て、しゅうとめが横たわって熱を出しているのを見た。

15 それから彼は彼女の手を攻撃し、熱は彼女を去った。

そして、彼女は立ち上がって彼らに奉仕しました。

16

夕方、彼らは多くの悪霊に取り憑かれた人々を彼のもとに連れて来たので、彼は言葉で霊を追い出し、すべての病人をいやし、

17

預言者イザヤが言った、「彼はわれわれの弱さを自ら引き受け、われわれの疫病を負った」と言ったことが成就するためであった。

18 イエスは、自分の周りの大勢の人々を見て、海の向こう岸に行かせるように命じられた。

19

すると、律法学者が彼のところにきて言った、「先生、わたしはあなたの行くところならどこへでもついて行きます」。

20

イエスは彼に言われた、「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。しかし、人の子は頭を伏せる必要はない」。

21

すると、弟子たちがひとりで彼に言った、「主よ、わたしが先に行って父を葬ることをお許してください」。

22 しかし、イエスは彼に言われた、「わたしに従ってきて、死者にその死者を葬らせなさい」。

23 イエスが舟に乗り、弟子たちも彼に従った。

24 すると見よ、海に激しい勢いが湧き上がったので、舟も波に覆われ、彼は眠っていた。

25

弟子たちはイエスのところに来て、彼を起こして言った、「主よ、お助けください。私たちは滅びます」。

26

イエスは彼らに言った、「信仰の薄い者たちよ、なぜそんなに恐れるのですか。そして彼は立ち上がり、風と海を脅かした。その後、かなり静かになりました。

27 しかし、民は驚いて言った、「風も海も彼に従うとは、この人は、いったいどんな人ですか」。

28 彼は海の向こう側、ゲルゲセネス地方に来た。

すると、二人の取り憑かれた男が彼に向かって走ってきました。

彼らは墓掘り人から出てきて、とても怒っていたので、誰もこの通りを歩くことができませんでした。

29

すると、彼らは叫んで言った、「神の子イエスよ、わたしたちはあなたに何の関係があるのですか」。君たちは、その時が来る前に、私たちを苦しめるためにここに來たのか？

30 彼らから遠く離れたところに、牧場に大群の豚がいた。

31

そこで、悪霊たちは彼に懇願して言った、「もし私たちが追い出したいのなら、豚の群れに入ることを許してください」。

32 彼は言った、「行きなさい。それから彼らは出て行き、豚の群れの中に入った。

すると見よ、豚の群れはみな、斜面から海に身を投げて、水に溺れてしまった。

33 羊飼いたちは逃げて町にはいって、これらのことごとく、悪霊たちに何が起こったのかを告げた。

34 すると見よ、町中がイエスに会うために出かけた。

そして、彼を見ると、自分たちの地域から立ち去るように彼に懇願した。

9

1 それから彼は舟に乗り、再び航海して、自分の町に着いた。

2 すると見よ、彼らは痛風にかかってベッドに横たわっている人を彼のもとに連れてきた。

イエスは彼らの信仰を見て、痛風に苦しんでいる男に言われました、「息子よ、元気を出してください。あなたの罪はあなたに許されます。

3 すると見よ、律法学者たちの中には、「この人は神を冒瀆している」と独り言を言った者もいた。

4

しかし、イエスは彼らの思いを見て言われた、「なぜ、あなたがたは心の中でそんなに悪いと思うのか。

「あなたの罪は赦されました」と言うのと、「起きて歩け」と言うのとでは、どちらが簡単でしょうか。

6

それは、人の子が地上の罪を赦す力を持っていることを、あなたがたが知るためである(彼は痛風に苦しむ人に言った)、「起きて、ベッドを上げて、家に帰りなさい」。

7 そして、彼は立ち上がって家に帰った。

8 民はこれを見て驚き、このような力を人間に賜わった神をほめたたえた。

9

イエスが去ろうとしたとき、税関に座っているマタイという名の男を見て、「わたしについてきなさい」と言った。そして彼は立ち上がり、彼を追いかけてきた。

10

イエスが家の食卓に着いていると、見よ、多くの取税人や罪人たちが来て、イエス様や弟子たちと一緒に食卓に着いた。

11

パリサイ人たちはこれを見て、弟子たちに言った、「なぜ、あなたの主人は取税人や罪人と一緒に食事をするのですか」。

12

イエスはこれを聞いて、彼らに言われた、「強い者には医者が必要なのではなく、病人が必要なのです」。

13

しかし、行って、これが何であるかを学びなさい、「わたしはあわれみを喜ぶのであって、犠牲を喜ばない」。わたしが来たのは、義人ではなく、罪人を悔い改めに招くためである。

14

ヨハネの弟子たちは彼のところにきて言った、「なぜ、わたしたちとパリサイ人たちはそんなに断食するのに、あなたがたの弟子たちは断食しないのですか」。

15

イエスは彼らに言われた、「花婿と一緒にいるのに、どうして新郎新婦が悲しむことができようか」。しかし、花婿が彼らの中から取り出される時が来るでしょう。その後、彼らは断食します。

16

だれも古い衣服を新しい布のぼろきれで繕おうとはしない、なぜなら、そのぼろきれが再び衣服を引き裂き、その裂け目はひどくなるからである。

17

また、古い皮にリンゴ酒を入れてはいけない、そうしないと皮が破れ、マストがこぼれ、皮が朽ちてしまう。代わりに、彼らは新しいスキンにマストを入れて、一緒に保存されるようにします。

18

彼がこれらのことを彼らに言っていると、見よ、つかさの一人が来て、彼の前にひれ伏して言った、「主よ、私の娘はもう死んでいます。しかし、来て彼女の上に手を置いてください」。

そうすれば、彼女は生きます」。

19 イエスは立って、自分と弟子たちについて来た。

20 すると見よ、十二年もの間出血していた女が彼のところに来て、彼の衣の裾に触れた。

21 彼女は自分に言い聞かせた、「もし私が彼の着物に触れるだけで、私は癒されるだろう」。

22

そこでイエスは振り返って彼女を見て言われた、「娘よ、元気を出してください。あなたの信仰があなたを元気にしました。」そして、その女性は同じ時間に癒されました。

23 彼が邸宅にはいって、笛吹きと民衆の騒ぎを見て、

24 イエスは彼らに言った、「出て行け。娘は死んでいないが、眠っているからだ」。

そして、彼らは彼を笑った。

25 しかし、民が追い出されたので、イエスは中に入って彼女の手を取ったので、娘は立ち上がった。

26 そして、この噂は、すべての同じ国に広まった。

27

イエスがそこから進んで行くと、ふたりの盲人がイエスの後を追って、「ダビデの子よ、わたしたちを憐れんでください」と叫んだ。

28 彼が家に帰ると、盲人たちが彼のところにきた。

イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、わたしがこれらのことをあなたがたにすることができると思いますか」。それから彼らは彼に言った、「主よ、はい」。

29

そこで、イエスは彼らの目に触れて言った、「あなたがたの信仰に従って、それを行なってください」。

30 そして、彼らの目は開かれた。

イエスは彼らを叱責して言われた、「だれも知らないことをしなさい」。

31 しかし、彼らは出て行って、彼を全地に知らせた。

32 彼らが出て行くと、見よ、口が利けず、取り憑かれたひとりの人を彼のもとに連れて来た。

33 そして、悪魔が追い出されたとき、口のきけない男が言った。

人々は驚いて言った、「そんなことはイスラエルでは見たことがない」。

34 しかし、パリサイ人たちは言った、「彼は悪霊の支配者によって、悪霊を追い出す」。

35

イエスは、すべての町々や市場を歩き回り、彼らの学校で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる疫病と病気をいやされた。

36

イエスが民を見て、彼らはかわいそうに思った、なぜなら、彼らは偽りをして、羊飼いのいない羊のように散らばっていたからである。

37 それから弟子たちに言われた、「収穫は豊富ですが、働く者は少ないです。

38 収穫の主は、彼の収穫に労働者を送ってくださるように頼みなさい。

10¹

そして、彼は十二人の弟子たちを呼び寄せて、彼らに汚れた霊を治める力を与え、彼らを追い出し、あらゆる種類の疫病とあらゆる種類の病気をいやした。

2 さて、十二使徒の名前は、ペテロと呼ばれる最初のシモンと、その兄弟アンデレである。

ゼベダイの息子ヤコブとその兄弟ヨハネ。

3 フィリッポとバーソロミュー。トーマスとマシュー、徴税人。

ヤコブ、アルフェウスの息子、レバエウス、タデウスという姓。

4 カナのシモンと彼を裏切ったイスカリオテのユダ。

5

イエスはこの十二人をつかわして命じて言われた、「異邦人の道を歩むな、またサマリア人の町々には行かないで、

6 イスラエルの子の迷える羊のところに行きなさい」。

7 しかし、行って説教しなさい、『天の国は近づいた』と言いなさい。

8 病人をいやし、らい病人をきよめ、死者をよみがえらせ、悪霊を追い出した。

あなたはそれを惜しみなく受け取っています、それを惜しみなく与えてください。

9 あなたがたの帯には金、銀、真鍮を入れてはならない、

10 また、取り除くための袋も、上着二枚も、靴も、棒も持たない。

労働者は彼の食べ物に値するからです。

11

しかし、もし町や市場に行くなら、その中にふさわしい人がいるかどうか尋ね、あなたが去るまでその人と一緒にいなさい。

12 しかし、家に入るところはどこでも、それに挨拶しなさい。

13 もしその家がふさわしいものであれば、あなたがたの平安が彼らに臨むであろう。

しかし、それが価値がなければ、あなたの平和はあなたに戻ってきます。

14

もしだれも、あなたがたを受け入れず、またあなたの言葉を聞かないなら、同じ家や町から出て行って、足のちりを振り払いなさい。

15

まことに、あなたがたに告げるが、ソドムとゴモロウの地は、最後の審判の時には、この町よりも耐えられるであろう。

16 見よ、わたしはあなたがたを狼の中に羊のように遣わす。

だから、蛇のように賢く、鳩のように狡猾でなくなさい。

17

人々は、あなたがたを彼らの評議会に引き渡し、あなたがたを彼らの学校でむち打つであろうからである。

18

そして、あなたがたは、わたしのために、君や王たちの前に連れて来られ、彼らと異邦人に対する証しをするであろう。

19

だから、彼らがあなたがたを引き渡すとき、あなたがたがどのように、あるいは何を言うかを心配してはならない。

なぜなら、語るのはあなたではなく、あなたを通して語るのはあなたの父の霊だからです。

21

しかし、兄弟は兄弟を引き渡して死に、父は息子に引き渡され、子供たちは両親に反逆して、彼らを死に至らしめる。

22 そして、あなたがたは、わたしの名のために、みんなに憎まれるに違いない。

しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

23 しかし、もし彼らが一つの町であなたがたを迫害するならば、他の町に逃げなさい。

まことに、あなたがたに告げる、人の息子が来るまで、イスラエルの町々を終わらせることはない。

24 弟子は主人の上にはおらず、しもべは主の上におらず。

25 弟子が主人のようになり、しもべが主人のようになるだけで十分です。

もし彼らが家の父をベルゼバブと呼んだのなら、なおさら彼の家と呼ばれることはないでしょう。

26 だから、彼らを恐れてはならない。

隠されたもので明かされないものはなく、知られない秘密はありません。

27

わたしが暗闇の中であなたがたに言うことは、光の中で語り、あなたがたが耳に聞くことは、屋根の上で説教する。

28

そして、肉体を殺し、魂を殺すことができない者を恐れず、むしろ地獄で肉体と魂を滅ぼすことができる者を恐れなさい。

29 スズメを二羽買うんじゃないの？

しかし、彼らの誰一人として、あなたの父なしには地上に落ちることはありません。

30 しかし、今やあなたの頭の毛はみな数えられています。

31 だから、恐れるな、あなたは多くの雀よりも優れているからである。

32 だから、人の前でわたしを告白する者は、わたしの天の父の前で告白する。

33 しかし、人の前でわたしを否定する者は、わたしの天の父の前でも否定する。

34 わたしが地上に平和を送るために来たとは思わないでください。

私は平和を送るために来たのではなく、剣を送るために来たのです。

35

わたしが来たのは、ひとりの人をその父にむかわせ、娘をその母にむかわせ、しゅうとうをそのしゅうとめにむからせるためである。

36 そして、人の敵は、その人の家族である。

37

わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくなく、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしくない。

38 また、自分の十字架を負ってわたしについてこない者は、わたしにふさわしくない。

39

自分のいのちを見つける者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを見つけるでしょう。

40

あなたを受け入れる者は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる者は、わたしをつかわした者を受け入れる。

41 預言者の名によって預言者を受け入れる者は、預言者の報酬を受ける。

義人の名によって義人を受け入れる者は誰でも、義人の報酬を受け取ります。

42

そして、これらの最も小さい者のうち、弟子の名によって一杯の冷たい水を飲む者は、まことにあなたがたに告げるが、それは彼にとって報われないものではない。

11¹

そして、イエスが十二弟子たちにこの命令を終えると、そこから彼らの町々で教え、説教するために出かけた。

2 しかし、ヨハネは獄でキリストのわざを聞いて、弟子たちに二つをつかわして言った

、「あなたがたは来る者か、それとも、わたしたちは別の者を待つべき者か」。

4 イエスは答えて言われた、「行って、見聞きしたことを再びヨハネに伝えなさい。

5

盲人は見、足の不自由な人は歩き、らい病人はきよめられ、耳の聞こえない人は耳が聞こえ、死人は

よみがえり、貧しい人々に福音が宣べ伝えられます。」

6 わたしに怒らない者は幸いである。

7

彼らが行こうとしたとき、イエスはヨハネの民に言われた、「なぜ、あなたは見るために荒野に出て行ったのですか」。風が前後に動くパイプを見てみたかった?

8

それとも、何を見に行ったの? 柔らかい服を着た男が見たかったの? 見よ、柔らかい衣を着る者は王の家にいる。

9

それとも、何を見に行ったの? 預言者に会いたかったのですか? はい、私はあなたに言います、彼はまた預言者以上のものです。

10

「見よ、わたしはわたしの御使いをあなたがたの前に遣わす。御使いは、あなたがたの前に道を整える」と書かれている者だからです。

11

まことに、あなたがたに告げるが、すべての女から生まれた者のうち、バプテスマのヨハネよりも偉大な者は生まれず、天の王国で最も小さい者が彼よりも偉大である。

12

しかし、バプテスマのヨハネの時代から今日まで、天の国は暴力を受け、暴力を振るう者はそれを奪う。

13 ヨハネ以外のすべての預言者と律法が預言した者たち。

14 彼はエリヤで、やがて来る者です。

15 聞く耳のある者は、聞くようにしなさい。

16 しかし、わたしはこの世代をだれと比較すべきでしょうか。

それは、市場に座って仲間に叫ぶ小さな子供たちのようなものです、

17

「私たちはあなたに口笛を吹いたが、あなたは踊らなかった。私たちはあなたを嘆いたが、あなたは泣かなかった」。

18 ヨハネが来て、食べたり飲んだりしなかったので、彼らは「彼には悪魔がいる」と言います。

19

人の子が食べたり飲んだりして来たので、彼らは言う、「見よ、人は食いしん坊で、ぶどう酒を飲む人で、取税人で、罪人の旅人なんだ」。

そして、知恵はその子供たちによって正当化されなければなりません。

20

それから彼は、自分の行いのほとんどが行われたにもかかわらず、彼らが改革しなかった町々を叱責し始めた。

ベツサイダ、お前は災いである。

もしそのような行為がツロとシドンで起こったように、あなたがたに起こったように、彼らは昔の荒布と灰で悔い改めたでしょう。

22

しかし、あなたがたに言うておくが、最後の審判のとき、それはあなたがたよりもツロとシドンの方が耐え難いものとなるであろう。

23 カペナウムよ、天国に引き上げられたあなたがたは、地獄に投げ落とされるであろう。

もしあなたに対して行われた行いがソドムで起こったならば、それは今日も続いているでしょう。

24

しかし、あなたがたに告げるが、ソドムの地は、最後の審判のときの方が、あなたがたにとってよりも耐えられるであろう。

25 その時、イエスは答えて言われた、「天地の父であり主であるあなたたちをほめたたえます。

あなたがこれらのことを知恵ある者や賢明な者から隠して、赤ん坊に明らかにしたことを。

26 はい、父よ、それはあなたの前で喜ばれました。

27 すべてのものは、父からわたしに与えられた。そして、父以外には誰も息子を知らない。

そして、息子以外に父を知る者は誰もおらず、また、息子が彼を明かそうと意志する者以外には、誰も父を知らない。

28 重荷を負って働く者、みなわたしのところに来なさい。

そうすれば、わたしはあなたがたを休ませてあげよう。

わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい、わたしは心が柔和で謙遜であり、あなたがたは自分の魂に安らぎを見いだすであろう。

30 わたしのくびきは楽で、わたしの重荷は軽い。

12

1 その時、イエスは安息日に種をくわえていて、弟子たちはお腹を空かせて、とうもろこしの穂を摘み始めて食べていました。

2 パリサイ人たちはこれを見て、彼に言った、「見よ、あなたがたの弟子たちは、安息日に行うのにふさわしくないことをしている」。

3 彼は彼らに言った、「あなたがたは、ダビデと彼と共にいる者たちが飢えていたときに何をしたか、読んでいないのか」。

4 彼はどのようにして神殿にはいつて、彼と一緒にいた人々にとっても食べるのにふさわしくない供え物のパンを食べたのでしょうか。それは彼にとっても、彼と一緒にいた人々にとっても、祭司たちだけが食べるのにふさわしいものでした。

5 それとも、祭司たちが安息日に神殿で安息日を破るにもかかわらず、罪がないという法律を読んだことがないのですか。

6 しかし、あなたがたに告げるのは、ここにも神殿よりも大いなる者がおられるということである。しかし、もしあなたが「私は憐れみを喜び、犠牲を喜ばない」ということが何であるかを知っていたなら、あなたは無実の者を罪に定めることはなかったでしょう。

8 人の子は安息日にも主である。

9 彼はそこから進んで、彼女の学校に来た。

10 すると見よ、手が枯れた人がいた。彼らはイエスに尋ねて言った、「安息日に癒すのは正しいですか」。彼らが彼に対して何かを抱くためである。

11 しかし、イエスは彼らに言われた、「もし彼が安息日に穴に落ちる羊を飼っているなら、だれがそれをつかんで拾わないのですか」。

12 人は羊よりも、なんと優れていることでしょう。ですから、安息日に善を行うことができるかもしれせん。

13 それから彼はその人に言った、「手を伸ばしなさい」。そして彼はそれを伸ばしました。そして、彼女は他の人々と同じように再び癒されました。

14 そこでパリサイ人たちは出て行って、彼をどのように殺すかについて相談した。

15 しかし、イエスはこれを聞いて、立ち去られた。そして、多くの人々が彼についてきて、彼は彼らをことごとく癒し、

16 彼を報告しないように彼らを脅した、

17 預言者イザヤについて言われたこと、「

見よ、これはわたしが選んだわたしのしもべであり、わたしの愛する者であり、わたしの魂が喜ぶ者である。わたしは彼にわたしの霊を向け、彼は異邦人に裁きを告げる。

19 彼は言い争ったり、叫んだりせず、その叫び声が街路に聞かれることはない。

20 彼は傷ついた葦を折らず、勝利への審判を下すまで、くすぶっている芯を消すことはない。

21 そして、異邦人は彼の名によって望むであろう。

22 すると、悪霊に取り憑かれた人が連れて来られ、その人は盲目で口がきけなくなったので、彼は彼をいやしたので、盲人で口のきけない人は話したり見たりした。

23 民はみな恐れて言った、「これはダビデの子ではないか」。

24 しかし、パリサイ人たちはそれを聞いて言った、「彼は、悪魔の長であるベルゼバブによってのみ、悪霊を追い出さない」。

25 しかし、イエスは彼らの考えを知って言われた、「すべての王国が互いに分裂しているものは、荒れ果て、すべての町や家は、互いに分かれている者は、立っていられなくなる。

26 もしひとりのサタンが他のサタンを追い出すなら、彼は自分自身と対立しているに違いありません。

27 しかし、もしわたしがベルゼブルによって悪霊たちを追い出すなら、彼らはだれによってあなたがたの子らを追い出すのか。したがって、彼らはあなたの裁判官になります。

28 しかし、もしわたしが神の霊によって悪霊を追い出すなら、神の国があなたがたのところに来たことになる。

29 あるいは、まず強い人を縛り、次にその家を奪わなければ、だれでも強い人の家にいつて、その家財道具を奪うことができるでしょうか。

30 わたしと共にいない者は、わたしに敵対し、わたしと共に集まらない者は散らばる。

31 それゆえ、あなたがたに言う、すべての罪と冒瀆は人間には赦されるが、御霊に逆らう神への冒瀆は人間を赦さない。

32 また、人の子に敵対する者は誰でも赦されますが、聖霊に逆らって話す者は、この世でも来世でも赦されません。

33 良い木を植えれば、その実は良いものになるか、あるいは、腐った木を植えれば、その実は腐るであろう。なぜなら、果実で木を認識できるからです。

34 まむし者よ、悪であるのに、どうして善を語ることができようか。心がいっぱいになると口があふれます。

35 善良な人は、その心の善い宝から良いものを出し、悪い人は自分の悪い宝から悪を生み出します。

36 しかし、あなたがたに言うておくが、人は最後の審判の時に、自分が話したすべての無益な言葉について説明しなければならない。

37 あなたがたは、自分の言葉によって義とされ、また、その言葉によって罪に定められる。

38 すると、律法学者やパリサイ人の何人かが答えて言った、「先生、私たちはあなたからのしるしを見たいのです」。

39 イエスは彼らに答えて言った、「悪しき者、姦淫する者たちは、しるしを求めます。預言者ヨナのしるし以外には、しるしは与えられません」。

40 ヨナが三日三夜、鯨の腹の中にいたように、人の子も三日三夜、地の真ん中にいる。

41 ニネベの民は、この世代と共に最後の審判に現れ、ヨナの宣べ伝えの後に悔い改めたので、彼らを罪に定めるであろう。見よ、ここにはヨナ以上のものがある。

42 真昼の女王は、この世代と共に最後の審判に現れ、それを非難するであろう、彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからである。見よ、ここにはソロモン以上のものがある。

43 汚れた霊が人から出て行くと、それは乾燥した場所をさまよい、安息を求めますが、それを見つめることができません。

44 それから彼は言った、「わたしは、帰ってきた家に帰ります」。そして彼が来ると、それは空っぽで、掃き掃除され、飾られていることに気づきます。

45 そこで彼は行って、自分よりも悪い他の七つの霊を自分のところに連れて行き、彼らが入ってくるとそこに住み、その後、同じ人が以前よりも悪くなる。だから、この邪悪な世代もそうでしょう。

46 彼がまだ民に語りかけているとき、見よ、母と兄弟たちが外に立って、彼に語りかけようとしていた。

47 すると、ひとりが彼に言った、「見よ、あなたの母と兄弟たちが外に立っていて、あなたに話しかけたいのです」。

48 しかし、彼は答えて言った者に言った、「わたしの母とはだれで、わたしの兄弟とはだれですか」。

49 そして、弟子たちの上に手を伸ばして言った、「見よ、これがわたしの母と兄弟たちです」。

50 天にいますわたしの父の御心を行う者は、わたしの兄弟であり、姉妹であり、母である。

13

1 その日、イエスは家を出て、海辺にすわった。

2 そこで、大勢の人々が彼のもとに集まったので、彼は舟に乗ってすわった。

3 イエスはたとえによって彼らに多くのことを語り、「見よ、種を蒔く者が出て行った。

4 彼が種を蒔いていると、何羽かが道端に倒れ、鳥たちが来て彼らを食い尽くした。

5 土があまりない石の地に落ちたものもあり、深い土がなかったために、すぐに芽が出た。

6 しかし、太陽が昇ると、太陽は枯れ、根がなかったので、枯れてしまった。

7 ある物がいばらの間に落ちたので、いばらが生えて彼らを窒息させた。

8 ある者は良い地に落ちて実を結び、ある者は百倍、ある者は六十倍、ある者は三十倍であった。

9 聞く耳のある者は、聞くようにしなさい。

10 弟子たちはイエスのところにきて言った、「なぜ彼らにたとえ話をするのですか」。

11

彼は答えて言った、「天の王国の奥義を理解するために、あなたがたに与えられたのは、彼らには与えられていないのです」。

12

持っている者には、豊かさを持つことが与えられているが、持っていない者からは、持っているものさえも取り上げられる。

13 それゆえ、わたしは彼らにたとえ話で語ります。

見る目では見ず、聞く耳では聞くことができない。

なぜなら、彼らはそれを理解していないからです。

14

そして、彼らの上では、イザヤの預言が成就し、「あなたがたの耳では聞くが、悟ることはできない。そして、見る目で見ると、あなたは見るでしょう、そしてあなたは理解しないでしょう。

15 この民の心はかたくなになり、彼らの耳はひどく聞こえ、目は眠りに落ちる。

いつの日か、彼らが目で見て、耳で聞き、心で理解し、心で悟り、回心して、わたしが彼らを助けるようになるのではないか。」

16 しかし、あなたがたの目はさいわいであり、聞く耳はさいわいである。

17

まことに、あなたがたに告げるが、多くの預言者や正しい人々は、あなたがたが見ているものを見たいと望んでいたが、見ていなかったし、聞いたことを聞いていたのに、聞いたことがない。

18 だから、あなたがたは種を蒔く人のたとえを聞きます。

19

もし王国の言葉を聞いて、それを理解しない者があれば、悪しき者が来て、彼の心に蒔かれたものを奪い去り、その道が蒔かれた者こそが、この者です。

20

しかし、石に蒔かれるものは、人がその言葉を聞いて、すぐに喜びをもってそれを受け入れるときである。

21

しかし、彼は自分自身に根を張らず、気まぐれで、みことばのために苦難や迫害が生じると、すぐに怒る。

22

しかし、いばらの間に蒔かれるのは、だれでもみことばを聞くときであり、この世の思い煩いと富の欺瞞とがみことばを詰まらせ、実を結ばない。

23

しかし、良い地に蒔かれるのは、だれでもみことばを聞いて理解し、実を結ぶとき、ある者は百倍、ある者は六十倍、ある者は三十倍実を結ぶときである。

24 イエスは彼らに別のたとえをして言った、「天の国は、自分の畑に良い種を蒔いた人のようです。

25 しかし、民が眠っている間に、敵が来て、麦の中に毒麦をまいて去っていった。

26 さて、その薬草が成長して実を結ぶと、雑草も見つかった。

27

そこで、しもべたちが家の父のところにきて言った、「主よ、あなたは自分の畑に良い種を蒔いたではありませんか」。彼はどこから雑草を手に入れたのですか？

28 イエスは彼らに言われた、「敵が行ったことは、こういうことです」。

すると、召使たちは「行って、それを取り除いてほしいですか?」と言いました。

29 彼は言った、「いや、毒麦を抜くと同時に麦を根こそぎにしないように」。

30

収穫までは、ふたりを共に育て、収穫の時には、刈り取り人に言う、『まず毒麦を集めて束ねて、焼くことができるようにし、麦をわたしの倉に集めなさい』。

31

彼は彼らに別のたとえを話して言った、「天の国は、人が自分の畑に取って蒔いたからし種のようなものです。

32

これはすべての種の中で最も小さいが、成長するとキャベツの中で最も大きくなり、木になるので、空の鳥が来て、その枝の間に住むようになる。

33

イエスは彼らに別のたとえ話をした、「天の国はパン種のようなもので、女がそれを取り、三ブッシェルの小麦粉と混ぜて、完全にパン種になるまで混ぜた」。

34 イエスは、これらのことをみな譬で人々に語られたが、

35 預言者が言ったことが成就するために、たとえなしには語らなかった、

それは、預言者が言ったことが成就するためで、「わたしはたとえ話で口を開き、世の初めから奥義を語ろう」と言った。

36 そこでイエスは民を去って帰って来られた。

弟子たちが彼のところに来て言った、「野の雑草の奥義を私たちに説明してください」。

37 イエスは答えて言われた、「善の種を蒔くのは人の子です。

38 野原は世界である。 良い種は王国の子供たちです。 毒麦は邪悪な子です。
39 彼らを蒔く敵は悪魔である。 収穫は世界の終わりです。 刈り取る者は天使です。
40 雑草が抜かれて火で焼かれるように、それはこの世の終わりになるでしょう。
41
人の子は御使いたちをつかわし、彼らはすべてのつまずきの石と悪を行う者たちを彼の王国から集め、
42 そして彼らを火の炉に投げ込み、そこで泣き叫び、歯ぎしりをするでしょう。
43 そうすれば、義人は父の王国で太陽のように輝くでしょう。
聞く耳のある者は、聞かせてください。
44
また、天の国は、人が見つけて隠した野の宝のようであり、喜びのためにそれを乗り越え、自分の持ち物をすべて売り払って、畑を買いました。
45 また、天の御国は、良い真珠を探し求めた商人のようである。
46 そして、高価な真珠を見つけると、行って持ち物をことごとく売り払い、それを買いました。
47 また、天の国は海に投げ込まれた網のようで、人はそれを使ってあらゆるものを捕らえる。
48
しかし、それがいっぱいになると、彼らはそれを岸に引き上げ、座って良いものを一つの器に集めますが、腐ったものは捨てます。
49 こうして世の終わりには、御使いたちは出て行って、悪しき者と正しい者とを引き離し、
50 彼らを火の炉に投げ込む。 そこでは、泣き嘆き、歯ぎしりがする。
51 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、このことをすべて理解しましたか」。
彼らは言いました、「はい、主よ」。
52
すると彼は言った、「だから、天の御国に教えられる律法学者はみな、自分の宝から新しいものと古いものを引き出す家庭人のようだ」。
53 さて、イエスはこれらのたとえ話を終えると、
54
故郷の町に来て、彼らを学校で教えて去って行ったので、彼らは驚いて、「この知恵と行いはどこから来るのだろう」と言った。
55 彼は大工の息子ではないのか。 彼の母親の名前はマリアではありませんか？
そして彼の兄弟ヤコブとホセとシモンとユダ？
56 また、彼の姉妹たちも、みなわたしたちと共にいるではないか。
彼にとって、これはどこから来るのでしょうか？
57 彼らは彼に対して腹を立てた。
イエスは彼らに言われた、「預言者は、自分の国や家でほど尊敬されていないところはない」。
58 そこでは、彼らの不信仰のゆえに、あまりしるしをしなかった。

14

17
1 その時、イエスの噂は四人の王子ヘロデの前に出ました。
2 彼はしもべたちに言った、「これがバプテスマのヨハネです。彼は死者の中からよみがえったので、これらの行いをします」。
3 ヘロデは、彼の兄弟ピリポの妻ヘロデヤのために、ヨハネを捕らえ、彼を牢に入れた。
4 ヨハネは彼に言った、「あなたがそれを持つのは正しくない」。
5 彼は自分を殺したかったが、民が彼を預言者だと思っていたので、恐れていた。
6 しかし、ヘロデが彼の記念日を祝っていたとき、ヘロデヤの娘が彼らの前で踊った。 ヘロデはこれに大いに満足しました。
7 そこで彼は、彼女が求めるものを彼女に与えると誓って彼女に約束した。
8 彼女は母にそそのかされて言った、「洗礼者ヨハネの頭を皿に乗せてください」。
9 王は悲しんだが、誓いと、彼と一緒に食卓に着いた人々のために、王は彼女に誓いを立てるように命じた。
10 彼はヨハネをつかわして、牢獄で首をはねた。
11 彼の頭は皿に入れられて、娘に与えられ、娘はそれを母のところに持って行った。
12 そこで、弟子たちがきて、イエスのからだを取って葬り、イエスにこのことを告げ知らせた。
13 イエスはこれを聞いて、そこから一人で舟に乗って荒れ野へ出かけた。 民はこれを聞くと、彼を徒歩で追って町々を出た。
14 イエスは出て行って、大勢の民を見て、彼らを憂い、彼らの病をいやした。

15 夕方、弟子たちがイエスのところに来て言った、「ここは荒野で、夜が明けています。あなたから人々を離れれば、彼らは市場に行って食べ物を買うでしょう。
16 しかし、イエスは彼らに言われた、「彼らが行く必要はない。彼らに食べ物を与えなさい。
17 彼らは言った、「ここには、五つのパンと二匹の魚のほかには何もない」。
18 彼は言った、「彼らをわたしのところに持ってきてください」。
19 彼は民に草の上に横たわるように命じ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰ぎ、感謝をささげ、それを裂き、弟子たちにパンを与え、弟子たちもそれを民に与えた。
20 そして、彼らはみな食べて満足し、残りの破片を拾い上げ、かごは十二個いっぱいになった。
21 しかし、食べた者は五千人ほどで、妻も子供もいなかった。
22 すると、イエスはすぐに弟子たちに、舟に乗り込み、民を去るまで自分の前を通り過ぎるように促された。
23 そして、民を彼から離れると、ひとりでに山に登って祈った。そして夕方、彼は一人でそこにいました。
24 その船はすでに海の真ん中にいて、風が彼らにとって嫌だったので、波を必要としていた。
25 しかし、夜の四日目に、イエスは彼らのところに来て、海の上を歩かれた。
26 弟子たちは、彼が海の上を歩いているのを見て、恐れて「幽霊だ」と言って、恐れて叫んだ。
27 しかし、イエスはすぐに彼らに言われた、「元気を出してください。わたしです。恐れることはありません」。
28 しかし、ペテロは彼に答えて言った、「主よ、もしそれがあなたなら、わたしに水の上に来るように命じてください。
29 彼は言った、「こっちに來なさい。ペテロは舟から出て、イエス様のもとに来るために水の上を歩いた。
30 しかし、彼は強い風を見て、恐れおののき、「主よ、私を助けてください」と叫びながら沈み始めました。
31 イエスはすぐに手を伸ばして彼をつかんで言われた、「信仰の薄いあなたたちよ、なぜ疑ったのですか。
32 そして、彼らは舟に乗り込むと、風は弱まった。
33 しかし、その舟に乗っていた者たちは、イエスの前にひれ伏して言った、「あなたはまことに神の子です」。
34 そして、彼らは航海して渡り、ガリラヤの地に着いた。
35 その所の民は、彼に気づくと、全地をつかわして、あらゆる不健康な人々を彼のもとに連れてきて、
36 彼に、彼の着物の裾だけに触れるように頼んだ。そして、彼に触れた者はみな癒された。

15

1 そこで、エルサレムの律法学者やパリサイ人たちが彼のところにきて言った、「
2 なぜ、あなたがたの弟子たちは長老たちの言わずとをそむのですか」。彼らはパンを食べるときに手を洗いません。 18
3 イエスは答えて言われた、「あなたがたは、なぜ自分のエッセイのために神の戒めをそむくのですか。
4 神は命じられた、「あなたがたは、父と母を敬え。父と母を呪う者は誰でも死ぬ。」
5 しかし、あなたがたは、自分の父や母に、「わたしからあなたがたに益を与えるものは、神に与えられた」と言う者は、善いと教えています。
[6] それゆえ、これからは誰も自分の父や母を敬わなくなり、その結果、あなたは自分のエッセイのために神の命令を放棄してしまったのです。
7 偽善者よ、イザヤはあなたがたについて預言し、語っています、
8 「この民は口でわたしに近づき、くちすりでもわたしを敬っています。しかし、彼らの心はわたしから遠く離れています。
9 しかし、彼らはわたしに仕えるのはむなしい、なぜなら、彼らは人間の戒め以外の何物でもないような教義を教えるからである。
10 彼は民を呼び寄せて言った、「聞いて、彼らを捕まえなさい」。
11 口に入るものは人を汚さないが、口から出るものは人を汚す。
12 そこで弟子たちはイエスのところにきて言った、「パリサイ人たちがその言葉を聞いて怒ったことを、あなたがたは知っていますか」。
13 しかし、彼は答えて言った、「わたしの天の父が植えられなかった植物は、すべて取り上げられるでしょう。」

14 彼らを放しなさい。彼らは盲人のための盲目のリーダーです。しかし、盲目の男性がもう一人をリードすると、二人とも穴に落ちてしまいます。

15 そこでペテロは答えて言った、「このたとえ話をわたしたちのために解釈してください」。

16 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、まだ愚かですか。

17 あなたがたは、口に入るすべてのものは腹に入り、自然の通路によって投げ出されることをまだ知らないのですか。

18 しかし、口から出るものは心から出るもので、それが人を汚す。

19 殺人、姦淫、姦淫、盗み、偽証、冒瀆など、悪い思いが心から出るからである。

20 これらは人を汚す部分である。しかし、洗っていない手で食事をしても、人は汚れません。

21 イエスは出て行って、ツロとシドンの地方に逃げた。

22 すると見よ、同じ地域から一人のカナン人の女が来て、彼を追いかけて叫んだ、「主よ、ダビデの子よ、どうかわたしを憐れんでください。私の娘は悪魔にひどく悩まされています。

23 彼は彼女に一言も答えなかった。すると弟子たちが彼のところに来て、「彼女を放っておいて。彼女は私たちの後に泣いているから」と懇願した。

24 しかし、彼は答えて言った、「わたしは、イスラエルの家の失われた羊にしかつかわれません」。

25 彼女は来て、彼の前にひれ伏して言った、「主よ、私を助けてください」。

26 しかし、彼は答えて言った、「子供たちのパンを取って、それを犬の前に投げるのは正しくありません」。

27 彼女は言った、「主よ、その通りです。しかし、犬たちは主人の食卓から落ちるパンくずを食べます。

28 そこでイエスは答えて言われた、「おお、女よ、あなたの信仰は大いです。あなたが望むように、それをあなたに行かせてください。そして、彼女の娘も同じ時間に癒されました。

29 イエスはそこから進んでガリラヤ湖に来られ、山に登ってそこにすわられた。

30 そこで、足の不自由な者、盲人、口のきけない者、足の不自由な者、その他多くの者を連れていた多くの人々がイエスのところに来て、彼らをイエスの足元に投げつけたので、イエスは彼らをいやし、

31 人々は驚いて、口のきけない者が話しているのを見て、足の不自由な者はいやされ、足の不自由な者は歩き、盲人は見て、イスラエルの神をほめたたえた。

32 イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、「民がかわいそうに思っています。彼らは三日の間、わたしのところに滞在して食べるものがありません。また、途中で気を失わないように、わたしから食べずにおいてはいきません」。

33 弟子たちはイエスに言った、「荒野で、どこでこんなに多くのパンを手に入れて、大勢の人々を満足させることができるでしょうか」。

34 イエスは彼らに言われた、「あなたがたはパンをいくつお持ちですか」。彼らは「七匹と小さな魚」と言いました。

35 彼は民に地に伏せさせ、

36 七つのパンと魚とを取り、感謝を捧げ、それを裂いて弟子たちに与え、弟子たちはそれを民に与えた。

37 彼らはみな食べて満足し、残りの破片を拾い上げ、かご七つがいっぱいになった。

38 そこで食事をした人々は、女と子供を除いて、四千人であった。

39 そして、民を去った後、舟に乗り込んでマグダラの領地に入った。

1

16

そこで、パリサイ人とサドカイ派の人々が彼のところに来て、彼を誘惑して、天からのしるしを見せるように要求した。

2

しかし、彼は答えて言った、「夕方になると、君は言う。『空は赤いので、美しい日になるだろう。』

3 そして、朝になると、「きょうは嵐が来る。空は赤く曇っているからだ」と言う。偽善者め!

あなたは天の形を判断することができます。

あなたもまた、この時の兆候を判断することができないのでしょうか。

4

この邪悪で姦淫な種族はしるしを求めており、預言者ヨナのしるし以外には、いかなるしるしも与えられてはならない。そして、彼は彼女を残して去っていった。

5 弟子たちが行ってから、パンを持って行くのを忘れていた。

6 イエスは彼らに言われた、「パリサイ人やサドカイ人のパン種に注意しなさい。

7

そこで彼らは、「わたしたちがパンを持って行かなかったのは、こういうことになるだろう」と心の中で思った。

8

イエスはこれを見て、彼らに言われた、「信仰の薄いあなたがた、なぜパンを持って行っていないことを心配するのですか」。

9 まだ何も聞こえないのか。

あなたがたは、五千の中に五つのパンがあり、何個のかごを拾ったか覚えていないのか。

10 また、四千のパンのうち七斤のパンと、何個のかごを拾ったかを覚えていないのか。

11

なぜ、あなたがたは、わたしが『パリサイ人やサドカイ人のパン種に注意しなさい』と言っているとき、パンについて語っているのではないことが理解できないのか。

12

すると彼らは、イエスがパン種に注意しなさいと言ったのであって、パリサイ人とサドカイ人の教えに注意しなさいと言ったことを知った。

13

そこでイエスはピリピ帝カイザリヤに来て、弟子たちに尋ねて言った、「人の子とは、だれだと言っていますか」。

14

彼らは言った、「ある人はバプテスマのヨハネだと言い、ある人はエリヤだと言い、ある人はエレミヤ、あるいは預言者の一人だと言う」。

15 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、わたしをだれと言っているのですか」。

16 そこでシモン・ペテロは答えて言った、「あなたは生ける神の子、キリストです」。

17

イエスは答えて言われた、「ヨナの子シモン、あなたはさいわいです。血肉があなたにこのことを明らかにしたのではなく、天にいますわたしの父がこれを明らかにしたからです。」

18 また、あなたがたに言う、「あなたはペテロです。この岩の上にわたしの教会を建てます。

そして、地獄の門はこれに打ち勝つことはありません」。

19 また、わたしはあなたがたに天国の鍵を与える。

あなたがたが地上でつなぐものは、すべて天でもつなぐことができ、あなたがたが地上で解くものは、すべて天でも解くことになる。

20 それから彼は弟子たちに、自分がイエスがキリストであることを誰にも言わないように禁じた。

21

その時から、イエスは弟子たちに、エルサレム²⁰に行つて、長老たちや祭司長や律法学者たちからひどく苦しみ、殺され、三日目によみがえることを示し始めました。

22

ペテロは彼をつかんで、彼に噛みついて言った、「主よ、どうかお許してください。あなたがたにこのようなことが起こらないようにしてください」。

23

しかし、彼は振り返ってペテロに言った、「サタンよ、わたしから離れなさい。あなたがたはわたしに対して怒っている。あなたがたは、神聖なものではなく、人間的なものを指しているのです」。

24

そこでイエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨てて自分の十字架を負い、わたしについてきなさい」。

25

自分のいのちを守ろうとする者は、それを失うが、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを見つかるであろう。

26 もし人が全世界を得て、その魂を失うなら、何の益があるというのか。

それとも、人間が再び自分の魂を贖うために、何を与えることができるのか。

27

人の子が、父の栄光のうちに、その御使いたちと共に来て、その行いに応じて、ひとりおのおの報い

を受けるようになるからである。

28

まことに、あなたがたに告げるが、ここには、人の子が彼の王国に来るのを見るまでは、死を味わわない者がいる。

1

17

そして、六日後、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネを連れて、彼らを高い山に連れて行った。

2 そして、彼は彼らの前で変身し、その顔は太陽のように輝き、その衣は光のように白くなった。

3 すると見よ、モーセとエリヤが彼らの前に現れて、彼に語りかけた。

4 しかし、ペテロはイエスに答えて言った、「主よ、ここにいてよかったです」。

もしよろしければ、ここに三つの幕屋を造りましょう、一つはあなたのため、一つはモーセのため、一つはエリヤのためです。

5 彼がまだこのように話していると、見よ、明るい雲が彼らを覆った。

すると見よ、雲の中から声がして言った、「これはわたしの愛する息子で、わたしは彼を心から喜ばせています。あなたは彼の言うことを聞くでしょう」。

6 弟子たちはこれを聞いて、ひれ伏して恐れた。

7

しかし、イエスは彼らのところに来て、彼らに触れて言われた、「起きなさい。恐れることはありません」。

8 しかし、彼らが目を上げると、イエスのほかにはだれも見えなかった。

9

彼らが山から下りるとき、イエスは彼らに命じて言われた、「人の子が死者の中からよみがえるまでは、この幻を誰にも話してはならない」。

10

弟子たちはイエスに尋ねて言った、「なぜ律法学者たちは、エリヤが先に来なければならないと言うのですか」。

11 イエスは答えて言われた、「エリヤを先に来て、すべてを正しなさい」。

12

しかし、あなたがたに告げるが、エリヤはすでに来ていたので、彼らは彼を知らなかったが、自分たちが望んでいたことを彼にしたのである。

それゆえ、人の子もまた、それらに苦しまなければならない。

13 弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネについて自分たちに話したことを理解した。

14 彼らが民のところに来ると、ひとりの人が彼のところにきて、彼の足もとにひれ伏して言った、「主よ、わたしの息子を憐れんでください。

彼は精神異常者で、ひどい苦難を抱えています。

彼はしばしば火の中に落ち、しばしば水に落ちます。

16

そして、わたしは彼をあなたがたの弟子たちのところに連れて行つたが、彼らは彼を助けることができなかった。

17

しかし、イエスは答えて言われた、「ああ、不信者で、よこしまな優しい者よ、わたしはいつまであなたと一緒にいられるのであろうか。彼をここに連れて来てください！

18 イエスが彼を叱られたので、悪魔が彼から出て来て、その時、少年はいやされた。

19

そこで、弟子たちは特別な態度で彼のところに来て言った、「どうして彼を追い出さなかったのですか」。

20

しかし、イエスは彼らに答えて言われた、「あなたがたの不信仰のためです。まことに、あなたがたに告げるが、もしからし種のような信仰を持つならば、この山に向かって「ここから離れて行け」と言うことができる。それから彼は立ち上がるでしょう。

そして、あなたにとって不可能なことは何もありません。

21 しかし、この種のものは、祈りと断食とによらなければ、出て行くことはありません。

22

しかし、彼らがガリラヤでその本質を得たとき、イエスは彼らに言われた、「人の子が人々の手に渡される日が来る。

23 そして彼らは彼を殺し、三日目に彼は再びよみがえるであろう。

そして、彼らは非常に悲しみました。

24

彼らがカペナウムに着いてから、ペテロのところへ行くと、ペテロは利子のペニーを受け取り、「あなたの主人は、そのペニティをあげる習慣がないのですか」と言いました。

25 彼は言った、「はい」。

彼が家に帰ると、イエスは彼の前に来て言われた、「シモン、あなたはどう思いますか。地上の王たちは誰から犠牲や利息を取っているのでしょうか？

あなたの子供からですか、それとも見知らぬ人からですか？

26 ペテロは彼に言った、「他国の人々のうちです」。

イエスは彼に言われた、「だから、子供たちは自由です」。

27

しかし、彼らを怒らせないように、海に行って釣り竿を投げ、最初に上がってきた魚を取り、その口を開くと、ステーターを見つけるでしょう。

それを取って、わたしとあなたのために彼らに与えてください。

18¹

その時、弟子たちはイエスのところに来て言った、「天の国で一番偉いのはだれですか」。

2 イエスは彼にひとりの子供を呼び寄せて、彼を彼らの真ん中に置き、

3 言った、「まことに、あなたがたに告げます。

悔い改めて子供のようになるかぎり、天国に入ることはできません。

4 この子のように自分をへりくだる者は、天の王国で最も偉大です。

5 このような子をわたしの名によって受け入れる者は、だれでもわたしを受け入れる。

6

しかし、わたしを信じる者のうち、最も小さい者のうちのひとりです。つまずく者は、首に石臼をぶら下げ、海が最も深いときに海で溺れる方がよいでしょう。

7 つまずきの世界は災いである。迷惑がかかるに違いありません。

しかし、つまずきがつまずく人には災いが訪れる！

8

しかし、もしあなたの手や足があなたを怒らせるようなことがあれば、それを切り取って捨てなさい。

足が不自由になったり、不自由になったりした方が、手が二本あって地獄の火に投げ込まれるよりはましです。

22

9 もしあなたの目があなたを怒らせるなら、それを抜き取って、あなたから投げ捨てなさい。

あなたにとっては、二つの目を持って地獄の火に投げ込まれるよりも、一つの目で人生に入る方がよいです。

10 あなたがたは、これらの小さな者たちをだれも軽蔑しないように気をつけなさい。

あなたがたに言うておくが、天にいる彼らの御使いたちは、いつも天にいますわたしの父の顔を覗き込んでいる。

人の子は、失われた者を救うために来たのです。

12

どう思いますか？もし誰かが百匹の羊を飼っていて、そのうちの一匹が道を踏み外したとしたら、その人は九十九匹を山に残して、道を踏み外した羊を探しに行かないのでしょうか。

13

もし彼がそれを見つけるならば、まことに、あなたがたに告げるが、彼は道を踏み外さなかった九十九人よりも喜ぶ。

14

だから、天にいますあなたがたの父の意志は、これらの幼子のだれかが滅びることではないのです。

15

しかし、もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯すなら、行って、あなたと彼との間だけで彼を罰しなさい。もし彼があなたの言うことを聞けば、あなたは兄弟を勝ち取ったことになります。

16 もし彼があなたがたの言うことを聞かないなら、さらに一人か二人を彼に連れて行きなさい。
そうすれば、すべてのことが二人または三人の証人の口となるようにしなさい。

17 もし彼がそれを聞かないなら、会衆に告げなさい。

もし彼が教会の声を聞かないなら、彼を取税人が異教徒と考えてください。

18

まことに、あなたがたが地上でつなぐことは、天でもつながれ、地上で解くことは、すべて天でも解かれることになる。

19

あなたがたに告げる、もしあなたがたのうちふたりが一つになるなら、そしてなぜ彼らが求めたいのか、それは天にいますわたしの父によって彼らに行われるであろう。

20 ふたりまたは三人がわたしの名によって集まるところには、わたしがその中にいる。

21

そこでペテロは彼のところにきて言った、「主よ、わたしに対して罪を犯す兄弟を、わたしはどれほど頻りに赦さなければならぬでしょうか」。7回で十分ですか?

22 イエスは彼に言われた、「あなたがたに言うのは、七回ではなく、七の七十回です」。

23 それゆえ、天の国は、しもべたちを侮りたがった王のようだ。

24 彼が計算を始めたとき、彼には一万ポンドの借金がある者が現れた。

25

彼が支払うべきものがなかったので、主は彼と彼の妻と子供たち、そして彼が支払わなければならないすべてのことを告げられた。

26

そこでもしもべはひれ伏して彼を拝み、「主よ、わたしを忍耐強くお待ちください。そうすれば、わたしがあなたにすべてのものを支払います」と言った。

27 すると、しもべの主人は憐れんで、彼を行かせ、彼もまた借金を赦した。

28

そこで、そのしもべが出て行って、百ペニーの借金をしている仲間のしもべの一人を見つけたので、彼は彼を襲い、絞め殺して言った、「お前が私に借りているものを返せ」と言った。

29

そこで、仲間のしもべがひれ伏して彼に懇願した、「わたしに忍耐しなさい。そうすれば、わたしがあなたにすべてを払うよ」。

30 しかし、彼はそうせず、行って、借りを返済するまで彼を牢獄に投げ込んだ。

31

しかし、彼の仲間のしもべたちはこれを見て、ひどく悲しみ、起こったすべてのことを主人の前に持って来て、持って来た。

32 そこで主人は彼を彼の前に呼び寄せて言った、「この悪党め。

あなたが私に求めたこの借りを、わたしは全部赦しました。

33 わたしがあなたがたを憐れんだように、あなたもまた、あなたの仲間のしもべを憐れみませんか。

34 主人はひどく怒って、彼を拷問者たちに引き渡した。とうとう、彼は借りを全部払った。

35 もし君たちが心から赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに、その兄弟の罪を犯した。

19

1 イエスはこれらの言葉を終えると、ガリラヤから立ち上がって、ヨルダン川の向こう岸にあるユダヤの地に来た。2 そして、多くの人々がイエスについてきて、イエスはそこで彼らを癒した。3 すると、パリサイ人たちがイエスのところに来て、彼を誘惑して言った、「それは正しいか。男性は何らかの理由で妻と離婚すべきですか?4 イエスは答えて彼らに言った、「あなたがたは、初めに人を造った者が、男とひとりの女とを造ったことを読んだことがない。5 こうして、『だから、人は父と母を離れて妻に執着し、ふたりは一体となるであろう』と」。6 だから、彼らはふたりではなく、一体である。さて、神が一つに結んだものを、だれも引き離してはならない。7 彼らは言った、「なぜモーセは離婚証明書を出して、彼女を離婚するように命じたのですか」。8 彼は彼らに言った、「モーセは、あなたがたの心がかたくなであったために、あなたがたを妻から引き離すことを許しました。しかし、最初からそうだったわけではありません。9 しかし、あなたがたに言うておくが、自分の妻を離婚し(姦淫を除く)、他の者と結婚する者は、姦淫を犯す。また、死者と結婚する者もまた姦淫を犯す。10 弟子たちは彼に言った、「もし男と妻がこのようなことなら、結婚するのは良くない」。11 イエスは彼らに言われた、「みことばはすべての人に与えられるのではなく、それを与えられた人々に与えられるものです。12 このように母の胎から生まれた者のうち、断ち切られた者もいる。また、男性に切り捨てられる者もいる。また、天国のために自らを

断ち切った者もいます。それをつかむことができる者は、彼にそれをつかませなさい!13そこで、幼な子たちが彼のところに連れて来られ、彼は彼らの上に手を置いて祈った。しかし、弟子たちは彼らを叱責しました。

14しかし、イエスは言われた、「幼な子たちをわたしのところに来させなさい。彼らを禁じてはならない。これが神の国だからです」15そして、イエスは彼らの上に手を置いて去っていった。16すると見よ、彼らのひとりが彼のところに来て言った、「先生よ、永遠の命を得るために、わたしは何の役に立つのでしょうか」17イエスは言った、「17イエスは言った、なぜ私を認めるのですか?唯一の神以外に善良な人はいません。しかし、もしいのちに入りたいのなら、戒めを守りなさい。18イエスは彼に言った、「だれですか」。しかし、イエスは言われました:「あなたは殺してはならない。あなたは姦淫を犯してはならない。汝、盗んではならない。あなたは偽りの証言をしてはならない。19あなたがたの父と母を敬いなさい」と言い、「自分を愛するように、隣人を愛しなさい」。20すると、若者は彼に言った、「わたしは若い頃から、これらのものをすべて守ってきました。まだ足りないものは何ですか?21イエスは彼に言われた、「もし完全になりたいのなら、行って自分の持っているものを売り払い、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を持つことができるでしょう。そして、来て、私についてきなさい。22若者はその言葉を聞くと、多くの持ち物を持っていたので、悲しそうに彼を去った。23イエスは弟子たちに言われた、「まことに、あなたがたに言っておく。金持ちが天国に入るのは難しい。24また、あなたがたに告げるが、金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方が簡単である。25弟子たちはこれを聞いて、大いに驚いて言った、「はい、だれが救われるのですか」。26しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人には無理です。しかし、神がいれば、どんなことでも可能だ。27そこでペテロは答えて言った、「見よ、わたしたちはすべてを捨てて、あなたがたについてきました。それで何が得られるのでしょうか?28イエスは彼らに言われた、「まことに、わたしについて来たあなたがたは、人の子がその栄光の王座に着く新生のとき、また十二の椅子に座ってイスラエルの十二の家族をさばくでしょう」。29また、わたしの名のために家、兄弟、姉妹、父、母、妻、子供、畑を捨てる者は、それを百倍にして、永遠の命を受け継ぐであろう。

30しかし、先に立つ者の多くは後となり、後者が先になる。

20 1天の国は、朝、自分のぶどう園で労働者を雇うために出かけた家主のようなものです。

2そして、一日の賃金で労働者たちと一つになったとき、彼らを自分のぶどう園に送った。3そして、三時間ほど出かけて行くと、他の人々が市場でぼんやりと立っているのを見て、彼らに言った、「あなたたちもぶどう園にはいて、正しいことをしてあげましょう」。

5そして、彼らは行った。彼は再び6時と9時に出て行き、同じことをした。

6しかし、十一時ごろ、彼は出て行って、他の人々がぼんやりと立っているのを見つけて、彼らに言った、「なぜ、あなたは一日中ここにぼんやりと立っているのですか」。

7彼らはイエスに言った、「だれもわたしたちを雇った者はいません」。

彼は彼らに言った、「あなたたちもぶどう園にはいりなさい。正しいことはあなたのものになるでしょう。」

8夕方になると、ぶどう園の主人は指揮者に言った、「労働者たちを呼んで、彼らに賃金を渡し、最後から最初のものへと始めなさい」。

9それから、十一時頃に雇われた者たちが来て、おのおのペニーを受け取った。

10しかし、最初の日が来たとき、彼らはもっと受け取るだろうと思って、それぞれが自分のペニーを受け取った。

11そして、彼を迎えると、彼らは家主にむかってつぶやいて言った

、「彼らはたった一時間働いただけなのに、あなたがたは彼らを、日中の重荷と暑さとを背負った私たちのように造ったのです」。

13しかし、彼は答えて、彼らのひとりに言った、「友よ、わたしはあなたがたに悪いことをしていません。お前は一銭も払って私と一つになったんじゃないか?」

14あなたのものを取り、行きなさい。

しかし、私はあなたにするのと同じように、この最後にも与えます。

15 それとも、わたしには、わたしのものを使って、自分の望むことをする力がないのでしょうか。

だから、私がこんなに親切なのに、あなたは私をこんなに悪戯っぽく見るのだろうか？

16 だから、最後のものが先となり、最初のものが最後となる。

なぜなら、多くの人が呼ばれますが、選ばれる人は少ないからです。

17 彼はエルサレムに上って行き、十二弟子たちを連れて特に道に出て言った、「

18 見よ、わたしたちはエルサレムに上り、人の子は祭司長や律法学者たちに引き渡され、

彼らは彼を死刑に定め、

19

彼を異邦人に引き渡してあざけり、むち打ち、十字架につけ、三日目に再びよみがえるであろう」。

20

そこで、ゼベダイの子供たちの母が息子たちを連れて彼のところに来て、彼の前にひれ伏して、彼に何かを求めた。

21 彼は彼女に言った、「あなたは何を望んでいますか」。

彼女は彼に言った、「私のこのふたりの息子をあなたの王国に座らせてください。一人はあなたの右に、もう一人はあなたの左に座らせてください。」

22

しかし、イエスは答えて言われた、「あなたがたは、自分が何を求めているのか分かっていない。わたしが飲む杯を飲んで、わたしが受けたバプテスマでバプテスマを受けることができますか。

彼らは彼に言いました、「はい、サー」。

23

イエスは彼らに言った、「あなたがたはわたしの杯を飲み、わたしが受けたバプテスマによってあなたがたはバプテスマを受けるであろう。しかし、わたしが右に座し、左に座るのはわたしのためではなく、わたしの父から備えられた者たちのためである」。

24 十人はこれを聞いて、ふたりの兄弟に憤慨した。

25

しかし、イエスは彼らと呼び寄せて言われた、「あなたがたは、世の君たちが治め、支配者たちが権威を持っていることを知っています。

26 あなたがたの間では、そうではない。

しかし、あなたがたの中で強大になりたいと思う者がいたら、その人を君のしもべにきなさい。

27 そして、最も高貴になりたいと思う者は、あなたがたのしもべでなければならない、

28

ちょうど人の子が仕えるために来たのではなく、仕えるため、また、多くの人の贖いのために自分の命をささげるために来たのと同じように。

29 彼らがエリコを出て行くと、大勢の民がイエスについて来た。

30

すると見よ、ふたりの盲人が道端にすわっていたが、イエスが通り過ぎるのを聞くと、彼らは叫んで言った、「主よ、ダビデの子よ、わたしたちを憐れんでください」。

31 しかし、民は彼らを脅して、黙れと言った。

しかし、彼らはさらに叫んで言った、「主よ、ダビデの子よ、私たちに憐れんでください」。

32 しかし、イエスは立ち止まって彼らと呼んで言った、「わたしに何をしてほしいのですか」。

33 彼らは彼に言った、「主よ、わたしたちの目が開かれますように」。

34

イエスは嘆き悲しんで、彼らの目に触れられたので、すぐに彼らの目が視力を取り戻したので、イエスの後を追った。

21

1 彼らがエルサレムに近づき、オリーブ山のベテパゲに近づいたとき、イエスはふたりの弟子をつかわして彼ら

に言った、「あなたがたの目の前にある所には、すぐに一頭のろばがつかないで、その子馬が彼女と一緒にいるのを見つけるでしょう。これを解いて、わたしのところに連れて来てください」。

3

もしだれかがあなたに何かを言うなら、「主は彼らを必要としています。できるだけ早く彼らをあな

たにお任せになります」と言いなさい。

4 そして、預言者が言ったことがすべて成就したので、

5

「シオンの娘に言いなさい。『見よ、あなたの王は、ろばと荷重いろばに乗って、おとなしくあなたのところに来ています』」。

6 弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにして、

7 ロバと子馬とを持ってきて、彼らの着物をその上に敷き、イエスをその上に乗せた。

8 しかし、多くの者が道に着物を広げ、他の人々は木から枝を切り取って道に散らした。

9 しかし、先に進んでついて来た民は、「ダビデの子にホサナを」と叫んだ。

主の名によって来る者は祝福されますように! ホサナが最高に!

10 彼がエルサレムに入ると、町中が動揺して言った、「彼はだれですか」。

11 民は言った、「これがイエス様です。ガリラヤのナザレの預言者です」。

12

イエスは神の宮にはいつて、宮の売り手と買い手をことごとく追い出し、両替商のテーブルと鳩売りの椅子をたたき、

13 彼らに言った、「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてある。

しかし、あなたがたはそれで人殺しの巣窟を造った。

14 盲人や足の不自由な人は、神殿にいる彼のところに行って、彼等をいやした。

15

しかし、祭司長たちや律法学者たちは、彼が行なっている奇跡を見て、また、神殿で「ダビデの子にホサナ」と叫んだ子供たちを見て、16 彼らは憤慨

して彼に言った、「あなたがたも、彼らの言うことを聞いていますか」。

イエスは彼らに言われました。

「赤ん坊や乳飲み子の口から、汝は褒め言葉を準備した」という本を読んだことがないのか。

17 そして、彼らをそこに残して、町を出てベタニヤに出て、そこにとどまった。

18 しかし、朝になって町に帰ると、お腹が空いていた。

19

彼は道端にいちじくの木を見つけたので、そこに行ってみたが、そこには葉っぱしか見当たらなかったもので、「さあ、もう、あなたがたに実を結ばせないでください」と言った。

そして、いちじくの木はすぐに枯れてしまいました。

20 弟子たちはこれを見て驚いて言った、「いちじくの木はどうしてこんなに早く枯れたのでしょうか」。

21 しかし、イエスは彼らに答えて言われた、「まことに、あなたがたに告げます。

あなたがたが信仰を持って疑わないなら、いちじくの木だけでなく、この山に『起きて海に身を投げなさい』と言え、それは行われます」。

22 そして、あなたが祈りで求めるものは何でも、信じるなら、あなたは受け取るでしょう。

23

彼が教えている間に、祭司長たちと民の長老たちが彼のところにきて言った、「あなたは何の力でこれをするのですか」。

24 しかし、イエスは答えて言われた、「わたしはあなたがたに一言尋ねます。

また、あなたがたがこれを告げるなら、わたしがどのような力でこれをしているのかも教えます。

25 ヨハネのバプテスマはどこから来たのですか。

それは天から来たのか、それとも人間から来たのか。

それから彼らは心の中で考え、「もし私たちが彼女が天から来たと言うなら、彼は私たちに言うでしょう、『なぜ彼を信じなかったのですか?』と」。

26

しかし、もしそれが人によるものだというなら、私たちは人々を恐れなければならない、なぜなら、彼らはみなヨハネを預言者と見なしているからである。

27 彼らはイエスに答えて言った、「わたしたちは知りません」。

それから、彼は彼らに言った、「わたしがこれをどのような力で行うのか、あなたがたには言わない」。

28 しかし、あなたはどう思いますか。

二人の息子がいる人がいて、一人の息子のところに行って、「息子よ、今日、私のぶどう園で働きなさい」と言いました。

29 しかし、彼は答えて言った、「わたしはそうしません」。その後、彼は悔い改め、行きました。

30 彼はもう一人のところに行って、すぐに話した。

しかし、彼は答えて言いました、「主よ、はい。そして行きませんでした。
31 ふたりのうち、どちらが父の意志を行ったのでしょうか。彼らは彼に言った、「最初」。
イエスは彼らに言われた、「まことに、あなたがたに告げます。
取税人や娼婦は、あなたがたよりも早く天の王国に入ることができます。
32
ヨハネがあなたのところにきて、正しい道を教えたので、あなたがたは彼を信じなかったが、取税人や遊女たちは彼を信じた。
そして、あなたはそれをよく見ていましたが、後で彼を信じたであろうことを後悔しませんでした。
33 別のたとえ話を聞いてみてください。
ある家人がぶどう園を植え、その周囲に囲いを張り、その中にぶどう酒を掘り、塔を建てて、それをぶどう酒屋に与えて、国を渡った。
34
その実の時が来ると、彼はしもべたちをぶどうの木の栽培者たちにつかわして、その果実を受け取らせた。
35
そこでぶどうの木を育てる者たちは、彼のしもべたちを捕らえ、ひとりを気絶させ、ひとりを殺し、ひとりひとりを石で打ちました。
36 彼はまた、最初にいたよりも多くの他のしもべたちをつかわし、彼らも彼らに同じことをした。
37
それから彼は自分の息子を彼らのところにつかわして言った、「彼らはわたしの息子を恐れるでしょう」。
38
ぶどう酒を飲む者たちは、息子を見て、互に言った、「これが相続人です。さあ、彼を殺して、その遺産をわたしたちに持って来ましょう」。
39 そして、彼を捕えてぶどう園から追い出し、殺した。
40
では、ぶどう園の主人が来るとき、彼はこれらのぶどうの木の栽培者たちに何をするのでしょうか。
41
彼らは彼に言った、「彼は悪しき者を殺し、そのぶどう畑を他のぶどう畑の栽培者に与える。彼らは適切な時期に彼に実を与えるであろう」。
42
イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、聖書に『建てる者たちが拒んだ石が、隅の石となった』と読んだことがないのか。
これは主によってなされたことであり、私たちの目の前では素晴らしいことです。
43
それゆえ、あなたがたに言う、神の国はあなたがたから取り上げられ、その実を結ぶ民に与えられるであろう。
44 この石に落ちる者は砕かれ、この石に落ちる者は²⁷砕かれる。
45
祭司長たちやパリサイ人たちは、彼のたとえ話を聞いて、彼が自分たちのことを言っているのだと理解した。
46 そして、彼らはどのようにして彼を捕らえたかを見ようとしたが、民を恐れた。

22

1 イエスは答えて、再びたとえ話で彼らに言った、「2 天の国は、息子を結婚させた王のようだ。3 そして、彼はしもべたちを遣わして、ゲストを結婚式に呼ぼうとしたが、彼らは来なかった。4 彼はまた、他のしもべたちをつかわして言った、「ゲストたちに言いなさい。『見なさい。私は食事を用意し、私の牛と肥えた牛は屠殺され、すべての準備が整いました。結婚式に来てください!』5 しかし、彼らはこれを軽蔑して、彼の畑に行き、もう一人は彼の仕事に行きました。6 彼らのうちの何人かは、彼のしもべたちを捕らえ、あざけり、殺した。7 王はこれを聞いて怒って、軍隊を送り出し、これらの殺人者たちを殺し、彼らの町に火を放った。8 それから、家来たちに言った、「結婚式の準備はできているが、客たちはそれにふさわしくなかった」9 だから、通りに出て、見つけた人を結婚式に招きなさい。10 そして、家来たちは通りに出て、集まった。彼らが見つけたのは、悪と善である。そして、テーブルは全部埋まっていました。11 そこで王は客たちに会いに行き、婚礼服を着ていない人がいた。12 彼は彼に言った、「友よ、どうして婚礼用の服を着ずに入ってきたのですか」。しかし、彼は沈黙した。13 王は家来たちに言っ

た、「彼の手と足を縛って、彼を暗闇に投げ捨てなさい」。泣いたり、歯ぎしりをしたりします。
14 呼ばれる者は多いが、選ばれる者は少ない。15 そこでパリサイ人たちは行って、イエスの言葉を聞きつけたように、相談を受けた。16 そして、彼らはヘロデのしもべたちと一緒に、弟子たちを彼のもとにつかわした。彼らは言った、「先生、私たちはあなたが真実であることを知っています。そして、私たちは神の道を正しく教えています。そして、あなたは誰も求めません。あなたがたは人の評判を尊重しないからである。17 それゆえ、あなたがたはどう思いますか、すなわち、利子がカイザルに与えられるべきか、それとも与えられないか。18 イエスは彼らの悪を見て言われた、「偽善者どもよ、なぜわたしを誘惑するのですか。19 興味のあるコインを見せてください。そして、彼らは彼に1ペニーを提供しました。20 イエスは彼らに言った、「その像と碑文とは、どのようなものですか。21 彼らは彼に言った、「カイザルのもの」。それから彼は彼らに言った、「カイザルのものをカイザルに、神のものを神に返せ」。22 彼らはこれを聞いて驚いて、彼を捨てて去って行った。23 その日、復活はないと信じていたサドカイ派の人々は、彼のところに来て、24 彼に尋ねた、「先生、モーセは言った。『もし人が死んで子供がいなければ、その兄弟は妻をめとって、兄弟の子孫を育てなければならない』。25 さて、わたしたちには七人の兄弟がいた。最初の人結婚して亡くなりました。そして、種がなかったので、妻を兄に任せました。26 そして、もう一つ、そして三番目から七番目。27 結局、その女も死んでしまった。28 さて、復活のとき、彼女は七人のうち何の女性になるのでしょうか。彼らはそれらすべてを持っていました。29 しかし、イエスは彼らに答えて言われた、「あなたがたは間違っています。聖書も、神の力も知らないのです。30 復活のとき、彼らは結婚することも結婚することなく、天にいる神の御使いのようになる。31 あなたがたは、死者の復活について、神があなたがたに言ったこと、32 「わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である」と言われたことを読んだことがないのか。しかし、神は死者の神ではなく、生きている者の神です。33 民はこれを聞いて、彼の教えに驚いた。34 しかし、パリサイ人たちは、彼がサドカイ人の口をふさいだのを聞いて、集まった。35 そこで、その中のひとり、律法学者が彼を誘惑して言った、「先生、律法の中で最も高貴な戒めは何ですか」。37 しかし、イエスは彼に言われた、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛せよ」。38 これが最も高貴で、最も偉大な戒めである。39 しかし、他の人々は彼のようなのである。あなたは、自分自身のように隣人を愛せよ。40 この二つの戒めには、律法全体と預言者たちがかかっています。41 パリサイ人たちが一緒にいたとき、イエスは彼らに尋ねて、42 「あなたがたはキリストについてどう思いますか」と言われた。彼は誰の息子ですか? 彼らは「デビッドの」と言いました。43 彼は彼らに言った、「ダビデは、どうして彼を御霊の主と呼ぶのですか。44 「主はわたしの主に言われた、『わたしがあなたの敵をあなたの足の足台にするまで、わたしの右に座しなさい』」。45 もしダビデが彼を主人と呼んでいるなら、彼はどうして彼の息子なのでしょう。46 そして、その日から、だれも彼に一言も答えることができず、また、だれも彼に尋ねる勇気がなかった。

23

- 1 イエスは民と弟子たちに語りかけられ、
- 2、「律法学者とパリサイ人たちはモーセの王座に着いている」と言われた。

3

28

それゆえ、彼らがあなたがたに守れと言うことは、守って、それを行いなさい、しかし、あなたがたは彼らの行いに従って行ってはならない。

4

しかし、彼らは重くて耐え難い重荷を縛り、それを人の首につけますが、彼ら自身はそれを指一本動かそうとはしません。

5 しかし、彼らはすべてのわざを行なうので、人々に見られるようになる。

彼らはリマインダーを広げ、服の裾を大きく広げます。

6 彼らは食卓の先頭に座り、学校で座るのが好きで、

7 市場で歓迎され、人々からラビと呼ばれるのが好きです。

8

しかし、あなたがたはラビと呼ばれてはならない、なぜなら、あなたがたの主人であるキリストはひとりであり、あなたがたはみな兄弟であるからである。

9

また、だれも地上で父と呼ばれることはない、なぜなら、天にいますあなたがたの父はひとりだからである。

10 また、あなたがたのうちにひとりのキリストがいるので、主人と呼ばれてはならない。

11 あなたがたの中で最も偉い者が、あなたがたのしもべとなるであろう。

12 自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからである。

13

あなたがたは、律法学者、パリサイ人、偽善者、人々の前で天の国を閉ざす者よ、わざわざいである。あなたは入らないし、入りたい人は入れない。

14

律法学者やパリサイ人、偽善者よ、やもめの家を食い尽くし、長い祈りを捧げるあなたがたは、わざわざいである。だからこそ、あなたはますます多くの罰を受けることになるのです。

15あなたがたは、律法学者やパリサイ人、偽善者たちよ、あなたがたがユダヤ人の仲間となろうと、わざわざいである。

そして、彼がそうなったとき、あなたがたは彼を地獄の子に、あなたがたの二倍も作り上げるであらう。

16

盲目の指導者たちよ、あなたがたはわざわざいである、「神殿に誓う者は、取るに足らない。しかし、神殿の黄金を誓う者は、それに借りがあのです。」

17 愚か者、盲人よ。金と金を聖別する神殿と、どちらが大きいのでしょうか？

18 「祭壇のそばで誓う者は、何者でもない。

しかし、その上にかかっている犠牲を誓う者は、その者に負う義務がある。

19 愚か者、盲人よ。いけにえと、いけにえを聖別する祭壇と、どちらが大きいのですか？

20 それゆえ、祭壇に向かって誓う者は、祭壇と、その上にあるすべてのものを誓うのである。

21 また、神殿をさして誓う者は、神殿とそこに住む者とをさして誓うのである。

22 天にかけて誓う者は、神の御座と、その上にすわる者とをさして誓うのである。

23

あなたがたは、律法学者、パリサイ人、偽善者よ、ミント、ディル、クミンを十分の一献金し、律法の中で最も重いもの、すなわちさばき、憐れみ、信仰を彼らに残す者よ、わざわざいである。

これをすべきであり、それを放置すべきではありません。

24 あなたがたは、ブヨをふるいにかけ、らくだを飲み込む指導者たちを惑わしました。

25 律法学者やパリサイ人、偽善者よ、あなたがたはわざわざいである。

彼らは、外側では杯や皿を清潔に保ちながら、内側では強盗と暴食に満ちている。

26 盲目のパリサイ人は、まず杯と皿の内側を清めなさい。そうすれば、外側も清められます。

27 律法学者、パリサイ人、偽善者、あなたがたはわざわざいである。

彼らは、白塗りの墓のようで、外見は美しいが、中身は死人の骨とすべての汚れでいっぱいである。

28

あなたがたもまた、外から見ると人に敬虔に見えますが、あなたがたの品位は偽善と悪徳に満ちています。

29 あなたがたは、預言者の墓を建て、義人の墓を飾る律法学者、パリサイ人、偽善者、

30

「もしわたしたちが先祖の時代にいたら、預言者の血にあずかることはなかったでしょう」と言う者よ。

29

31

それで、あなたがたは、預言者を殺した者たちの子であることを、自分自身について証言している。

32 さあ、あなたがたもまた、先祖の度合いを果たす。

33 蛇やまむしたちよ、どうして地獄の呪いから逃れるのか。

34

それゆえ、見よ、わたしはあなたがたに預言者、知恵者、律法学者をつかわし、そのうちの何人かを殺し、十字架につけ、またある者を彼らの学校でむち打ち、彼らを一つの町から別の町へと迫害する。

35

それは、義人アベルの血から、神殿と祭壇との間に殺したベレキヤの子ゼカリヤの血まで、地に流されたすべての義人の血があなたがたに臨むためである。

36 まことに、あなたがたに告げるが、これらのことはすべてこの世代に臨むであらう。

37

エルサレム、エルサレム、預言者を殺し、遣わされた者を石で打つ者たちよ、雌鶏が翼の下に雛を集めるように、わたしはどれほど頻繁にあなたの子供たちを集めたいと思ってきたことか。

38 見よ、あなたの家は荒れ果てたままになる。

39

あなたがたに告げるが、あなたがたは、「主の名によって来る者は、さいわいである」と言うまでは、今からわたしを見ることはないであろう。

24¹ イエスが神殿を去られたので、弟子たちがイエスのところに来て、神殿の建物を見せた。

2 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、このすべてを見ていないのですか」。まことに、あなたがたに言います、砕けない石は一つ一つもありません。

3 彼がオリーブ山にすわっていると、弟子たちが特に彼のところに来て言った、「教えてください。これらのことは、いつ起こるのですか」。

そして、あなたの未来と世界の終わりのしるしは何でしょうか？

4 しかし、イエスは答えて言われた、「だれもあなたがたを惑わさないように気をつけなさい。

5 多くの者がわたしの名によって来て、「わたしはキリストである」と言い、多くの人を惑わす。

6 あなたは戦争と戦争の叫びを聞くでしょう。見守って、恐れることはありません。

まず第一に、これらすべてが行われなければなりません。

しかし、それはまだ終わりではありません。

7 民族と民族が反逆し、王国が王国に反逆し、疫病と貴重な時間、そして時折地震が起こるからである。

8 そうすると、まず問題が増す。

9 それから、彼らはあなたを苦難のうちに引き渡し、あなたを殺すでしょう。

そして、私の名のために、あなたはすべての人々から憎まれているに違いありません。

10 そのとき、多くの者が怒り、互に裏切り、互を憎むようになる。

11 そして、多くの偽預言者が立ち上がり、多くの人々を惑わす。

12 そして、不義があふれ出る一方で、愛は多くの人の中で冷たくなる。

13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

14 そして、御国の福音が全世界で宣べ伝えられ、すべての国民の証しとなり、そのとき、終わりが来る。

15 あなたがたは、荒廃の忌まわしいもの(預言者ダニエルが語った)が聖所に立っているのを見たら、

16 ユダヤの地にある山々に逃げなさい。

17 また、屋根の上にいる者は、自分の家から何かを取りに降りて来てはならない。

18 また、野にいる者は、自分の着物を取りに引き返さないようにしなさい。

19 しかし、その時、妊婦や乳飲み子たちはわざわいである。

20 しかし、あなたがたの逃亡が冬や安息日に行われないように祈りなさい。

21 なぜなら、世の初め以来、また、そうなることの新しいような大艱難が、まもなく起こるからです。

22 そして、これらの日が短縮されなければ、だれも救われることはなく、選ばれた人々のために、日が短縮されるのです。

23 それでは、だれかがあなたがたに『見よ、ここにキリストがいます』とか『そこにいる』と言っても、それを信じてはならない。

24 偽キリストと偽預言者が立ち上がり、大いなるしるしと不思議を行うので、選ばれた者でさえも誤って(可能な場合には)欺かれるようになるからである。

25 見よ、前にも言った。

26 それゆえ、彼らがあなたがたに『見よ、彼は荒野にいます』と言っても、出て行ってはならない、見よ、彼は部屋にいます、信じてはならない。

27 稲妻が昇るところから出て、日没まで輝くように、人の子の来臨もそうである。

28 しかし、死骸があるところには、鷲が集まっている。

29 しかし、その時の艱難のあとまもなく、太陽と月は光を失い、星々は天から落ち、天の力は動くようになる。

30 そして、人の子のしるしが天に現れるでしょう。
そして、地のすべての部族は泣き、人の息子が力と大いなる栄光をもって天の雲に乗って来るのを見るであろう。

31
彼は明るいラッパを携えて御使いたちを遣わし、彼らは四つの風から天の端から天の端まで、彼の選民を集める。

32
いちじくの木からたとえ話を学びなさい:その枝が柔らかくなり、葉が生えるとき、あなたは夏が近いことを知る。

33 だから、たとえこれらすべてのものを見ても、それが戸口の近くにあることを知っておきなさい。

34
まことに、あなたがたに告げるが、これらのことがすべて起こるまで、この世代は過ぎ去ることはない。

35 天と地は過ぎ去るが、わたしの言葉は過ぎ去らない。

36
しかし、その日と時については、天の御使いたちでさえも知ることはなく、わたしの父だけが知る。

37 しかし、ノアの時代がそうであったように、人の子の未来もそうなるであろう。

38 彼らは洪水の前の日と同じように、ノアが箱舟に入る日まで、食べ、飲み、結婚し、結婚した。

39 しかし、洪水が来て、彼らをことごとく奪い去るまで、彼らはそれに注意を払わなかった。
そうすれば、人の子が来るであろう。

40 そのとき、畑にはふたりがいて、ひとりを受け入れられ、もうひとりは見捨てられる。

41 二つは水車小屋で挽き、一つは受け入れられ、もう一つは放棄される。

42 それゆえ、あなたがたは、主がいつ来るかわからないので、警戒しなさい。

43
しかし、もしその家の父が泥棒が何時に来るかを知っていたら、彼は見張りをして、自分の家に侵入されないようにするだろうということを知っておきなさい。

44
それゆえ、あなたがたは準備ができている、なぜなら、人の子は、あなたがたがそう思わない時に来るからである。

45
しかし、主人がそのしもべたちに適切な時に食べ物を与えるように命じた、忠実で思慮深いしもべとはだれであろうか。

46 しもべは、主人が来て、彼がそうしているのを見つけるとき、さいわいです。

47 まことに、あなたがたに告げるが、彼はそのすべての財産を支配する者を任命するであろう。

48 しかし、もししもべが心の中で『わたしの主人は、まだ来ない』と言い、

49 ほかのしもべたちをむつじて、酔っぱらいたちと飲み食いし始めると、

50 しもべの主人は、彼が予見しない日に、また、³¹彼が考えもしない時に来るであろう。

51 彼は彼を滅ぼし、偽善者たちと共に彼に報いを与え、泣き叫び、歯ぎしりをするであろう。

25

1 そのとき、天の国は、ともしびを持って花婿に会いに出かけた十人の娘のようになる。

2 しかし、彼らのうちの五人は愚かで、五人は知恵ある者であった。

3 愚かな人々は、ともしびに油をとったが、油は持っていかなかった。

4 しかし、知恵ある者たちは、その器とともしびに油を取った。

5 それで花婿が留まると、彼らはみな眠りに落ちてしまいました。

6 真夜中に叫び声がした、「見よ、花婿が来る。出て来て、彼を迎える」。

7 すると、これらのおとめたちはみな立ち上がって、ともしびを飾った。

8
しかし、愚かな者は知恵ある者に言った、「あなたの油を少しください。私たちのともしびが消えますから」。

9
すると、知恵ある者は答えて言った、「わたしたちとあなたがたが壊れないように、店主のところに行って、自分で買ってあげてください」。

10
彼らが買いに行ったとき、花婿がきて、準備ができていた者たちが彼と一緒に婚礼の祝宴に行ったので、戸は閉ざされた。

11 とうとう他の娘たちも来て、「主よ、主よ、わたしたちの戸を開いてください」と言いました。
12 しかし、彼は答えて言った、「まことに、あなたがたに告げます。
わたしはあなたがたを知らないのです。
13 それゆえ、目を覚ましなさい。あなたがたは、人の子が来る日も時も知らないからである。
14 ちょうど、国中を旅していた人が、しもべたちを呼んで、自分の品物を彼らに与えたように。
15
そして、ひとりには五タラントを、ほかのふたりには三つひとに、それぞれ自分の能力に応じて与え、すぐに立ち去った。
16 そこで、五タラントを受け取った人は、彼らと取引して、さらに五タラントを得た。
17 それと同じように、二タラントを受けた者は、他の二タラントも得た。
18 しかし、それを受け取った者は、行って地に穴を掘り、主人の金を隠した。
19 しばらくして、これらのしもべたちの主人がきて、彼らに説明をした。
20
すると、五タラントを受け取った者がきて、さらに五タラントを差し出して言った、「主よ、あなたはわたしに五タラントをくださりました。見よ、わたしはさらに五タラントを得ました」。
21
その主人は彼に言った、「敬虔で忠実な僕よ、あなたは少しでも忠実であった。わたしはあなたを多くに任命する。主人の喜びの中に入りなさい」。
22
すると、二タラントをもらった者がきて言った、「主よ、あなたはわたしに二タラントをくださりました。見よ、わたしはそれによってさらに二タラントを得ました」。
23 主人は彼に言った、「敬虔で忠実な僕よ、あなたは少しでも忠実であった。わたしはあなたを多くに任命する。主人の喜びの中に入りなさい」。
24
すると、百重を受け取った者が来て言った、「主よ、わたしはあなたがたくなしい人であることを知っています。
あなたは種を蒔いていないところを刈り取り、散らされていないところに集まっています。
25 そこでわたしは恐れて、行ってあなたの才能を地に隠した。
見よ、そこにはあなたのものがある。
26
しかし、主人は答えて言った、「ならず者で怠惰な僕よ。わたしが種を蒔かなかったときには切り、散らさなかったときに集まったことをご存知ですか」。
27
それで、あなたがたはわたしのお金を両替商に渡すべきだったし、もしわたしが来ていたら、利子をつけて自分の金を取っただろう。
28 それゆえ、彼から百タラントを取り、十タラントある者にそれを与えなさい。
29
持っている者には、それが与えられ、豊かになるが、³²持っていない者からは、持っているものさえも取り去られる。
30 そして、無益な僕を暗闇に投げ捨てると、泣き叫び、歯ざしりするでしょう。
31
しかし、人の子がその栄光のうちに来て、すべての聖なる御使いたちが彼と共に来るとき、彼はその栄光の座に座し、
32 すべての民が彼の前に集まるであろう。
そして、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼は彼らを互いに引き離し、
33 羊を彼の右に、山羊を彼の左に置きます。
34
そのとき、王は右にいる者たちに言う、「さあ、わたしの父に祝福された者よ、さあ、世の初めからあなたがたのために用意された王国を受け継ぎなさい」。
35 わたしは飢えていたので、あなたはわたしに食べさせてくださいました。
私は喉が渇いていましたが、あなたは私に水をくれました。
私はゲストであり、あなたが私をもてなしました。
36 わたしは裸で、あなたはわたしに着せた。私は病気で、あなたは私を見舞ってくださいました。
私は投獄され、あなたは私のところに来ました。
37

その時、正しい者は彼に答えて言う、「いつから、わたしたちはあなたが飢えているのを見て、食べさせましたか」。

38

いつから、わたしたちはあなたを客人として見て、かくまわれを与えたのか、それとも裸で服を着せたのか。

39

わたしたちは、いつ、あなたがたが病気になったり、投獄されたりしているのを見て、あなたのところに来たのですか。

40

王は彼らに答えて言う、「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、わたしの兄弟のうちの最も小さい者の一人にしたのだから、わたしにもしたのです」。

41

それから、彼はまた、左側の人々にも、「呪われた者たちよ、わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火に出て行きなさい」と言うでしょう。

42 わたしはお腹が空いていたのに、あなたはわたしを養わなかった。

私は喉が渇いていたのに、あなたは私に水をやってくれませんでした。

43 わたしは客人であったが、あなたがたはわたしをもてなさなかった。

私は裸だった、そしてあなたは私に服を着せなかった。

私は病気で投獄されていますが、あなたは私を見舞ってきませんでした。

44

それから彼らは彼に答えて言う、「主よ、わたしたちはいつ、あなたが飢えたり、渴いたり、客人であったり、裸であったり、病人であったり、捕らわれているのを見ました。しかし、あなたに仕えなかったのですか」。

45

それから彼は彼らに答えて言う、「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたがこれらの最も小さい者の一人に対して行わなかったのなら、あなたがたはわたしに対して行わなかったのです。」

46 そして、彼らは永遠の苦しみの中に入り、正しい者は永遠のいのちに入る。

26

1 イエスがこれらの言葉をすべて言い終えたとき、弟子たちに言われ

た、「あなたがたは、二日後に復活祭があり、人の子が十字架につけられることを知っています。

3

そこで、祭司長たち、律法学者たち、および民の長老たちは、カヤパと呼ばれる大祭司の宮殿に集まり、

4 彼らがどのようにして狡猾にイエスを捕らえ、彼を殺したかについて相談した。

5

しかし、彼らは言った、「はい、祭りには行かないでください。それは、民の間で暴動が起こらないようにするためです」。

6 イエスがベタニヤのらい病人シモンの家にいたとき、

7

ひとりの女が彼のところに来て、貴重な水の入ったコップを持っていて、彼が食卓に着いている間に、それを彼の頭に注いだ。

8 弟子たちはこれを見て、憤慨して言った、「なぜこんな無駄なのですか。

9 この水は高値で売られ、貧しい人々に与えられたかもしれません。

10 イエスはこれを見て、彼らに言われた、「なぜ、あの女を気にするのですか」。

彼女は私のために良い仕事をしてくれました。

11 あなたがたにはいつも貧しい人々がいますが、いつも私がいるわけではありません。

12 彼女はこの水をわたしのからだに注ぎ、わたしを墓に備えるためにそれをした。

13

まことに、あなたがたに告げます、この福音が全世界で宣べ伝えられるところでは、彼女が行ったことをまた記念して語られるでしょう。

14 そこで、十二弟子のうちのひとり、イスカリオテのユダという者が、祭司長

たち 15 のところに行って言った、「あなたはわたしに何をくださるのですか」。お伝えします。

そして、彼らは彼に銀貨三十枚を差し出しました。

16 それから彼は、自分を裏切る機会をうかがった。

17

しかし、菓子パンの初日に、弟子たちはイエスのところにきて言った、「パスカルの小羊を食べるために、どこに準備してほしいのですか」。

18

彼は言った、「町に行って、あるじがあなたがたに言った、『わたしの時が近い。わたしの弟子たちと共に、復活祭を守ろう』と言いなさい」。

19 弟子たちはイエスが命じられたとおりにして、パスカルの小羊を用意した。

20 そして夕方、彼は十二弟子たちと一緒に食卓に着いた。

21

彼らが食事をしていると、イエスは言った、「まことに、あなたがたのうちのひとりがわたしを裏切るでしょう。

22 彼らはひどく悲しみ、ひとりおの「主よ、わたしですか」と言い始めた。

23 彼は答えて言った、「わたしと一緒に鉢に手を突っ込んだ者は、わたしを裏切るでしょう」。

24 人の子は、彼について書かれている通りに行くが、人の子が裏切られた人は災いである。

彼にとっては、生まれてこなかった方がいいだろう。

25 すると、彼を裏切ったユダは答えて言った、「ラビ、わたしですか」。

彼は彼に言いました、「あなたがそれを言う」。

26

彼らが食事をしていると、イエスはパンを取り、感謝をささげ、裂いて弟子たちに与えて言った、「取りなさい、食べなさい。これがわたしのからだです」。

27 彼は杯を取り、感謝をささげて、彼らにささげて言った、「あなたがたは皆、それを飲みなさい。

28 これが新約聖書のわたしの血で、罪の赦しのために多くの人々のために注がれています。

29

あなたがたに言うておくが、これからは、父の王国であなたがたと共に再び飲む日まで、わたしはこれらのぶどうの木³⁴の植物をもう飲まない。

30 彼女が賛美の歌を歌った後、彼らはオリーブ山に出かけた。

31

イエスは彼らに言われた、「今夜、あなたがたはみなわたしにつまずくでしょう。「わたしは羊飼いを打つ。そうすれば、その群れの羊は散らされる」と書いてあるからである。

32 しかし、わたしが立ったとき、わたしはあなたたちに先立ってガリラヤに行きます。

33 しかし、ペテロは答えて言った、「たとえみんながあなたを怒っても、わたしは決して怒らない。

34 イエスは彼に言われた、「まことに、あなたがたに告げます。

今夜、カラスの前で、あなたがたは三度わたしを否定するでしょう。

35

ペテロは彼に言った、「もしわたしがあなたと共に死ななければならぬとしても、わたしはあなたを否定しません。弟子たちは皆同じことを言いました。

36

そこでイエスは彼らと一緒にゲッセマネという庭³⁴に来て、弟子たちに言われた、「わたしがそこに行³⁴って祈るまで、ここに座っていなさい」。

37 彼はペテロとゼベダイのふたりの息子たちを連れて、悲しみ、おののき始めた。

38

イエスは彼らに言われた、「わたしの魂は死ぬほど悲しんでいる。ここにいて、わたしと共に見守っている」。

39

彼は少し進んで、ひれ伏して祈って言った、「父よ、もし可能なら、この杯をわたしから離れさせてください。しかし、わたしの思いのままにではなく、あなたの望むようにしてください」。

40

イエスは弟子たちのところに来て、彼らが眠っているのを見て、ペテロに言った、「一時間、わたしと一緒に見守っていただけませんか」。

41 あなたが誘惑に陥らないように、目を覚まし、祈りなさい。精神は喜んでいます。

しかし、肉は弱いです。

42

二度目に彼は行って祈って言った、「父よ、私がそれを飲まなければ、この杯はわたしから離れることはできません。そして、あなたの御心は成し遂げられますか」。

43 彼が来て、彼女が再び眠っているのを見つけたが、彼女の目は眠りに満ちていた。

44 そして、彼らを去って、再び行き、三度祈り、同じ言葉を語った。

45

それから彼は弟子たちのところに来て言った、「ああ、あなたがたはただ眠って休むだけでしょうか。見よ、人の子が罪人の手に渡される時が来た。

46 さあ、行こう。見よ、彼はここにいて、私を裏切る者です!

47

彼がまだ話していると、見よ、十二人のユダが来て、彼と共に、民の祭司長や長老たちから、剣と杖を持った大集団が来た。

48

その裏切り者は彼らに、「わたしが接吻する者、それは彼である。彼を捕らえなさい」と、しるしをした。

49 すると、彼はすぐにイエスのところに来て、「ラビ、万歳」と言って、彼に接吻した。

50 しかし、イエスは彼に言われた、「友よ、なぜあなたは来たのですか。

それから彼らは近づいて来て、イエスに手を置き、彼を捕らえました。

51

すると見よ、イエスと共にいた者の一人が手を伸ばして剣を抜き、大祭司のしもべを打って、その耳の一つを切り落としました。

52 そこでイエスは彼に言われた。剣をその場所に置いてください!

剣を取る者は、その剣によって滅びるからである。

53

それとも、わたしが父に十二の天使の軍団を送ってもらうように頼むことができなかったと、あなたは思っているのか。

54 しかし、聖書はどのように成就するのでしょうか。

だから、うまくいかなければならないのです。

55

その時、イエスは群衆に言われた、「あなたがたは、人殺しを捕まえるために、つるぎとつえを持って出て行った。

わたしは毎日、あなたがたと共に座し、宮で教えたが、あなたがたはわたしを捕らえなかった。

56 しかし、預言者たちの書物が成就するために、これらすべてが成就したのである。

それから弟子たちは彼を去って逃げました。

57

しかし、イエスを捕らえた者たちは、律法学者や長老たちが集まっていた大祭司カヤパに彼を連れて行った。

58

しかし、ペテロは遠くから彼について行き、大祭司の宮殿に行き、彼がどこへ行くのかを見るために、しもべたちと一緒に入って座った。

59

しかし、祭司長たち、長老たち、およびすべての³⁵評議会は、イエスを殺すために、イエスに不利な偽りの証言を求めたが、

60 何も見つからなかった。

そして、多くの偽の目撃者が現れたにもかかわらず、彼らは何も見つけませんでした。

とうとう二人の偽証人が

現れて言った、「彼は言った、『私は神の神殿を取り壊し、三日で建てることができる』と。

62

そこで大祭司は立ち上がって彼に言った、「あなたがたは、これらの証言があなたに不利なことを答えないのですか」。

63 しかし、イエスは黙っていた。

大祭司は答えて言った、「生ける神によって、あなたが神の子キリストであるかどうかを私たちに告げます」。

64 イエスは彼に言われた、「あなたがたはそう言う。

しかし、あなたがたに言う、これからは、人の息子が力の右に座し、天の雲に乗って来るのを見ることになるだろう。

65 そこで大祭司は彼の衣を引き裂いて言った、「彼は神を冒瀆しました」。

これ以上、どのような証言が必要なのでしょうか。見よ、今、あなたがたは彼の冒瀆を聞いた。

66 あなたはどう思いますか?彼らは答えて言った、「彼は死に値する!」。

67 それから彼らは彼の顔につばきを吐き、拳で彼を打った。そして、ある者は彼の顔を打った、
68 「クリスチャンよ、わたしたちに預言してください。あなたがたを打ったのは、だれですか。
69 ペテロが外の庭にすわっていると、女中が彼のところにきて言った、「あなたもガリラヤのイエスと一緒にいました」。
70 しかし、彼は皆の前でそれを否定して言った、「あなたが何を言っているのか、私にはわかりません」。
71 しかし、彼が戸口から出て行こうとしたとき、別の者が彼を見て、そこにいた人々に言った、「この人は、ナザレのイエスとも一緒でした」。
72 そして彼は再び否定し、「わたしは人を知らない」と誓った。
73 しばらくして、そこに立っていた人たちが来て、ペテロに言った、「まことに、あなたもまたその一人です。あなたの言葉はあなたを裏切っているからです」。
74 それから彼は自分をのしり始め、「私はこの人を知らない」と誓った。すぐに騒ぎ立てた。
75 そこでペテロは、イエスがイエスに言った言葉を思い出して、「カラスの前で、あなたは三度わたしを否定するであろう」と言い、出て行って激しく泣いた。

27¹

朝、祭司長たちと民の長老たちはみな、イエスを殺すようにと、イエスに反対して助言した。
2 そして、彼を縛って連れ去り、総督ポンテオ・ピラトに引き渡した。
3 彼を裏切ったユダは、彼が死刑を宣告されたのを見て、悔い改め、再び銀三十枚を祭司長たちと長老たちに持って行き、
4 「わたしは罪のない血を裏切って悪を行なった」と言った。
5 彼らは言った、「これは、わたしたちにとって何ですか」。見てみてね!
そして、銀貨を神殿に投げ入れて立ち去り、首を吊った。
6 しかし、祭司長たちは銀貨を取り取って言った、「それを神の箱に入れるのは、わたしたちにとって良くありません。それは血のお金ですから」。
7 しかし、彼らは相談して、巡礼者たちの埋葬のために陶器の袋を買った。
8 それゆえ、この畑は今日まで血の畑と呼ばれています。
9 それから、預言者エレミヤが言った、「彼らはイスラエルの人々から買った売った銀三十枚を取り、
10 主がわたしに命じられたとおりに、陶器の畑のために与えた」と言ったことが成就します。
11 しかし、イエスが総督の前に立ったので、総督は彼に尋ねて言った、「あなたはユダヤ人の王ですか」。しかし、イエスは彼に言われた、「あなたはそう言う」。
12 そして、祭司長たちや長老たちに訴えられたとき、イエスは答えなかった。
13 そこでピラトは彼に言った、「彼らがあなたをどれほど厳しく訴えるか、あなたは知らないのですか」。
14 彼は一言も答えなかったので、総督は驚いた。
15 しかし、その祝宴では、総督は、自分たちが望む人々から囚人を解放する習慣があった。
16 そのとき、彼には捕虜がいて、その中の一人は他の者よりも特別で、その名はバラバであった。
17 彼らが集まったとき、ピラトは彼らに言った、「あなたは、だれをわたしに解放してほしいのですか」。
バラバとイエス、どちらがキリストだと言われているのですか?
18 彼は、彼らがねたみから自分を引き渡したことをよく知っていた。
19 彼がさばきの座に座っていると、妻がつかわして彼に言った、「あなたはこの正しい人と何の関係もないのですか。彼のために、今日、夢の中で多くの苦しみを受けてました」。
20 しかし、祭司長たちと長老たちは、バラバを求め、イエスを殺すように民を説得した。

21

総督は答えて言った、「あなたがたは、このふたりのうち、だれをわたしがあなたから解放しますか」。彼らは「バラバ」と言いました。

22

ピラトは彼らに言った、「キリストと言われているイエスを、わたしはどうしたらよいでしょうか」。彼らは皆、「彼を十字架につけさせなさい」と言いました。

23 総督は言った、「彼はどんな悪事をしたのですか」。

しかし、彼らはさらに叫び、「彼を十字架につけさせてください」と言いました。

24

しかし、ピラトは自分が何もしていないのを見て、もっと大きな騒ぎが起こっているのを見て、人々の前で水を飲み、手を洗って言った、「わたしは、この正しい人の血については無実です」。

25 すると、民はみな答えて言った、「

彼の血がわたしたちとわたしたちの子孫にかかっていますように」。

26 そこで彼は彼らにバラバを与えたが、イエスをむち打たせて、十字架につけるために引き渡した。

27 そこで総督の兵士たちはイエスをさばきの家に連れて行き、すべての仲間を彼に集め、

28 彼を裸にして紫の衣を着せ、

29 いばらの冠を編んで頭にかぶり、右手に葦をはめ、彼の前にひざまずいて彼をあざけた、

ユダヤ人の王よ、万歳！

30 そこで彼らはつばきを吐きかけ、葦を取り、それで彼の頭を打った。

31 そして、彼をあざけると、その着物を着せて、十字架につけるために連れてきた。

32

そして、彼らが出て行くと、シモンというクレネ人の人を見つけたので、彼に彼のために十字架を負わせた。

33 そして、彼らがゴルゴタと呼ばれる場所、つまり英語で頭蓋骨の場所に来たとき、

34 彼らは彼に酢を飲ませ、胆汁を混ぜて飲ませたが、彼がそれを味わったとき、彼は飲まなかった。

35

そして、彼を十字架につけた後、預言者が言った「彼らはわたしの衣を自分たちに分け、わたしの衣の上にくじを引いた」という言葉が成就するために、彼の衣を分けてくじを引いた。

36 彼らはそこにすわって、彼を守った。

37 そして、彼の頭に彼の死の原因を記し、「これがユダヤ人の王、イエスである」と書き記された。

38 そして、ひとりの殺人者が彼とともに十字架につけられた。

ひとりとは右側に、ひとりとは左側にひとりであった。

39 しかし、通りすがりの者たちは彼を冒涇して首を振った、「

神の宮を壊して三日で建てる者は、自分を救え」と言った。

あなたが神の子であるなら、十字架から降りて来なさい。

41 同じように、祭司長たちは、律法学者や長老たちとともに、彼をあざけて言った、「

42 彼は他の人々を助けたのであって、自分を救うことはできない」。

もし彼がイスラエルの王であるなら、今、彼を十字架から降りさせ、私たちに彼を信じさせてください。

43

彼は神を信頼し、もし彼が神を喜ぶなら、彼を救い出させてください、なぜなら彼は「わたしは神の子である」と言ったからです。

44 同じように、彼と共に十字架につけられた殺人者たちも、彼を咎めた。

45 そして、六時から九時まで、全地は暗闇に包まれた。

46

そして、九時ごろ、イエスは大声で叫んだ、「エリ、エリ、ラマ・アサブタニ」、すなわち、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」。

47 これを聞いてそこに立っていた人たちは、「彼がエリヤを呼んでいる」と言った。

48

すると、その中のひとりが走って、スポンジを取り、それにぶどう酒を詰め、それを葦の上に置き、水をやった。

49

しかし、他の者たちは言った、「立ち止まりなさい。エリヤが来て助けてくれるかどうか見てみよう」。

50 しかし、イエスは再び叫んで死なれた。

51 すると見よ、神殿の垂れ幕は上から下まで二つに裂けた。
52 すると地は揺れ、岩は裂かれ、墓は開かれ、眠っている聖徒たちの多くの体の上に立っていた。

54
しかし、百人隊長と彼と共にいてイエスを守っていた人々は、地震と起こったことを見て、恐れて言った、「まことに、これが神の子だった」。

55
また、遠くから見守っていた多くの女たちがいて、彼女たちはガリラヤからイエスについてきて、イエスに仕えていた。

56 その中には、マグダラのマリアと、ゼベダイの子供たちの母マリアもいた。

57 夕方、アリマタヤから金持ちが来て、その名はヨセフで、彼もまたイエスの弟子であった。

58 彼はピラトのところに行って、イエスのからだを求めた。

それからピラトは彼に渡すように命じました。

59 そこでヨセフは、その死体をきれいな亜麻布で包み、

60 岩に切り出した自分の墓に納め、墓の入り口の前で大きな石を転がして去って行った。

61 さて、マグダラのマリアともう一人のマリアは、墓のほとりにすわった。

62 翌日、準備の日が終わった後、祭司長たちとパリサイ人たちはみなピラトのところに来て言った、「主よ、この欺く者がまだ生きている間に、『わたしは三日後によみがえる』と言ったと思いました。」

64
それゆえ、弟子たちが来てそれを盗み、民に『彼は死者の中からよみがえった。最後の欺きが最初の欺きよりもひどくなるように』と言わないように、墓を三日目まで保管するように命じなさい。

65
ピラトは彼らに言った、「ここに守護者がいる。行って、あなたがたの知っているとおりに守っておいて」。

66 彼らは行って、守護者と共に墓を守り、石を封印した。

28¹

しかし、安息日が終わり、週の初めの日が明けると、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に来た。

2 すると見よ、大地震が起こった。

主の御使が天から下って来て、戸口から石を転がして、その上にすわった。

3 その姿は稲妻のようで、その衣は雪のように白かった。

4 しかし、守護者たちは恐れおののき、まるで死んだかのようになった。

5 しかし、御使は答えて、女たちに言った、「恐れることはありません。

私は、あなたが十字架につけられた者、イエスを捜していることを知っています。

彼はここにはおらず、彼が言ったようによみがえったのです。

主が横たわっている場所を見に来てください。

7 そして、急いで行って、彼が死者の中からよみがえったことを弟子たちに告げなさい。

見よ、彼はあなたの前にガリラヤに行く。そこで彼に会えます。

見よ、わたしはあなたがたに告げた。

8

そして、彼らは恐れと大いなる喜びとで急いで墓に出て行き、弟子たちに告げるために走って行った。そして、彼らが弟子たちに説教しに行ったとき、

見よ、イエスは彼らに会って言われた、「万歳」。

そして、彼らは彼のところに来て、彼の足をつかんで、彼の前にひれ伏した。

10 イエスは彼らに言われた、「恐れることはありません。

行って、わたしの兄弟たちに、彼らがガリラヤに行くと言えなさい。

そこで彼らは私を見るでしょう。

11

彼らが行くと、見よ、守護者たちの何人かが町にはいって、祭司長たちに起こったことをことごとく話した。

12 彼らは長老たちと共に来て、相談をし、兵士たちに十分な金を与えたので、

13 「『彼の弟子たちが夜に来て、わたしたちが寝ている間に彼を盗んだ』と言いなさい」。

14

そして、もしそれが総督と共にあるならば、わたしたちは彼を看病し、あなたがたを安全にする。

15 彼らはその金を取り、教えられたとおりにした。

このようなことは、今日に至るまで、ユダヤ人の間で共通の言葉となっています。

16 しかし、十一人の弟子たちは、イエスが彼らをつかわされたガリラヤの山に行った。

17 彼らは彼を見ると、彼の前にひれ伏したが、ある者は疑った。

18

イエスは彼らのところに来て、彼らに言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられた」。

19 それゆえ、行ってすべての国民を教え、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを受け、

20 わたしがあなたがたに命じたことをことごとく守るように教えなさい。

見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共にいる。

- マルコによる福音書:

1

1 これがイエス・キリストの福音の始まりです。

2

預言者イザヤに書いてあるように、「見よ、わたしはあなたがたの前に使者をつかわす。彼はあなたがたの道を整えるであろう」。

3 「荒野には説教者の声がある。主の道を備え、彼の道を正しなさい。」

4 洗礼者ヨハネは荒野で、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを説いていました。

5

ユダヤの全地とエルサレムのすべての民が彼のところに出て行き、自分たちの罪を告白し、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けた。

6 ヨハネはらくだの毛を着て、腰に革の帯を巻いて、いなごと野の蜜を食べ、

7 説教して言った、「わたしの後について来る者は、わたしよりも強い者がいます。わたしは、かがんでその人の靴のひもをほどこほどこきほどこきするほどではありません」。

8

わたしはあなたがたに水でバプテスマを授けるが、彼は聖霊によってあなたがたにバプテスマを授ける。

9 その時、イエスはナザレからガリラヤに来られ、ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けた。

10 そして、水から上がるやいなや、天が開け、御霊が鳩のように彼に下って来るのを見た。

11

すると、天から声がして言った、「あなたはわたしの愛する子です。あなたにあって、わたしは喜んでいます」。

12 すると、すぐに御霊が彼を荒野に追いやった。

13 彼は四十日間荒野にいて、サタンに誘惑されて、獣たちと共にいて、御使いたちが彼に仕えた。

14 ヨハネが投獄された後、イエスはガリラヤに来て、神の福音を宣べ伝え、

15 「時が来て、神の国が近づいた」と言った。悔い改め、福音を信じなさい!

16

彼がガリラヤ湖のほとりを歩いていると、シモンとその兄弟アンデレが漁師であったので、海に網を投げ入れているのを見た。

17

イエスは彼らに言われた、「わたしに従ってきなさい。そうすれば、あなたがたを人漁師にしよう」。

18 彼らはすぐに網を捨てて、イエスの後を追った。

19

少し離れると、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが舟の網を繕っているのが見えたので、すぐに彼らを呼んだ。

20 そして、彼らは父ゼベダイを雇われた人々と共に船に残して、彼について行った。

21 そして、彼らはカペナウムにはいて、安息日にすぐに会堂にはいて教えた。

22

彼らは彼の教えに驚いた、なぜなら、彼は権威をもって教えたのであって、律法学者のように教えなかったからである。

23 すると、すぐに彼らの会堂に、汚れた霊に取り憑かれた人がいて、

24 叫んで言った、「ナザレのイエス様、わたしたちに何を望んでいるのですか」。

あなたは私たちを破壊するために来ました。

私はあなたが誰であるかを知っています:神の聖なる者。

25 イエスは彼を叱りつけて言われた、「黙って彼から出て行きなさい」。

26 汚れた霊が彼をあちこちに引き裂き、大声で叫んで、彼から出てきた。

27 彼らはみな驚いたので、互いに質問し合って、「これは何ですか」と言いました。

權威の新しい教義! 彼はまた、汚れた霊に命じ、彼らは彼に従います!

28 すると、彼の知らせはすぐにガリラヤの全地に響き渡った。

29 そして、彼らはすぐに会堂を出て、ヤコブとヨハネと一緒にシモンとアンデレの家にはいった。

30 シモンのしゅとめが熱を出して横たわっていたので、彼らはすぐに彼女のことを彼に話した。

31

彼は彼女のところに来て、彼女の手を取って起こしたが、熱が彼女から去ったので、彼女は彼らに仕えた。

32 夕方、日が沈むと、彼らはすべての病人や取り憑かれた者を彼のもとに連れてきた。

33 そして、すべての町が戸口に集まった。

34

また、さまざまな病に悩まされている多くの病人を助け、多くの悪霊を追い出し、霊たちに語らせなかった。

35 そして、朝の夜明け前に起きて出かけた。そして、彼は孤独な場所に行き、そこで祈りました。

36 シモンは、彼と共にいた者たちと共に、急いで彼の後を追った。

37 彼らはイエスを見つけると、彼に言った、「みんながあなたを捜しています」。

38

イエスは彼らに言った、「わたしが来たのは、そのために、わたしがもたどる町々に行こうではありませんか。そのために、わたしはそこでも宣べ伝えることができます」。

39 そして、彼は来て、ガリラヤ中の彼らの会堂で説教し、悪霊たちを追い出された。

40

すると、らい病人が彼のところにきて、彼に懇願し、ひざまずいて言った、「もしお望みなら、わたしをきよめることができます」。

41 彼は憐れんで、手を伸べて彼に触れて言った、「わたしがやります。きよめられてください」。

42 すると、すぐにらい病は彼から去り、彼はきよめられました。

43 イエスは彼を脅して、すぐに追い払って、

44 彼に言った、「そのことをだれにも言わないように、行って祭司のところに行って、自分をささげて、モーセが彼らに証しとして命じたことを、清めのためにささげてください」。

45

しかし、彼が出てきたとき、彼はそのことについて多くを語り始め、その話を広めたので、イエスはもはや公に町には出かけることができなかったが、彼は孤独な場所にいたので、彼らは四方八方から彼のところに来た。

2

⁴⁰
1 そして、数日後、彼はカペナウムに戻り、自分がその家にいることが知られるようになった。

2 そして、大勢が集まったので、戸口の外にさえ部屋がなかったので、イエスは彼らに御言葉を宣べ伝えた。

3 すると、ある者が痛風にかかっている人を連れて、四人で彼のところに来た。

4 そして、民衆の前で彼を連れて行くことができなかったので、彼がいた屋根を開けて、穴を開けて、痛風の人が横たわっていた床を下ろした。

5 イエスは彼らの信仰を見て、痛風にかかった人に言われた、「わが子よ、あなたの罪は赦されました。

6 また、そこに座っている律法学者たちが、心の中で考えていた、「

7 この人は、どうしてこのように語っているのか」。彼は神を冒瀆する! 神以外に誰が罪を赦すことができるでしょうか?

8 イエスは、彼らが心の中で考えていることを、ただちに心の中で知って言われた、「なぜ、あなたがたは、心の中でこれらのことを考えているのですか。

9 痛風にかかっている人に「あなたは罪を赦されました」と言うのと、「起きて寝床を取り、歩きなさい」と言うのと、どちらが簡単でしょうか。

10 しかし、人の子が地の罪を赦す權威を持っていることを、あなたがたが知るために、彼は痛風に苦しむ人に言った、「

あなたがたに言う。起きて、床を取り、家に帰りなさい」。

12 彼は起きて、床を取り、すぐに彼らの前に出て行ったので、彼らは皆恐れ、神をたたえて言った、「こんなことは今まで見たことがない」。

13 イエスが再び海に出て行くと、民はみなイエスのところに来て、イエスは彼らに教えられた。

14 彼が通り過ぎるとき、彼はアルフェウスの子レビが通行所に座っているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言った。そして彼は立ち上がり、彼を追いかけてきました。

15 イエスが家の食卓に着いていると、多くの取税人や罪人たちがイエスとその弟子たちと一緒に食卓に着いた。

16 パリサイ人の中の律法学者たちは、イエスが取税人や罪人と一緒に食事をしているのを見て、弟子たちに言った、「彼は取税人や罪人と一緒に食事をしているのですか」。

17 イエスはこれを聞いて、彼らに言われた、「強い者には医者が必要なのではなく、病人が必要なのです。わたしは罪人と呼ぶようになったのであって、正しい者とは呼ばない。

18 ヨハネの弟子たちやパリサイ人たちはよく断食をしていたので、ある人たちが来てイエスに言った、「なぜヨハネの弟子たちやパリサイ人の弟子たちは断食し、あなたがたの弟子たちは断食しないのですか」。

19 イエスは彼らに言われた、「花婿が彼らと一緒にいるのに、どうして結婚式のカップルが断食できようか」。花婿が彼らと一緒にいる限り、彼らは断食することはできません。

20 しかし、花婿が彼らから取り去られる時が来て、その日、彼らは断食する。

21 誰も古い衣服に新しい布を繕おうとはしない、なぜなら、新しい布は古い布から引き裂かれ、その裂け目はさらにひどくなるからである。

22 また、古いぶどう酒に若いぶどう酒を入れる者はいない、さもないと、若いぶどう酒は皮を破り、ぶどう酒は皮とともに朽ち果てるであろうが、若いぶどう酒は新しいぶどう酒に注がれるべきである。

23 さて、安息日にイエスがトウモロコシ畑を歩いていると、弟子たちが行く先々で、トウモロコシの穂を摘み始めた。

24 パリサイ人たちはイエスに言った、「見てください。あなたがたの弟子たちは、安息日に何をしているのですか。それは正しくありませんか。

25 彼は彼らに言った、「あなたがたは、ダビデが困って、彼と彼と共にいた人々を飢えさせたとき、彼が何をしたかを読んだことがないのですか」。

26 彼は、大祭司アビヤタルの時代に、どうして神の家にはいって、祭司以外の誰も食べることを許されていない供えのパンを食べ、また、彼と共にいた人々にもそれを与えたのか。

27 イエスは彼らに言った、「安息日は人のためにあるのであって、人が安息日のために造られたのではない」。

28 だから、人の子もまた安息日の主である。

3 1そして、彼は再び会堂にはいった。そして、手が萎えた男がいました。
2 41

そして、彼らが彼に対して訴訟を起こすために、彼が安息日にも彼を癒してくれるかどうかを見守った。

3 彼は萎えた手の人に言った、「出て行きなさい」。

4 イエスは彼らに言った、「安息日に善を行なうか、悪を行うか、命を守るか、それとも殺すか」。しかし、彼らは黙っていました。

5

彼は怒りをもって彼女を見回し、彼女のかたくな心を悲しんで、その人に言った、「手を伸ばしなさい」。そして彼はそれを伸ばしました。そして彼の手は癒されました。

6

パリサイ人たちは出て行って、すぐにヘロデの部下たちと、彼らがどのように彼を殺すかについて相談した。

7 しかし、イエスは弟子たちと共に海に旅立ったので、ガリラヤから、

8

エルサレムから、イドゥメアから、ヨルダン川の向こうから、ツロとシドンの周辺に住む人々、そして彼の行いを聞いた大勢の群衆が、イエスの後を追って来た。

9

イエスは弟子たちに言った、彼らが民のために彼のために小さな舟を用意したのは、彼らが彼を圧迫

しないようにするためである。

10 彼は彼らの多くをいやしたので、苦しんでいるすべての者が彼にさわろうと、彼を攻撃した。

11 汚れた霊たちは彼を見ると、彼の前にひれ伏して、「あなたは神の子です」と叫んだ。

12 そして、彼らが彼を現わさないように、彼らを厳しく脅した。

13 彼は山に登って、欲しい者を呼び求めたので、彼らは彼のところに行った。

14

彼は十二の人々に命じて、彼らが自分と共にいること、そして彼らを宣べ伝えるために送り出すこと、

15 彼らが悪霊を追い出す権威を持つように命じた。

16 彼は十二弟子を任命し、シモンにペテロという名を与えた。

17 ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネは、彼らにボアネルゲス、すなわち雷の子と名付けた。

18

アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパエウスの子ヤコブ、タデウス、シモン・カナネウス、

19 彼を裏切ったイスカリオテのユダ。

20 イエスが家に帰ると、民は再び集まったので、食べることができなくなった。

21

そして、彼自身がこれを聞いて、彼を抱きしめようとして行ったら、「彼は正気を失っている」と言った。

22

エルサレムから下って来た律法学者たちは言った、「彼はベルゼバブを持っていて、その支配者によって悪霊を追い出している」。

23

イエスは彼らと呼ばひ集めて、たとえ話で彼らに言った、「どうしてサタンがサタンを追い出すことができますでしょうか」。

24 もし王国がそれ自身に対して分裂しているなら、その王国は立ち向かうことができない。

25 また、もし家がそれ自身に対して分裂しているなら、それは立つことができない。

26

それゆえ、もしサタンが自分に反抗して立ち上がり、自分と対立するなら、彼は立つことができず、彼と共にいる。

27

だれも、強い人の家にはいって、その家財道具を奪うことはできない、まずその強い人を縛り、次にその家を奪わなければならない。

28

まことに、あなたがたに告げる、人の子らには、冒瀆する罪も、冒瀆するほど、すべての罪も赦される。

29 しかし、聖霊を冒瀆する者は、永遠に赦されることはなく、永遠の罪を犯したことになります。

30 彼らは言った、「彼には汚れた霊がある」。⁴²

31

すると、母と兄弟たちがきて、外に立って、つかわして、彼のもとにつかわし、つかわして、彼をつかわした。

32 民は彼の周りにすわっていた。

彼らは彼に言った、「見よ、あなたの母さんと、あなたの兄弟たちと、外のあなたの姉妹たちがあなたを捜している」。

33 イエスは彼らに答えて言った、「わたしの母と兄弟たちはだれですか」。

34

彼は周りを見回して、自分の周りにすわっている人々を見つめて言った、「見よ、これがわたしの母とわたしの兄弟たちです」。

35 神の御心を行う者は、わたしの兄弟、姉妹、母である。

4

1 そして、彼は再び海辺で教え始めた。

そして、大勢の人々が彼に集まったので、彼は船に乗り込み、水の上に座らなければなりませんでした。そして、すべての民は海辺の陸地に立っていた。

2 そして、たとえ話で彼らに多くのことを教え、説教で彼らに言われた。

3 「聞きなさい。見よ、種を蒔く人が出て行きました。

4 彼が種を蒔いていると、道端に何かが落ちてきて、鳥たちが来てそれを食い尽くした。

5 土があまりない岩の上に落ちたものがあり、深い土がなかったので、すぐに芽生えた。

6 それで、太陽が昇ると、それは枯れ、根がなかったので、それは枯れた。

7 また、ある者はいばらの中に落ち、いばらが生えて彼らを窒息させたが、実を結ばなかった。

8

また、ある者は良い地に落ちて、跳ね上がり、成長し、実を結び、三十倍、六十倍、百倍を実らせた。

9 彼は言った、「聞く耳のある者は、聞きなさい」。

10 彼が一人になったとき、十二弟子を含む彼の周りの人々は、たとえ話について彼に尋ねた。

11

イエスは彼らに言った、「神の国の奥義はあなたがたに与えられていますが、その外側にいる人々には、すべてたとえ話によって語られます。

12

それは、彼らが見る目でそれを見ても知らず、聞く耳で聞くが理解できないので、悔い改めて赦されることのないようにするためです。

13

イエスは彼らに言った、「もしこのたとえがわからないなら、ほかのことをどうして理解できるでしょうか」。

14 種を蒔く者は、みことばを蒔く。

15

しかし、みことばが蒔かれているところに、サタンがすぐに来て、彼らの内に蒔かれたみことばを取り去る。

16

それと同じように、岩の上に蒔かれた人々は、みことばを聞くと、すぐに喜びをもってそれを受け入れ、

17 しかし、彼らには根がなく、気まぐれである。

18 また、他の者たちは、いばらが蒔かれた者たちであり、

19

ただ、世の思い煩いと、富の欺瞞と、他のすべてのものの欲望が、みことばを貫き、窒息させ、みことばは実を結ばないままである。

20

しかし、良い地が蒔かれた者たちは、みことばを聞いてそれを受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ。

21

イエスは彼らに言った、「あなたがたも、ろうそくに火をつけて、それをブッシェルの下に置くか、それともベンチの下に置くか」。決してではなく、⁴³ 燭台に置くべきだということです。

22 隠されて明かされないものはなく、また、明かされない秘密も何もない。

23 聞く耳のある者は、聞くようにしなさい。

24 イエスは彼らに言われた、「あなたがたが聞くことを見てください」。

あなたが測定する尺度で、彼らは再びあなたを測定し、それでもあなたを認めます。

25 持っている者には、それを与え、持っていない者からは、持っているものも取ります。

26 彼は言った、「神の国は、人が地に種を投げるようなもので、

27 眠り、昼も夜も立っていると、その種は知らず知らずのうちに芽を出し、成長します。」

28 地は、まず莖、次に穂、次に穂の実を結ぶ。

29 しかし、それが実を結ぶと、彼はすぐに鎌を遣わします。収穫はここにあるからです。

30 彼は言った、「私たちは神の国をだれに例え、それをどんなたとえ話で表すべきでしょうか」。

31 それはからし種のようなもので、地に蒔かれると、地上のすべての種の中で最も小さい種である。

32

そして、蒔かれると、芽を出し、すべての茂みよりも大きくなり、大きな枝を伸ばすので、空の鳥たちはその陰に住むことができる。

33

そして、イエスは、そのような多くのたとえによって、彼らが聞くことができる言葉を彼らに告げました。

34

そして、たとえ話をせずに彼らに語りかけることはせず、彼らが一人になったとき、弟子たちにすべてを説明した。

35 その日の夕方、イエスは彼らに言われた、「わたしたちは渡ろう」。

36 そこで彼らは民を去らせて、彼が舟に乗っていた彼を連れ去った。

また、他の舟も彼と一緒にいた。

37 すると、大きなつむじ風が起こり、波が舟に打ち寄せたので、舟はすでに満杯になっていた。

38 彼は舟の後ろにいて、枕の上で眠っていた。

そして、彼らは彼を起こして言った、「先生、あなたは私たちが滅びることを求めませんか。」。

39 彼は立ち上がって風を叱りつけ、海に向かって言った、「静かにしなさい、静かにしなさい」。

そして風が止み、大きな静寂が訪れました。

40

イエスは彼らに言った、「なぜ、あなたがたはそんなに恐れているのですか。それなのに、どうして信仰がないのですか？

41 彼らは非常に恐れて、互に言った、「彼は誰ですか」。風も海も彼に従順です！

5

1 そして、彼らは海の向こう岸、ゲラセネ人の地方に来た。

2 彼が船から出ると、すぐに汚れた霊を持った男が墓から走って出てきて、彼に会いに行った。そして、もはや誰も彼を縛ることができなかった、鎖でさえも。

4

彼はしばしば足かせや鎖で縛られ、鎖を破り、足枷をすりつぶしていたので、だれも彼を拘束することができなかった。

5 そして、彼はいつも昼も夜も、埋葬の穴や山々にいて、叫びながら石で自分を打ちました。

6 しかし、遠くからイエスを見ると、彼は走って行き、彼の前にひれ伏して、大声で叫んで言った、「いと高き方の子イエスよ、あなたはわたしに何を望んでいますか」。

神にかけて、私を苦しめないようにと誓います。

8 彼は彼に言った、「汚れた霊よ、その人から出て来なさい。

9 彼は彼に尋ねた、「あなたの名はなんですか」。

彼は答えた、「レギオンは私の名前です。私たちはたくさんいるからです。

10 そして、イエスに彼らをその地域から追い出さないように頼んだ。

11 その山の牧場には、豚の大群がいた。

12 汚れた霊たちは彼に懇願して言った、「私たちは豚の中へ行こう」。

13 そして、彼は彼らにそうさせるように許された。

それから汚れた霊たちは出て行って豚の中に入り、群れは斜面から海に身を投げましたが、二千人で海に溺れてしまいました。

14 彼らの羊飼いたちは逃げて、町と田舎でこれを宣傳伝えた。 15

彼らは何が起こったのかを見に出て、

44

イエスのところに来て、汚れた霊に取り憑かれた者が、そこにすわって、着飾って理性的に、恐れているのを見た。

16 それを見た者たちは、悪霊に取り憑かれた男と豚とに何が起こったのかを彼らに告げた。

17 そこで彼らは始めて、彼に自分たちの地域から出て行くように頼んだ。

18 彼が舟に乗り込むと、悪霊に取り憑かれた男は、彼と一緒にいることを求めた。

19

しかし、イエスは彼を許さず、彼に言われた、「自分の家を持って行って、主があなたがたにどれほど良いことをしたか、また、主がどれほどあなたがたを憐れんでくださったかを、彼らに伝えなさい」。

20

そこで彼は行って、イエスが自分にどれほど大きな善をなさったかを十の町々で告げ始めたので、皆は驚いた。

21 イエスが再び舟で渡られたとき、だいぜいの民が彼のもとに集まったので、イエスは海辺にいた。

22 そのとき、会堂のつかさの一人、ヤイロという者が来た。

彼はイエスを見ると、その足元にひれ伏し、

23

彼に熱心に懇願して言った、「私の娘は死にかけています。あなたが来て、彼女に手を置いてください。彼女が癒されて生きるように」。

24 イエスも一緒に行ったので、大勢の民が彼についてきて、彼を促した。
25 また、十二年もの間、血流に苦し

められ、多くの医者からひどく苦しみ、それに全財産を費やした女がいたが、それは彼女にとって何の役にも立たず、むしろ彼女にとってはもっとひどいものであった。

27 彼女はイエスのことを聞いて、民の後ろから来て、イエスの着物に触れた。

28 彼女は自分に言い聞かせた、「もし私が彼の着物に触れるだけで、私は癒されるだろう」。

29 すると、すぐに彼女の血の泉が枯れ、彼女は自分の体の中で疫病が癒されたと感じた。

30

イエスはすぐに、自分から力が消え去ったのを感じ、群衆の中で振り返って言った、「だれがわたしの着物に触れたのか」。

31

弟子たちは彼に言った、「あなたがたは、民があなたがたを迫っているのを見て、『だれがわたしにさわったのか』と言うのです」。

32 彼は、この事をした者を探し回った。

33

しかし、女は恐れて震え、自分の身に何が起こったのかを知っていたので、彼の前に来てひれ伏し、すべての真実を彼に話した。

34 イエスは彼女に言った、「娘よ、あなたの信仰があなたを元気にしました。安らかに行って、疫病から元気になるなさい」。

35

彼がまだ話していると、会堂の主の家から出てきた者がいて言った、「あなたの娘は死んだのに、なぜまだ先生を悩ませているのですか」。

36 しかし、イエスは言われたことを聞いて、支配者に言われた、「恐れるな。ただ信じなさい」。

37 彼はペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネのほかにも、だれも一緒に行かせなかった。

38 そこで彼らは酋長の家に着いたが、彼は騒ぎを見て、彼らが大泣き叫んだ。

39 イエスははいって、彼らに言った、「なぜ、あなたは嘆き悲しんでいるのですか」。

子供は死んでいませんが、眠っています。そして、彼らは彼を笑った。

40

そして、彼らをことごとく追い出し、その子の父と母と、彼と共にいた者たちを連れて、その子の横たわる所へ行き、

41 その子の手を取って言った、「お嬢様、あなたがたに言います。起きなさい」と訳されます。

42 すると、娘はすぐに立ち上がって歩き回ったが、彼女は十二歳だった。

そして、彼らはすぐに計り知れないほどの恐怖に襲われました。

43 そして、だれにも知られないように厳しく命じ、彼女に食べ物を与えるように言った。

6

⁴⁵
1 彼は出て行って、自分の故郷の町に着いたので、弟子たちは彼について来た。

2 そして、安息日が来ると、彼は会堂で教え始めた。

聞いていた群衆は驚いて、「これはどこから来たのですか?」と言いました。

そして、彼に与えられた知恵は何でしょうか?

そして、彼の手によってなされる何という強大な業であろうか。

3 彼は大工で、マリヤの子であり、ヤコブ、ヨセス、ユダ、シモンの兄弟ではないか。

彼の姉妹たちも私たちと一緒にここにいるのではないのか。そして、彼らは彼を怒らせた。

4

イエスは彼らに言われた、「預言者は、自分の国でも、親戚でも、家でも、これほど尊敬されているところはない。

5 彼はそこでは一つの事もできなかったが、数人の病人に手を置いて、彼らをいやした。

6 イエスは彼らの不信仰に驚いた。そして、彼は村々を回って教えた。

7

イエスは十二弟子を呼び寄せて、彼らを持ち上げ、ふたりとふたりをつかわして、汚れた霊に対する權威を彼らに与え、

8 また、道中には、杖、パン、袋、帯のお金、9 足に靴以外は何も持って行かないように命じた。そして、彼らは2つのコートを着るべきではないと。

10 イエスは彼らに言われた、「家に入るところはどこでも、出て行くまでそこにいなさい」。

11

もし受け入れられない、または聞かれないなら、その場を出て、彼らの証しとして足のちりを振り払いなさい。

12 そこで彼らは出て行って悔い改めを説き、

13 多くの悪霊を追い出し、多くの病人に油を塗って、彼らをいやした。

14 それはヘロデ王より前に来た、なぜなら、イエスの名は今や知られていたからである。

民は言った、「バプテスマのヨハネは死者の中からよみがえった。それゆえ、彼はそのような行為をする。

15

また、ある者は「彼はエリヤである」と言い、またある者は「彼は預言者の一人のような預言者です」と言った。

16 ヘロデはこれを聞いて言った、「わたしが首をはねたヨハネがよみがえった」。

17 彼、ヘロデは、兄ピリポの妻ヘロデヤのために、ヨハネをつかわして捕らえ、牢に入れた。

18 ヨハネはヘロデに言った、「あなたが兄弟の妻を持つのは正しくない」。

19 しかし、ヘロデヤは彼を追いかけ、殺そうとしたが、できなかった。

20

ヘロデがヨハネを恐れたのは、彼が敬虔で聖なる人であることを知っていたからであり、彼を守っていたので、彼の声を聞くと、彼は非常に落ち着かなくなったが、それでも彼の話を聞くのが好きだった。

21

そして、ヘロデが彼の誕生日に、彼の偉大な人々や、ガリラヤの支配者や最も高貴な人々に食事を振る舞う、絶好の日が来た。

22 すると、ヘロデヤの娘が入って踊り、ヘロデと食卓に着いていた者たちを喜ばせた。

それで王様は娘に、「欲しいものを聞いてくれ。そうすればあげるよ。」と言いました。

23

そして彼女に誓いを立てた、「あなたがわたしに求めることは何でも、わたしの王国の半分まで、あなたに与えます」。

24 彼女は出て行って母に言った、「何を尋ねようか」。

彼女は「洗礼者ヨハネの頭」と言いました。

25

彼女はすぐに急いで王のところへ行き、「この時間に、洗礼者ヨハネの首を皿に載せてください」と頼んだ。

26

王はひどく悲しんだが、誓いと食卓に着いている人々のために、彼らに偽りの願いをさせようとはしなかった。

27 王はすぐに死刑執行人をつかわして、彼の首をここに持って来るように命じた。

彼は行って、牢獄で彼を斬首し、

28 彼の頭を皿に載せて運び、それを少女に与え、少女はそれを彼女の母親に与えた。⁴⁶

29 弟子たちはこれを聞いて、来て、イエスのからだを取って墓に納めた。

30 使徒たちはイエスと一緒に集まり、自分たちが行い、教えたことをことごとくイエスに告げた。

31 イエスは彼らに言われた、「ひとりで、ひとりで寂しいところに行って、少し休んでください。

彼らの多くは、時々行く人が多かったからである。

そして、彼らは食べるのに十分な時間がありませんでした。

32 そして、彼らはひとりで舟に乗って寂しい所へ向かった。

33

民は彼らが出発するのを見て、多くの者がそれに気づき、すべての町々から歩いてそこに走り、彼らに先立って行った。

34 イエスは降りて、大勢の民を見て、彼らを憂慮した、彼らは羊飼いのいない羊のようだった。

そして、彼は長い説教を始めました。

35

日がほとんど過ぎ去ったとき、弟子たちがイエスのところに来て言った、「ここは荒れ果てていて、日が暮れます。

36

彼らをあなたから離れておけば、彼らは農場や村々に出て行き、自分のためにパンを買うことができるでしょう。

37 しかし、彼は彼らに答えて言った、「あなたがたは彼らに何か食べるものを与えてください」。彼らは彼に言った、「それでは、行って銀二百枚のパンを買い、彼らに何か食べるものを与えましょうか」。

38 しかし、イエスは彼らに言われた、「あなたがたはパンを何個お持ちですか」。見に行こう！

そして、それを探検したとき、彼らは「5匹と2匹の魚だ」と言いました。

39 そして、彼ら全員に、食卓のそばの緑の草の上に横たわるように命じた。

40 そして、彼らは百五十人の集団に分かれてすわった。

41

そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰ぎ、感謝をささげ、パンを裂いて弟子たちに与え、弟子たちが彼らの前に置いたので、その二匹の魚を彼ら全員に分けた。

42 彼らはみな食べて、満足した。

43 そして、彼らは十二の籠と魚を岩の上に持ち上げた。

44 そのパンを食べた者は、五千人であった。

45

そしてすぐに、弟子たちに船に乗り込み、自分が民を去るまで、彼らをベツサイダに連れて行くように促した。

46 そして、彼らを去った後、祈るために山に登った。

47 夕方、その船は海の真ん中にいて、彼はひとりで陸にいた。

48 彼は、風が彼らに逆らっていたので、彼らが漕ぐ必要があるのを見た。

そして、夜の四日目頃、彼は彼らのところに来て、海の上を歩き、

49 彼らを通り過ぎようとした。

そして、彼が海の上を歩いているのを見て、それは幽霊だと思い、叫びました。

50 彼らはみな彼を見て、恐れた。

しかし、彼はすぐに彼らに話しかけ、彼らに言った、「元気を出してください。それは私です。

恐れることはありません！

51 イエスが彼らと一緒に舟に乗り込むと、風は弱まった。

そして、彼らは計り知れないほどの恐怖に襲われた。

52 彼らはパンについてますます分別を持たず、心がかたくなになっていた。

53 そして、航海を終えて、ガリラヤに上陸した。

54 そして、彼らが船から出ると、人々はすぐに彼に気づき、

55 全地を走り回り、病人を寝床に乗せて運び始めた。

56

そして、彼が村々や町や農場に入ると、彼らは病人を市場に葬り、彼の衣服の裾まで触れるように彼に頼んだ。そうすれば、彼に触れた者はみないやされた。

7

1 そして、パリサイ人やエルサレムから来た律法学者たちも、彼と一緒に集まった。2 彼らは、彼の弟子たちの一部が汚れた手で、つぎつぎと手を洗わずにパンを食べているのを見た。3 パリサイ人やすべてのユダヤ人は、一握りの水で手を洗う以外は食べない。4 彼らが市場から出ると、自分で洗わない限り、食べないでください。そして、彼らが保管していると想定している他の多くのもの、例えば、飲用容器や水差しややかんの洗浄などがあります。5 パリサイ人や律法学者たちはイエスに尋ねた、「なぜ、あなたがたの弟子たちは長老たちの定めに従わず、汚れた手で彼らのパンを食べているのですか」。6 イエスは彼らに言った、「イザヤは、あなたがた偽善者について、非常に繊細に預言した。『この民は、そのくちびるでわたしをあがめる。7 彼らは、人間の戒め以外の何物でもないそのような教義を教えるので、むなしく私に仕えている。8 あなたがたは神の戒めを捨てて、人の定めを守る。9 イエスは彼らに言った、「あなたがたは、神の戒めを非常に繊細に守っています。それは、あなたがたの定めを守るためです。10 モーセは言った、「あなたがたは、父と母を敬いなさい。父と母をのろう者は、だれでも死ぬであろう」。

11 しかし、あなたがたは言う、「もしだれかがあなたの父または母に言うならば、『コルバブ、すなわち、ささげ物』がわたしからあなたがたに来るであろう』と言うならば、12 あなたは、その父や母のために何もさせないであろう、13 だから、あなたがたは、あなたがたが作成した定めによって、神の言葉を廃止し、あなたがたも同様のことを多く行うであろう。14 彼は再び民を呼び寄せて、彼らに言った、私の言うことを聞いて、皆さん、それをつかんでください！15 人を外から入るものによって、その人を汚れさせるものは何もない。しかし、人間から出てくるものが人間を汚れさせるものである。16-17 彼が民の家にはいったとき、弟子たちは彼にこのたとえ話について尋ねた。18 イエスは彼らに言った、「あなたがたはそんなに愚かですか。外部から人間に入るすべてのものが人間を

汚れさせることはできないと、あなたがたは理解していないのか。 19 それは彼の心には入らず、彼の腹にはいって、自然の成り行きを通して出て行くからである。それで彼はすべての食べ物を純粹だと宣言しました。 20 彼は言った、「人から出るものは、何でも人を汚れさせます。 21 人の内面から、人の心から、悪心、不品行、盗み、殺人、 22 姦淫、貪欲、悪意、狡猾、お祭り騒ぎ、ねたみ、冒流、高慢、愚かさが湧き出るからである。 23 これらのすべての悪事は、内面から出て、人を汚れさせる。 24 彼は立ち上がってツロの地方に出て行き、家にはいったが、だれにも知らせようとしなかったが、それでも隠れていられなかった。 25 ところが、すぐにひとりの女が彼のことを聞き、その幼い娘が汚れた霊を持っていたので、彼の足元にひれ伏した。 26 さて、シロフェニキヤからギリシア人の女がいたので、彼女は彼に娘から悪霊を追い出すように頼んだ。 27 しかし、イエスは彼女に言われた、「まず、子供たちに食べ物を与えなさい。子供のパンを取って犬に投げるのは良くありません。 28 しかし、彼女は答えて彼に言った、「はい、主よ。しかし、それでもテーブルの下の犬たちは子供たちのパンくずを食べます。 29 彼は彼女に言った、「この言葉のために、行きなさい。あなたの娘さんから悪霊が出て行きました。 30 彼女は家にはいって、その子がベッドに横たわっているのを見つけ、悪霊は出て行っていた。 31 そして、再びツロの地方を去ったとき、シドンを通してガリラヤ海に来て、十都の地方の真ん中に来た。 32 そこで彼らは、耳が聞こえず、口のきけない者を彼のもとに連れてきて、彼に手を置くように頼んだ。 33 彼は民の中から彼を特別に取り、その耳に指を突っ込み、唾液で舌に触れ、 34 天を仰いでため息をつき、「ヘパタ」と言った。つまり、オープンアップ! 35 すると、すぐに彼の耳が開かれ、舌の紐が解かれて、彼は正しく話した。 36 そして、だれにも言わないようにと、彼らに命じられた。しかし、彼が禁じれば禁じるほど、彼らはそれを広めました。 37 彼らは計り知れないほど驚いて言った、「彼はすべてのことをよく行なった。彼は耳の聞こえない人に聞こえ、言葉のない人に話させます。」

8

1 そのとき、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、「人々はわたしを気の毒に思っている。

彼らは三日の間、わたしと一緒にいて、食べるものがないからだ。

3

もしわたしが彼らを食べ物なしで家に帰らせたら、彼らは遠くから来た者もいるので、途中で気を失うであろう。

4

弟子たちはイエスに答えた、「この荒野で、どうして彼らにパンを食べさせることができますでしょうか」。

5 イエスは彼らに尋ねた、「あなたがたはパンを何個お持ちですか」。

彼らは「セブン」と答えました。

6 彼は民に命じて、地に伏せなさい。

彼はその七つのパンを取り、感謝をささげ、それを裂き、弟子たちに与えて、彼らがそれらをささげるようにし、彼らはそれを民にささげた。

7 彼らが小魚を持っていたので、イエスは彼らに感謝し、彼らをささげるように命じた。

8 しかし、彼らは食べて満足し、残りの籠七つを拾い上げた。

9 すると、四千人ほどいたので、イエスは彼らを去らせた。

10 そしてすぐに、弟子たちと一緒に舟に乗り、ダルマヌタ地方に来た。

11 そこでパリサイ人たちが出て来て、彼と口論を始め、彼を誘惑し、天からのしるしを求めた。

12 彼は心の中でうめき声をあげて言った、「なぜこの世代はしるしを求めるのか。

まことに、私はあなた方に言います、この世代にはいかなるしるしも与えられません。

13 そして、彼らを残して、再び舟に乗り、航海して渡った。

14 また、彼らはパンを持っていくのを忘れていたので、船には一斤のパンしか持っていなかった。

15 イエスは彼らに命じて言った、「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種とを見守りなさい。

16

そこで彼らは考えたり、行ったり来たりして、互いに言った、「これは、私たちにパンがないという事実です」。

17 イエスはこれを見て、彼らに言われた、「なぜ、あなたがたはパンがないと心配するのですか。

あなたはまだ理解していませんか、それとも理解していませんか?

あなたの中にかたくな心がありますか?

18 あなたがたには目があるのに見えないのか、耳があるのに聞かないのか。

19

わたしが五千のパンのうち五つのパンを裂いたとき、あなたがたはどれだけのかけらでいっぱい籠

を拾ったか。彼らは「12人」と言いました。

20 わたしが四千のうち七つを割ったとき、あなたがたはいくつのかごに塊を拾い上げましたか。

彼らは「セブン」と答えました。

21 イエスは彼らに言った、「あなたがたは、まだ悟っていないのですか。」

22 そして、彼らはベツサイダに来了。

そして、彼らは盲人を彼のところに連れてきて、彼に触れるように頼みました。

23

そして、その盲人の手を取って、村から連れ出し、目に唾を塗り、両手をその上に置き、「何か見えるか」と尋ねた。

24 彼は見上げて言った、「人々が木を見るように歩き回っているのが見えます。」

25 それから彼は再び自分の目に手を置いた。

それから彼ははっきりと見え、再び修正され、すべてをはっきりと見ることができました。

26 彼は彼を家に帰して言った、「村にはいってはいけません。」

27 イエスは弟子たちと共に、ピリピ・カイザリヤの近くの村々へ行かれた。

そして途中で彼は弟子たちに尋ねて言った、「人々はわたしをだれだと言っていますか。」

28

彼らは答えた、「彼らはあなたがバプテスマのヨハネだと言っています。またある人はエリヤだと言っています。またある人は預言者の一人だと言っています。」

29 イエスは彼らに言った、「しかし、あなたがたはわたしをだれだと言っていますか。」

するとペテロは答えて言った、「あなたがキリストです。」

30 そして、彼らが自分のことを話さないように、彼らを脅した。

31

そして、イエスは彼らに教え始めました、「人の子は、長老たち、祭司長、律法学者たちに大いに苦しみ、殺され、殺され、三日後によみがえらなければならない。」

32 彼はそのことを自由に、率直に話した。

そして、ピーターは彼を脇に連れて行き、抵抗し始めました。

33

しかし、彼は振り返って弟子たちを見て、ペテロを叱りつけて言った、「サタンよ、わたしから離れなさい。あなたがたとは、神聖なものではなく、人間的なものを指しているのです。」

34

彼は民と弟子たちを呼び寄せて言った、「だれでもわたしについて来たい者は、自分を捨てて自分の十字架を負い、わたしについてきなさい。」

35

自分のいのちを守ろうとする者は、それを失い、わたしのため、また福音のために自分のいのちを失う者は、それを守ることになる。

36 もし人が全世界を得て、その魂を失うなら、何の益があるのか。

37 人は自分の魂を贖うために、何を与えることができるでしょうか。

38

しかし、この背教者で罪深い世代の中で、わたしとわたしの言葉を恥じる者は誰でも、人の子もまた、聖なる御使いたちと共に父の栄光のうちに来るとき、彼を恥じるであろう。

9

1 イエスは彼らに言った、「まことに、あなたがたに告げます。ここには、神の国が力をもって来るのを見るまでは、死を味わわない者もいます」 2 そして、六日後、イエスはペテロ、

ヤコブ、ヨハネを連れて、彼らを高い山に連れて行き、彼らだけにして、彼らの前に変身させられた。 3 そして、彼の衣は明るく白くなり、地球上のどの漂白剤もそれらをこれほど白くすることはできません。 4 エリヤがモーセと共に彼らに現れたので、彼らはイエスに語りかけた。 5 ペテロは始めてイエスに言った、「ラビ、わたしたちがここにいるのは良いことです」。また、あなたがたのために、モーセのために、エリヤのために、三つの幕屋を造ります。 6 しかし、彼は自分が何を言っているのかわからなかった。彼らは狼狽したからである。 7 すると、雲が来て、彼らを覆った。すると、雲の中から声がして言った、「これはわたしの愛する息子です。あなたはそれを聞くでしょう! 8 すると、突然、周りを見回すと、イエスのほかにはだれも一緒にいなかった。 9 しかし、彼らが山から下りるとき、イエスは、人の子が死者の中からよみがえるまで、見たことを誰にも話さないように命じられた。 10 彼らは言葉を守り、互に尋ねた、「死者の中からよみがえるとはどういうことか」。

11 彼らはイエスに尋ねて言った、「律法学者たちは、エリヤが先に来なければならないと言っていま

す。」12しかし、イエスは彼らに言った、「はい、エリヤが先に来て、すべてを再び正します」。また、人の息子について、彼が多く苦しみを受け、軽蔑されるということは、どのように書かれているのでしょうか。13しかし、あなたがたに告げるが、エリヤはすでに来ており、彼について書いてあるとおりに、彼らが望んでいたことを彼に行ったのである。14彼らが弟子たちのところ来ると、だぜいの民が彼らを取り囲み、律法学者たちが彼らと議論しているのが見えた。15民はみな彼を見ると、恐れおののいて、走って彼を迎えた。16イエスは彼らに尋ねた、「なぜ、彼らと言いつ争っているのですか」。17すると、民のひとりが答えた、「先生、わたしは言葉を失う霊を持つ息子をあなたのところに連れてきました」。18彼が彼を捕まえるところで、彼は彼を引き裂く。そして彼は泡を立て、歯ぎしりして硬直します。そして、あなたがたの弟子たちに、彼らが彼を追い出したが、できなかったと話した。19しかし、イエスは彼らに答えて言われた、「不信心な世代よ、わたしはいつまであなたがたと共にいられるのでしょうか。いつまで耐えられるのだろうか?彼をここに連れてきてください!20そして、彼らは彼を彼のところに連れて行った。そして、御霊が彼を見るやいなや、彼は彼を引き裂きました。そして彼は地面に倒れ、転がって泡立ちました。21イエスは父なる神に尋ねられた、「彼にこのようなことが起こったのは、いつからですか」。彼は「子供の頃から」と言いました。22そして、彼を殺そうと、何度も彼を火の中に投げ込み、水に投げ込んだ。しかし、あなたが何かできることがあれば、私たちを憐れみ、私たちを助けてください!23イエスは彼に言われた、「あなたはどのように『何かできるのか』と言うのですか」。信じる者には、何でも可能なのです。24するとすぐに、その子の父は叫んで言った。私の不信仰を助けてください!25そこでイエスは、民が自分に向かって走ってくるのを見て、汚れた霊を叱りつけて言った、「言葉も出ない、耳の聞こえない霊よ、わたしはあなたに命じます。そして、そこから出て行って、二度とそこに入らないように」。26そこで彼は叫び声を上げて、彼を引き裂いて出て行った。すると、少年は死んだかのようになったので、群衆は「彼は死んだ」と言いました。27しかし、イエスは彼の手を取って持ち上げたので、彼は立ち上がった。28彼が家に帰ると、弟子たちは彼だけに尋ねた、「なぜ、わたしたちは彼を追い出さなかったのですか」。29彼は言った、「この種類は、祈りと断食とによってのみ出ることができます」。30彼らはそこから出て、ガリラヤを通った。そして、彼は誰にも知られなくなかった。31イエスは弟子たちに教えて言われた、「人の子は人の手に渡され、彼らは彼を殺すであろう。そして、もし彼が殺されたら、彼は三日後によみがえるでしょう。32しかし、彼らはその言葉を理解せず、恐れてイエスに尋ねることを恐れた。33そして、彼らはカペナウムに来た。そして、家に帰ると、彼は彼らに「途中でお互いに何を交渉したの?」と尋ねました。34しかし、彼らは沈黙していた。なぜなら、彼らは途中で互いに交渉し、それが最も大きいものだったからである。35イエスはすわって十二弟子を呼び集めて言った、「もし一番になりたいなら、その人はすべてのしもべのうちで最後になります」。36イエスはひとりの子供を取って、彼らの真ん中に置き、抱きしめて言った、「37「このような子供をわたしの名によって受け入れる者は、だれでもわたしを受け入れます。そして、私を受け入れる者は私を受け入れず、私をつかわした者を受け入れる。38ヨハネは彼に言った、「先生、私たちはあなたの名によって悪霊を追い出す者を見ました。しかし、彼はわたしたちに従ってきません。そして、彼が私たちに従わないので、私たちは彼にそうすることを禁じました。39しかし、イエスは言われた、「彼を禁じてはならない。私の名において奇跡を行う者は、すぐに私の悪口を言うことはできません。40わたしたちに敵対しない者は、わたしたちの味方です。41あなたがたがキリストに属しているからといって、わたしの名によってあなたがたに一杯の水を与える者は、まことにあなたがたに告げる、彼は報われない者はいない。42そして、わたしを信じるこれらの小さな者たちのうちの一人につまずく者は、首に石臼をぶら下げて海に投げ込む方が彼にとって良いでしょう。43しかし、もしあなたの手があなたをつまずかせたら、それを切り落としなさい。あなたにとっては、両手を持って地獄、永遠の火に行くよりも、不具者として人生に入る方が良いです。45もし足がつまずくようなことがあれば、それを切り落としなさい。足が二本あって地獄に投げ込まれるよりは、足が不自由で人生に入る方がましです。47もしあなたの目があなたをつまずかせる原因となるなら、それを捨てなさい。あなたが一つ目の目で神の国に入る方が、二つの目を持って地獄に投げ込まれるよりもましです。48そこでは、虫が死なず、火が消えません。49塩は良いですが、塩が弱くなったら、何で味付けするのでしょうか。あなたと一緒に塩を持ち、互いに平和を持ちなさい。

10 1彼は去って、ユダヤの地方、すなわちヨルダン川の向こうに来た。すると、人々は再び群れをなして彼のもとに走って行き、彼の習慣通り、彼は再び彼らに教えた。2パリサイ人たちが彼のところにきて、妻と離婚できる者はいないかと尋ねて、彼を試した。3彼は答えて言った、「モーセはあなたに何を命じたのですか」。4彼らは言った、「モーセは彼に離婚証明書を書くことを許し、彼と離婚させた」。5イエスは彼らに言われた、「あなたがたの心のかたく

なさゆえに、彼はあなたがたにこの戒めを書き記した。6しかし、創造の初めから、神は彼らを男と女と創造された。7それゆえ、人は父と母を離れ、8ふたりは一体となる。だから今、彼らはもはや二つではなく、一つの肉体です。9神が一つに結んだものを、だれも引き離してはならない。10家で弟子たちは、またそのことについて彼に尋ねた。11イエスは彼らに言った、「だれでも自分の妻を離婚して、他の妻と結婚する者は、彼女に対して姦淫を犯すのです。12もし女が夫を離婚して別の女と結婚するなら、彼女は姦淫を犯したことになる。イエスは子供たちを祝福します13そして、彼らが子供たちを彼のところに連れてきて、彼が彼らに触れるようにしました。しかし、弟子たちは彼らを叱責しました。14しかし、イエスはこれを見て、憤慨して彼らに言った、「子供たちをわたしのところに來させてください。彼らを禁じないでください。神の国はそのようなものである。15まことに、あなたがたに告げます。神の王国を子供として受け入れない者は、その国に入ることはできません。16そして、彼女を抱きしめ、手を彼女の上に置いて、彼女を祝福した。17彼が道を出て行こうとしたとき、その中のひとりが駆け寄って、彼の前にひざまずいて、「先生、永遠の命を受け継ぐために、わたしは何をすべきでしょうか」と尋ねた。18しかし、イエスは彼に言われた、「なぜ、わたしを認めるのですか」。神以外に善良な人はいません。19あなたがたは、「殺してはならない。あなたは姦淫を犯してはならない。汝、盗んではならない。あなたは偽りの証言をしてはならない。汝はだれも奪ってはならない。父と母に敬意を表します。」20彼は彼に言った、「先生、わたしは若い頃からこれらのものをすべて守ってきました。21イエスは彼を見て、彼を愛し、「あなたに欠けているものが一つある」と言われた。行って、持っているものを全部売り払って、貧しい人々に与えなさい、そうすれば、天に宝があるでしょう、そして、わたしに従ってきなさい。22しかし、彼はその言葉に不機嫌になり、悲しんで去っていった。彼は多くの財産を持っていたからである。23イエスは彼を見回して、弟子たちに言われた、「金持ちが神の国に入るのは、なんと難しいことでしょうか。24しかし、弟子たちは彼の言葉に驚いた。しかし、イエスは再び答えて、彼らに言われました、「親愛なる子供たちよ、神の国に入ることはどれほど難しいことでしょうか。25金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方が簡単です。26しかし、彼らはさらに驚いて、互に言った、「それでは、だれが救われることができるのか」。27しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人にはあり得ない。しかし、神にはできない。神にはすべてのことが可能だからです。28ペテロは答えて言った、「見よ、わたしたちはすべてを捨てて、あなたがたについてきました。29イエスは言われた、「まことに、あなたがたに告げます。わたしのため、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てる者は一人もいません。また、迫害の真っ只中にあって、百倍の家、兄弟、姉妹、母、子、畑を受け取らない者はいません。また、来るべき世での永遠の命も、百倍の家と兄弟姉妹と母と子と畑を受け取らない者はいないのです。31しかし、多くの者が最後になり、最初の者が最初となり、最初の者が最後の者となる。32彼らはエルサレムに上る途中であった。イエスが彼らの前に行ったので、彼らは驚いた。しかし、彼に従った人々は恐れしました。そして、彼は再び十二弟子を自分のところに連れて行き、彼に何が起こるかを彼らに話し始めました:33見よ、私たちはエルサレムに上り、人の子は祭司長と律法学者に引き渡され、彼らは彼に死刑を宣告し、異邦人に引き渡すでしょう。34彼らは彼をあざけり、つばを吐き、むち打ち、殺し、三日後に彼は再びよみがえる。35ゼベダイの子ヤコブとヨハネは彼のところに行って言った、「先生、わたしたちがあなたに求めることを、あなたにしてほしいのです」。36イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、わたしに何をしてほしいのですか。37彼らはイエスに言った、「わたしたちに、ひとりをあなたの右に、ひとりをあなたの栄光のうちに左に座させてください」38しかし、イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、自分が何を求めているのかわからない」。私が飲む杯を飲むことができますか、それとも私が受けたバプテスマでバプテスマを受けることができますか?39彼らはイエスに言った、「はい、できます。イエスは彼らに言われた、「あなたがたはわたしが飲む杯を飲み、わたしが受けたバプテスマと同じバプテスマを受けるであろう。40しかし、わたしの右に座し、左に座るのは、わたしがあなたがたに与えるのではなく、それが用意された者に与えるだけである。41十人はこれを聞いて、ヤコブとヨハネに憤慨した。42そこでイエスは彼らと呼ばい寄せて言われた、「あなたがたは、世の君たちが彼らの民に敵対し、その支配者が彼らに暴力を振るっていることを知っています。43しかし、あなたがたの間ではそうではない。しかし、あなたがたの中で偉大になりたい者は、彼をあなたのしもべとしなさい。44そして、あなたがたのうちで一番になりたい者は、すべての人のしもべとしなさい。45人の子でさえ、仕えられるために來たのではなく、仕えるため、また、多くの人の贖いのために自分の命をささげるために來たのである。エリコの盲人46そして、彼らはエリコに來た。そして、彼がエリコを去るとき、彼と彼の弟子たち、そして大勢の群衆が、そこに盲人の座っていた。ティマイオスの息子バルティマイオスは道端にいて、物乞いをした。47そして、それがナザレのイエスであると聞くと、彼は叫び始めて言った、「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」。48すると、多くの

者が彼を叱りつけて、黙れと言った。しかし、彼はさらに叫んだ、「ダビデの息子よ、私を憐れんでください」。49 イエスは立ち止まって言われた、「彼を呼んでください」。そして、彼らは盲人を呼んで、「元気を出して、起きなさい」と言いました。彼があなたを呼んでいる!50 彼は外套を脱ぎ捨て、飛び上がってイエスのところに来た。51 イエスは答えて言われた、「あなたはわたしに何をしてほしいのですか」。盲目の男は彼に言いました、「ラブニ、また会えるように。」52 しかし、イエスは彼に言われた、「行きなさい。あなたの信仰があなたを良くしました」。するとすぐに彼は再び目が見え、道を彼を追いかけました。

11 1 彼らがエルサレムの近くでベテパゲに、ベタニヤからオリーブ山に来たとき、イエスはふたりの2を弟子たちにつかわして言った、「あなたがたの先にある村に行け」。そして、中に入るとすぐに、誰も座ったことのない縛られた子馬を見つけるでしょう。ほどこいてここに持ってきてください!3 もしだれかがあなたに『あなたは何をしていますのですか』と言ったら。「主はそれを必要として、すぐに送り返していただきます」と言ってください。4 彼らは行って、道の外側の戸に縛り付けられている子馬を見つけ、それを解いた。5 そこに立っていた人たちが彼らに言った、「お前たちはその子馬をほどこくために何をしていますのですか」。6 しかし、彼らはイエスが命じられたとおりに言ったので、それを許した。7 そこで彼らは子馬をイエスのところに持ってきて、その上に着物を置いたので、イエスはその上にすわった。8 また、多くの者が着物を道に広げ、またある者は、畑で切り取った緑の枝を広げた。9 そして、先に行った者も、後にもついて来た者たちは、叫んで言った、「ホサナ」。主の名によって来る者は祝福されますように!10 来るべき私たちの父ダビデの王国は、さいわいである。ホサナが最高に!11 そして彼はエルサレムと神殿にはいって、周囲のものをすべて見て、夕方になると十二弟子を連れてベタニヤに出かけた。12 そして翌日、彼らがベタニヤを出ると、イエスはお腹が空いていた。13 彼は遠くから、葉のついたいちじくの木を見た。それから彼は、何か見つけられるかどうか見に上がった。そして、彼がそれに来たとき、彼は葉だけを見つけました。なぜなら、それはイチジクの時ではなかったからです。14 イエスは答えて言われた、「さあ、あなたがたの実を、だれもとこしえに食べてはならない」。15 そして、弟子たちはエルサレムに来た。イエスは神殿にはいって、神殿の売り手と買い手を追い出しました。そして、彼が16歳のときに押した両替商のテーブルと鳩売りの椅子、そして彼は誰も寺院を通して何かを運ぶことを許さなかった。17 イエスは彼らに教えて言った、「『わたしの家は、すべての国民のための祈りの家と呼ばれる』と書いてあるではありませんか」。しかし、あなたはそれから強盗の巣窟を作りました。18 彼は祭司長たちと律法学者たちの前に来て、彼らは彼を殺す方法を尋ねた。彼らは彼を恐れたからである。すべての民が彼の教えに恐れをなしたからである。19 そして、夕方になって、彼らは町を出た。20 そして、朝、いちじくの木のをそばを通りかかったとき、いちじくの木が根まで枯れているのを見た。21 ペテロはこれを思い込んで言った、「ラビよ、見よ。あなたがのろったいちじくの木は枯れてしまいました。22 イエスは答えて言われた、「神を信じなさい。23 まことに、この山に向かって言う者は、あなたがたに告げる、『起きて、海に身を投げなさい』。そして、彼は心の中で疑わず、自分の言うことが起こるなら、それは自分にも起こると信じていました。24 それゆえ、あなたがたに告げるが、あなたがたが祈りで求めることは何であれ、それを受け取ると信じなさい。25 そして、立って祈るとき、もし誰かに対して何かあるなら、彼らを赦しなさい。そうすれば、天にいますあなたがたの父も、あなたがたのそむきを赦してくださいでしょう。26-27 そして、彼らは再びエルサレムに帰ってきた。彼が宮の中を歩いていると、祭司長たち、律法学者たち、長老たち 28 が彼のところにきて言った、「あなたは何の権威によってこれをするのですか」。それとも、誰があなたにこれを行う権限を与えたのですか?29 しかし、イエスは彼らに言われた、「わたしはあなたがたに一言尋ねます。私に答えてください、そして私がこれをどのような権威によって行うかをあなたに教えます。30 ヨハネのバプテスマは、天から受けたのか、それとも人から受けたのか。答えてください! 31 彼らは自分で考えて言った、「もし私たちが彼女が天から来たと言うなら、彼は言うでしょう、『なぜ信じなかったのですか』。32 それとも、それは人によるものだったと言わなければならないのか。-それから、彼らは人々を恐れました。彼らは皆、ヨハネが本当に預言者であると信じていたからです。33 彼らは答えてイエスに言った、「わたしたちは知りません。イエスは彼らに言われた、「わたしは、あなたがたに、これらのことを何の権威によって行うのかも言わない」。

12 ¹

そして、ひとりの人がぶどう園を植え、その周囲に囲いを立て、ぶどう酒を掘り、やぐらを建てて、

それをぶどう酒の栽培者に貸し出して、国を出た。

2

その時が来ると、彼はしもべをぶどう園の栽培者たちにつかわして、ぶどう園の果実の一部をぶどう畑の栽培者から取らせた。

3 しかし、彼らは彼を捕まえて打ち、空っぽにした。

4 彼はまた別のしもべを彼らにつかわしたので、彼らは彼の頭を叩きつけて、彼をのしった。

5 彼はまた別の人をつかわしたので、彼らは彼を殺した。そして、他にもたくさんあります。

ある者は攻撃し、ある者は殺した。

6

それから、彼はもうひとり、最愛の息子をもちましたが、ついに彼を彼らにつかわして、「彼らはわたしの息子を恐れるでしょう」と言いました。

7 しかし、ぶどう酒を飲む者たちは互に言った、「これが嗣業です。さあ、彼を殺しましょう。

そうすれば、その嗣業は私たちのものになります」。

8 彼らは彼を捕まえて殺し、ぶどう園から投げ捨てた。

9

ぶどう園の主人は今何をしますか?彼は来て、ぶどう畑の栽培者を殺し、ぶどう園を他の人に与えます。

10 あなたがたは、聖書に「建設者たちが拒んだ石が、隅の石となった。

11 これは主から出たものであり、わたしたちの目の前では、ほろしである。

12

そして、彼らはどのようにして彼を捕らえたのかを見ようとしたが、それでも人々は恐れていた、なぜなら、彼はこのたとえ話を自分たちに語ったことを理解したからである。

そして、彼らは彼を残して去っていった。

13 そこで彼らは、パリサイ人とヘロデの部下たちをつかわして、彼の言葉を聞き入れさせた。

14

彼らは来てイエスに言った、「先生、あなたが真実であることを私たちは知っています。あなたは人の評判を尊重せず、神の道を正しく教えていますから、だれについても尋ねません。」天皇に税金を払うべきかどうかは正しいですか?与えるべきか、与えないべきか?

15

しかし、イエスは彼らの偽善を見て、彼らに言った、「なぜわたしを誘惑するのですか。彼に会うために私にペニーを持ってきてください!

16 彼らは一つを持ってきた。

それから彼は言った、「その像と碑文は何ですか?」彼らは彼に言った、「シーザーのもの」。

17 イエスは彼らに言われた、「カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返せ」。

そして、彼らは彼に驚いた。

18 そこで、復活はないと信じていたサドカイ派の人々が彼のところに来て、彼に尋ね

た、「先生、19

モーセは私たちに手紙を書いた、「もし人の兄弟が死んで妻を残し、子供がいなければ、その兄弟が妻をめぐって、兄弟の子孫を育てなさい」。

20 さて、七人の兄弟がいた。最初は妻をめぐって。彼は亡くなり、子供は残されませんでした。

21 そして、二人目は彼らを連れて死んだ、子供は一人も残さなかった。3番目も。

22 七人とも子供を残さなかった。結局、その女性も亡くなりました。

23 さて、復活のとき、彼らが復活したとき、彼女は彼らの中にだれの妻となるのでしょうか。

なぜなら、7人全員が彼女を妻にしていたからです。

24 そこで、イエスは彼らに言われた、「そうではないか」。

あなたが間違っているのは、聖書も神の力も知らないからです。

25

彼らが死者の中からよみがえるとき、結婚することなく、天の御使いのようになる。

26

しかし、死者がよみがえるために、モーセの書で、神が茂みで彼に言われた、「わたしはアブラハムの神であり、イサクの神であり、ヤコブの神である」と言ったことを、あなたは読んだことがないのか。

27 神は死者の神ではなく、生きている者の神である。あなたはとても間違っています。

28 すると、律法学者のひとりが彼のところに来て、彼らが互いに議論しているのを聞いていた。

そして、彼が彼らにきちんと答えたのを見て、「何よりも高貴な戒めは何ですか」と尋ねました。

29

しかし、イエスは彼に答えた、「最も高貴な戒めはこれです。『イスラエルよ、われわれの神、主はひとりでおられる。

』 30 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、主なる神を愛せよ」。

31 もう一つは、「自分を愛するように隣人を愛せよ」というものです。

これよりも大きな戒めは他にありません。

32 律法学者は彼に言った、「先生、あなたは本当に正しく話されました。

彼はただ一人であり、彼以外の誰でもない。

33

また、心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして彼を愛し、隣人を自分を愛するように愛することは、すべての全焼のいけにえや犠牲にまさるものである。

34

しかし、イエスは彼が賢明に答えているのを見て、彼に言った、「あなたは神の国から遠くないところにいます」。それ以来、誰も彼に尋ねる勇気がなくなりました。

35

イエスは、神殿で教えながら、「律法学者たちは、どうしてキリストがダビデの子だと言っているのですか」と言われた。

36

ダビデ自身が聖霊によって言った、「主はわたしの主に言われた、『わたしがあなたの敵をあなたの足の下に置かせるまで、わたしの右に座しなさい』」。

37 ダビデは彼を自分の主人と呼んでいる。彼の息子はどこから来たのですか？

そして、すべての人々が彼の話聞くのが好きでした。

38 イエスは彼らに教えて言われた、「律法学者たちに気をつけなさい。

彼らは長い服を着て歩き、市場で互いに挨拶を交わし、

39 会堂の頭や宴会の食卓に座るのが好きである。

40 彼らはやもめの家をむさぼり食い、長い祈りを捧げます。

彼らはより厳しい裁きを受けるでしょう。

41 イエスは神の箱の向かいにすわって、民が箱にお金を入れる様子を見た。

そして、多くの金持ちがたくさん入れています。

42 すると、貧しいやもめがきて、二匹のダニを入れて、それがファージングを作った。

43 イエスは弟子たちを呼び寄せて言った、「まことに、あなたがたに告げます。

この哀れなやもめは、神の箱に入れたすべての者よりも多くを神の箱に入れました。

44

彼らはみなその豊かさをささげてささったが、この者は、彼女が貧しさから生活していたすべてのものの、すべての持ち物をささげた。

13

⁵⁴ 1 彼が神殿を出るとき、弟子の一人が彼に言った、「先生、何という石と建物を見てください。 2 イエスは彼に言われた、「あなたがたは、これらの大きな建物を見ますか」。壊れない石の上に一つの石も残ることはありません。 3 彼が神殿の向かいのオリブ山に座っていたとき、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレは彼だけに尋ねた、「4 いつになるのか教えてください」。そして、これらすべてのことが完了するとき、どのようなしりしとなるのでしょうか。 5 イエスは彼らに言われた、「だれもあなたがたを欺かないように気をつけなさい」。 6 多くの者がわたしの名によって来て、『わたしは彼である』と言い、多くの人を惑わす。 7 しかし、戦争や戦争の噂を聞いても、恐れることはありません。それは行われなければなりません。しかし、終わりはまだ来ていません。 8 なぜなら、国民は国民に敵対し、王国は王国に対して立ち上がるからである。そして、地震は前後に起こり、高価な時間になります。これが陣痛の始まりです。 9 しかし、あなたがたは用心しなさい。彼らはあなたがたをさばきに引き渡し、会堂で打たれ、君や王たちの前で、わたしのために君主や王の前に連れて行かれ、彼らに対する証しとなるからである。 10 そして、福音はまずすべての国民に宣べ伝えられなければならない。 11 だから、もし彼らがあなたがたを連れ去って引き渡したとしても、まず自分が何を言うか心配してはならない。しかし、その時にあなたに与えられるものは、何を語っているのか。なぜなら、語るのはあなたではなく、聖霊だからです。 12 兄弟は兄弟を引き渡して死に、父は息子に引き渡され、子供たちは両親に反逆して彼らを死に至らしめる。 13 そして、あなたがたはわたしの名のために、みんなに憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。 14 しかし、荒廃の忌まわしいものが、それが立つてはいけないうちに立つ

ているのを見たとき、それを読む者は誰でも、彼に注意を向けさせなさい。- それでは、ユダヤにいる者は誰でも、彼を山に逃げさせなさい。 15 屋根の上にいる者は、家から何かを取りに下りたり、入ったりしてはならない。 16 また、野にいても、その外套を取りに引き返さないようにしなさい。 17 しかし、その時に妊娠し、授乳している人々はわざわいです。 18 しかし、それが冬に行われないうちに祈りなさい。 19 今日では、神が創造した創造の初め以来、かつてなかったような苦難が起こり、また二度と起こることはないでしょう。 20 もし主がこの日を短くしなければ、だれも救われなかったであろう。しかし、彼が選んだ選ばれた人々のために、彼は最近短くなりました。 21 その時、だれかがあなたがたに『見よ、ここにキリストがいます』と言うなら。見よ、彼はそこにいる、それを信じてはいけません。 22 多くの偽キリストや偽預言者が立ち上がり、しるしや不思議を示すので、彼らは可能なら、選ばれた人々をも欺くであろう。 23 しかし、あなたがたは用心しなさい。前にも皆さんにお伝えしました! 24 しかし、その時、この艱難の後で、太陽と月は光を失い、 25 星は天から落ち、天の力は揺さぶられる。 26 そして、人の子が力と大いなる栄光をもって雲に乗って来るのを見るであろう。 27 それから、彼は御使いたちをつかわし、地の果てから天の果てまで、四つの風から選ばれた者を集める。 28 しかし、いちじくの木からたとえを学びなさい: その枝が芽を出し、葉が来るとき、あなたがたは夏が近いことを知っています。 29 それで、もしこれらのことが起こっているのを見たら、それが戸口の近くにいることを知ってください。 30 まことに、あなたがたに告げるが、これらのことがすべて起こるまで、この世代は過ぎ去ることはない。 31 天と地は過ぎ去る。しかし、私の言葉は消えません。 32 しかし、その日と時については、だれも知らない、天の御使いたちでさえも、子でさえも知らず、父だけを知る。 33 用心せよ、見守れ。なぜなら、あなたがたは、その時がいつ来たのか知らないからです。 34 ちょうど、田舎を旅して家を出て、しもべたちに権威を与え、各自の働きに権威を与え、門番に見張るように命じたように、 35 さあ、さつき目を覚ましなさい。なぜなら、あなたは家の主人がいつ来るか、夕方であろうと真夜中であろうと、家の鳴き声であろうと、朝であろうと知らないからです。 37 しかし、わたしがあなたがたに言うことは、すべての人に言うことです。

14

1 また、復活祭まではまだ二日あり、種入れぬパンの日もあった。そして、祭司長や律法学者たちは、いかにして狡猾に彼を捕らえ、殺すかを探した。文字通り、「パッサ」。ルターは新約聖書で「過越祭」を「イースター」と表現しました。 2 彼らは言った、「祭りの日には、民の間に反乱が起こらないように」。ベタニヤでの油注ぎ 3 彼がベタニヤのらい病人シモンの家において、食卓に着いたとき、純粋で貴重なスパイクナードオイルのグラスを持っていた女が来て、グラスを割って彼の頭に注いだ。 4 しかし、ある人々は憤慨して、互に言った、「この油の無駄は、何であろうか」。 5 この油は、銀貨三百枚以上で売られ、貧しい人々に与えられることもできた。 6 しかし、イエスは言われた、「彼らを去らせなさい」。なぜ彼女を困らせるのですか? 彼女は私のために良い仕事をしてくれました。 7 あなたがたにはいつも貧しい人々が一緒にいて、もし望むなら、彼らに善を施すことができる。しかし、あなたはいつも私を持っているわけではありません。 8 彼女はできる限りのことをした。彼女は私の埋葬のために事前に私の体に油を注ぎました。 9 まことに、あなたがたに告げます。全世界で福音が宣べ伝えられるところでは、彼女が今行ったことをまた、彼女を記念して語られるでしょう。 10 そこで、十二弟子の一人であるイスカリオテのユダは、祭司長たちのところに行って、彼を裏切ろうとした。 11 彼らはこれを聞いて喜び、彼に金をあげると約束した。そして、彼は良い機会に自分を裏切る方法を探しました。 12 そして、種入れぬパンの初日に、パスカルの小羊がささげられたとき、弟子たちは彼に言った、「どこに行って、パスカルの小羊を食べるために、私たちに用意しておきたいのですか」。 13 彼はふたりの弟子をつかわして言った、「町には行って、水の入った壺を持った人に会おうでしょう。 14 彼についてきて、彼が入るところには、家の主人に言いなさい、『あるじがあなたに知らせを送った、『わたしが弟子たちと一緒にパスカルの小羊を食べることができる部屋はどこにありますか』』。 15 そして、彼はあなたがたに、クッションが敷かれて準備ができていた大きな広間を見せられるであろう。そこには私たちのために準備があります。 16 弟子たちは出て行って町にはいり、イエスが彼らに言われたとおりにそれを見つけ、パスカルの小羊を準備した。 17 夕方、彼は十二弟子と共に来た。 18 彼らが食卓に着いて食事していると、イエスは言われた、「まことに、あなたがたに告げます。わたしと一緒に食事をする者は、わたしを裏切るでしょう。 19 彼らは悲しんで、ひとりひとりに彼に言った、「わたしですか」。 20 イエスは彼らに言った、「わたしと一緒に鉢に浸る十二弟のうちのひとりです」。 21 人の子が去るというのは、彼について書かれているとおりに、真実である。しかし、人の子が裏切られた者は災いである。同じ男にとって、彼が生まれなかった方が良いでしょう。 22 彼らが食事していると、イエスはパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて彼らに与えて言われた。これが私の体です。 23 そして、その杯を取り、感謝をささげて、それを彼らにささげた。そして、彼ら

は皆、それから飲んだ。24 イエスは彼らに言った、「これはわたしの新約の血で、多くの人のために流し出されるものです」。25 まことに、あなたがたに告げるが、わたしは神の国で再びぶどうの木を飲む日まで、そのぶどうの木の成長を飲まない。26 そして、賛美の歌を歌った後、オリーブ山に出かけた。27 イエスは彼らに言われた、「あなたがたはみな、わたしにつまずくでしょう。「わたしは羊飼いを打つ。羊は散らされる」と書いてあるからである。28 しかし、わたしがよみがえったとき、わたしはあなたがたに先立ってガリラヤに行く。29 しかし、ペテロは彼に言った、「もし彼らがみなあなたにつまずいても、わたしはそうはしません。30 イエスは彼に言われた、「まことに、あなたがたに告げます。今夜、カラスの前で二度、あなたがたはわたしを三度否定するでしょう。31 しかし、彼はさらに言った、「たとえわたしがあなたと一緒に死ななければならぬとしても、あなたを否定するつもりはありません。彼らは皆同じことを言いました。32 そして、彼らはゲッセマネという宮廷に來た。そして弟子たちに言った、「わたしが祈るまで、ここに座っていなさい」。33 彼はペテロとヤコブとヨハネを連れて、おののき、おののき始め、34 彼らに言った、「わたしの魂は死ぬほど悲しんでいます。ここにいて見てください!35 そして、少し進んで地にひれ伏し、もし可能ならその時が過ぎ去るようにと祈り、36 言った、「アバ、父よ、あなたにはどんなことでも可能だよ。この杯を私から取り除いてください。しかし、私が欲しいものではなく、あなたが欲しいものなのです!37 彼はきて、彼女が眠っているのを見つけて、ペテロに言った、「シモン、あなたは眠っていますか」。1時間も見ないでいられますか?38 あなたが誘惑に陥らないように、目を覚まし、祈りなさい。精神は喜んでいます。しかし、肉は弱いです。39 彼は再び行って、同じ言葉を祈り、40 再び来て、彼らが再び眠っているのを見つけた。彼らの目は眠気でいっぱい、彼に何と答えればいいのかわからなかった。41 イエスは三度目に來て、彼らに言った、「ああ、あなたがたは今、眠って休むことができますか。それで十分です。その時が來ました。見よ、人の子は罪人の手に引き渡されます。

42 さあ、行こう。見よ、わたしを裏切る者は近くにいます。43 彼がなお話しているとすぐに、十二弟子の一人であるユダが、彼と共に、つるぎと杖を持った祭司長、律法学者、長老たちの大勢の仲間がやって來た。44 裏切り者は彼らに合図をして言った、「わたしが接吻するのは彼です。それをつかみ、安全に連れ去ります。45 彼が來ると、彼はすぐに彼のところに来て言った、「ラビ!そして彼にキスをした。46 しかし、彼らは彼に手を置いて捕らえた。47 ところが、そばに立っていたひとりが剣を抜いて、大祭司のしもべを打ち、その耳の一つを切り落としました。48 イエスは答えて言われた、「あなたがたは、人殺しに対抗するため、つるぎとつるつじをもってわたしを捕まえようと出かけた。49 わたしは毎日、あなたがたと共に神殿の教えに臨んでいたが、あなたがたはわたしを捕らえなかった。しかし、聖書は成就されなければなりません!50 それから、彼らはみな彼を捨てて逃げた。51 すると、ひとりの若者が彼についてきて、素肌に亜麻布をまとった。そして彼らは彼を捕らえた。52 しかし、彼は亜麻布を手放して、裸で逃げ去った。53 そして、彼らはイエスを大祭司のところに連れて行った。そして、祭司長、長老、律法学者たちはみな集まった。54 しかし、ペテロは遠くから彼についてきて大祭司の宮殿に入り、しもべたちと一緒に座り、火のそばで暖をとった。55 しかし、祭司長たちとすべてのサンヘドリンは、イエスを殺すために再びイエスの証しを求めたが、何も見つからなかった。56 多くの人々が彼に対しで偽りの証言をした。しかし、彼らの証言は一致しなかった。57 そこで、ある者が立ち上がって、彼に対して偽りの証言をした、「58 彼が言うのを聞いた。『わたしは、手で造られたこの宮をこわし、三日のうちに、手で造られていない別の宮を建てよう』」。59 しかし、彼らの証言はそれと一致しなかった。60 そこで大祭司は立ち上がって、イエスに尋ねた、「あなたがたは、これらの証言があなたがたに不利なことを答えないのでですか」。61 しかし、彼は黙って、黙って、何も返さなかった。そこで大祭司は再び彼に尋ねて言った、「あなたはキリスト、祝福された者の息子ですか」。62 しかし、イエスは言われた、「それはわたしです。そして、人の息子が力の右に座し、天の雲に乗って來るのを見るでしょう。63 すると、大祭司は自分の衣を引き裂いて言った、「なぜ、もっと証人が必要なのですか。64 あなたがたは冒瀆を聞いたことがある。どう思いますか。しかし、彼らは皆、彼に死刑を宣告した、彼は死刑に処せられた。65 すると、ある者が彼につばを吐きかけ、彼の顔を覆い、拳で彼を打ち、「私たちに預言しなさい」と言いました。そして、召使たちは彼の顔を打った。66 ペテロは中庭に伏していた。それから、大祭司の女中の一人が來ました。67 彼女はペテロが体を温めているのを見て、彼を見て言った、「あなたもナザレのイエスと共にいた」。68 しかし、彼はそれを否定して言った、「わたしは知らないし、あなたが何を言っているのかも理解できません」。そして彼は中庭に出た。69 女中は彼を見て、またそばに立っていた人々に言い始めた、「これは彼らの一人です」。70 そして彼は再び否定した。そしてしばらくして、彼らはまたそばに立っていたピーターに言いました、「まことに、あなたもその一人です。あなたはガリラヤ人です。71 しかし、彼は自分を偲び始め、「わたしはあなたが話す人を知らない」と誓いました。72 すると、すぐにまた鳴き声が上がった。その時、ペテロはイエ

ス様が「二度もカラスの前で、三度もわたしを否定する」という言葉を思い出しました。そして彼は泣き始めました。

1

15

そして、朝になるとすぐに、祭司長たちは長老たちと律法学者たち、およびすべてのサンヘドリンと相談して、イエスを縛り、彼を連れ去り、ピラトに引き渡した。

2 ピラトは彼に言った、「あなたはユダヤ人の王ですか」。

しかし、彼は答えて、「あなたがそう言う」と言いました。

3 祭司長たちは彼を厳しく非難した。

4 ピラトは再び彼に尋ねて言った、「あなたは答えないのですか」。

彼らがどれだけ激しくあなたを非難するか見てください!

5 しかし、イエスはそれ以上答えなかったので、ピラトは驚いた。

6 そして、彼はよく彼らに、彼らが望んでいた宴会のための捕虜を与えた。

7 さて、バラバという者がいて、反乱で殺人を犯した反逆者たちに捕らえられた。

8 民は上って行って、彼が昔のようにするように頼んだ。

9

しかし、ピラトは彼らに答えた、「あなたは、わたしにユダヤ人の王をあなたがたに解放してほしいのですか」。

10 彼は、祭司長たちがねたみから自分を引き渡したことを知っていた。

11 しかし、祭司長たちは民を挑発して、彼らをバラバから去らせた。

12

しかし、ピラトは再び答えて、彼らに言った、「あなたがたがユダヤ人の王と呼ぶ者を、わたしはどうしたらよいでしょうか」。

13 すると、彼らはまた叫んだ、「彼を十字架につけなさい」。

14 ピラトは彼らに言った、「彼はどんな悪をしたのですか」。

しかし、彼らはさらに叫んだ:彼を十字架につけろ!

15

しかし、ピラトは民の意志を行うことを思い出し、バラバを彼らに釈放し、イエスをむち打たせて、彼を十字架につけるために引き渡した。

16 兵士たちは彼を要塞、すなわち正義の宮に連れて行き、全一行を呼び集め、

17 彼らは彼に紫の服を着せ、いばらの冠を編んで彼につけ、

18 彼に挨拶を始めて言った、「ユダヤ人の王よ、万歳」。

19 そして、彼らは葦で彼の頭を打って、つばきをかけ、ひざまずいて彼を拝んだ。

20

そして、彼をあざけると、彼から紫の服を剥ぎ取り、自分の服を着せて、十字架につけるために連れ出し、

21

通りすがりの者、すなわち、野から来たクレネのシモンという者で、アレクサンドロスとルポスの父に、彼のために十字架を背負わせた。

22 そして、彼らは彼をカルバリの所に連れて行った。それは頭蓋骨の場所と訳されている。

23 彼らは彼に没薬を飲ませたが、彼はそれを飲まなかった。

24 そして、彼らは彼を十字架につけた。

そして、彼らは彼の衣服を分け、誰が何を手に入れるべきかをくじで見ました。

25 さて、彼らが彼を十字架につけたのは、三時間ほどの時であった。

26 また、彼の上には、彼に対して言われたこと、すなわち「ユダヤ人の王」と書かれていた。

27 そして、彼らは彼と共に、ひとりには彼の右に、ひとりには左に、ふたりの殺人を十字架につけた。

28 それから、「彼は悪を行う者たちの中に数えられる」という聖書の言葉が成就した。

29

通りすがりの者たちは彼を冒涇し、かわして言った、「はは、神殿を壊して三日で建てる者たちよ。

30 今、自分を救って十字架から下りなさい」。

31

同じように、祭司長たちは、自分たちや律法学者たちの間で彼をあざけり、「彼は他の人々を助けたのに、自分を救うことはできない」と言った。

32

イスラエルの王キリストを、今、十字架から下りさせて、わたしたちが見て信じられるようにしましょう。そして、彼と一緒に十字架につけられた人々もまた、彼をののしった。

33 そして、六時頃には、全地が暗闇に包まれ、九時頃まで続いた。

34 そして、九時頃、イエスは大声で叫んで言われた、「エリ、エリ、ラマ・アサブタニ」。

35 これを聞いてそばに立っていた人たちが、「見よ、彼はエリヤを呼んでいる」と言った。

36

そこで、彼らのひとりが走って、スポンジに酢を入れ、それを葦につけて水をやった、「やめなさい。エリヤが来て彼を倒すかどうか見てみよう」と言った。

37 しかし、イエスは大声で叫んで死んだ。

38 また、神殿の垂れ幕は上から下まで二つに裂けた。

39

彼の向かいに立っていた百人隊長は、彼が死にかけているのを見て言った、「まことに、この人は神の子でした」。

40

また、遠くから見守っていた女たちもいて、その中にはマグダラのマリヤ、小ヤコブとヨセの母マリヤ、

41

彼がガリラヤにいたときに彼についてきて仕えたサロメ、その他にも彼と共にエルサレムに上った多くの者たちがいた。

42 夕方、安息日の前日であったので、

43 アリマタヤのヨセフが来て、やはり高貴な評議員で、彼もまた神の国を待っていた。

彼はあえてピラトのところに行き、イエスの遺体を求めました。

44

しかし、ピラトは自分がすでに死んでいたことに驚き、百人隊長を呼んで、ずっと前に死んでいたのかと尋ねた。

45 そして、百人隊長に尋ねて、その遺体をヨセフに差し出した。

46

彼は亜麻布を買って、それを脱いで亜麻布に包み、岩にくり出された墓に寝かせ、墓の入口の前で石を転がした。

47 しかし、マグダラのマリヤとホセの母マリヤは、彼が寝かされている場所を見た。

16

1 安息日が過ぎると、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤ、およびサロメは、彼に油を注いでくれるように、香料を買った。2 そして、彼らは週の初めの日、非常に早く、太陽が昇る日に墓に来た。3 彼らは互に言った、「だれがわたしたちのために、墓の入口から石を転がしてくれるのでしょうか」。4 彼らが見上げると、石が転がり落ちていた。彼はとても背が高かったからだ。5 そして、墓にはいつ、長い白い衣を着た若者が右に座しているのを見て、驚いた。6 しかし、イエスは彼らに言われた、⁵⁸「恐れることはありません。あなたはナザレのイエス、十字架につけられた方を探しています。彼はよみがえった、彼はここにいない。彼らが彼を寝かせた場所を見よ!7 しかし、行って、彼の弟子たちとペテロに、彼があなたより先にガリラヤに行くと言え。彼があなたに言ったように、そこであなたは彼を見るでしょう。8 そして、彼らは出て行って、墓から逃げた。彼女は震え、怯えながら到着した。そして、彼らは誰にも何も言わなかった。彼らは恐れていたからである。9 10 彼女は行って、彼と共にいた者たち、すなわち悲しみ、泣いていた人々に、このことを告げ知らせた。11 そして、彼らがイエスが生きていて、彼女に現れたと聞いたとき、彼らは信じなかった。12 それから彼は、陸地を歩いているふたりに、別の姿で姿を現した。13 彼らも行って、他の者たちに告げた。そして、彼らも信じませんでした。14 とうとう、十一人の人々が食卓に着いたとき、イエスは姿を現し、彼を見て再び立ち上がった人々を信じなかったために、彼らの不信仰と彼らの心のかたくなさを叱責した。15 イエスは彼らに言った、「全世界に出て行って、すべての生き物に福音を宣傳伝えなさい。16 信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、信じない者は罰せられる。17 しかし、信じる者に続くしは、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しい言葉で語り、18 蛇を追い出し、何か致命的なものを飲んで、彼らを傷つけない。彼らは病人に手を差し伸べ、彼らと一緒にならより良くなるでしょう。19 主は彼らに語りかけた後、天に上げられ、神の右に座した。20 しかし、彼らは出て行って、あらゆる場所で宣傳伝えた。そして、主は彼らと共に働き、それに続くしによって言葉を確証されました。

- 1 すでに多くの人が、私たちの間で起こった物語について語り継いでおり、
2 初めからそれを自分自身で見て、御言葉の奉仕者であった私たちに伝えられた物語を、
3 私もまた、初めからすべてのことを熱心に調査した後、それをあなたがた、
わが高貴なテオフィロスに伝えるのが良いと思った。
それは、あなたが教えられている教義の確固たる基盤を知るためである。
- 5
ユダヤの王ヘロデの時代に、アビヤの修道会の祭司がいて、その名はザカリヤで、その妻はアロンの娘たちで、その名はエリサベツであった。
- 6
しかし、彼らはふたりとも神の前で敬虔であり、主のすべての戒めと定めを責められることなく歩んだ。
- 7 エリサベツは不妊で、二人とも非常に年老いていたので、彼らには子供がいなかった。
- 8 そして、彼が神の前で祭司職を行なっているとき、それが彼の命令であったとき、
9 祭司職の慣習に従って、彼は香を焚くように引き寄せられ、主の宮にはいった。
- 10 民衆はみな外に出て、香の時に祈っていた。
- 11 すると、主の御使いが彼に現れ、香の祭壇の右側に立っていた。
- 12 ザカリヤは彼を見て、恐れおののき、恐れにおののいた。
- 13
しかし、御使は彼に言った、「ザカリヤよ、恐れることはありません。あなたの祈りは聞き届けられました。あなたの妻エリサベツは、ヨハネという名の男の子をあなたに産むでしょう。」
- 14 そして、あなたがたは喜びと喜びとを抱き、多くの人々が彼の誕生を喜ぶであろう。
- 15 彼は主の目には大いなる者となる。
- 彼はぶどう酒や強い酒を飲まず、母の胎内から聖霊に満たされます。
- 16 彼はイスラエルの多くの人々を、その主である神に立ち返らせる。
- 17
彼はエリヤの霊と力とをもって彼の前に出て、父の心を子に、不従順な者を正しい者の知恵に改めさせ、備えた民を主に備えさせる。
- 18 ザカリヤは御使に言った、「どうしてわたしはこれを知ろうか」。
- わたしは年老いており、妻も年老いているからである。
- 19
御使は答えて言った、「わたしは神の前に立つガブリエルです。これらのことをあなたに話すために、あなたに話すために遣わされました」。
- 20 見よ、あなたがたは、これらのことが起こる日まで沈黙し、話すことができないであろう。
- なぜなら、あなたがたは、その季節に成就するわたしの言葉を信じていないからである。
- 21 民はザカリヤを待ち望んでいたが、彼がこんなに長く宮にとどまっていることに驚いた。
- 22
そして、彼が出て行ったとき、彼らに話すことができなかったのも、彼らは彼が神殿で幻を見たことを知った。そして彼は彼らを手招きし、黙ったままでした。
- 23 そして、その務めの時が終わると、彼は自分の家に帰った。
- 24 そして、その日の後、妻エリサベツは身ごもりをして、五か月の間身を隠して言った、「
- 主がわたしを見つめた日々に、わたしに対しては、こうしてなさった。それは、人々がわたしから受けたのを、主がわたしから取り除くためである」。
- 26 そして、六の月に、御使いガブリエルは神によってガリラヤの町、すなわちなザレに遣わされ、
- 27
ダビデの家のヨセフという男と親しい処女のところに遣わされ、その処女の名はマリヤであった。
- 28
すると、御使が彼女のところにきて言った、「最も恵まれた者よ、万歳。主があなたと共におられます!
- 29 しかし、彼女は彼の言うことに恐れおののき、「これは何という挨拶だろう」と思いました。
- 30 御使は彼女に言った、「マリヤよ、恐れることはありません。
- あなたは神に恵みを得たのですから。
- 31 見よ、あなたがたはひとりの男の子をめぐして、その名をイエスとする。

32 彼は大きな者となり、いと高き方の子と呼ばれ、主なる神は彼に父ダビデの位を賜り、
33 彼はとこしえにヤコブの家の王となり、その王国に終わりはない。
34
そこでマリヤは御使に言った、「どうしてそんなことがあり得ますか。わたしはだれも知らないのですから」。
35 御使は答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたを覆うでしょう。
36
見よ、あなたの親戚であるエリサベツもまた、自分と同じ年頃の息子を身ごもっており、今、不妊と言われる六か月目に歩いています。
37 神には、不可能なことは何もありません。
38
マリヤは言った、「見よ、わたしは主のはしためです。あなたの言葉のとおり、わたしにそれを行わせてください」。そして、天使は彼女から去った。
39 しかし、マリヤはその日、起きて、山に行つてユダの町に行き、
40 ゼカリヤの家に来て、エリサベツに挨拶した。
41 エリサベツがマリヤの挨拶を聞いたとき、その子は彼女の胎内で飛び跳ねた。
エリサベツは聖霊に満たされ、
42
大声で叫んで言った、「女たちの中であなたはさいわいです。あなたの胎の実はいさいわいです」。
43 また、どうしてわたしの主の母がわたしのところに来るのか。
44 見よ、あなたがたの挨拶の声を聞いたとき、その子はわたしの胎内で喜びに飛び跳ねた。
45 おお、信じる者は幸いである。主があなたがたに語られたことは、成就するからです。
46 マリヤは言った、「わたしの魂は主を高くし、
47 わたしの霊は救い主である神を喜びます。
48 彼は、そのしもべの卑しさを見たからである。
見よ、これからは、私の子供たちのすべての子供たちが、私を祝福されと呼ぶでしょう。
49 彼は、力強く、その名を聖なる者として、わたしのために大いなることをしてくださった。
50 そして、彼の憐れみは、彼を恐れる者たちと共に永遠に続く。
51 彼は腕で力を行使し、心に誇りを持つ者を散らします。
52 彼は力ある者をその王座から投げ捨て、卑しい者を高くする。
53 彼は飢えた者を財で満たし、金持ちを空っぽにしておく。
54 彼はいつくしみを覚えて、しもベイスラエルを助け、
55 彼がわれわれの先祖、アブラハム、および彼の子供たちに永遠に語りかけたように。
56 マリヤは三か月ほど彼女と一緒に過ごし、それから家に帰った。
57 そして、エリサベツが出産する時が来て、彼女は男の子を産んだ。
58
彼女の隣人や親戚たちは、主が彼女に大いなる憐れみを示されたことを聞いて、彼女と共に喜んだ。
59 そして、八日目に彼らが来て、その幼児に割礼を施し、父ザカリヤにちなんで名付けた。
60 しかし、母は答えて言った、「決して、彼の名はヨハネとしよう」。
61 彼らは彼女に言った、「あなたの家族には、そのように呼ばれる人はだれもいません。
62 そして、彼らは父を招き入れた。
63 彼は石板を求めて、「彼の名はヨハネ」と書きしるした。そして、彼らは皆驚いていました。
64 すると、すぐに彼の口と舌が開かれ、彼は語り、神をほめたたえた。
65
そして、すべての隣人に恐れが起こり、このすべての話がユダヤのすべての山々に知らされました。
66 それを聞いた者はみな、心に刻んで言った、「あの子はどうなると思うか」。
主の手が彼と共にあったからである。
67 その父ザカリヤは聖霊に満たされて預言した、「イスラエルの神、主はほむべきかな。彼は彼の民を訪れて贖い、
69 そして、彼のしもべダビデの家に救いの角を立て、
70 彼が彼の聖なる預言者たちの口から昔語ったように、
71 彼は私たちを敵と私たちを憎むすべての人々の手から救い出し、
72 そして私たちの先祖に憐れみを示し、彼の聖なる契約を思い出した
73 そして、彼がわたしたちの父アブラハムに誓った誓い、
74 われわれが敵の手から贖われ、生涯を通じて恐れることなく彼に仕え、75 彼にとって喜ばれる

聖さと正義とをもって、75 われわれに与える誓いである。
76 そして、あなたがた、幼な子たちは、いと高き方の預言者と呼ばれるであろう。77 主の民に
救いの知識を与え、彼らの罪を赦し、
78 天からの昇りが私たちを訪れた私たちの神の優しい慈悲によって、
79 暗闇と死の影に座っている人々に現れ、私たちの足を平和の道に立たせるために、
あなたは主の前に行きます。
80 そして、その幼児は成長し、霊的に強くなった。
彼は荒野にいたが、それはイスラエルの人々の前に出るまでであった。

2¹

さて、その時、カエサル・アウグストゥスから、全世界を尊敬すべきであるという命令が発せられた。
2
そして、この見積もりは最初のものであり、キュレニオスがシリアの総督であったときになされた。
3 そして、すべての人が評価されるために行き、各自の自分の町に帰っていった。
4
ヨセフはまた、ガリラヤからナザレの町からユダヤの地へ行き、ダビデの家系と家系であったため、
ベツレヘムと呼ばれるダビデの町に出発
した。
6 彼らがそこにいたとき、彼女が出産する時が来た。
7 彼女は長男を産み、彼をくるみで包み、インフルエンザにかかった。
8 また、同じ地域の畑の薔のそばに羊飼いがいて、夜は彼らの群れの世話をしていた。
9
すると見よ、主の御使いが彼らのところに来て、主のまばゆいばかりの光が彼らを照らし、彼らはひ
どく恐れた。
10 すると、御使は彼らに言った、「恐れることはありません。
見よ、わたしはあなたがたに大いなる喜びの福音を携え、それはすべての人に来るであろう。
11 きょう、ダビデの町で、救い主、すなわち、主キリストが、あなたがたに生まれました。
12
そして、これはしるしです:あなたは、子供がくるみに包まれて飼う葉桶に横たわっているのを見つけ
るでしょう。
13 するとすぐに、御使いと共に、天の軍勢の群衆が現れて、神をほめたたえ、
14 いと高きところに神に栄光あれ、地上に平和を、人々に善意を」と言った。
15
そして、御使いたちが彼らを離れて天に行ったとき、羊飼いたちは互いに言った、「さあ、ベツレヘ
ムに行って、主が私たちに知らせてくださった話を見ましょう」。
16
そこで彼らは急いで来て、マリヤとヨセフが飼う葉桶に横たわっており、子供が飼う葉桶に横たわっ
ているのを見つけた。
17 そして、彼を見ると、この子が自分たちに話した言葉を広めた。
18 そして、それが以前に来たすべての人々は、羊飼いたちが彼らに語った言葉に驚いた。
19 しかし、マリヤはこれらの言葉をすべて心に留め、心に動かした。
20
羊飼いたちは引き返して、言われたとおりに聞いたり見たりしたことのすべてについて、神をほめた
たえ、ほめたたえた。
21
そして、八日が経ち、その子が割礼を受けなければならなくなったとき、彼の名は、胎内で身ごもる
前から、天使が呼んだようにイエスと呼ばれた。
22 そして、モーセの律法に従って清めの日が終わると、彼らは彼をエルサレムに連れて行き、
23 主の律法に書かれているように、「すべての男の子の長子を主に聖なる者と呼びなさい」
24 主の律法で言われているように、彼らが犠牲をささげるように、彼を主にささげた。
「カメの鳩のペアまたは2羽の若い鳩」。
25
見よ、エルサレムにシメオンという人がいて、その人は敬虔で義人で、イスラエルの慰めを待ってい

て、聖霊が彼と共におられた。

26

そして、彼は聖霊から、まず主のキリストを見なければ、死を見るべきではないという答えを受けていた。

27 彼は御霊にそそのかされて神殿にはいった。

そして、両親が律法に従って彼のためにするために幼子イエスを神殿に連れてきたとき、

28 彼は彼を腕に抱き、神をほめたたえて言った、「

29 主よ、あなたが言ったように、今、あなたのしもべを安らかに行かせてください。

30 わたしの目は、

あなたがすべての国民の前に備えてくださったあなたの救い主、 32

異邦人を啓く光、そしてあなたの民イスラエルをほめたたえる光を見たからである。

33 父と母は、彼について言われたことに驚いた。

34

シメオンは彼らを祝福し、母マリヤに言った、「見よ、この人はイスラエルの多くの人々の没落と蜂起と、矛盾するしるしのために定められています。

35 そして、剣があなたの魂を貫き、多くの心の思いが明らかになるでしょう」。

36

また、アセルの家系に属するファヌエルの娘アンナという女預言者がいて、非常に年老いていて、処女になってから七年後に夫と暮らし、

37 今は八十四歳の未亡人で、神殿から出たことはなく、昼も夜も断食して神に仕えていた。

38

彼女もまた同じ時に来て、神をほめたたえ、エルサレムの贖いを待ちわびるすべての人々に神について語った。

39 そして、主の律法に従ってすべての事を終えると、ガリラヤ、自分たちの町ナザレに戻った。

40 しかし、その子は成長し、知恵に満ちて強くなり、神の恵みが彼と共にありました。

神殿にいた12歳のイエス

41 そして、彼の両親は毎年復活祭のためにエルサレムに行った。

42 イエスが十二歳のとき、彼らは祭りの習慣に従ってエルサレムに上って行った。

43

そして、その日が終わり、彼らが再び家に帰ったとき、幼子イエスはエルサレムに残っていたので、彼の両親はそれを知らなかった。

44 しかし、彼らは彼が仲間の中にいると思い、一日の旅をして、親戚や知人の中に彼を探した。

45 そして、彼を見つけられなかったので、彼らは再びエルサレムに行って彼を捜した。

46

そして、三日後、彼らは彼が神殿の教師たちの真ん中に座って、彼らの話を聞き、尋ねているのを見つけた。

47 彼の話聞いた者はみな、彼の理解と答えに驚いた。

48 彼らは彼を見て驚いた。

母は彼に言った、「息子よ、なぜ私たちにこんなことをしたのですか」。

見よ、あなたの父と私は苦痛をもってあなたを求めました。

49 イエスは彼らに言った、「あなたがたは、わたしを捜し求めたのは、いったい何なのですか。

君達は、私が父の事柄の中にいなければならないことを知らないのか。

50 そして、彼らはイエスが自分たちに語った言葉を理解できなかった。

51 そして、イエスは彼らと共に下って行き、ナザレに来て、彼らに服従した。

そして、彼の母親はこれらすべての言葉を心に留めていました。

52 イエスは、神と人々と共に、知恵と背丈と恵みを増した。

3

1 ティベリウス・カエサル¹の治世第十五年、ポンテオ・ピラトがユダヤの総督であり、ヘロデ²がガリラヤの王子であり、その兄弟フィリッポスがイトゥライアの王子であり、トラコニティスとリュサニアの地域ではアビレネの王子であったとき、

2 アンナスとカヤパが大祭司であったとき、神の命令がザカリヤの子ヨハネに下された。砂漠で。

3 彼はヨルダン川のほとりの全地にきて、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝え、

4 預言者イザヤの言葉に記されているように、「荒野に、ある説教者の声がある。『主の道を整え、その道を正せ』。

5 すべての谷は高く上げられ、すべての山と丘は低くされ、曲がったものは正しく、でこぼこしたものはまっすぐな道となる。

6 そして、すべての肉なる者は、神の救い主を見るであろう。

7 ヨハネは、彼からバプテスマを受けるために出かける人々に言った、「まむしたちよ、だれがあなたがたに、来るべき怒りから逃れることを示したのですか」。

8 心に留めて、正しい悔い改めの実を結び、「わたしたちはアブラハムを父としている」と決心してはならない。あなたがたに言うておくが、神はこれらの石からアブラハムのために子供を育てることができる。

9 斧はすでに木の根元に置かれており、良い実を結ばない木はすべて切り倒されて火に投げ込まれます。

10 民はイエスに尋ねて言った、「わたしたちはどうしたらよいのでしょうか」。

11 イエスは答えて言われた、「上着が二つある者は、持っていない者に与えなさい。また、食べ物がある者は、そのようにしなさい」。

12 取税人たちもバプテスマを受けるために来て、彼に言った、「先生、私たちはどうしたらよいのでしょうか」。

13 イエスは彼らに言われた、「あなたがたに定められた以上のものを求めてはならない。

14 そこで、兵士たちもイエスに尋ねて言った、「どうしたらよいのでしょうか」。そして、彼らに言った、「だれも暴力を振るったり、不正をしたりしてはならない。そして、あなたがたの報酬に満足しなさい」。

15 しかし、民が期待に満ち溢れ、みな心の中でヨハネのことを考え、もしかしてキリストであるかどうかを考えていたとき、

ヨハネは答えて言った、「わたしは水でバプテスマを授けますが、わたしよりも強い者がいて、その人の靴の紐を解くほどきません。その人が聖霊と火とであなたがたにバプテスマを授けます」。

17 彼の手には縦糸のシャベルがあり、彼は脱穀の床を掃き、小麦を自分の納屋に集め、もみ殻を消すことのできない火で焼き尽くす。

18 また、他の多くのこととともに、彼は人々に勧め、彼らに救いを告げ知らせた。

19 四人の王子ヘロデは、兄の妻ヘロデヤとヘロデが行ったすべての悪のために、彼から叱責されたので、

20 ヨハネをも投獄した。

21 そして、すべての民がバプテスマを受け、イエスもバプテスマを受けて祈ったとき、天が開かれ、

22 聖霊が鳩のように彼の上に下り、天から声がして言った、「あなたはわたしの愛する子です。あなたにあって、わたしは喜んでいます」。

23 イエスが始められたとき、三十歳くらいで、エリの子であるヨセフの子であり、

24 マタイの子であり、レビの子であり、メルキの子であり、ヤンナイの子であり、ヨセフの子であり、

25 マタテリヤの子であると考えられていた。彼はアモスの息子であり、ナホムの息子であり、エズリの息子であり、ナガイの息子であり、⁶³

26 彼はマースの息子であり、マタティアスの息子であり、シメイスの息子であり、ヨシックスの息子であり、ヨダの息子であり、

27 ヨハナンの息子であり、レザの息子であった。彼はゼルバベルの息子であり、彼はシールティエルの息子であり、彼はネリの息子であり、

28 彼はメルキの息子であり、アッディの息子であり、コサムの息子であり、エルマダムの息子であり、

29 イエスの息子であり、エリゼの息子であり、エホリムの息子であった。彼はマタテの子で、マタテはレビの子で、

30 シメオンの子で、ユダの子で、ヨセフの子で、ヨナムの子で、エリアキムの子で、**31** メレアの子で、メレアの子で、メンナの子で、マタタの子で、ナタンの子で、マッタタの子で、マタタの子で、マタテの子で、マテオンの子で、マテオンの子で、シメオンの子で、ユダの子で、ヨセフの子で、ヨセフの子で、エリアキムの子で、

31 メレアの

32 彼はエッサイの子、オベデの子、ボアズの子、サルマの子、ナクションの子、

33 アミナダブの子、アドミンの子、アルニの子、ヘズロンの子、ペレスの子、彼はユダの子であり、

34 彼はヤコブの子であり、彼はイサクの子であり、彼はアブラハムの子であり、彼はタラの子であり、彼はナホルの子であり、

35 彼はセルグの子であり、彼はリージョスの子であり、ペレグの子であり、エベルの子であり、彼はシェラの子であった。

36 彼はケナンの子、アルパクシャドの子、セムの子、ノアの子、レメクの子、

37 メトセラの子、エノクの子、エノクの子、ヤレドの子、マハラレルの子、ケナンの子、

38 エノシュの子、38 エノシュの子、彼はセツの息子であり、アダムの子であり、神の息子でした。

1

4

しかし、イエスは聖霊に満たされて、ヨルダン川から再び来られ、御霊に導かれて荒野に行かれ、2 悪魔に四十日間試みられた。その日は何も食わず、それが終わると空腹になりました。3

悪魔は彼に言った、「もしあなたが神の子なら、この石に言いなさい。そうすれば、それがパンになりますように」。4

イエスは彼に答えた、「『人はパンだけで生きることはできない』と書いてある」。5

悪魔は彼を連れてきて、すぐに全世界のすべての王国を見せて言った、「このすべての力を、わたしはあなたに与えます。その栄光とを。

それは私に与えられたものであり、私が望む者にはそれを与えるでしょう。7

だから、もしあなたが私を拝みたいのなら、それはすべてあなたのものになるでしょう。8

イエスは彼に答えて言われた、「『あなたがたは、あなたの神、主を拝み、彼だけに仕えなさい』と書いてある」。9

そして、彼をエルサレムに連れて行き、神殿の頂点に立たせて言った、「もしあなたが神の子であるなら、ここから身を投げなさい。10

「彼はその御使いたちに命じて、あなたがたを守らせる」と書いてあるからである。11

彼らはあなたをその手で運び、あなたが足を石にぶつけないようにする。」12

イエスは答えて言われた、「『あなたがたの神、主を試みてはならない』とされている」。13

そして、悪魔はすべての誘惑を終えると、しばらくの間、彼から離れていった。

ガリラヤで働きます。ナザレでの説教 14

そして、イエスは御霊の力でガリラヤに戻り、彼の知らせは周囲のすべての場所に響き渡った。15

そして、彼らの会堂で教え、みんなからほめられた。16

そして、彼は育てられたナザレに来て、安息日に自分の習慣に従って会堂に行き、起きて読みたいと思った。17 それから預言者イザヤの書が彼に手渡された。

そして、その本を開くと、そこには「主の御霊が私と共におられる。

なぜなら、主は私に油を注いで、貧しい人々に福音を宣べ伝えさせたからである。

彼は私を遣わして、捕虜たちに彼らが解放されるように説き、盲人に彼らが見えるように、そして抑圧された人々に彼らが自由に自由になるように説教し、主の恵みの年を宣言するために。20

そして、その書物を書き終えると、それをしもべに渡してすわった。

そして、会堂のすべての目が彼に注がれていました。21

イエスは彼らに言い始めた、「きょう、聖書のこの言葉があなたがたの耳に成就します」。22

そして、彼らはみなイエスを証しし、イエスの口からこれらの恵みの言葉が出たことに驚いて、「これはヨセフの子ではないか」と言った。23

イエスは彼らに言った、「あなたがたは、わたしに『医者よ、自分を助けなさい』という箴言を言うでしょう」。

カペナウムで起こったことは、なんと素晴らしいことか、私たちは聞いたことでしょう。

あなたの故郷の街でも同じことをしてください。24

彼は言った、「まことに、あなたがたに告げます。

自分の国では、どんな預言者も何の価値もありません。25

しかし、あなたがたに言うのは、エリヤの時代には、イスラエルには多くのやもめがいて、天が三年六か月閉じていて、全地で大いなる喜びがあったとき、26

エリヤは、シドンびとの地のザレファテのやもめのほか、彼らの誰にもつかわれなかった。27

預言者エリシャの時代には、多くのらい病人がイスラエルにいたが、スリヤのネイマンのほか、清められなかった者は一人もいなかった。28

会堂にいたすべての人々は、これを聞いて怒りに駆られたので、29

彼らは立ち上がって、彼を町から押し出し、彼を自分たちの町の建てられている山の端に連れて行き

、彼を投げ落とした。30 しかし、イエスは彼らを通り抜けられた。31
そして、ガリラヤの町カペナウムにきて、安息日に彼らに教えた。32
彼らはイエスの教えに驚いた。彼は権威を持って説教したからである。33
その会堂には、汚れた霊に取り憑かれた人がいた。彼は大声で叫びました、
34
「やめてください、ナザレのイエス様、あなたは私たちに何を望んでいますか。あなたは私たちを破壊するために来ました。私はあなたが誰であることを知っています:神の聖なる者。35
イエスは彼を叱りつけて言われた、「黙って彼から出て行きなさい」。
すると、悪霊は彼を彼らの中に投げ込み、彼から追い出して、彼に害を及ぼさなかった。36
すると、彼らはみな恐れに襲われ、互いに言い合って言った、「これは何だ」。
彼は権威と力で汚れた霊を命じ、彼らは出て行きます。37
彼の知らせは、周囲の国のすべての場所に響き渡った。38 彼は会堂を出て、シモンの家に着いた。
そして、シモンの義母は高熱を出していたので、彼らは彼に彼女を懇願しました。39
彼は彼女にひれ伏して、熱を命じたが、熱は彼女を去った。
そしてすぐに彼女は立ち上がって彼らに給仕しました。40
日が沈むと、さまざまな苦しみを抱えて病んでいるすべての人々が、彼らを彼のところに連れて来た。
そして、その一人一人に手を置いて、いやした。41
すると、多くの悪霊たちが出て来て、「あなたは神の子です」と叫びました。
そして、彼らを脅かし、話させようとはしなかった。
彼らは彼がキリストであることを知っていたからである。42
そして、夜が明けると、彼は寂しい所へ出かけた。
民は彼を捜し求めたので、彼のもとに来て、彼が自分たちから離れないようにしっかりと抱きしめた。
。43
イエスは彼らに言った、「わたしは他の町々にも神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。
これが私が遣わされた目的だからです。44 彼はユダヤの会堂で説教した。

5¹

そして、民が神の言葉を聞こうと彼のもとに群がっていたとき、彼がガリラヤ湖のほとりに立っておられ、
2 海辺に二隻の船が横たわっているのを見て、漁師たちは外に出て網を洗っていた。
3 それから彼はシモンの者の船に乗り込み、彼に少し離れた地に連れて行くように頼んだ。
そして彼は座って、船から人々を出しました。
4
彼は話し終えて、シモンに言った、「高いところに上って網を投げなさい。そうすれば、行軍することができます」。
5
シモンは答えて言った、「先生、私たちは一晩中働いて何も捕まえませんでした。しかし、あなたの言葉に従って網を投げます」。
6 こうすると、彼らは大勢の魚を捕まえ、網が裂け始めた。
7 そして、他の船に乗っていた仲間たちに、助けに来るように手招きした。
そして、彼らは来て、両方の船をいっぱいにしたので、沈んでしまいました。
8
ペテロはこれを見て、イエスの足もとにひれ伏して言った、「主よ、わたしから出て行ってください」。
私は罪深い人間です。
9 彼と、彼と一緒にいたこの釣り遠征にいたすべての人々が、恐怖に襲われた。
10 ゼベダイの子ら、シモンの仲間であるヤコブとヨハネも同様である。
イエスはシモンに言われた、「恐れることはありません。
これからは、お前たちは男を捕まえることになるからだ。
11 そして、彼らは陸路で船を率いて、すべてのものを捨てて彼に従った。
12 彼が町の一つにいたとき、見よ、らい病にかかったひとりの人がいた。
彼はイエスを見ると、ひれ伏して「主よ、もしよろしければ、私をきよめてください」と懇願しました。
13 彼は手を伸ばして彼に触れて言った、「わたしがやります。きよめられてください」。

そしてすぐにハンセン病は彼を去りました。

14 そして、だれにも言わないようにと命じられた。

しかし、行って祭司に自分を見せ、モーセが命じたように、彼らへの証しとして、あなたの清めのために犠牲を捧げなさい。

15

しかし、彼の知らせはますます広まり、多くの人々が集まって彼を聞き、彼を通じて彼らの病気を癒しようとした。

16 しかし、彼は荒野に逃げて祈った。

17

ある日、彼が教えていると、ガリラヤとユダヤのすべての場所とエルサレムから来たパリサイ人や律法学者たちが座っていた。そして、主の力が病人を癒すために働いた。

18

すると見よ、ある人々が痛風にかかっている人を寝床に連れてきて、彼を連れてきて、彼の前に寝かせようとした。

19

そして、彼を民の前に連れて行く方法がわからなかったので、彼らは屋根に登り、イエスの前に床を彼らの真ん中に置いて、彼を瓦を通して降ろした。

20 そして、彼らの信仰を見て言った、「人よ、あなたの罪は赦されました。

21 律法学者たちやパリサイ人たちは、「冒涇を語る者はだれなのか」と言い始めた。

神以外に誰が罪を赦すことができるでしょうか？

22

しかし、イエスは彼らの思いを見て、彼らに答えて言われた、「あなたがたは心の中で何を考えていますか。

23

「あなたの罪は赦されました」と言うのと、「起きて歩む」と言うのとでは、どちらが簡単でしょうか。

24

しかし、人の子が地上の罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために、彼は痛風にかかっている人に言った、「あなたがたに言うておく。起きて、床を持ち上げて、家に帰りなさい」。

25

すると、イエスはすぐに彼らの目の前で立ち上がり、横たわっていたベッドを持ち上げて、家に帰って神をほめたたえた。

26 彼らはみな驚いて、神をほめたたえ、恐れて、「きょう、不思議なものを見た」と言った。

27

それから彼は出て行くと、レビという取税人が通行所に座っているのを見て、「わたしについてきなさい」と言った。

28 彼はすべてのものを捨てて、立ち上がって彼について来た。

29

レビは彼の家で彼のために盛大な宴会を用意し、多くの取税人や他の人々が彼と一緒に食卓に着いた。

30

パリサイ人とその律法学者たちはつぶやいて、弟子たちに言った、「なぜ、あなたがたは取税人や罪人と一緒に飲み食いするのですか」。

31 イエスは答えて言われた、「健康な者には医者が必要ではなく、病人が必要なのです。

32 わたしが来たのは、義人ではなく、罪人を悔い改めに招くためである。

33

彼らはイエスに言った、「ヨハネの弟子たちは、パリサイ人の弟子たちと同じように、よく断食して祈りを捧げますが、あなたがたの弟子たちは飲み食いします」。

34

しかし、イエスは彼らに言われた、「花婿が彼らと一緒にいる間は、新郎を断食させることはできない」。

35 しかし、花婿が彼らから取り去られる時が来て、その日、彼らは断食する。

36

そして、彼らにたとえ話をした、「だれも、新しい衣服からぼろきれを引き裂いて古い衣服に繕ったり、新しい衣服を引き裂いても、新しいもののぼろきれが古いものに合わない人はいない。

37

また、だれも古いぶどう酒に若いぶどう酒を入れないと、若いぶどう酒が皮を破ってこぼれ、皮が朽ちてしまう。

38 しかし、その若いぶどう酒は新しい皮袋に注がれるであろう。

39

そして、古いものを飲む者は、新しいものを欲しがらない、なぜなら彼は「古いものは穏やかである」と言うからである。

6

1そして、安息日のある日、彼がトウモロコシ畑を通っていた。弟子たちはとうもろこしの穂を摘み取り、手でこすって食べた。2パリサイ人たちが言った、「なぜ、安息日に不法なことをするのですか」。3イエスは答えて言われた、「あなたがたは、ダビデが空腹のときに何をしたか、また、彼と共にいた人々が何をしたか、読んでいないのか」。4彼は神の家にはいつて、供え物のパンを取り、彼と共にいた人々にも食べて与えた。それは、祭司たちだけが食べることを許されなかったのか?5イエスは彼らに言った、「人の子は安息日にも主です」。6さて、別の安息日に、彼は会堂へ行って教えた。そして、右手が枯れた男がいました。7しかし、律法学者たちとパリサイ人たちは、彼に対して何かを見つけるために、彼が安息日にも癒されるかどうかを見守っていた。8しかし、イエスは彼らの考えを聞いて、手のひらをくたに言った、「起きて出て来なさい」。そして彼は立ち上がり、歩み寄った。9イエスは彼らに言われた、「あなたがたに尋ねる。安息日に善を行うことと悪を行うことは正しいことであろうか」。命を守るため、それとも台無しにするため?10彼は彼らをまわりと見て、その人に言った、「手を伸ばしなさい」。そして彼はそうし、彼の手は再び彼に持って来られました。11しかし、彼らはすっかり愚かになり、イエスに何をしようとしているのかを一緒に話し合った。12そして、彼が祈るために山に行こうとしていたとき、その時が来ました。そして、彼は神に祈りながら一晩滞在しました。13そして、夜が明けると、彼は弟子たちを呼んで、そのうちの十二人を選び、彼らを使徒とも呼んだ。14シモンはペテロとも呼ばれ、その兄弟アンデレとも呼んだ。ジェームズとジョン。フィリップとバーソロミュー。15マシューとトーマス;アルフェウスの息子ヤコブとシモンはゼロテスと呼ばれた。16ヤコブの子ユダと、後に彼を裏切ったイスカリオテのユダ。17イエスは彼らと一緒に下って行き、平地に立った。彼の周りには、彼の弟子たちの群れと、ユダヤの全地、エルサレム、ツロとシドンの海岸から、彼の話を聞きに来た大勢の民がいて、18彼らは彼の話聞き、彼らの病気を癒すために来た。そして、汚れた霊に駆り立てられた人々は癒されました。19そして、すべての民が彼に触れたいと思った。彼から力が出て、すべてを癒したからです。20イエスは弟子たちに目をあげて言った、「貧しいあなたがたは幸いです。神の国はあなたのものだからです。21ここで飢えているあなたがたは、さいわいである。あなたは満たされるでしょう。ここで泣く涙を流す汝らは幸いです。あなたは笑うでしょう。22人々があなたを憎み、追い出し、叱責し、人の子のためにあなたの名を悪として拒むとき、あなたは幸いです。23その日を喜び、喜びなさい。見よ、あなたの報酬は天で大きいからです。彼らの先祖たちも預言者たちに対してもそうでした。24しかし、それに対して、金持ちの皆さんはわざわざいす。なぜなら、あなたは快適さを失ったからです。25ここで満足しているあなたがたは、わざわざいである。お前は飢えるだろう。ここで笑うあなたたちは災いです!あなたは泣いて泣くでしょう。26もし皆があなたのことを良く言うなら、あなたがたはわざわざいである。彼らの先祖たちも、偽預言者たちに対してもそうでした。27しかし、聞いているあなたがたに言うが、敵を愛しなさい。あなたを憎む人々に善を行え。28あなたがたをのろう者を祝福しなさい。あなたを怒らせる人のために祈りましょう。29また、あなたがたの片方の頬を叩く者は、もう片方の頬も差し出せ。そして、あなたの外套を取る者は、彼にあなたの上着を禁じてはならない。30あなたがたに求める者は、だれでも彼に与えなさい。そして、あなたのものを奪う者は、二度とそれを求めてはならない。31そして、あなたが人々にしてもらいたいように、彼らにもしなさい。32もしあなたを愛する者を愛するなら、どんな感謝を抱くでしょうか。なぜなら、罪人はまた、自分の友人を愛しているからです。33もし、あなたが恩人に善を行なうなら、何の感謝がありますか。罪人も同じことをします。34もし、あなたがたが受けたいと願う人々に貸すなら、どんな感謝を抱くであろうか。罪人もまた、罪人に貸し、彼らが再び同じものを取りことができるようにするためです。35むしろ、敵を愛しなさい。見返りを何も望まないところで善行し、貸し給えば、報酬は大きくなり、いと高き方の子となる。彼は恩知らずな者や邪悪な者に親切だからです。36あなたの父が慈悲深いように、憐れみ深くありなさい。37そして、さばいてはならない、そうすれば、あなたがたはさばかれることはない。非難してはならない、あなたは非難されない。赦せば、あなたは赦されるでしょう。38祈りなさい、そうすれば、それはあなたがたに与えられます。いっぱい、押されて、揺さぶられ、あふれ出る量があるあなたの胸に入れられます。なぜなら、あなたが測定するまさにその尺度で、あなたは再び測定される

からです。39 また、彼はまた、たとえを彼らに話しました、「盲人が盲人に道を示すことができるか」。二人とも穴に落ちないのでは?40 弟子は主人より上にはいない。弟子が完璧であれば、彼は彼の主人のようです。41 しかし、なぜあなたは兄弟の目には斑点が見え、自分の目には光線が見えないのですか。42 どうしてあなたは兄弟に、「兄よ、じっとしていなさい。わたしがあなたの目から斑点を取り除きます。そうすれば、あなた自身は自分の目にその光線を見ることなくなくなります」と言えるでしょうか。偽善者め、まず自分の目からビームを取り除き、次に兄弟の目から斑点を取り除くように見なさい。43 腐った実を結ぶ良い木も、良い実を結ぶ腐った木もない。44 すべての木は、それ自身の果実によって知られている。なぜなら、人はいばらからいちじくを摘むのではなく、生け垣からぶどうを摘むこともしないからです。45 善良な人は、自分の心の善い宝から良いものを生み出す。そして、悪人は彼の心の邪悪な宝物から悪を引き出します。心が満たされている人には、口があふれ出します。46 しかし、なぜあなたはわたしを「主よ、主よ」と呼び、わたしの言うとおりにしないのですか。47 だれでもわたしのところに来て、わたしの言葉を聞いて、それを行う者は、彼がどんな人かを、わたしはあなたがたに示す。48 彼は家を建て、深く掘り、岩の上に土台を築いた人のようだ。しかし、水が溢れてくると、川が家を引き裂き、動かすことができなくなりました。それはよく建てられていたからです。49 しかし、聞かず、行わない者は、土台のない地に家を建てた人のようだ。川が彼を引き裂き、すぐに落ち、家は大きく落ちました。

7 1 イエスは民に語り終えた後、カペナウムに行った。2 すると、彼がふさわしいと考えていた百人隊長のしもべは、病気で死んでしまった。3 しかし、イエスのことを聞くと、ユダヤ人の長老たちをつかわして、来て、しもべを癒してくれるように頼んだ。4 しかし、彼らがイエスのもとに来たとき、彼らは熱心に彼に懇願し、「彼はあなたが彼にこれを見せるにふさわしい。5 彼は私たちの民を愛し、私たちのために会堂を建ててくださったからです。6 しかし、イエスは彼らと共にいった。しかし、彼が家からそう遠くないところにいたとき、百人隊長は彼に友人を遣わして言いました、「ああ、主よ、心配しないでください。私はあなたが私の屋根の下に入る資格がありません。7 それゆえ、わたしは自分があなたがたのところに来るにふさわしいとは思わなかった。しかし、一言話せば、私のしもべは癒されます。8 わたしもまた、権威に服従する者であり、わたしの下には兵士がいる。そして、私は一人に「行け!」と言います。だから彼は行く。そしてその一方で、ここに来てください! だから彼は来る。そして、私のしもべに「これをしなさい」と言いました。だから彼はそれをやる。9 しかし、イエスはこれを聞いて驚いて、振り返って、自分に従う人々に言った、「あなたがたに言うておくが、わたしはイスラエル全土でそのような信仰を見いだしたことはない。10 使者たちが再び家に帰ると、そのしもべはよくいた。11 そして、彼はナインという町に行った。そして、彼の弟子たちは彼と多くの人々と一緒に行きました。12 彼が町の門に近づくと、見よ、死んだ男が運び出された。それは彼の母の一人息子で、彼女はやもめであった。そして、街から多くの人々が彼女と一緒に行きました。13 主は彼女を見て、彼女を憐れんで、「泣かないで」と言った。14 彼がきて棺に触れると、担ぎ手たちは立っていた。そして彼は言いました、「若者よ、君に言う、起きなさい」。15 死んだ男は立ち上がって話し始めたので、それを母に渡した。16 そこで、彼ら全員が恐れに襲われ、彼らは神をほめたたえて言った、「わたしたちの間に大いなる預言者が現れたので、神はその民を訪ねた」。17 彼についてのこの言葉は、ユダヤの全地と周辺すべての国々に響き渡った。18 弟子たちは、これらのことをみなヨハネに告げた。ヨハネはふたりの弟子を呼び寄せ、19 彼らを主につかわして言った、「あなたが来る者ですか。それとも、別の者を待ちましようか」。20 そして、これらの人々がイエスのところに来て言った、「バプテスマのヨハネが、わたしたちをあなたがたのところにつかわして言った。『あなたがたは、来る者か。それとも、わたしたちは別の者を待つべきか』と。21 そしてその時、彼は多くの人を病気や疫病や悪霊から癒し、多くの盲人に視力を与えた。22 イエスは答えて言われた、「行って、ヨハネに見聞きたことを伝えなさい。盲人は見、足の不自由な人は歩き、らい病人はきよめられ、耳の聞こえない人は耳が聞こえず、死んだ人はよみがえり、貧しい人は福音を宣べ伝えられます。24 しかし、ヨハネの使者たちが去ったとき、イエスはヨハネの民に語り始めた、「なぜ、荒野に出て見ているのですか。風に動かされるリードを見たかったの?25 それとも、何を見に行ったのですか。柔らかい服を着た男が見たかったの? 見よ、美しい衣服を身にまとい、贅沢に暮らす人々は、王宮にいるのです。26 それとも、何を見に行ったのですか。預言者に会いたかったのですか? はい、彼こそが預言者以上の存在です。27 彼は、「見よ、わたしはあなたの前に使者をつかわす。この使者は、あなたの前にあなたの道を整える」と書かれている者である。28 あなたがたに告げるが、女から生まれた者の中には、ヨハネより偉大な者はいない。しかし、神の国で最も小さい者は、彼よりも偉大である。29 そして、彼の話を聞いたすべての人々と取税人たちは、神に同意し、ヨハネのバプテスマによってバプテスマを受けた。30 しかし、パリサイ人や律法学者たちは、神が自分たちに意図されたことを軽蔑し、彼からバプ

テスマを受けなかった。31 わたしは、この世代の人々をだれと比較すればいいのか、また、彼らはだれに似ているのか。32 彼らは、市場に座って互いに呼びかけ合う子供のようなものです、「私たちはあなたのために遊んだのに、あなたは踊ったのではありません。私たちはあなたに文句を言いましたが、あなたは泣いていません。33 バプテスマのヨハネが来て、パンを食べず、ぶどう酒も飲まなかった。あなたは「彼は取り憑かれています」と言います。34 人の子が来て、飲み食いをした。あなたは「見よ、人間は食いしん坊でワインを飲む人で、取税人と罪人は友だ」と言います。35 それなのに、知恵はすべての彼女の子供たちによって正当化されました。36 パリサイ人のひとりが、彼と一緒に食事をするように頼んだ。そして、パリサイ人の家にはいつて、食卓に着いた。37 すると見よ、その町に罪人の女がいた。彼がパリサイ人の家の食卓に座っていると聞くと、彼女は香油の入ったグラスを持ってきて、彼の後ろの足元に立って泣き、彼の足を涙で濡らし始め、彼女の頭の毛でそれを乾かし、彼の足に接吻し、軟膏を塗った。39 しかし、彼を招いたパリサイ人はこれを見て、心の中で言った、「もしこの人が預言者なら、自分がどんな女性に触れているのか、どんな女性に触れているのか、彼は知っているはずだ。彼女は罪人だからです。40 イエスは答えて言われた、「シモン、わたしはあなたに言いたいことがあります」。彼は言った、「先生、教えてください」41 二人の債務者を持つ債権者がいました。一つは500グロッシェン銀貨を借りており、もう一つは50グロッシェン銀貨を借りていました。42 しかし、彼らが支払う必要がなかったので、イエスはそれを彼らの両方に与えた。教えてください、彼らのうち誰が彼を最も愛するのでしょうか?43 シモンは答えて言った、「わたしは、彼が最も多くささげた者を尊敬します。彼は彼に言った、「あなたは正しく判断しました。44 彼はその女の方を向いて、シモンに言った、「この女が見えますか」。私はあなたの家に来ました。あなたは私の足に水をくれませんでした。しかし、彼女は私の足を涙で濡らし、頭の毛で乾かしました。45 あなたはわたしに接吻しなかった。しかし、後者は、私が入ってきた後、私の足にキスをするのをやめませんでした。46 あなたはわたしの頭に油を塗ったのではありません。しかし、彼女は私の足に軟膏を塗った。47 それゆえ、わたしはあなたがたに言う、彼女には多くの罪が赦され、それゆえに彼女はわたしに多くの愛を示した。しかし、少し許された人は、ほとんど愛しません。48 彼は彼女に言った、「あなたの罪は赦されました」。49 すると、彼らと一緒に食卓に着いていた者たちは、「罪さえも赦す人はだれなのか」と独り言を言い始めました。50 彼は女に言った、「あなたの信仰があなたを助けました。安心して行ってください!」

8 1 すると、彼は町々を旅して、神の国の福音を宣べ伝え、彼と共にいた十二人、2 彼が悪霊と病氣から癒した数人の女たち、3 七つの霊が出て行ったマグダラのマリア、3 ヨハナ、ヘロデの執事の一人であるチュサの妻、スザンナ、そして彼らに彼らの財産の手を差し伸べた他の多くの人々。4 そして、大勢の人々が集まって、町々から急いで彼のもとに来たとき、彼はたとえ話で話した、「5 種を蒔く者が出て行って、彼の種を蒔いた」。そして、彼が種を蒔いている間に、何匹かが道端に落ちて足元に踏みつけられ、空の鳥が彼らをむさぼり食いました。6 また、ある者は岩の上に落ちた。そして、それが上がると、ジュースがなかったので枯れました。7 また、ある者はいばらの中に落ちた。そして、いばらがそれと69 緒に立ち上がり、それを窒息させました。8 また、良い地に落ちたものもあった。すると、それは芽を出し、百倍の実を結びました。彼がこれを言うと、彼は叫びました、「聞く耳のある者は、聞くようにしなさい」。9 弟子たちは彼に、このたとえ話は何であろうかと尋ねた。10 彼は言った、「あなたがたには、神の国の奥義を知ることが与えられていますが、他の人々にはたとえ話で知ることが与えられています。それは、彼らがまだ見ているのにそれを見ることができず、まだ聞いているかどうか分からないためです。」11 しかし、たとえ話はこうです:種は神の言葉です。12 しかし、道にいる者は、それを聞く者である。すると、悪魔が来て、彼らの心からみことばを取り上げ、彼らが信じず、救われるようにします。13 しかし、岩の上にいる人々は、それを聞いて、喜びをもってその言葉を受け取る。しかし、彼らには根がありません。しばらくの間、彼らは信じ、試練の時には離れていきます。14 しかし、いばらの間に落ちた人々は、それを聞いて、人生の心配と富と喜びの中を行き、窒息して実を結ばない人々です。15 しかし、良い地にいる人々は、みことばを聞いて、それを立派で良い心に留め、忍耐強く実を結ぶ。16 だれもろうそくに火をつけて、それを器で覆ったり、ベンチの下に置いたりはいしない。しかし、彼はそれを燭台の上に置き、入る者は誰でも光を見ることができるようにする。17 隠されたもので明らかにされないものはなく、また、知られて明るみに出ない秘密もないからです。18 だから、あなたがどのように聞くか見てみなさい。持っている者には、彼に与えられるであろう。しかし、持っていない者は、自分が持っていると思っていても、取り去られる。19 彼の母と兄弟たちは彼のところに行ったが、民衆の前で彼のところに来ることができなかった 20 彼に言われた、「あなたの母と兄弟たちは外に立って、あなたに会いたがっています」21 しかし、

彼は彼らに答えて言った、「わたしの母と兄弟たちは、神の言葉を聞き、行う者です」 22 そして、その日、それは起こった 彼は弟子たちと一緒に船に乗りました。そして、彼らに「湖を渡ろう」と言いました。そして、彼らは陸地から押し出しました。 23 そして、彼らが運転していると、彼は眠りに落ちた。すると、つむじ風が海に押し寄せ、波が船を満たし、彼らは大きな危険にさらされました。 24 そこで彼らはイエスのところに来て、起こして言った、「先生、先生、わたしたちは滅びます」。それから彼は立ち上がり、風と水の波を脅かしました。そしてそれは止まり、静寂になった。 25 イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰はどこにあるのですか」。彼らは恐れて驚いて、互に言った、「これはだれですか」。彼が命じる風と水にさえ、彼らは彼に従います。 26 そして、彼らはガリラヤの反対側にあるゲラセネ人の地方に行った。 27 彼が上陸すると、町から来たひとりの人に出会ったが、その人は悪霊にかかっている、長い間服を着ず、どの家にも泊まらず、埋葬の穴にとどまらなかった。 28 しかし、イエスを見ると、叫んで前にひれ伏し、大声で叫んで言った、「いと高き方の子イエス様、わたしに何を求めているのですか」。お願いします、あなたは私を苦しめたくないのです。 29 彼は汚れた霊に命じて、人から処刑させた。彼は長い間彼を苦しめ、鎖と足かせで縛られ、捕らえられ、彼の束縛を断ち切り、悪霊によって荒野に追いやられた。 30 イエスは彼に尋ねて言われた、「あなたの名はなんですか」。彼は言った:レギオン。多くの悪霊が彼の中に入ってきていたからです。 31 そして、地獄に行くように言わないように、彼に懇願した。 32 さて、山のほとりの牧場に、豚の大群がいた。そして、彼らは彼に彼らが彼らの中に入ることを許すように彼に懇願しました。そして、彼は彼らにそうすることを許しました。 33 すると、その人から悪霊が出てきて、豚の中にはいった。そして、群れは斜面から湖に身を投げて溺れました。 34 しかし、羊飼いたちはそのことを見て逃げ出し、町や村々にそれを宣べ伝えた。 35 そこで彼らは、何が起こったのかを見に出て、イエスのところに来て、イエスの足元に着き、着飾って、理性的に、怯えている悪霊が出て行った人を見つけた。 36 それを見た人々は、悪霊に取り憑かれた男が癒されたように、彼らにそれを告げ知らせた。 37 そして、ゲラセネスの周囲の地から来た群衆はみな、彼に彼らから立ち去るように頼んだ。大きな恐怖が彼女を襲ったからです。そして彼は船に乗り込み、再び引き返しました。 38 すると、悪霊が出て行った男が、彼と一緒にいるように彼に頼んだ。しかし、イエスは彼を去って言われた、「 39 また家に帰って、神があなたがたのためにどれほどすばらしいことをしてくださったかを告げてください」。そして彼は行って、イエスが彼のためにどれほど素晴らしいことをしてくださったかを町全体に告げ知らせました。 40 そして、イエスが戻ってきたとき、民は喜んでイエスを迎え入れた。彼らは皆、彼を待っていたからである。 41 すると見よ、会堂の支配者であるヤイロスという人が来て、イエスの足元にひれ伏し、イエスに家に入るように頼んだ。 42 彼には十二歳くらいの一人娘がいたが、その娘は最後の足にいた。そして彼が行くと、人々は彼の周りに群がりました。 43 ひとりの女は十二年の間、血が流れていた。それは誰にも治せませんでした。 44 彼女は後ろから上がってきて、彼のドレスの裾に触れた。そしてすぐに彼女の血が流れた。 45 イエスは言われた、「だれがわたしにさわったのか」。しかし、彼らが皆それを否定すると、ピーターは「先生、人々があなたを圧迫しています」と言いました。 46 しかし、イエスは言われた、「だれかがわたしにさわった。なぜなら、力が私から去ったように感じたからです。 47 しかし、女はそれが隠されていないのを見ると、震えながら彼の前へひれ伏し、自分が彼に触れた原因と、すぐに癒されることをすべての人々に告げた。 48 彼は彼女に言った、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行け! 49 彼がまだ話していると、会堂のつかさのしもべひとりが来て、彼に言った、「あなたの娘は死にました。マスターに迷惑をかけないでください。 50 しかし、イエスはこれを聞いて答えられた、「恐れることはありません。私を信じてください、それが彼女が元気になる方法です! 51 イエスが家にはいったとき、ペテロ、ヨハネ、ヤコブ、およびその子の父と母のほかには、だれも一緒に入らせなかった。 52 しかし、彼らはみな彼女のために泣き嘆いた。しかし、彼は「泣くな」と言いました。彼女は死んでいませんが、眠っています。 53 彼らは彼を笑った、彼女が死んだことをよく知っていたからだ。 54 しかし、彼は彼女の手を取って叫び、「子供よ、起きなさい」と言った。 55 すると、彼女の霊は再び来て、すぐに立ち上がった。そして、彼は彼女に餌を与えるように命じました。 56 彼女の両親は驚いた。しかし、彼は彼らに何が起こったのかを誰にも言わないように命じました。

9 1そして、十二弟子を呼び集めて、すべての悪霊に対する権威を与え、彼らが病気を癒すことができるようにした。 2そして、彼らを神の国を宣べ伝え、癒すために送り出させた。 3そして、彼らに言った、「道中、杖も袋も、パンも、金も、また上着を二枚も持って行ってはならない」 4また、家に入ると、あなたが先に進むまでそこにいてください。 5もし彼らがあなたを受け入れないなら、同じ町を出て、彼らに対する証しとして、あなたの足のちりを振り払いなさい。 6そして、彼らは出て行って、村々を巡り、福音を宣べ伝え、いたるところで癒した。 7そ

して、すべてのことは、四人の王子ヘロデに先立って起こった。そして、彼は落ち着かなくなった、なぜなら、ある人たちが言った、「ヨハネは死者の中からよみがえった。8 しかし、ある者の中から、エリヤが現れた。しかし、一部の人々の中から、古代の預言者の一人が立ち上がった。9 ヘロデは言った、「ヨハネ、わたしは彼を斬首しました。しかし、私がこれらのことを聞いているのは、この誰なのか。そして彼に会いたかった。五千人10人を養うそして、使徒たちは再び来て、彼らがどれほど素晴らしいことをしたかを彼に話しました。そして、彼女を連れて、ベツサイダという町へ出発した。11 民は彼に気づくと、彼について来た。そして、彼らを自分のところに来させ、神の国について語り、必要な者を癒した。12 しかし、日は傾き始めた。そこで十二弟子たちは彼のところに来て言った、「人々をあなたから離れなさい。彼らが周りの村々や農場へ行き、宿と食べ物を見つけることができるようにしなさい。私たちはここ荒野にいるからです。13 イエスは彼らに言った、「彼らに何か食べるものを与えなさい」。彼らは言った、「私たちはパンを五つと魚を二つしか持っていません。私たちがこのすべての人々のために食べ物を買に行くのではなければ。14 すなわち、約五千人がいたからである。彼は弟子たちに言った、「彼らを五十人、五十人のグループに分けて座らせなさい」。15 そして、彼らはそのようにして、彼らをみな寝かせた。16 それから彼は五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで感謝し、それを裂き、弟子たちに渡して民にささげた。17 彼らは食べて、みな満足した。そして、彼らの残っていた塊は、12個の籠を拾い上げました。18 さて、イエスが一人で祈っていて、弟子たちだけが一緒にいたとき、イエスは彼らに尋ねて言った、「人々はわたしをだれと言うのですか」。19 彼らは答えて言った、「彼らはあなたがバプテスマのヨハネだと言っています。しかし、ある人は、あなたはエリヤです。しかし、昔の預言者の一人が立ち上がったという人もいました。20 イエスは彼らに言った、「しかし、あなたがたはわたしをだれだと言っていますか」。するとペテロは答えて、「あなたは神のキリストです」と言いました。21 イエスは彼らを叱責し、だれにも言わないように命じて言った、「人の子は、長老たち、祭司長、律法学者たちに大いに苦しみ、殺され、三日目によみがえらなければならない」。23 それから、イエスは皆に言われた、「だれでもわたしについて行きたい者は、自分を捨てて、日々自分の十字架を負い、わたしについてきなさい」。24 自分のいのちを守ろうとする者は、それを失うことになる。しかし、私のために自分の命を失う者は誰でもそれを受け取るでしょう。25 もし人が全世界を得て、自分を見失ったり、自分に損害を与えたりしたら、何の益があるというのであろうか。26 しかし、わたしとわたしの言葉とを恥じる者は、人の子もまた、その栄光と父と聖なる御使いたちとの間に来るとき、恥ずかしくなるであろう。27 しかし、まことに、ここに立っている人々の中には、神の国を見るまでは死を味わわない者もいる。28 これらの言葉の後、彼はペテロ、ヨハネ、ヤコブを連れて自分のところへ行き、祈るために山に登った。

29 彼が祈ると、彼の顔の様相が変わり、彼の衣は白く輝いた。30 見よ、モーセとエリヤというふたりの男が彼に話しかけた。31 彼らは変貌したように見え、彼がエルサレムで成し遂げるべき結果について話した。32 しかし、ペテロと彼と共にいた者たちは眠りに満ちていた。しかし、彼らが目を覚ますと、彼が変貌している様子が見え、二人の男が彼のそばに立っていました。33 そして、彼らが彼から去るとき、ペテロはイエスに言った、「先生、私たちがここにいるのは良いことです」。三つの幕屋を造りましょう、一つはあなたのため、一つはモーセのため、一つはエリヤのため。そして、彼は自分が何を言っているのかわからなかった。34 彼がこう言っていると、雲が来て、それを覆った。そして、雲が彼らを覆ったとき、彼らは恐れしました。35 すると、雲の中から声がして言った、「これがわたしの選んだ子です。あなたはそれを聞くでしょう!36 その声が来たとき、彼らはイエスがひとりであるのを見つけた。そして、彼らは黙っていて、その日は自分たちが見たことを誰にも話さなかった。37 その翌日、彼らが山から下って来ると、大勢の民が彼らを迎えに来た。38 すると見よ、民の中にひとりの人が叫んで言った、「先生、お願いします。わたしの息子の世話をしてください。彼は私の一人息子だからです。39 見よ、霊が彼を捕らえ、彼が突然叫ぶようにし、彼をあちこちに引っ張って泡を立て、彼がこのように彼を滅ぼすとき、ほとんど彼から離れない。40 そして、わたしはあなたの弟子たちに彼を追い出すように頼んだが、彼らはできなかった。41 そこでイエスは答えて言われた、「不信心でよしまな世代よ、わたしはいつまであなたがたと共にいて、あなたがたを苦しめなければならないのか。あなたの息子をここに連れてきてください!42 彼がもとに来ると、悪霊が彼を引き裂いて引きずり出した。しかし、イエスは汚れた霊を叱責し、少年を癒し、父のもとに返しました。43 そして、彼らはみな、神の大いなる力に驚いた。そして、彼らが皆、彼のしたことに関心したとき、彼は弟子たちに言った、「このことわざを聞きなさい。人の子は人々の手に引き渡されなければならない」。45 しかし、彼らはその言葉を知らず、隠されていたので、それを理解できなかった。そして、彼らは彼にこの言葉を求めることを恐れていました。野心と不寛容に対抗して、46 しかし、彼らの中で誰が最も偉大であるかについての考えが彼らの間に浮かびました。47 しかし、イエスは彼らの心の思いを知ったとき、ひとりの子供を取って自分のそばに置き、48

彼らに言った、「この子供をわたしの名で受け入れる者は、だれでもわたしを受け入れます。そして、私を受け入れる者は、私をつかわした彼を受け入れます。あなたがたのうちで最も小さい者は偉大である。49 ヨハネは答えて言った、「先生、わたしたちは、あなたの名によって悪霊を追い出す者を見ました。そして、彼は私たちと一緒にあなたについてこないで、私たちは彼に抵抗しました。50 イエスは彼に言われた、「彼を禁じてはならない。あなたがたに敵対しない者は、あなたがたの味方である。51 そして、時が満ちて、彼がここから連れ出されるとき、彼は顔を向けてまっすぐエルサレムに行こうとした。52 彼は自分の前に使者をつかわした。そして、彼らは行ってサマリア人の村に来て、彼に泊まるように命じた。53 しかし、彼がエルサレムに行こうと顔を向けていたので、彼らは彼を受け入れなかった。54 弟子たちのヤコブとヨハネはこれを見て言った、「主よ、もしよろしければ、天から火が落ちて彼らを焼き尽くすと言いましょう」。55 人の子が来たのは、人の魂を滅ぼすためではなく、彼らを守るためであった。56 57 そして、彼らは別の村に行った。58 イエスは彼に言われた、「狐には穴があり、空の鳥には巣があります。しかし、人の息子は、頭を横たえる場所を持っていない。59 彼はひとりに言った、「わたしについてきなさい」。しかし、彼は言いました、「私が先に行って父を埋葬させてください」。60 しかし、イエスは彼に言われた、「死者には死者を葬らせなさい。しかし、行って神の国を宣言しなさい。61 また、別の者が言った、「主よ、わたしはあなたについて行きます。しかし、最初に、私の家にいる人々から離れることを許してください。62 しかし、イエスは彼に言われた、「鋤に手を置いて振り返る者は、神の国にふさわしい者ではない」。

10

1 そこで主はさらに七十人を分けて、彼ら二人と二人を彼の前に遣わし、彼が行きたいすべての町々と場所に送り、2 彼らに言った、「収穫は豊富ですが、働く者は少ないです。収穫の主は、彼の収穫に労働者を送り出すように頼んでください。3 行く; 見よ、わたしはあなたを狼の中の子羊のように遣わす。4 カバン、カバン、靴を携帯せず、途中で誰にも挨拶をしないでください。5 あなたが家にはいるときは、まず「この家に平安あれ」と言いなさい。6 もし平和の子供がいるなら、あなたの平和は彼にかかっている。しかし、そうでなければ、あなたの平和はあなたに戻ってきます。7 しかし、同じ家に泊まりなさい。あなたがたに与えられたものを食べたり飲んだりしなさい。労働者は彼の賃金に値するからです。あなたは一つの家から別の家へ行ってはいけません。8 あなたがたが町々にきて、彼らがあなたを受け入れたときは、目の前に置かれたものを食べ、9 そこにいる病人をいやして、彼らに言いなさい、『神の国があなたがたに近づいた』。10 しかし、もし彼らがあなたを受け入れない町に来るなら、その通りに出て言いなさい、『11 わたしたちは、あなたの町から私たちの足にかかっているちりを、あなたがたに振り払おう。しかし、神の国があなたの近くにあったことを知ってください。12 あなたがたに告げるが、その日、ソドムはそのような町として、より耐えられるようになるであろう。13 わざわいな、 Chorazin! Bethsaida、お前は災いである。もし、あなたがたに起こったようなことがツロとシドンに起こったとしたら、彼らはとっくの昔に荒布と灰の中に座って悔い改めていたことでしょ。14 しかし、あなたがたよりもツロとシドンの裁きの方が耐え難いでしょう。15 カペナウムよ、あなたは天に上げられるのでしょうか。あなたは地獄に投げ込まれるでしょう。16 あなたがたの言うことを聞く者は、わたしの言うことを聞く。そして、あなたを軽蔑する者は、私を軽蔑する。しかし、私を軽蔑する者は、私を遣わした者を軽蔑する。17 七十人は喜びをもって再び来て言った、「主よ、あなたの名によって、悪霊たちもわたしたちに服従しています」。18 イエスは彼らに言った、「わたしは、サタンがいなずまのように天から落ちるのを見た。19 見よ、わたしはあなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のすべての力を支配する権限を与えた。そして、何もあなたに害を及ぼすことはありません。20 しかし、霊があなたがたに服従していることを喜んではならない。しかし、あなたの名前が天に記されていることを喜びなさい。21 その時、イエスは聖霊を喜んで言われた、「天地の父なる主よ、あなたがたをほめたたえます。あなたがこれらのことを知恵ある者や賢明な者から隠して、赤ん坊に明らかにしたことを。はい、お父さん、だからそれはあなたにとって喜ばしいことでした。22 すべてのものは、父からわたしに引き渡されました。そして、父以外に、誰も息子が誰であるかを知りません。また、父が誰であるかは、息子だけが、そして息子が意志する者に対してのみである。23 そして、特別な仕方で弟子たちに向き直って言った、「あなたがたが見ているものを見る目は、さいわいです」。24 あなたがたに告げるが、多くの預言者や王たちは、あなたがたの見ているものを見たいと思っていたが、見ず、あなたがたが聞くことを聞いても、聞かなかった。25 すると見よ、一人の律法学者が立ち上がって彼を誘惑して言った、「先生、永遠のいのちを受け継ぐためには、わたしは何をしなければなりませんか」。26 彼は彼に言った、「律法には何が書いてあるのか」。どのように読みますか? 27 彼は答えて言った、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」。28 しかし、彼は彼に言った、「あなた

は正しく答えました。そうすれば、あなたは生きるでしょう。29 しかし、彼は自分を正当化しようとして、イエスに言った、「わたしの隣人とは誰ですか」。30 イエスは答えて言われた、「エルサレムからエリコに下って行って、強盗の手に落ちた人がいた。彼らは彼を裸にして殴り、立ち去り、彼を半死半生のまま放置しました。31 そして、たまたま、一人の祭司が同じ道を進んでいた。そして、彼を見ると、通り過ぎました。32 レビびとも同様である。彼がその場所に来て彼を見ると、彼は通り過ぎました。33 すると、サマリア人が旅して、そこに来た。34 彼は彼のところに行って、傷口に油とぶどう酒を注ぎ、包帯を巻き、彼を動物の上に持ち上げ、宿屋に連れて行き、彼を看護した。35 次の日、彼は銀貨二枚を取り出して宿屋の主人に渡し、「彼を世話しなさい。もしもっと何か見せてくださるなら、私が戻ってきたときに払うよ」と言いました。36 この三人のうち、強盗の中に落ちた者の次にいたのは、だれだったと思いますか。37 彼は言った、「彼にあわれみを示された者」。そこでイエスは彼に言われた、「行って、同じようにしなさい」。38 そして、彼らが進んでいるうちに、イエスは一つの村に着いた。マールサという女性がいて、彼を彼女の家に取り取りました。39 彼女にはマリヤという名の姉妹がいた。彼女はイエスの足元に座り、彼の演説を聞いた。40 しかし、マルタは彼に仕えるために大変な苦勞をした。彼女は近づいて言った、「主よ、あなたは私の妹が私を一人で仕えることを望まないのですか」。彼女もそれを攻撃すると彼女に伝えてください。41 しかし、主は答えて言われた、「マルタ、マルタ、あなたは多くの心配と悩みを抱えています。42 しかし、一つだけ必要なことがあります。メアリーは良い部分を選びました。それは彼女から奪うべきではない。

11 1そして、彼がある場所で祈っていた。彼が立ち止まると、弟子の一人が彼に言った、「主よ、ヨハネが弟子たちにも教えたように、私たちにも祈ることを教えてください」。2 イエスは彼らに言われた、「祈るときは、『天にいますわたしたちの父よ』と言いなさい」。あなたの名前が聖別されますように。あなたの王国が来ますように。あなたの御心が天で行われるように、地でも行われますように。3 私たちの日々のパンを永遠に与えてください。4 そして、私たちの罪をお赦しください。なぜなら、私たちはまた、私たちに借りがあるすべての人々を赦すからです。そして、私たちを誘惑に導くのではなく、悪から私たちを救い出してください。5 イエスは彼らに言った、「あなたがたのうち、だれが友だちがいて、真夜中に彼のところに行って言うでしょう。『友よ、わたしに三つのパンを貸してください。6 わたしの友は旅の途中でわたしのところに来たが、わたしは彼の前に置いたものを持っていない。7 すると、中にいる者は、『わたしを困らせないでください』と答えるであろう。ドアはすでに施錠されており、小さな子供たちは私と一緒に部屋にいます。私は立ち上がってあなたに与えることはできません。8 あなたがたに告げるが、もし彼が立ち上がって彼に与えないなら、彼はまだ彼の横柄な主張のために立ち上がり、必要なだけ彼に与えるであろう。9 また、わたしはあなたがたにも言う、『求めなさい。そうすれば、それはあなたがたに与えられます。探せば、見つけることができる。ノックすると、それがあなたがたに開かれます。10 求める者は受け取る。そして探す者は見つける。そして、ノックした人は誰でも開きます。11 あなたがたのうち、息子が父に魚を求め、だれがその魚のために蛇を差し出すであろうか。12 あるいは、もし彼が卵を求めたら、だれがお返しにサソリを差し出すのだろうか。13 もし悪しき者が自分の子供たちに良い贈り物を与えることができるなら、天の父は、求める者たちに聖霊を与えることは、なおさらのことでしょう。14 彼は口のきけない悪霊を追い出した。そして、霊が出て行くと、口のきけない男が話しました。そして、人々は驚いていました。15 彼らのうちの何人かは言った、『彼は彼らの支配者ベルゼバブによって悪霊を追い出します』。16 しかし、他の人々が彼を誘惑し、天からのしるしを求めた。17 しかし、イエスは彼らの考えを知っておいて、彼らに言った、『すべての王国は、互いに分裂すると、荒れ果て、一つの家が別の家に落ちる』。18 しかし、もしサタンが自分に対しても分裂しているなら、彼の王国はどうなるのでしょうか。なぜなら、私がベルゼバブを通じて悪霊を追い出したとあなたが言うからです。19 しかし、もしわたしがベルゼバブによって霊を追い出すなら、あなたがたの子たちはだれによって彼らを追い出すのでしょうか。したがって、彼らはあなたの裁判官になります。20 しかし、もしわたしが神の指によって悪霊を追い払うならば、神の国があなたがたのところに来ることになる。21 屈強な者が武装して自分の宮殿を守っているとき、彼自身の宮殿は平和に保たれます。22 しかし、もし強い者が彼に襲い掛かって彼を打ち負かすならば、彼は頼りにしていた鎧を取り去り、その略奪品を分配する。23 わたしと共にいない者は、わたしに敵対する。そして、私と一緒に集まらない者は散らばる。24 汚れた霊が人から出て行くとき、それは乾燥した場所を歩き、安息を求めますが、それを見つけることができません。彼はこう言った、『わたしは来たところから家に帰ります』。25 彼が来ると、それは掃かれて飾られている。26 それから彼は行って、自分よりも悪い他の七つの霊を自分のところに連れて行く。そして、彼らが入ってくると、そこに住み、その後、同じ人とは以前よりも悪化するでしょう。27 彼がこれらのこと

を言っていると、民の中のひとりの女が声を張り上げて彼に言った、「あなたを産んだからだ、あなたが吸った乳房はさいわいです」。28 彼は言った、「まことに、神の言葉を聞いて守る人々は、さいわいです。29 しかし、民は押し続けた。それから彼は始めて言いました、「この世代は邪悪な世代です。彼はしるしを望み、ヨナのしるし以外には、何のしるしも与えられない。30 ヨナがニネベの人々にとってのしるしであったように、それはまた、この世代にとっても人の子となるであろう。

31 南の女王は、この世代の人々と共に最後の審判に現れ、ソロモンの知恵を聞くために世の終わりにから来たので、彼らを非難するであろう。見よ、ここにはソロモン以上のものがある。32 ニネベの人々は、この世代と共にさばき、これを非難するであろう。彼らはヨナの説教の後に悔い改めたからです。33 だれもろうそくに火をつけて、隅に、ブッシュの下ではなく、燭台に置く。そうすれば、入る者がその光を見ることができからである。34 あなたの目は、からだのともしびです。だから、あなたの目が純粋であれば、あなたの全身は光です。しかし、あなたの目が邪悪であれば、あなたの体も暗いです。35 だから、あなたがたの中の光が闇ではないことを心がけなさい。36 それゆえ、もしあなたの体が全て光っていて、闇のかけらもないなら、まばゆい閃光を放つ光があなたを照らすときのように、体は明るくなるでしょう。パリサイ人と律法学者に対して 37 彼がまだ話しているとき、パリサイ人が彼に正午の食事を一緒に食べるように頼んだ。そして彼は入ってテーブルに座りました。38 パリサイ人はこれを見て、食べる前に洗濯を怠っていたことに驚いた。39 主は彼に言われた、「パリサイ人の皆さんは、心から杯と皿を清めなさい。しかし、あなたの内部は強盗と邪悪さに満ちています。40 愚か者め、外側を創った者は、内側も創造したではないか。41 見よ、内側にあるものを施しなさい。そうすれば、あなたはすべてをきれいにするでしょう。42 しかし、パリサイ人の皆さん、あなたがたは、ミントとルーとすべてのキャベツを十分の一献金し、神のさばきと愛とを通り過ぎることを、わざわざいなことである。これは行うべきであり、それを行うべきではありません。43 パリサイ人の皆さん、あなたがたは会堂の頭に座り、市場で迎えられるのが好きなのです。44 あなたがたは、人々がその上を歩く隠れた墓のようでありながら、それを知らない。45 すると、律法学者の一人が答えて言った、「先生、あなたもこの言葉でわたしたちをそしります。46 しかし、彼は言った、「律法学者たちもわざわざい。あなたがたは、耐え難い重荷を人々に負わせ、あなたがた自身は指一本でそれらに触れないからである。あなたがたは預言者のために墓を建てる。しかし、あなたの先祖が彼らを殺しました。48 だから、あなたがたは先祖のわざを証しし、認める。彼らが彼らを殺し、あなたがたは彼らのために墓を建てるからである。49 それゆえ、神の知恵は言う、「わたしは預言者と使徒たちを彼らのもとにつかわし、彼らのうちの何人かは彼らを殺し、迫害するであろう。50 それは、世の初めから流された血が、すべての預言者のこの世代から必要とされるためであり、51 アベルの血から祭壇と神殿との間に滅びたゼカリヤの血まで」である。はい、私はあなたに言います、それはこの世代に要求されるでしょう。52 書記の皆さん、わざわざいなるかな。なぜなら、あなたは知識の鍵を取り去ってしまったからです。あなたは入らず、入りたがる人々に抵抗しました。53 彼がそこから出て行くと、律法学者やパリサイ人たちは、彼を強く押さえつけ、さまざまな質問をして尋問し始め、54 彼が待ち構え、彼の口から何かを追い出せるかどうか確かめようとした。

74

12 1 その間に民が彼らに駆け寄ると、数千人が集まって、互に踏みつけ合った。それから彼は始めて、まず弟子たちに言いました、「パリサイ人のパン種に注意してください。それは偽善です。」しかし、隠されたもので明かされないものは何もなく、知られることのない秘密ありません。3 それゆえ、あなたが暗闇で言うことは、光の中で聞かれる。部屋で耳元で言うことは、屋上で叫ばれます。4 しかし、友よ、あなたがたに言いますが、死体を殺してその後何もできない者たちを恐れてはなりません。5 しかし、あなたがたが恐れるべき者を、わたしは示す。殺した後で、地獄に投げ込む力を持つ者を恐れなさい。そう、私はあなたに言います、彼を恐れなさい。6 スズメ5羽を2ペニーで売らないの? それにもかかわらず、神の前で忘れられる人は一人もいません。7 しかし、あなたがたの頭の毛には、みな番号が付けられています。ですから、恐れることはありません。あなたは多くのスズメ以上の存在です。8 しかし、あなたがたに言う、「人の前でわたしを告白する者は、人の子もまた、神の御使いたちの前で告白するであろう」。9 しかし、人の前でわたしを否定する者は、神の御使いたちの前で否定される。10 人の子に逆らう言葉を話す者は赦されるが、聖霊を冒瀆する者は赦されない。11 しかし、もし彼らがあなたがたを彼らの会堂に連れて行き、権威者や支配者の前で、どのように答えるか、何を言うかについて心配してはならない。12 その時、聖霊があなたがたに教えてくださるからである。何を言うか。13 すると、民のひとりが彼に言った、「先生、兄に、彼がその遺産をわたしと分け合うと伝えてください」。14 彼は彼に言った、「人よ、だれがわたしを君のさばき、または相続人にさせ

たのか。15 イエスは彼らに言った、「すべての食欲に気をつけなさい。なぜなら、多くの物を持って生きる者はいないからである。16 イエスは彼らにたとえ話をして言った、「金持ちがいた。畑はよく育った。17 彼は心の中で考えて言った、「わたしはどうしたらよいでしょうか」。果物を採る場所がありません。18 彼は言った、「わたしはこうします。わたしの倉をこじ開けて大きな牢屋を建て、その中にわたしのすべての穀物と品物を集めます。19 そして、わたしの魂に言います。『親愛なる魂よ、あなたは長年にわたって大きな蓄えを持っています。さあ、平和を味わい、食べ、飲み、元気を出してください!20 しかし、神は彼に言われた、「愚かな者め。今夜、あなたの魂があなたに要求されるでしょう。そして、あなたが準備したものは何になりますか?21 自分のために宝を蓄え、神のために富まない者も同じです。22 イエスは弟子たちに言った、「だから、あなたがたに告げます。あなたがたの命、食べるもの、体、着るもののことを心配してはいけません。23 命は食べ物以上のものであり、体は衣服以上のものです。24 カラスを見なさい、彼らは種を蒔かず、刈り取らず、地下室も納屋もないのに、神は彼らを養ってくださる。あなたは鳥よりもどれだけ多いですか!25 あなたがたの中には、彼がすでに不安に思っているかどうか、だれが彼の寿命を延ばすことができるでしょうか。26 もし自分が少しでも何もできないのなら、なぜ他人のことを心配するのでしょうか。27 ユリを見よ、彼らが紡いだり織ったりしない様子。しかし、あなたがたに言うておくが、ソロモンは栄光のすべてをまもっていて、彼らのような服を着ていなかった。28 もし神が、きょう畑にあって、明日かまどに投げ込まれる草を着せるなら、信仰の薄いあなたたちよ、いっそうあなたがたに着せるであろうか。29 それゆえ、あなたがたもまた、何を食べるべきか、何を飲むべきかを問わず、また悩むこともありません。30 これらのすべてのものは、世界の国々が求めています。しかし、あなたのお父さんはあなたがそれを必要としていることをよく知っています。31 しかし、彼の王国を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたがたに加えられるでしょう。32 恐れるな、ちっちゃな群れよ。なぜなら、あなたに王国を与えることは、あなたの父の喜びだからです。33 持っているものを売って、施しをしなさい。朽ち果てない袋、泥棒が来ず、蛾が食べない天国で決して減ることのない宝物を、自分のために作ってください。34 あなたの宝があるところには、あなたの心もまたあるからです。35 あなたの腰に帯を締め、ろうそくを燃やし、36 主が婚礼から去るときを待つ人々のようになり、彼が来てたたくとき、すぐに彼に開くようにしなさい。37 主人が来ると目を覚ますしもべたちは、さいわいである。まことに、あなたがたに告げる、彼はエプロンを着けて、彼らを食卓に座らせ、彼らのところに来て彼らに仕えるであろう。38 彼が二の見張りに来て、第三の見張りに来て、それがそうであるとわかるとき、これらのしもべたちは幸いである。39 しかし、もし家主が泥棒が何時に来るかを知っていたら、家に押し入られることはなかったでしょう。40 ですから、あなたもまた準備ができています。というのも、人の子は、あなたがそうは思わない時にやってくるからです。41 しかし、ペテロは彼に言った、「主よ、あなたはこのたとえを私たちに言っているのですか、それともみんなに言っているのですか」。42 主は言われた、「主がそのしもべたちに任命して、彼らにふさわしいものを適時に彼らに与えるためにおっしゃる、忠実で思慮深い執事とは、だれですか」。43 主人が来るときにそうするように感じるしもべは、さいわいである。44 まことに、あなたがたに告げるが、彼はそのすべての財産を彼に任命するであろう。45 しかし、もしそのしもべが心の中で「わたしの主人であるタルタル人が来る」と言って、しもべや女中をむち打ち始め、また飲み食いし、酔い始めるならば、46 そのとき、そのしもべの主人が、彼が知らない日に来て、彼をバラバラに切り刻み、不信者たちと共に彼に報いを与えるであろう。47 しかし、主人の御心を知りながらも、何も準備せず、また主人の御心どおりに行わなかったしもべは、多くの打撃を受けるであろう。48 しかし、それを知らず、打撃に値することをした者は、ほとんど打撃を受けることはない。彼には多くが与えられ、彼から多くが求められるであろう。そして、多くが命じられる者には、多くのことが要求されるであろう。49 わたしは地に火を灯すために来た。燃えるよりは、何があった方がいい!50 しかし、私はまずバプテスマを受けなければならず、それが完成するまで、私はどれほど心を痛めていることでしょう。51 あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすためにここに来たと思っているのか。私は言う:いいえ、しかし不和。52 これからは、一軒の家に五人がいて、三対二、二対三という対立があるからである。53 父は子に、息子は父に、母は娘に、娘は母に、娘は母に、姑は嫁に、嫁は姑に対抗する。54 彼は民に言った、「西から雲が昇るのを見ると、すぐに『雨が降る』と言うでしょう」。そして、それは起こります。55 そして、南風が吹いているのを見ると、あなたは「暑くなるだろう」と言う。そして、それは起こります。56 偽善者め! あなたは地球と空の外観を調べる方法を知っています。しかし、今回はテストしないわけにはいきませんか?57 それなのに、なぜあなたがたは、何が正しいのか、自分自身で判断しないのか。58 あなたがたが敵と共に行政長官の前に行くとき、彼があなたを裁判官の前に連れて行き、裁判官があなたを廷吏に引き渡し、召使があなたを牢獄に投げ込むことのないように、彼を追い払うために努力しなさい。59 言うておくが、最後のファージングを払うまで、君はそこから出られない。

13

さて、そのとき、彼らの中には、ピラトが彼らの犠牲に血を混ぜたガリラヤ人のことを彼に話した者がいた。

2

イエスは彼らに答えて言われた、「あなたがたは、これらのガリラヤ人が他のガリラヤ人よりも罪人であると思いますか。なぜなら、彼らがこの苦しみを受けたからです」。

「いいえ」と私はあなたに言いますが、もし悔い改めないなら、あなたがたは皆、同じように滅びるでしょう。

4

それとも、シロアムの塔が倒れて彼らを殺した十八人の人々は、エルサレムに住む他のすべての人々よりも罪深いと思いますか。

「いいえ」と私はあなたに言いますが、もし悔い改めないなら、あなたがたは皆同じように滅びるでしょう。

6

彼は彼らに、「ある人が自分のぶどう園にいちじくの木を植えていて、その上に実を求めに来たが、見つからなかった」と言った。

7

それから彼はぶどうの木に言った、「見よ、わたしは三年の間、毎年このいちじくの木に実を求めて来たのに、見つからなかった。彼を斬り捨てろ!彼は何が国を妨げているのでしょうか?」

8彼は答えて言った、「主よ、今年は彼を掘り起こして肥沃にするまで彼を置いておいてください。

9もし彼がまだ実を結びたいなら、彼を切り倒してください」。

10彼は安息日に会堂で教えた。

11すると見よ、十八年間も病にかかっていた女がいて、かがんで立ち上がることができなかった。

12しかし、イエスは彼女を見て、彼女を呼び寄せて言われた、「女よ、病気から解放されなさい」。

13彼が彼女に手を置くと、彼女はすぐに立ち上がって神をたたえた。

14

そこで会堂の主人は、イエスが安息日に癒してくださることに憤慨していたので、人々に答えて言った、「彼らが働くべき日は六日あります。来て、彼らに癒しを受けるべきですが、安息日にはそうではありません」。

15そこで主は彼に答えて言われた、「偽善者どもよ。

あなたがたは、安息日に飼葉桶から牛やロバをほぐして、水飲み場に持って行きませんか。

16

それでは、サタンが十八年間も縛り付けていたアブラハムの娘であるこの者は、安息日にこの束縛から解放されるべきではないのか。

76

17彼がこう言ったとき、彼を嫌っていた人々はみな恥ずかしかった。

そして、すべての民は、彼が行ったすべての栄光ある行いを喜んだ。

18彼は言った、「神の国は、だれに似ていて、だれに例えようか」。

19

それは、ある人が取って庭に投げ入れたからし種のようなもので、それが成長して木となり、その枝の間には空の鳥が住んでいた。

20彼はまた言った、「わたしは神の国をだれに例えようか。

21

それは、女性が取って、完全に発酵するまで三ブッシェルの小麦粉と混ぜたパン種のようなものです。

22そして、彼は町々を巡り、教えて、エルサレムに向かった。

23すると、ひとりの人が彼に言った、「主よ、あなたは救われる人が少ないと思いますか」。

彼は彼らに言った、「

24

「狭い門から入るように努力しなさい。あなたがたに言うと、多くの人は入る方法を探し求めますが、そうすることができません。」

25

それから、家の主人が立ち上がって戸を閉め、あなたが外に立って戸をたたき始めて、「主よ、私た

ちのために戸を開けてください」と言ったとき、彼は答えて、「あなたがどこから来たのかわかりません」とあなたに言うでしょう。

26

それから、あなたがたは言うようになるでしょう、『わたしたちは、あなたがたより先に飲み食いし、あなたがたはわたしたちの街で教えました』。

27彼はあなたがたに言うであろう、『わたしはあなたがたがどこから来たのか知らない。あなたがたすべての悪を行う者たちよ、わたしから離れなさい』。

28

あなたがたが神の国にいるアブラハム、イサク、ヤコブ、およびすべての預言者を見ると、泣き叫び、歯ぎしりをするであろうが、あなたがたは追い出されるであろう。

29そして、イースターからも、西からも、北からも南からも、神の国の食卓に着く者が来る。

30 見よ、彼らは最後であり、先であり、先であり、先であり、後である。ヘロデの敵意。

31

その時、パリサイ人たちがきて、彼に言った、「出て行って、行け。ヘロデがあなたを殺そうとしているからだ」。

32

イエスは彼らに言った、「行って、この狐に言いなさい。『見よ、わたしはきょうも明日も悪霊を追い出していやしています。そして、三日目にはわたしの目的地に着きます』。

33

しかし、きょうも、あすも、明後日も、わたしは歩まなければならない、なぜなら、預言者がエルサレムの外で滅びるのは正しくないからである。

34

エルサレム、エルサレムよ、預言者を殺し、遣わされた者を石で打つ者たちよ、雌鶏が翼の下に巣を集めるように、わたしはどれほど頻繁にあなたの子供たちを集めたいと思ってきたことか。

35 見よ、「あなたの家は荒れ果ててあなたに残される」。

あなたがたに言うが、あなたがたが『主の名によって来る者は幸いである』と言う時が来るまで、わたしを見ることはないであろう。

14

1すると、イエスは安息日にパリサイ人の支配者の家に来て、パンを食べようとしたので、彼らは彼を待ち伏せしていた。2すると見よ、彼の前にひとりの人が水疱瘡にかかっていた。3イエスは答えて、律法学者たちとパリサイ人たちに言われた、「安息日に癒すのは正しいことなのか、それともしないのか」。4しかし、彼らは黙っていた。そして、彼をつかまえて癒し、彼を放しました。5イエスは彼らに言った、「あなたがたのうちで、だれが、子や牛を井戸に落ちて、安息日にすぐに彼を引っ張り出さない者がいるでしょうか」。6しかし、彼らは彼に答えることができなかった。7イエスは、客たちにたとえ話をして、彼らが頂上に座ろうとしているのを見て、彼らに言った、「8もし、だれかに結婚式に招かれたら、頭にすわってはいけません。あなたよりも貴族が彼に招かれないように、9そして、あなたと彼を招いた者が来て、そして、「これに道を譲れ」と自分に言い聞かせてください。そして、あなたは恥ずかしそうに底辺に座らなければなりません。10しかし、召されたら、行ってすわりなさい。そうすれば、あなたを招いたかたがきたときに、彼はあなたに言うであろう、『友よ、上へ行きなさい』。そうすれば、あなたと一緒に食卓に着く人々の前で、あなたは名誉を得るでしょう。11自分を高くする者は、へりくだる。そして、自分をへりくだる者は高められるであろう。12彼はまた、自分を招いた者に言った、「もし夕食や夕食をとるなら、友人、兄弟、親戚、裕福な隣人を招かないでください。彼らが再びあなたを招いて報いることがないようにしなさい。13しかし、あなたが食事を作るとき、貧しい人、足の不自由な人、足の不自由な人、14そうすれば、あなたがたは祝福されるでしょう。彼らはあなたに返済したいとは思わないからです。しかし、あなたは義人の復活によって報われるでしょう。15食卓にすわっていた者がこれを聞いて言った、「神の国でパンを食べる者は、さいわいである」。16彼は彼に言った、「ある人が大いに祝宴を作っていて、大勢を招いていました」。17彼は主の晩餐の時に、しもべをつかわして、招かれた人々に言った、「さあ、すべての準備が整ったからである」。

18そして、彼らはみな、次々と謝り始めた。最初の娘は彼に言いました、「私は畑を買ったので、外に出て見なければなりません。お願いします、すみません。19すると、もう一人が言った、「わたしは五くびきの牛を買いました。これから、彼らに会いに行きます。お願いします、すみません。」

20三番目の娘は言った、「わたしは妻をめとりました。だから来られないんだ。21そして、しもべ

がきて、このことを再び主人に告げた。それで家の主人は怒って、しもべに言いました、「急いで町の通りや路地に出て、貧しい人、足の不自由な人、盲人、足の不自由な人を連れて来なさい」。22 しもべは言った、「主よ、あなたが命じられたことは、すでに成就しました。しかし、そこにはまだ余裕があります。23 主人はしもべに言った、「大路と垣根に出て、彼らの中に入れさせなさい。そうすれば、わたしの家がいっぱいになります」。24 あなたがたに言うておくが、招かれた人々はどれもわたしの晩餐を味わうことはない。25 そして、多くの人々が彼と共にいった。彼は振り返って彼らに言った、「もし誰かがわたしのところに来て、父、母、妻、子供、兄弟、姉妹、そして自分の命を憎まないなら、その人はわたしの弟子にはなれない」。27 また、自分の十字架を背負ってわたしについてこない者は、わたしの弟子にはなれない。28 しかし、あなたがたのうちに、塔を建てたいと思っていて、それを遂行するための費用を先に座して計算しない者がいるだろうか。29 だから、彼が土台を築いたのに、それを引き出すことができないとき、それを見るすべての人が彼をあざけり始めず、30 「この人は築き始めたのに、それを引き出すことができない」と言っている。31 あるいは、他の王と戦おうと思いつきながら、まず座って、自分に襲い掛かってきた二万の王と会うことができるかどうかについて相談しない者がいるでしょうか。もしそうでなければ、彼はまだ遠くにいるときにメッセージを送り、平和を求めます。33 ですから、あなたがたのうち、自分の持っているものをすべて捨てない者は、みなわたしの弟子になることはできません。34 塩は良いものです。しかし、塩が弱くなった場合、それは何で味付けされますか?35 それは土地にも糞にも役に立たず、捨てられるでしょう。聞く耳のある者は、聞かせてください。

15

1 そして、あらゆる取税人や罪人たちが、彼の話の聞こえと彼に近づいた。2 パリサイ人や律法学者たちはつぶやいて言った、「この人は罪人を受け入れて、彼らと一緒に食事をしている」。3 イエスは彼らにこのたとえ話をして言った、「4 あなたがたのうちに、百頭の羊を飼っている者がいて、もしその一匹を失ったとしても、その九十九頭を荒野に残して、迷う者を追い求めない者はいるでしょうか」。5 そして、それを見つけると、彼は喜びをもってそれを肩に乗せる。6 そして、家に帰ると、友や隣人を呼んで言う、「わたしと一緒に喜びなさい。わたしは、迷子になっていた羊を見つけた。7 あなたがたに告げる、だから、悔い改める一人の罪人の方が、悔い改めを必要としない九十九人の正しい人々よりも、天国ではより多くの喜びを得るであろう。8 あるいは、十銭を失くしても十銭のお金を持っている女で、ろうそくに火を灯さず、家を掃除して彼を見つけるまで熱心に探す女がいるだろうか。9 そして、彼を見つけると、彼女は友人や隣人を呼んで、「わたしと一緒に喜びなさい。失くしていたペニーを見つけたからです。10 また、あなたがたに告げるが、神の御使いたちの前には、悔い改める罪人に対する喜びがある。11 彼は言った、「ひとりのひとりの男の子がいました。12 そこで、彼らのうち若い者が父に言った、「父よ、わたしの持ち物をください」。そして、彼はその財産を彼らと共有しました。13 それから間もなく、下の息子はすべてのものを集めて、国を遠くまで行きました。そしてそこで彼は自分の財産を惜しみなく殺しました。14 彼が自分のものをすべて食べ終えると、国中に大きな寂しさが広がったので、彼は飢え始め、15 同じ国の市民のところに行って、自分にしがみついた。彼は彼を自分の畑に送り、豚の世話をさせた。16 彼は、豚が食べた使用済みの穀物で腹を満たしたいと思った。そして、誰もそれを彼に与えませんでした。17 そこで彼は心の中で思いついて言った、「わたしの父は、パンをたくさん持っている雇われた者を何人持っていることか。わたしは飢えて死んでいることか。18 わたしは立ち上がって父のところに行って言う、「父よ、わたしは天に対して、またあなたの前で罪を犯しました」。19 わたしはもはやあなたの子と呼ばれるにふさわしくありません。私をあなたの日雇い労働者の一人にしてください!20 彼は立ち上がって、父のところに来た。しかし、まだそこから遠く離れていたもので、父親が彼を見て、彼は気の毒に思い、走って首に倒れ、キスをしました。21 すると息子は彼に言った、「父よ、わたしは天に対して、またあなたの前で罪を犯しました。今後、私はもはやあなたの子と呼ばれるに値しません。22 父は家来たちに言った、「早く一番良い着物を持ってきて、それを着せ、手に腕輪を、足に靴を履かせなさい。23 そして、わたしたちが肥やした子牛を持ってきて、それを殺しなさい」。食べて陽気にしましょう!24 わたしのこの子は死んで、よみがえった。彼は行方不明になり、発見されました。そして、彼らは陽気になり始めました。25 しかし、長男は畑にいた。そして、家の近くに来ると、歌と踊りが聞こえ、26 召使の一人を呼んで、それは何であるかを尋ねた。27 しかし、彼は彼に言った、「あなたの兄弟が来て、あなたの父が肥やした子牛をほふった。なぜなら、彼は彼を健康に戻したからだ」。28 すると彼は怒って、入ろうとしなかった。それから彼の父は出て行って彼に頼みました。29 しかし、彼は答えて父に言った、「見よ、わたしは長年にわたって君に仕えてきたが、君の命令をまだ破ったことがない。そして、あなたは私に友達と陽気にするためにヤギをくれませんでした。30 しかし、あなたのこの子が来て、あなたの富を売春婦と浪費したとき、あなたは彼のために肥やした子牛をほふったのです。31 彼は彼に

言った、「わが子よ、あなたはいつもわたしと共にいて、わたしのものはすべてあなたのものです」。32 しかし、あなたがたは喜びに満ち、元気であるべきである。あなたのこの兄弟は死んでいて、再び生き返ったので、彼は行方不明になり、発見されました。

1

16

彼はまた、弟子たちに言った、「ある金持ちがいて、執事がいて、彼は自分の財産を浪費したとして、彼の前で訴えられました。

2 彼はつかわして、彼に言った、「わたしはあなたから何を聞くのですか」。

あなたの家計を考慮に入れてください!

なぜなら、これからは、あなたは執事にはなれないからです。

3 執事は自分に言い聞かせた、「わたしはどうしようか」。私の主人は私からオフィスを取ります。掘ることができず、物乞いをするのが恥ずかしいです。

4

私は自分が何をしようとしているのかをよく知っているのです、彼らが私をオフィスから追い出されたときには、彼らの家に連れて行くでしょう。

5

彼は主人の債務者たちを呼び寄せて、ひとりひとりに言った、「わたしの主人にいくら借りがあるのですか」。

6 彼は言った、「百トンの石油」。

そして彼は彼に言った、「借金の請求書を持って、座って、急いで50ドルを書きなさい」。

7 それから彼はもうひとりに言った、「しかし、あなたたちはいくら借りがありますか」。

彼は「小麦100ブッシェル」と言いました。

彼は彼に言った、「あなたの手紙を持って、八十を書きなさい」。

8 主は、不義の執事が賢明に行動したとほめたたえられた。

なぜなら、この世の子らは、光の子らよりも自分たちの間で賢明だからである。

9

また、あなたがたに言う、「不義な富と友だちになりなさい。そうすれば、それが終わったとき、彼らがあなたを永遠の幕屋に迎え入れることができるようにしなさい」。10

最も小さい者に忠実な者は、大いなる者に対しても忠実であり、最も小さい者に対しても間違っている者は、大きな者に対しても誤りである。

11 もしあなたがたが不義の富に忠実でないなら、だれがあなたにまことの善を託すであろうか。

12

もしあなたがたが異邦人に忠実でないなら、だれがわたしたちのものをあなたがたにくれるでしょう
79

13

しもべはふたりの主人に仕えることはできない、すなわち、一方を憎んで他方を愛するか、それとも一方にしがみついて他方を軽むかのどちらかである。神様や富に仕えることはできません。

14 パリサイ人たちは、このことをすべて聞いた。彼らはお金に貪欲で、彼を嘲笑しました。

15

イエスは彼らに言った、「あなたがたは、人々の前で義人として振る舞う者ですが、神はあなたがたの心をご存知です。なぜなら、人々の間で高いところにあるものは、神の目には忌まわしいものです」。

16 律法と預言者たちはヨハネにまで及ぶ。

それ以来、神の国の福音が宣べ伝えられ、誰もが力づくで神の国に押し入るようになります。

17 しかし、天と地が過ぎ去る方が、律法のかげらが落ちるよりも簡単である。

18

自分の妻を離婚して他の妻と結婚する者は誰でも姦淫を犯し、彼女の夫を離婚する者は誰でも姦淫を犯す。

19

さて、ある金持ちがいて、紫色の貴重な亜麻布を身にまとい、毎日を栄光と喜びのうちに生きていた。

20 さて、ラザロという貧しい人がいて、戸口に傷だらけで横たわっていたので、

21 金持ちの食卓から落ちたもので満足したいと願ったので、犬たちが来て、彼の傷をなめた。

22 そして、その貧しい男は死んで、御使いたちによってアブラハムの胸に運ばれた。

しかし、金持ちも死んで埋葬されました。

23

彼が死者と共にいたとき、彼は苦しみながら目を上げ、遠くからアブラハムと彼の胎内にラザロを見た。

24

彼は叫んで言った、「父アブラハムよ、わたしを憐れんでください。ラザロをつかわして、指先を水に浸し、わたしの舌を冷やしてください。わたしはこの炎に苦しめられています」。

25 アブラハムは言った、「息子よ、覚えておきなさい。あなたがたは、いのちで善を受け入れたが、ラザロは悪を受けた。今、彼はここで慰められ、あなたがたは苦しんでいる」。

26

そして、これらすべてのことに加えて、私たちとあなたがたの間には大きな隔たりがあり、ここからあなたがたに渡ろうとした人々は渡ることができなかったし、そこから来た人々も私たちのところに渡ることができなかった。

27 それから彼は言った、「父よ、彼をわたしの父の家に送ってください」。

28

わたしにはさらに五人の兄弟がいるので、彼も彼らに警告して、彼らもこの苦しみの所に来ることがないようにするためである。

29 アブラハムは言った、「彼らにはモーセと預言者たちがいる。彼らに聞かせなさい」。

30

しかし、彼は言った、「父アブラハムよ、いや。しかし、もし死者のうちの一人が彼らのところに行ったら、彼らは悔い改めるでしょう」。

31

彼は彼に言った、「もし彼らがモーセと預言者たちの言うことを聞かないなら、死者の中からよみがえる者があっても、彼らは信じないでしょう」。

17

1 彼は弟子たちに言った、「つまずきの石が来ないわけにはいかない。彼らが来る者には災いが訪れるであろう」 2 彼にとっては、これらの小さな者の一人につまずきを引き起こすよりも、首に石臼をぶら下げて海に投げ込む方が良いでしょう。 3 用心しなさい。もしあなたの兄弟が罪を犯したなら、彼を責めなさい。そして、もし彼が悔い改めるなら、彼を許しなさい。 4 もし彼が一日に七回、あなたに対して罪を犯し、七回もあなたのところに戻ってきて、『ごめんなさい』と言ったとしたら、だから、彼を許すでしょう。 5 使徒たちは主に言った、「わたしたちの信仰を増してください」。 6 主は言われた、「もしからし種のように信仰をもっているなら、この桑の木に向かって言いなさい。『自分を引き裂いて海に身を投げなさい』。だから彼はあなたに従順になるでしょう。 7 あなたがたのうちで、自分のために耕したり、家畜を養ったりするしもべがいる人は、畑から帰ってくると、彼に言う⁸⁰「すぐに来て、食卓にすわりなさい」。 8 むしろ、彼が彼に言うのは、「わたしが夕食に食べるものを用意し、あなたのエプロンを着けて、わたしが食べて飲むまで仕えてあげなさい。その後、あなたも食べたり飲んだりするのですか? 9 彼はまた、命じられたことを行ったしもべに感謝していますか。 10 あなたもそう思います! 命じられたことをすべて行ったら、「われわれは役に立たないしもべだ。私たちは、やるべきことをやってきました。 11 彼がエルサレムへ旅をしているとき、サマリヤとガリラヤとの間を旅した。 12 彼が村に着くと、十人のらい病人が彼に会い、彼らは遠くに立っていて、 13 声を張り上げて言った、「親愛なる主人よ、わたしたちを憐れんでください」。 14 イエスは彼らを見て、彼らに言った、「行って、祭司たちに姿を見せなさい」。そして、彼らが行くにつれて、彼らは清められました。 15 しかし、その中のひとりが、いやされたのを見て、背を向けて大声で神をほめたたえ、 16 イエスの足もとにひれ伏して感謝した。そして、それはサマリヤ人でした。 17 しかし、イエスは答えて言われた、「彼らのうち十人は、きよめられていないか」。しかし、9人はどこにいますのでしょうか? 18 この異邦人のほかに、悔い改めて神に栄光を帰す者はいなかったのか。 19 彼は彼に言った、「起きて行きなさい。あなたの信仰があなたを助けました。 20 しかし、パリサイ人たちに「神の国はいつ来るのだろう」と尋ねられたとき、彼は彼らに答えて言った、「神の国は、あなたがたの目で見ることができるようには来ません。 21 また、「見よ、ここだ」とも言わない。または:そこ! 見よ、神の国はあなたがたのただ中にある。 22 イエスは弟子たちに言った、「あなたがたが人の子の日の一つを見たいと願う時が来るでしょう。しかし、あなたがたは彼を見ることがなくなります。 23 彼らはあなたに言う、「見なさい。見よ、ここ! 行ったり、ついて行ったりしないでください。 24 稲妻が天から閃き、天の下に

あるすべてのものを照らすように、人の子もその日にいるであろう。

26 ノアの時代に起こったように、人の子の時代にもそうであるように、27 彼らは食べ、飲み、結婚し、結婚し、結婚した。28 同じように、ノアが箱舟に入ってきて、洪水が来て、彼らをことごとく滅ぼす日まで、彼らは食べ、飲み、結婚し、結婚した。ロトの時代に起こったように、彼らは食べ、飲み、買い、売り、植え、建てました。29 しかし、ロトがソドムを出た日、天から火と硫黄が降り注ぎ、彼らを皆殺しにした。30 だから、人の子が啓示される日になる。31 その日、屋根の上において家財道具を家に持っている者は、それを取って下りて来てはならない。同じように、現場にいる者も、自分の後ろにあるものに戻ってはならない。32 ロトの妻を思い出してください。33 自分の魂を守ろうとする者は、それを失う。そして、彼女を失った者は誰でも、彼女が生きるのを助けるでしょう。34 あなたがたに言うておくが、その同じ夜、ふたりが一つのベッドに横たわるであろう。1つは受け入れられ、もう1つは拒否されます。35 ふたりが挽き合わせる。1つは受け入れられ、もう1つは拒否されます。36 ふたりが戦場において、ひとりを受け入れられ、もうひとりは見捨てられる。37 彼らは答えて言った、「主よ、どこで」。そして、イエスは彼らに言った、「死骸があるところに、ハゲタカが集まっています」。

18 1 イエスは彼らに、常に祈り、あきらめてはならないというたとえ話をして言った、「ある町に、神を恐れず、また、だれも恐れないさざるさばきがありました。

3

さて、同じ町にひとりのやもめがいて、彼のところにきて言った、「わたしの敵の前で、わたしの正義を証明してください」。

4 そして、彼は長い間そうしなかった。

しかし、その後、彼は心の中で考えました、「私は神を恐れず、また、どんな人をも恐れていないが、

それでも私はこの未亡人に正義を尽くそう。なぜなら、彼女は私に多くの問題を与えているからであり、ついに彼女が来て私に何かをしないようにするためである。」

6 そこで主は言われた、「ここで、不義なさばきの言うことを聞きなさい」。

7 神は、昼も夜も彼に叫ぶ彼の選民にも正義を与え、また、彼らと共に長引くべきではないか。

8 あなたがたに告げる、彼はまもなく彼らの正義を回復するであろう。

しかし、人の息子が来るとき、彼は地球で信仰を見つけると思いませんか。

9 彼は、義人であると思込み、他の者を軽蔑する人々に、このたとえ話を言った。

10 ふたりの人々が祈るために神殿に上った。ひとりはパリサイ人で、ひとりは取税人であった。

11 パリサイ人は立って自分に祈りました、「神よ、感謝します。

私は他の人々、強盗、不義、姦淫者、あるいはこの取税人のようではありません。

12 わたしは週に二回断食し、取るすべてのものの十分の一を捧げます。

13

取税人は遠くに立って、目を天に上げようとせず、胸を打って言った、「神様、罪人であるわたしを憐れんでください」。

14 あなたがたに言うておくが、この人は正当化されて彼の家に下ったのであって、それではない。自分を高くする者は謙遜される。そして、自分をへりくだる者は高められるでしょう。

15 彼らはまた、幼い子供たちをイエスのところに連れてきて、彼らに触れさせた。

しかし、弟子たちはそれを見て、彼らを叱責した。

16

しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「子供たちをわたしのところに来させなさい。彼らを妨げないでください。これが神の国です」。

17 まことに、あなたがたに告げます。

神の国を子供として受け入れない者は、その国に入ることはできません。

18

すると、つかさが彼に尋ねた、「先生、永遠の命を受け継ぐためには、わたしは何をしなければなら

ないのですか」。

19 しかし、イエスは彼に言われた、「なぜ、わたしを認めるのですか」。

神以外に善良な人はいません。

20 あなたがたは、「姦淫を犯してはならない。汝は殺してはならない。汝、盗んではならない。

あなたは偽りの証言をしてはならない。お父さんとお母さんを敬うべきだ。」

21 彼は言った、「わたしは、これらのものをすべて若い頃から取っておいてきました」。

22 イエスはこれを聞いて言われた、「あなたにはまだ一つ欠けているものがある」。
あなたが持っているものを全部売って貧しい人々に与えなさい、そうすればあなたは天に宝を持つでしょう、そして来て、私についてきてください。
23 彼はこれを聞いて、とても裕福だったので、悲しんだ。
24 しかし、イエスは彼を見て言われた、「金持ちが神の国に入るのは、なんと難しいことでしょう。
25 金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方が簡単です。
26 すると、これらのことを聞いた人々は言った、「それでは、だれが救われることができるのか」。
27 しかし、彼は言った、「人には不可能なことが、神には可能だ」。
28 ペテロは言った、「見よ、わたしたちはすべてを捨てて、あなたがたについてきました。
29 イエスは彼らに言った、「まことに、あなたがたに告げます。
神の国のために、家や妻や兄弟や両親や子供を捨てる者はいません。
また、この時に再びそれを受け取らず、来世での永遠の命を受け取らない者はいません。
31
イエスは十二弟子を連れて彼らに言った、「見よ、わたしたちはエルサレムに上ります。人の子の預言者たちが書きしるしたことはすべて完成するでしょう」。
32 彼は異邦人に引き渡され、あざけられ、ののしられ、吐き出され、
33 彼らは彼をむち打ち、殺し、三日目には彼はよみがえる。
34 しかし、彼らはそれを理解せず、その言葉は彼らから隠され、何を言われたのかわからなかった。
35 彼がエリコの近くに来たとき、ひとりの盲人が道のそばにすわって物乞いをしていた。
36 しかし、通りすがりの人々の声を聞いて、彼らが何であるかを尋ねた。
37 それから彼らは彼に、ナザレのイエスが通りかかったと告げた。
38 彼は叫んで言った、「ダビデの子イエス様、わたしを憐れんでください」。
39 しかし、前に出た者たちは、彼を黙らせるように脅した。
しかし、彼はもっと叫んだ、「ダビデの息子よ、私を憐れんでください」。
40 しかし、イエスはじっと立って、彼を自分のところに連れて来るように命じた。
彼らが彼を近づけたとき、彼は
彼(41歳)に尋ね、「君のために僕に何をしてほしいのか?」と言った。
彼は言いました、「主よ、私が再びお会いすることができますように。」
42 イエスは彼に言われた、「見なさい」。あなたの信仰があなたを助けました。
43 すると、彼はすぐに彼を見て、神をほめたたえながら、彼について来た。
そして、それを見た人々はみな神をたたえました。

19

1 彼はエリコを通して入った。2 すると見よ、ザアカイという男がいて、彼は取税人の支配者で、金持ちだった。3 そして、彼は自分が誰であるかイエスに会いたかったが、人には会えなかった。なぜなら、彼は小さかったからだ。4 そして、先に走って桑の木に登り、彼が彼に会うかもしれない。なぜなら、彼はそこで通り抜けることになっていたからだ。5 イエスはその場所に来て、見上げて言われた、「ザアカイよ、早く下ってきなさい。今日、君の家に立ち寄らなければならないからだ。6 彼は急いで下って来て、喜んで彼を迎えた。7 これを見て、彼らはみなつぶやいて言った、「彼は罪人のところに来た」。
8 ザアカイは主の前に来て言った、「主よ、見よ、わたしの財産の半分を貧しい人々に与えます。もしだれかを欺いたならば、それを四倍に返します。9 イエスは彼に言われた、「きょう、この家に救いが来ました。彼もまたアブラハムの子です」。
10 人の子が来たのは、失われたものを探し、救うためであった。11 彼らが聞いている間に、イエスはエルサレムの近くにいたので、神の国がすぐに現れると思っていたので、たとえ話をした。12 「ある高貴な人が、遠く離れた地に行って、その国を手に入れて帰って来た」と言った。
13 彼はしもべ十人をつかわして、彼らに十ポンドを与えて言った、「わたしが戻るまで、彼らと取引してください」。
14 しかし、彼の民は彼に敵対し、彼に伝言を送って、「彼にわれわれを治めてほしくない」と言った。15 そして、彼が再び来たとき、王国を手に入れた後、彼が金を渡したのと同じしもべたちを呼んで、彼らが何のために交渉したのかを知ることができるようにした。16 すると、ひとりの者が来て言った、「主よ、あなたのポンドは十ポンド稼ぎました」。
17 彼は彼に言った、「ああ、敬虔な僕よ。あなたが最も忠実であったので、あなたは十の町を治める力を持つでしょう」。
18 二番目の者が来て言った、「主よ、あなたのポンドは五ポンドを負担しました」。
19 彼はまた彼に言った、「あなたがたは五つの町を越えるであろう」。
20 三人目も来て言った、「主よ、見よ、これがわたしがハンカチに入れておいたあなたのポンドです。21 わたしはあなたを恐れていました、なぜなら、あなたはかたくなな人だからです。あなたは捨てていないものを取り、蒔いていな

いものを刈り取ります。

22 彼は彼に言った、「わたしはあなたの口からあなたをさばくでしょう。あなたは悪しきしもべです。わたしが厳しい人で、置いていないものを取り、蒔いていないものを刈り取ることを、あなたがたは知っていましたか。23 なぜわたしのお金を為替手形に入れなかったのですか。そして、もし来ていたら、興味を持って要求したでしょう。24 彼はそばに立っていた人々に言った、「彼からポンドを取り、十ポンドある者に与えなさい」。25 彼らは彼に言った、「主よ、彼はすでに十ポンドを持っています」。26 しかし、あなたがたに、すなわち持っている者には、それは与えられる。しかし、持っていない者からは、彼が持っているものさえも奪われます。27 しかし、わたしが彼らを治めることを望まなかったわたしの敵たちは、彼らをここに連れてきて、わたしの前で殺しなさい。28 こう言って、彼は出て行ってエルサレムに行った。29 そして、彼がベテパゲとベタニヤに近づき、オリーブ山と呼ばれる山に来たとき、弟子たちにふたりの30をつかわして、「反対側の所に行きなさい」と言った。そして、中に入ると、これまで誰も座ったことのない縛られた子馬が見つかります。ほどこいてここに持ってきてください!31 もしだれかが、なぜそれを解くのかと尋ねたら、『主が彼を必要としている』と言いなさい。32 遣わされた者たちは、イエスが彼らに言われたとおりに、行ってそれを見つけた。33 彼らが子馬をほどくと、主人たちは彼らに言った、「なぜ、子馬をほどくのですか」。34 しかし、彼らは言った、「主は彼を必要としておられる」。35 そこで彼らはそれをイエスのところに持って行き、その仔馬の上に自分たちの着物を投げつけ、イエスをその上に乗せた。36 イエスが行ったとき、彼らはその着物を道に広げた。37 イエスがすでにオリーブ山の斜面に近づいたとき、弟子たちの群衆はみな、見たすべての行いに対して大声で神をほめたたえ始め、38 言った、「王よ、主の名によって来る者は、さいわいです」。天国に平和があり、いと高きところに栄光がありますように!39 そこで、民の中にパリサイ人の何人かが彼に言った、「先生、あなたの弟子たちに抵抗してください」。40 イエスは彼らに答えて言われた、「あなたがたに言うておく。もしこれらが黙っているなら、石は叫ぶであろう。41 彼は近づくとき、その町を見て涙を流し、42 「この時、あなたがたも自分の平和のために何が必要かを知っていればいいのに」と言った。しかし、今ではそれはあなたの目から隠されています。43 あなたがたの敵が、あなたとあなたの子孫とを囲む城を築いて、あなたを包囲し、あなたがたをことごとく恐れさせる日が、あなたがたに臨むであろう。44 そして、彼らはあなたをすりつぶし、一つの石も残さないでしょう。なぜなら、あなたがたは自分が苦しんでいる時を知らなかったからです。45 彼は宮にはいって、売っている者たちを追い出し始め、46 彼らに言った、「『わたしの家は祈りの家となる』と書いてある」。しかし、あなたはそれを強盗の巣窟にしまいました。47 彼は毎日、神殿で教えた。しかし、祭司長や律法学者、そして最も高貴な民衆は彼を殺そうとしたが、48 それを行う方法を見つけれなかった。民はみな彼にしがみつ、彼の言うことを聞いた。

1

20

彼が宮で民に教え、福音を宣べ伝えていた日、祭司長たちと律法学者たちが長老たちと共に彼のところに来て言った

、「教えてください。あなたがたは、いったい何の権威によってこれをしているのですか。

また、だれがそのような権威をあなたに与えたのですか」。

3 イエスは彼らに答えて言った、「わたしもまた、あなたがたに一言尋ねます。

4 ヨハネのバプテスマは、天から受けたものか、それとも人から受けたものか」。

5

しかし、彼らは心の中で考え込んで言った、「もし私たちが天から言うなら、彼は『なぜ彼を信じなかったのか』と言うでしょう」。

6 しかし、もしわたしたちが人について言うなら、すべての民はわたしたちを石で打ちます。

なぜなら、彼らはヨハネが預言者であると主張するからです。

7 彼らは、それがどこから来たのかかわらないと答えた。

8

イエスは彼らに言われた、「わたしがこれをどのような権威によって行っているのか、あなたがたには言わない。

9

そして、彼は人々にこのたとえを語り始めた、「ひとりの人がぶどう園を植えて、それをぶどう酒屋に貸し、楽しい時間を過ごすために田舎を出た」。

10

そして、その時に、ぶどう畑の実の一部を彼に与えるために、ぶどう畑の栽培者たちに召使を送った。しかし、ブドウ栽培者たちは彼を打ち負かし、彼を空っぽにしました。

11 彼はまた別のしもべをつかわしたが、彼らも彼を打ち、あざけり、空っぽにした。

12 彼は三人目を送ったが、彼らもまた彼を血まみれにして追い出した。

13 そこでぶどう園の主人は言った、「わたしはどうしたらよいでしょうか」。

私は愛する息子を送ります。彼らはそれを敬遠するでしょう。

14 しかし、ぶどうの木を育てる者たちは、息子を見て、「これが嗣業だ。さあ、彼を殺そう、その嗣業を自分たちのものにしよう」と言った。

15 そして、彼をぶどう園から追い出して殺した。ぶどう園の主人は彼らに何をしますか？

16 彼は来て、これらのぶどうの木を育てる者たちを殺し、自分のぶどう畑を他の人々に与える。

彼らはこれを聞いて、「お前たちから遠く離れている」と言った。

17

しかし、イエスは彼らを見て言った、「では、(詩篇118:22)『建てる者たちが拒んだ石が隅の石となった』と書かれているのは、いったい何でしょうか」。

18 この石の上に落ちる者は砕かれ、この石に落ちる者は砕かれる。

19

律法学者たちや祭司長たちは、その時、彼に手を置こうとしたが、彼がこのたとえ話を自分たちに語ったことを理解したので、民を恐れた。

20

そこで彼らは彼を追いかけ、人々を遣わして敬虔なふりをさせ、彼の演説を捕まえさせ、総督の権威と権威に引き渡そうとした。

21

そこで彼らはイエスに尋ねた、「先生、あなたが誠実に語り、教えることを私たちは知っています。また、人の権威を尊重せず、神の道を正しく教えています。」

22 わたしたちがカイザルに税金を納めるのは正しいですか、それともそうでないですか。

23 しかし、イエスは彼らの狡猾さを見て、彼らに言った、「

24 わたしに一ペニーも見せてください」。彼はどんな写真と碑文を持っていますか？

しかし、彼らは「シーザーズ」と言いました。

25 イエスは彼らに言った、「カイザルのものをカイザルに、また、神のものを神に返せ」。

26 そして、彼らは民の前で彼を抑えることができず、彼の答えに驚いて沈黙した。

27 そこで、復活はないと信じているサドカイ派の人たちが、彼のところに来て、

28

彼に尋ねた、「先生、モーセは私たちに手紙を書きました。『もし妻がいる兄弟が死んで、子供がいなければ、その兄弟が妻をめとって、兄弟の子孫を育てさせてください。』」。

29 さて、七人の兄弟がいた。最初の人は妻をめとり、子供を持たずに亡くなりました。

30 そして、二人目は彼らを、

31 三番目は七人全員を連れて行き、子供を一人も残さず、死んだ。

32 ついに、その女性も死んだ。

33 さて、復活のとき、彼女は彼らの中にだれの妻となるのでしょうか。

なぜなら、7人全員が彼女を妻にしていたからです。

34 イエスは彼らに言われた、「この世の子供たちは、結婚して結婚しています。

35

しかし、その世と死者の中からの復活を得るにふさわしい者は、結婚することも結婚することもない。

36 彼らはもはや死ぬことができない、なぜなら彼らは天使のようであり、神の子であるからである。

37

しかし、モーセはまた、死者がアブラハムの主なる神、イサクの神、ヤコブの神と呼ばれていることから、死者が茂みによみがえることも示している。

38 しかし、神は死者の神ではなく、生きている者の神である。

39 すると、律法学者の何人かが答えて言った、「先生、あなたは正しいとおっしゃいました」。

40 そして、彼らはあえて彼に尋ねようとはしなかった。

41 イエスは彼らに言った、「彼らはどうしてキリストがダビデの子だと言うのですか」。

42 そして、彼自身、ダビデは詩篇の書(詩篇110:1)で、「主は私の主に言われた、『わたしがあなたの敵をあなたの足の足台にするまで、わたしの右に座しなさい』」。

44 ダビデは彼を主人と呼んでいるのに、どうして彼は自分の子なのだろうか。

45 しかし、すべての民が聞いていたので、イエスは弟子たちに言った、「

長い服を着て歩き回りたがり、市場で迎えられるのを喜び、会堂の頭や食卓に座るのが好きな律法学者たちに気をつけなさい。

47 彼らはやもめの家をむさぼり食い、身なりのために長い祈りを捧げます。

彼らはより厳しい裁きを受けるでしょう。

21

1 彼が見上げると、金持ちたちが神の箱にいけにえをささげているのが見えた。

2 また、二匹のダニをささげた貧しいやもめも見えた。

3 彼は言った、「まことに、あなたがたに言っておく。

この貧しいやもめは、彼ら全員よりも多くを注ぎ込んだ。

4

これらの人々はみな、その豊かさから犠牲のためにささげたが、彼女は貧しさから生活したすべてのものをささげたのである。

5 また、ある者がその神殿について、立派な石や宝石で飾られていると言ったとき、彼は言った、「

6

あなたがたが見るすべての石のうち、一つの石も他の石の上に一つも残らず、壊れることのない時が来るでしょう」。

7

しかし、彼らはイエスに尋ねた、「先生、これはいつ起こるのですか。また、それが起こるとき、どのようなしるしは何ですか」。

8

しかし、彼は言った、「だまされてはならない。多くの者がわたしの名によって来て、『わたしである』『その時が来た』と言うであろう。 - 彼らを追いかけてください!

9 しかし、戦争や反乱の話を書くときも、恐れることはありません。

なぜなら、これは最初に行われなければならないからです。

しかし、終わりはそれほど早くはありません。

10 イエスは彼らに言われた、「民は国に反抗し、国は国に反抗し、

11 大地震、疫病、高価な時間、恐怖、大いなるしるしが天から来るでしょう」。

12

しかし、その前に、彼らはあなたがたに手を差し伸べ、迫害し、あなたがたを彼らの会堂や牢獄に引き渡して、わたしの名のために王やつかさたちの前に行くであろう。

13 これにより、あなたがたは証人となる。

ですから、自分自身でどのように答えるかについて心配する必要はないことを心に留めておきなさい。

15

わたしは、あなたがたに口と知恵を与えるが、それはすべての敵が抵抗することも、否定することもできないからである。

16

しかし、あなたがたは、両親、兄弟、親戚、友人に引き渡され、彼らはあなたがたのうちの何人かを殺すであろう。

17 そして、あなたがたは、わたしの名のために、みんなに憎まれるであろう。

18 そして、あなたがたの髪の毛一本も失われることはない。

19 忍耐すれば、あなたは自分のいのちを得るでしょう。

20 しかし、エルサレムが軍隊に包囲されているのを見るときは、その荒廃が来たことを知りなさい。

21

それから、ユダヤにいる者は山に逃げ、町にいる者は出て行き、田舎にいる者は入ってはならない。

22 これらは報いの日であり、それは書き記されたすべてのことが成就するためです。

23 しかし、その日に妊娠し、授乳している人々はわざわざいす。

地には大きな苦難があり、この民に対する怒りは、

24

彼らはつるぎの刃に倒れ、すべての国民の中に捕らわれ、エルサレムは異邦人の時が成就するまで異邦人に踏みこまれるであろう。

25 また、太陽、月、星、地上の人々は恐れ、彼らは恐れ、海と水の波が轟き、

26 人々は恐れて衰え、全地に来るであろうことを期待して、天の力も揺さぶられる。

27 そして、人の子が力と大いなる栄光を携えて雲に乗って来るのを見るであろう。
28 しかし、これらのことが起こり始めたら、顔を上げて頭を上げなさい。
なぜなら、あなたの贖いが近づいているからです。
29 彼は彼らにたとえ話をした、「いちじくの木とすべての木を見なさい。
30 もし今、それらが芽を出し、それを見るなら、あなたがた自身も夏が近いことを知っています」。
31
ですから、あなたがたもまた、これらすべてのことが近づいているのを見ると、神の国が近づいていることを知っておられます。
32 まことに、あなたがたに告げるが、この世代は、万事が来るまでは過ぎ去らない。
33 天と地は過ぎ去るが、わたしの言葉は過ぎ去らない。
34
しかし、あなたがたの心が飲食や食べ物の心配で重くのしかかっていないこと、また、この日が罨のようにすぐにあなたがたに襲い掛かることのないように気をつけなさい。
35 彼は、地上に住むすべての者に突然来るからである。
36
ですから、常に目を覚まし、これから起こるこれらすべての事柄から逃れ、人の子の前に立つために強くなれるように祈りなさい。
37 彼は昼間は神殿で教え、夜は出て行ってオリーブ山と呼ばれる山に泊まった。
38 そして、民はみな、神殿で彼の話聞くために、早くから彼のところへ行った。

22

1 また、イースターと呼ばれる種入れぬパンの祭りが近づいていた。2 祭司長や律法学者たちは、民を恐れて彼を殺そうとした。3 サタンは、十二使徒イスカリオテというユダに入ってきた。4 彼は行って、祭司長たちと百人隊長たちに語りかけた。彼は彼を彼らに引き渡したかった。5 彼らは喜び、彼に金をあげると約束した。6 彼は同意し、音を立てずに彼を引き渡す機会を求めた。7 それから、種入れぬパンの日が来て、パスカルの小羊が犠牲にされなければならなかった。8 彼はペテロとヨハネをつかわして言った、「行って、パスカルの小羊を用意して、わたしたちがそれを食べることができるようにしなさい」。9 しかし、彼らはイエスに言った、「それをどこに用意してほしいのですか」。10 イエスは彼らに言われた、「見よ、あなたがたが町に入ると、水差しを持った男に出会うでしょう。彼についてきて、彼がはいる家に入り、11 その家の主人に言って、「あるじがあなたに言葉を送った、『わたしが弟子たちと一緒にパスカルの小羊を食べることができる部屋はどこにあるのか』」。12 彼は座布団のある大きな広間をあなたに見せる。そこで準備します。13 彼らは行って、イエスが言われたとおりにそれを見つけ、パスカルの小羊を準備した。14 時が来ると、彼はすわった。使徒たちも一緒に座った。15 イエスは彼らに言った、「わたしは、苦しむ前に、このパスカルの小羊をあなたたちと一緒に食べたいと切に願っていました」。16 あなたがたに告げるが、神の国でそれが成就するまでは、わたしは二度とそれを食べることはない。17 彼は杯を取り、感謝をささげて言った、「それを取り、あなたがたたちに分けなさい。18 あなたがたに告げるが、今から後、わたしは神の国が来るまで、ぶどうの木の実を飲むことはない。19 彼はパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて彼らに与えて言った、「これがわたしのからだです。これはあなたがたのために与えられたものです。私を偲んでそうしてください。20 彼はまた、食事の後、杯を取って言った、「この杯は、わたしの血による新約聖書で、あなたがたのために注がれているものです」。21 しかし見よ、わたしの裏切り者の手は、わたしと共にテーブルの上に立っている。22 人の子は定められたとおりに行かれる。しかし、彼が裏切られた男は災いです!23 そして、自分たちの中で誰がこれを行うのか、自分たちの間で尋ね始めた。24 彼らの間にも、彼らの中で最も大きいとされる争いがあった。25 イエスは彼らに言った、「もろもろの国の王たちは治め、その勇士たちは慈悲の君主と呼ばれています」。26 しかし、あなたがたは違います。しかし、あなたがたの中で最も偉大な者は、最も若い者のようになり、最も高貴な者は召使いのようになるであろう。27 食卓に着く者と仕える者と、どちらが偉大であろうか。食卓に着くのは、その人ではないのか。しかし、私は召使いとしてあなたがたの中にいます。28 しかし、わたしの試練において、わたしと共に忍耐してくださったのは、あなたたちです。29 わたしの父がわたしに命じたとおりに、わたしはあなたがたに国を与える。30 それは、あなたがたがわたしの王国のわたしの食卓で飲み食いし、イスラエルの十二部族を王座に着いてさばくためである。31 シモン、シモン、見よ、サタンはあなたを麦のようにふるいにかけるために、あなたを望んでおられた。32 しかし、わたしはあなたがたのために、あなたがたの信仰が衰えることのないように祈った。そして、あなたが回心したとき、あなたの兄弟たちを強めなさい。33 彼は彼に言った、「主よ、わたしはあなたと一緒に牢獄に行き、死に至る準備ができています」。34 彼は言った、「ペテロ、あなたがたに言うておくが、今日は、わ

たしを知っていることを三度も否定するまで、御心は鳴かない」。35 イエスは彼らに言った、「わたしがあなたがたを袋も袋もつかず、靴も持たずに遣わしたとき、あなたがたが欠けたことがありますか」。彼らは言った:決して。36 それからイエスは彼らに言った、「しかし、財布を持っている者は、それも袋も取って、持っていない者は、その上着を売って剣を買いなさい」。37 あなたがたに言う、「彼は悪を行う者たちの中に数えられる」と、書き記されていることも、わたしのうちに完全にされなければならない。なぜなら、私が書いたものも完成するからです。38 彼らは言った、「主よ、見よ、ここに二つの剣があります。イエスは彼らに言った、「もう十分です」。39 そして、彼はいつものようにオリーブ山に出かけた。そして、彼の弟子たちは彼に従った。40 イエスはそこに来て、彼らに言われた、「どうか祈りなさい。あなたがたが誘惑にかからないように。41 そして、彼らから目と鼻の先で身をかがめ、ひざまずいて祈りながら言った、「父よ、もしよろしければ、この杯をわたしから取り除いてください。しかし、私の意志ではなく、あなたの意志が行われますように。43 すると、天からひとりの御使いが彼に現れて、彼を強めた。44 そして、彼は死と闘い、より熱心に祈るようになった。しかし、彼の汗は血の滴のようになり、地面に落ちました。45 彼は祈りから立ち上がって、弟子たちのところに来て、彼らが悲しみに暮れて眠っているのを見て、46 彼らに言った、「なぜ眠っているのですか。誘惑に負けないように、立ち上がって祈りなさい。47 しかし、彼がまだ話しているうちに、一行が来た。そして、十二弟子の一人、ユダという者が、彼らの前に出て、イエスに接吻しようと近づいた。48 イエスは彼に言われた、「ユダよ、あなたは人の子に接吻で裏切るのですか」。49 しかし、彼の周りにいた者たちは、その事を見て、彼に言った、「主よ、わたしたちはつるぎをもって撃ちましょうか」。50 その中のひとりが大祭司のしもべをむち打ち、その右耳を切り落とした。51 しかし、イエスは答えて言われた、「やめなさい」。そして彼は彼の耳に触れて彼を癒しました。52 イエスは、宮の祭司長たちと百人隊長、および彼のところに来た長老たちに言われた、「あなたがたは、人殺しのために、つるぎとむちを持って出て行きました。53 わたしは毎日、あなたがたと共に宮にいましたが、あなたがたはわたしに手を置いたことはありません。しかし、これはあなた方の時間であり、闇の力です。54 しかし、彼らは彼を捕まえて連れて行き、大祭司の家に連れて行った。しかし、ピーターは遠くからついて来ました。55 そこで彼らは中庭の真ん中に火を灯し、一緒にすわった。そしてペテロは彼らの中に座りました。56 すると、ひとりの女中が火のそばにすわっているのを見て、じっと見つめて言った、「この人も一緒でした」。57 彼はそれを否定して言った、「女よ、私は彼を知らない」。58 しばらくして、ひとりの人が彼を見て言った、「あなたも彼らの一人です」。しかし、ペテロは言いました、「それは私ではありません」。59 しばらくして、一時間後、別の人がそれを認めて言った、「ほんとうに、この人は彼と共にいた。彼はガリラヤ人だからです。60 しかし、ペテロは言った、「あなたが何を言っているのか、私にはわかりません」。そして、彼がまだ話しているとたん、鳴き声が上がった。61 主は振り返ってペテロを見つめられた。そしてペテロは、「きょう、カラスの前で、あなたは三度わたしを否定するであろう」と言われた主の言葉を思い出しました。62 ペテロは出て行って、激しく泣いた。63 しかし、イエスを抱きしめた人々は彼をあざけり、打ち、64 彼をおおって言った、「預言者よ、あなたがたを打ったのはだれですか」。65 彼らは彼に対して、他にも多くの冒流を言った。66 そして、夜が明けると、民の長老たち、祭司長、律法学者たちは集まり、彼を彼らの評議会に連れ出して、67 「もしあなたがキリストであるなら、私たちに教えてください」と言った。しかし、彼は彼らに言った、「もしわたしがあなたがたに言うなら、あなたがたはそれを信じないでしょう。68 しかし、わたしが尋ねても、あなたがたは答えない。69 しかし、これからは、人の子が神の力の右に座するようになる。70 すると、彼らはみな言った、「あなたは神の子ですか」。彼は彼らに言った、「あなたが言う、それは私です」。71 しかし、彼らは言った、「なぜ、これ以上証人が必要なのですか」。私たちは彼の口からそれを聞いています。

23

1 群衆はみな立ち上がって、彼をピラトの前に連れて来て、彼を非難し始めて言った、「この男が、われわれの民を追い払い、カイザルに税金を課すことを禁じ、彼が王であるキリストであると言っているのを見つけました」3 しかし、ピラトは彼に尋ねて言った、「あなたはユダヤ人の王ですか」。彼は答えて、「君がそう言うんだ」と言った。4 ピラトは祭司長たちと民に言った、「この人には欠点がありません。5 しかし、彼らはさらに激怒して言った、「彼はユダヤの全地で教えて民を奮い立たせ、ガリラヤからここまで始まったのです」。6 ピラトはこれを聞いて、その人がガリラヤから来たのかと尋ねた。7 彼は自分がヘロデの権威に属していると聞くと、その日エルサレムにいたヘロデのところへ彼を遣わした。8 しかし、ヘロデはイエスを見て、非常に喜んだ。彼はずっと前に彼に会いたかったからだ。彼は彼のことを聞いていたので、彼からのしるしを見ることを望んでいた。9 彼は多くのことを彼に尋ねた。しかし、彼は何も答えませんでした。10 しかし、祭司長たちや律法学者たちは、彼を厳しく非難して、傍観した。11 しかし

、ヘロデとその家来たちは彼を軽蔑し、あざけり、白い衣を着せて、彼をピラトのところに送り返した。12 その日、ピラトとヘロデは互いに友になりました。なぜなら、以前は彼らはお互いに敵対していたからです。13 しかし、ピラトは祭司長たちとつかさたちと民を呼び集めて、14 彼らに言った、「あなたはこの人を、民を遠ざける者として、わたしのもとに連れて来ました。見よ、わたしはあなたがたの前で彼を調べたが、あなたがたが彼を告発したことについて、その人には何も見いだせなかった。15 ヘロデも、彼をわたしたちのもとに送り返した。見よ、彼は死に値するようなことは何もしていない。16 だから、わたしは彼を懲らしめて釈放する。17:18 すると、群衆はみな叫んで言った、「この男を連れ去って、われわれバラバを解放してください」。19 彼は、その町で起こった暴動と殺人のために投獄された。20 そこでピラトは、イエスを釈放したかったので、再び彼らに呼びかけた。21 しかし、彼らは叫んで言った、「彼を十字架につけなさい、十字架につけなさい」。22 イエスは三度目に彼らに言った、「この人はどんな悪事をしたのですか」。彼の中に死に値するものは何も見つかりません。それゆえ、わたしは彼を罰し、釈放する。23 しかし、彼らは大声で彼を攻め、十字架につけるように要求した。そして、彼らの叫び声は手に負えなくなりました。24 ピラトは彼らの願いが聞き入れられたと判断し、25 彼らが求めた扇動と殺人のために牢獄に入れられた者を釈放した。しかし、彼はイエスを彼らの意志に引き渡しました。26 そして、彼を連れ去るとき、野から来ていたクレネのシモンというひとりを捕まえ、イエスを叱責するために彼に十字架を置いた。27 彼の後には、大勢の民と女が彼に続き、彼のために嘆き悲しみ、泣いた。28 しかし、イエスは彼らに向き直って言われた、「エルサレムの娘たちよ、わたしのために泣くのではなく、自分自身とあなたがたの子供たちのために泣いてください」。29 見よ、『不妊の者、産まぬ体、養えない乳房はさいわいである』と言われる時が来るであろう。30 それから彼らは山々に向かって言い始める、「われわれに倒れよ」。そして丘へ: 私たちを守ってください! 31 もしこれが青木に行われるならば、何が枯れた者になるのか。32 また、彼を始末するために、ふたりの悪人を連れ去る者もいた。33 そして、彼らが髑髏の場所と呼ばれる場所に来ると、そこで彼を十字架につけ、彼と共に悪を行う者たちを、一人は右側に、一人は左側につけた。34 しかし、イエスは言われた、「父よ、彼らをお赦しください。なぜなら、彼らは自分が何をしているのか分かっていないからです。そして、彼らは彼の衣服を分けて、彼らのためにくじを引いた。35 民は立って見守っていた。支配者たちも嘲笑して言った、「彼は他の人々を助けた。彼自身を助けなさい、彼はキリストであり、神の選ばれた者です。36 兵士たちも彼をあざけり、彼のところに来て、ぶどう酒を持ってきて言った、「もしあなたがユダヤ人の王であるなら、自分を救え」。38 また、彼の上には、「これがユダヤ人の王である」という碑文もありました。39 しかし、絞首刑にされた者の悪行者は、彼を冒涇して言った、「あなたはキリストではありませんか」。あなた自身と私たちを助けてください! 40 すると、もうひとりの者が答えて、彼を叱責して言った、「あなたがたは、同じ罪に定められている神を恐れないのですか」。41 そして、わたしたちは、自分の行いにふさわしいものを受け取るので、これを正しく行っています。しかし、彼は何も悪いことをしていません。42 彼は言った、「イエス様、あなたがあなたの国に来るとき、わたしを思い出してください」。43 イエスは彼に言われた、「まことに、あなたがたに告げます。きょう、あなたはわたしと共にパラダイスにいます。44 そして、すでに六時頃になっていて、九時まで全地は暗闇に包まれ、45 太陽はその光を失い、神殿の垂れ幕は二つに裂けた。46 イエスは大声で叫んで言われた、「父よ、わたしの霊をあなたの手に乗ねます」。そして、彼がこれを言ったとき、彼は死にました。47 しかし、百人隊長はその様子を見て、神をはめたたえて言った、「まことに、この人は正しい人だった」48 そこにいて見ていた民はみな、その様子を見て、胸を打って引き返した。49 彼の知人はみな遠くに立っていた。ガリラヤから来た者たちは、彼を追いかけて、これらのことをみな見た。50 すると見よ、評議員のヨセフという人がいて、善良で敬虔な人で、51 彼らの助言と取引に同意していなかった。彼はユダヤ人の町アリマタヤ出身で、神の国を待ち望んでいた者でした。52 彼はピラトのところに行って、イエスの遺体を求め、53 それを取り除き、亜麻布で包み、だれも横たわったことのない切り出した墓に納めた。54 その日は準備の日で、安息日が明けた。55 ガリラヤから彼と共に来た女たちは、ついて来て、墓と彼の体がどのように埋葬されているかを見た。56 しかし、彼らは引き返して、香料と香油を用意した。そして、安息日の間、彼らは律法に従って沈黙していた。

24

1 しかし、週の初めの日、非常に早い時間に、彼らは用意した香料を持って墓に来た。2 しかし、墓から転がり落ちた石を見つけ、3 入って入ったが、主イエスの体は見つからなかった。4 そして、彼らがこれを心配していると、見よ、輝く衣を着たふたりの男が彼らのところに来た。5 そして、彼らは恐れて、顔を地面に打ちつけた。彼らは彼らに言った、「なぜ、死者の中から生者を求めるのですか。6 彼はここにはいない。彼はよみがえった。彼がまだガリラヤにいたとき、7 「人の子は罪人の手に引き渡され、十字架につけられ、三日目に再びよみがえらな

ればならない」と言ったことを思い出してください。8 彼らはイエスの言葉を覚えた。9 そして、彼らは再び墓から下って行き、これらのことをみな、十一人の弟子たちと他のすべての弟子たちに告げ知らせた。10 マグダラのマリヤ、ヨアンナ、ヤコブの母マリヤ、そして彼らと一緒にいた他の者たちが、これらのことを使徒たちに告げた。11 そして、これらの言葉は彼らにはおとぎ話のように見え、彼らはそれを信じなかった。12 しかし、ペテロは立ち上がって墓に駆け寄り、身をかがめて亜麻布だけを見て、何が起こったのか不思議に思いながら去っていった。13 見よ、その日のうちふたりが、エルサレムから歩いて二時間の距離にある場所へ行った。名前はエマウスです。14 そして、これらのすべての話について、互いに語り合った。15 そして、彼らが話し合い、会話をしていると、イエスご自身が近づいて、彼らと一緒に歩かれた。16 しかし、彼らの目はとどまっていたので、彼を見分けることができなかった。17 イエスは彼らに言った、「あなたがたが道中、自分たちの間で行っているこれらのことわざは何ですか」。そこで彼らは悲しそうに立ち止まった。18 その中のひとり、クレオパという者が答えて言った、「エルサレムの異邦人の中で、あなたがただけが、この日にそこで何が起こったのか知らないのですか」。19 イエスは彼らに言った、「何ですか。彼らは彼に言った、「それはナザレのイエスのもので、預言者であり、神とすべての民の前で行いと言葉において力強い者でした。20 わたしたちの祭司長たちと支配者たちは、彼を死の宣告に引き渡し、十字架につけた。21 しかし、わたしたちは、彼こそがイスラエルを贖うであろうと望んだ。そして何よりも、今日はそのようなことが起こった3日目です。22 わたしたちはまた、わたしたちの中から何人かの女たちに怯えた。23 彼の体を見つけられなかったので、来て、彼が活着いていると言う天使たちの幻影を見たと言っている。24 そして、わたしたちのうちの何人かが墓に行き、女たちが言ったとおりに墓を見つけた。しかし、彼らは彼を見なかった。25 イエスは彼らに言った、「おお、愚かで心が鈍い者たちよ。預言者たちが語ったことをことごとく信じるなんて。26 キリストはこれらのことを苦しんで、ご自分の栄光に入る必要があったのではなかったか。27 彼はまずモーセとすべての預言者たちから始めて、彼について語られていることをすべての聖書で彼らに説明した。28 そして、彼らは自分たちの行く所に近づいた。そして、彼は続けるふりをした。29 彼らは彼を説得して言った、「わたしたちと一緒にいなさい。夕方が来ようとしており、その日が近づいてきた。そして、彼は彼らと一緒にいるために中に入った。30 そして、イエスが彼らと食卓に着いている間に、パンを取り、感謝をささげ、裂いて彼らにささげた。31 その時、彼らの目は開かれ、彼を知った。そして、彼は彼らから姿を消しました。32 彼らは互に言った、「彼が道中で私たちに語りかけられたとき、彼が私たちに聖書を開いたとき、私たちの心は燃えませんでしたか」。33 彼らはその時に起きて、エルサレムに戻ると、十一人の人々と、彼らと共にいた人々が集まって、34 「主はほんとうによみがえられ、シモンに現れた」と言った。35 彼らは、途中で起こったことや、彼がパンを裂いたときに彼らに認められたことを彼らに話した。36 彼らがそのことについて話していると、イエスご自身が彼らの中に立っていた。37 しかし、彼らは霊を見たと思って、恐れおののいた。38 イエスは彼らに言った、「あなたがたは、なぜそんなに恐れているのか。また、なぜこのような思いが心に浮かぶのか。39 見よ、わたしの手と足、それはわたし自身である。私を感じてみてください。なぜなら、私が持っているのがあなたがたのように、霊には肉も骨もないからです。40-41 しかし、彼らがまだ喜びを信じず、驚いたとき、彼は彼らに言った、「ここに何か食べるものがあるか」。42 そして、彼らは彼の前に一切れのフライ魚を置いた。43 そして、それを取って、彼らの前で食べた。44 イエスは彼らに言った、「わたしがまだあなたがたと共にいたときに、あなたがたに言ったことは、モーセの律法、預言者、詩篇に書かれていることはすべて、必ず成就しなければならない」。45 それから、彼らが聖書を理解しているという理解を彼らに開いて、46 彼らに言った、「キリストは三日目に苦しみ、死者の中からよみがえらなければならなかったと書かれています。」47 そして、その悔い改めは、すべての国民の間で罪の赦しのために、彼の名によって宣べ伝えられなければならない。エルサレムに昇り、48 すべてのことの証人となきなさい。49 見よ、わたしは父の約束をあなたがたに送る。しかし、天からの力をまとうまでは、都に留まらなければならない。50 そして、彼らをベタニヤまで導き出し、両手を上げて彼らを祝福した。51 そして、イエスが彼らを祝福すると、イエスは彼らから離れて行かれた。52 しかし、彼らは大いなる喜びをもってエルサレムに戻り、53 いつも神殿にいて、神を賛美した。

- ヨハネによる福音書:

- 1 1 初めに言葉があり、言葉は神と共にあり、言葉は神であった。
2 初めに神についても同じことが起こりました。
3 万物は彼によって造られたのであり、彼なしに造られたものは何も造られなかった。
4 彼には命があり、命は人の光であった。

5 そして、光は暗闇の中で輝いていますが、暗やみはそれを理解していません。
6 神から、ヨハネという名の人が遣わされた。
7 彼は、自分が光の証人となり、彼らが皆、彼によって信じることを証言するために来た。
8 彼は光ではなく、光の証人であった。
9 これが、この世に来るすべての人々を啓発する真の光でした。
10 それはこの世に存在し、それによって世界が造られたのに、この世はそれを知らなかった。
11 彼は自分の中に入ってきたが、自分のものでは受け入れられなかった。
12 しかし、彼を受け入れた多くの人々は、彼を信じて、神の子供となる力を彼らに与えた。
13
14 彼らは血によって生まれたのではなく、肉の意志によっても、人の意志によってもたらされず、神から生まれたのである。
15
16 そして、言葉は肉となって私たちの間に住み、私たちは彼の栄光、父のひとり子の栄光、恵みと真理に満ちているのを見た。
17
18 ヨハネは彼について証しし、叫んで言った、「この人は、わたしの前にいた者がわたしの後について来るであろう。彼はわたしより前にいたからである」。
19
20 そして、彼の豊かさから、私たちは皆、恵みに次ぐ恵みを受けた。
21
22 律法はモーセによって与えられ、恵みと真理はイエス・キリストによって生じた。
23
24 だれも神を見たことがなく、父のふところにいるひとり子が、それをわたしたちに告げ知らせた。
25
26 ヨハネが、ユダヤ人がエルサレムから祭司とレビ人をつかわして、「あなたは誰ですか」と尋ねたときのヨハネの証言です。
27
28 彼は告白も否定もせず、「わたしはキリストではない」と告白した。
29
30 彼らはイエスに尋ねた、「何ですか」。あなたはエリヤですか?彼は言った、「それは私ではありません」。あなたは預言者ですか?すると彼は「いいえ!」と答えました。
31
32
33 そこで彼らはイエスに言った、「あなたは何者ですか。わたしたちをつかわした者たちに答えるべきです」。あなたは自分自身について何と言っていますか?
34
35 彼は言った、「わたしは荒野の説教者の声です。主の道をさばきなさい」と預言者イザヤが言ったとおりです。
36
37 遣わされたのはパリサイ人であった。
38
39 彼らはイエスに尋ねて言った、「キリストでもなく、エリヤでもなく、預言者でもないのに、なぜバプテスマを授けるのですか」。
40
41
42 ヨハネは彼らに答えて言った、「わたしは水でバプテスマを授けますが、あなたがたの知らない彼のうちに来られました」。
43
44
45 彼は、わたしの後に来る者、わたしより前にいた者であり、わたしには彼の靴紐をほどくふさわしくない者である。
46
47 これはヨルダン川の向こう岸のベタバラで起こり、そこでヨハネが洗礼を授けていた。
48
49 翌日、ヨハネはイエスが自分のところに来るのを見て言った、「見よ、これが世の罪を取り除く神の小羊です」。
50
51 わたしが言ったのは、この人である、『わたしの後には、わたしより前にいた人が来る』。
52
53 わたしは彼を知らなかったが、彼がイスラエルに現れるためだったので、水でバプテスマを授けるために来た。
54
55
56 ヨハネは証言して言った、「わたしは、御霊が天から鳩のように下って来て、彼の上にとどまるのを見ました」。
57
58

わたしは彼を知らなかったが、わたしを水でバプテスマを授けるために遣わした者は、わたしに言った、「あなたがたが、聖霊が下って彼にとどまるのを見るであろう者、彼こそが聖霊によってバプテスマを授ける者である」。

34 わたしはそれを見て、これが神の子であると証した。

35 翌日、ヨハネとふたりの弟子は再び立った。

36 イエスが歩いておられるのを見て、「見よ、これが神の小羊だ」と言った。

37 ふたりの弟子は、イエスの言葉を聞いて、イエスについて来た。

38

しかし、イエスは振り返って、彼らがついて来るのを見て、彼らに言われた、「あなたは何を探しているのですか」。しかし、彼らは彼に言った、「先生、あなたはどこに宿にいますか」。

39

イエスは彼らに言われた、「来て見なさい」。彼らは来てそれを見て、その日は彼と一緒にいました。しかし、それは10時間目くらいでした。

40

ヨハネのことを聞いてイエスに従った二人のうちの一人が、シモン・ペテロの兄弟アンデレでした。

41

彼はまず兄シモンを見つけて、彼に言った、「私たちはメシア(油注がれた者と訳されています)を見つけました」。

42

彼をイエスのもとに連れて行きました。イエスは彼を見て言われた、「あなたはシモン、ヨナの子です。あなたはケファス(岩)と呼ばれるでしょう」。

43

翌日、イエスはガリラヤに帰ろうとしていたので、ピリポを見つけて、「わたしについてきなさい」と言った。

44 さて、ピリポはベツサイダから、アンデレとペテロの町から来た。

45

ピリポはナタナエルを見つけて言った、「われわれは、モーセが律法と預言者⁶⁴とに記した者、すなわちナザレのヨセフの子イエスを見つけた」。

46

ナサナエルは彼に言った、「ナザレから何の益がもたらされようか。ピリポは彼に言った、「来て見なさい」」。

47

イエスはナサナエルが自分のところに来るのを見て、彼について言われた、「見よ、まことのイスラエル人。彼には狡猾さが⁶⁵ない」。

48

ナサナエルは彼に言った、「どうしてわたしを知っているのですか。イエスは答えて言われた、「ピリポがあなたを呼ぶ前、あなたがいちじくの木の下にいたとき、わたしはあなたを見た」」。

49 ナサナエルは答えて言った、「ラビ、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です」。

50

イエスは答えて言われた、「あなたがたは信じる。わたしがいちじくの木の下であなたを見たと言ったからである。あなたがたは、これよりも大きなものを見るであろう」。

51

彼は彼に言った、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。これから、あなたがたは天が開かれ、神の御使⁶⁶いたちが人の子の上に昇り、下降するのを見るでしょう」。

2

1そして、三日目にガリラヤのカナで結婚式があり、イエスの母がそこにいました。

2 また、イエスとその弟子たちもまた、婚礼の祝宴に招かれた。

3

ぶどう酒が足りなくなったとき、イエスの母は彼に言った、「彼らにはぶどう酒がありません」。

4

イエスは彼女に言われた、「女よ、わたしがあなたと何の関係があるのですか」。私の時間はまだ来ていません。

5 彼の母はしもべたちに言った、「彼が言うことは何でもしなさい」。

6

また、ユダヤ教の清めの方法に倣って設置された六つの石の水瓶があり、それぞれが一つ、二つ、三つの小節に入った。

7

イエスは彼らに言われた、「水のつぼに水を満たしなさい」。そして、彼らはそれを一番上まで埋めました。

8

イエスは彼らに言った、「さあ、引いて、それを執事のところに持ってきなさい。そして、彼らはそれを持ってきました。

9

しかし、執事が水であったぶどう酒を味わって、それがどこから来たのかわからなかった(しかし、水を汲んだしもべたちは知っていた)、執事は花婿を呼

んで言った、「みんながまず良いぶどう酒を飲むんだ。それから酔っ払ったら、それより少ないほう酒を飲むんだよ。君たちは、その良いぶどう酒をここまで守ってきたんだよ」。

11

これが、イエスがガリラヤのカナで行い、ご自分の栄光を現わした最初のしるしです。そして、彼の弟子たちは彼を信じました。

12

それから彼は、母と兄弟たちと弟子たちと共に、カペナウムに下って行ったが、彼らはそこに長く留まらなかった。

13 ユダヤ人の復活祭が近づいていたので、イエスはエルサレムに上って行かれた。

14 彼は宮に座って、牛、羊、鳩、両替商を売っているのを見つけた。

15 そして、綱をむち打ち、羊と牛と一緒に彼ら全員を宮から追い出し、両替商に金をこぼし、16 テーブルを押して

、鳩を売りにしている人々に言った、「これを運び去りなさい。父の家を商人の家にしなさい」。17

17

しかし、弟子たちは、「あなたがたの家への熱意がわたしを食い尽くした」と書いてあることを思い出した。

18

そこでユダヤ人たちは答えて言った、「あなたがたは、何をわたしたちに示しているのですか。あなたがたは、このようなことをするのですか」。

19

イエスは答えて言われた、「この神殿をこじ開けなさい。そうすれば、三日目にわたしがこれを建てます」。

20

するとユダヤ人たちは言った、「この宮は四十六年で建てたのに、あなたがたは三日で建てるのですか」。

21 彼は自分のからだの神殿について語った。⁹²

22

イエスが死者の中からよみがえったので、弟子たちはイエスがこれらのことを言ったことを思い出し、聖書とイエスが語った言葉を信じた。

23

しかし、彼が復活祭の日にエルサレムにいたとき、多くの人々が彼の名を信じた、なぜなら、彼らが彼のしたしるしを見たからである。

24 しかし、イエスは彼らを信じなかった、なぜなら、彼は彼らを全部知っていて、

25 人の中に何があるかをよく知っていたので、だれかに人を証しする必要はなかったからである。

3

¹ さて、パリサイ人の中に、ユダヤ人の中の支配者であるニコデモという人がいた。
²

彼は夜、イエスのところに来て言った、「先生、あなたが神から教師として来られたことを、私たちは知っています。なぜなら、あなたがなされるしるしは、彼と共にいる神以外には、だれも行いうことができないからです。」

3

イエスは答えて言われた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。人は新たに生まれなければ、神の国を見ることができません。

4

ニコデモは彼に言った、「年老いてから、どうして人が生まれることができようか」。彼もまた、母親の胎内を歩いて生まれることができるのでしょうか？

5

イエスは答えた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。

6 肉から生まれるものは肉であり、霊から生まれるものは霊である。

7

わたしがあなたがたに言った、「あなたは新たに生まれなければならない」と言ったことに驚かないでください。

8

風はそれが望むところに吹き、その音は聞こえますが、それがどこから来るのか、どこへ行くのかはわかりません。御霊から生まれたすべての人もそうです。

9 ニコデモは答えて言った、「どうしてこんなことがあってまいりましょうか」。

10 イエスは答えて言われた、「あなたはイスラエルの主人ですか。それを知らないのですか」。

11

まことに、まことに、あなたがたに告げるが、わたしたちは知っていることを語り、見たことを証言するが、あなたがたはわたしたちの証言を受け入れない。

12

もしわたしが地上のことをあなたがたに話すなら、あなたがたは信じないのか、もしわたしが天のことを話すと、どうして信じるのか。

13 天から下ってきた者、すなわち、天にいる人の子以外には、だれも天には行かない。

14 モーセが荒野で蛇を引き上げたように、人の子も上げられなければならない、

15 それは、彼を信じる者がひとりも滅びず、永遠の命を持つためである。

16

このように、神は世を愛し、そのひとり子をお与えになり、彼を信じる者がひとりも滅びることなく、永遠の命を持つようにされた。

17

神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためであった。

18

彼を信じる者はさばかれませんが、信じない者はすでに罪に定められています。なぜなら、彼は神のひとり子の名を信じていないからです。

19 さて、光が世に来て、人々が光よりも闇を愛した、それは彼らの行いが悪であったからである。

20 悪を行う者は、光を憎んで光に来ない。それは、その行いが罰せられることがないからである。

21 しかし、真理を行う者は、その行いが神によって行われるため、光に臨む。

22

それから、イエスと弟子たちと彼の弟子たちはユダヤ⁹³の地に来て、そこで彼の本質を彼らと共に受け、バプテスマを授けた。

23

ヨハネもサリムの近くのエノンでバプテスマを受けたが、そこにはたくさんの水があったので、彼らはそこに来てバプテスマを受けた。

24 ヨハネはまだ牢に入れられていなかったからである。

25 そこで、ヨハネの弟子たちとユダヤ人の間で、きよめについて疑問が生じた。

26

彼らはヨハネのところに来て言った、「あなたが証言したヨルダン川の向こう岸で、あなたと共にいた先生、見よ、バプテスマを授ける者、そして皆が彼のところに来るのです」。

27 ヨハネは答えて言った、「人は、天から与えられなければ、何も取ることができません」。

28

あなたがた自身がわたしの証人であり、わたしはキリストではなく、キリストの前に遣わされたと言った。

29

花嫁を持つ者は花婿であるが、花婿の友は立って花婿の言うことを聞き、花婿の声を大いに喜ぶ。その喜びが今、果たしています。

30 彼は成長しなければならないが、私は減らさなければならない。

31

上から来る者は、何よりも優れておられる。地から出た者は、地から出た者であり、大地について語る。天から来た者は、

32 歳以上で、見聞きしたことを証しし、だれも彼の証しを受け入れない。

33 しかし、それを受け入れる者は誰でも、神が真実であるとそれを封印するのです。

34 神を遣わした者は、神の言葉を語る、なぜなら、神は霊を適度に与えないからである。

父なる神は子を愛し、すべてを彼の手に委ねました。

36

御子を信じる者は、永遠のいのちを持っています。御子を信じない者は、いのちを見ることはなく、神の怒りが彼にとどまります。

4¹

主は、イエスがパリサイ人の前に来て、ヨハネよりも多くの弟子たちにバプテスマを授けたのを見て (ただし、イエス自身はバプテスマを授けたのではなく、弟子たちにバプテスマを授けた)、

3 彼はユダヤの地を去り、ガリラヤに帰った。

4 しかし、彼はサマリヤを通して旅をしなければならなかった。

5 それから彼は、ヤコブが息子ヨセフに与えた畑の近くのシカルというサマリヤの町に着いた。

6

そこにはヤコブの井戸があった。それで、イエスが旅で疲れたとき、彼は井戸に座りました。そして、それは約6時間目でした。

7

サマリヤからひとりの女が水を汲むために来る。イエス様は彼女に言われました、「何か飲むものをください」。

8 彼の弟子たちは、食べ物を買うために町に行ったからである。

9

そこで、サマリヤの女は彼に言った、「あなたがユダヤ人で、私がサマリア人の女であるのに、どうしてわたしに飲むように頼むのですか」。(ユダヤ人はサマリア人との交わりを持っていないからです)。

10

イエスは答えて言われた、「もし神の賜物を知っていて、『飲んでください』と言うのはだれか」と尋ねるなら、彼に頼むでしょう。そうすれば、彼はあなたに生ける水を与えるでしょう。

11

女は彼に言った、「主よ、あなたには引くものがなく、井戸は深いです。生ける水はどこから得たのですか」。

12

あなたは、この恵みをわたしたちに与えてくださるわたしたちの父ヤコブよりも多いのですか。彼はそれから、彼の子供たちと、彼の家畜とを飲みました。

13 イエスは答えて言われた、「この水を飲む者と、わたしたちはまた渴きます。

14

しかし、わたしが彼に与える水を飲む者は、決して渴くことはなく、わたしが彼に与える水は、彼のうちに永遠の命に至る水の泉となる。

15

女は彼に言った、「主よ、この水をください。そうすれば、わたしが渴いてここに汲みに来るのを防ぐことができます」。

16 イエスは彼女に言われた、「行って、夫を呼んで、ここに来なさい」。

17

その女は答えて言った、「私には夫がいません」。イエスは彼女に言われた、「あなたは正しく、『私には夫がいない』』と言った。

18 あなたには五人の夫がいましたが、今あなたが持っている夫は、あなたの夫ではありません。

19 女は彼に言った、「主よ、あなたが預言者であることが分かります」。

20

わたしたちの先祖たちはこの山で礼拝をしていたが、あなたがたはエルサレムを礼拝する場所だと言っている。

21

イエスは彼女に言われた、「女よ、信じてください。あなたがこの山でもエルサレムでも父を礼拝しなくなる時が来ています。」

22

あなたがたは何を拝んでいるのか知らないが、わたしたちは何を拝んでいるのかを知っている、なぜなら救いはユダヤ人から来るからである。

23

しかし、真の崇拝者たちが霊と真理をもって父を崇拝する時が来ています。なぜなら、父はこのように父を崇拝する人々を望んでいるからです。

24 神は霊であり、神を崇拝する者は、霊と真理をもって神を崇拝しなければならない。

25

女は彼に言った、「わたしは、キリストという名のメシヤが来ることを知っています」。彼が来たとき、彼はそれについてすべて私たちに話すでしょう。

26 イエスは彼女に言われた、「あなたがたに話すのは、わたしです」。

27

弟子たちが彼のところにきて、彼が女に話しかけたことに驚いた。しかし、誰も「何を尋ねるのですか?」とは言いませんでした。または彼女と何を話していますか?

28 そこで女は水差しを捨てて町にはいて、民に言った、「

さあ、わたしがしたことをことごとく告げた人を見てください。彼がキリストでないかどうか」。

30 そこで彼らは町を出て、イエスのところに来た。

31 一方、弟子たちは彼を諭して言った、「ラビよ、食べなさい」。

32 しかし、イエスは彼らに言われた、「わたしには、あなたがたの知らない食べ物があります」。

33 弟子たちは互に言った、「だれかが彼に食べ物を持ってきたか」。

34

イエスは彼らに言われた、「わたしの食物は、わたしをつかわされたかたの御心を行い、その業を終わらせるためである」。

35

あなたがたは、『収穫が来るまで、まだ四か月ある』と言わないのか。見よ、あなたがたに言う、目を上げて野を見つめなさい。収穫時にはすでに白くなっているからです。

36

また、刈る者は報酬を受け、永遠の命のための実を集めるので、種を蒔く者と刈る者は共に喜ぶことができる。

37 ここで、「この一つが種を蒔き、もう一つが切る」ということわざは真実です。

38

わたしはあなたがたをつかわして、あなたがたが働かなかったものを切らせ、他の者たちが働いたので、あなたがたも彼らの仕事に加わった。

39

そして、その町のサマリア人の多くが、「彼はわたしのしたことをことごとくわたしに告げた」と証言した女の言葉のゆえに、彼を信じた。

40

そこで、サマリア人たちが彼のところに来ると、彼らは彼と一緒にいるように頼み、彼は二日間そこにとどまった。

41 さらに多くの人々が、イエスの言葉を信じ

て、その女に言った、「わたしたちは、これからは、あなたの言葉のゆえに信じるのではなく、自分自身で聞いて、これがまことにキリスト、世の救い主であることを知ったのです」。

43 しかし、二日後、彼は出て行って、ガリラヤに行った。

44 彼自身、イエスが証言したように、家にいる預言者には何の価値もないと。

45

彼がガリラヤに来たとき、彼がエルサレムで行ったすべての事を祭りで見ていたガリラヤ人は、彼らも祭りに来ていたので、彼を受け入れた。

46 イエスは再びガリラヤのカナに来て、その水をぶどう酒にした。

47

すると、ひとりの王がいて、その息子はカペナウムで病気になっていた。彼はイエスがユダヤからガリラヤに来ると聞いて、彼のところに行って、息子を助けに来るように頼みました。彼は末期の病気だったからだ。

48 イエスは彼に言われた、「しるしや不思議とが見えないなら、信じていないのです」。

49 王たちは彼に言った、「主よ、わたしの子が死ぬ前に下って来てください」。

50

イエスは彼に言われた、「行きなさい。あなたの子は生きています」と言ったので、その人はイエスが彼に言われた言葉を信じて去っていった。

51 彼が下って行くとき、しもべたちは彼に会って、「あなたの子は生きています」と彼に告げた。

52

それから彼は、自分が良くなった時がいつになったのか、彼らに尋ねた。彼らは彼に言った、「昨日の七時に、熱が彼に去った」。

53

その父は、イエスが彼に「あなたの子は生きている」と言われた時が近づいていることを知った。そして、彼は家中を信じていました。

54 さて、これがイエスがユダヤからガリラヤに来たときになさったもう一つのしるしである。

5

1 それから、ユダヤ人たちの祭りがあり、イエスはエルサレムに上って行かれた。

2

さて、エルサレムの羊の門のそばには、ヘブライ語でベテスダと呼ばれる池があり、五つの広間があり、

3

そこには、水が動くのを待っていた多くの病人、盲人、足の不自由な人、枯れた人が横たわっていました。

4

(やがて御使いが池に降りてきて、水をかき混ぜた。水を攪拌した後、最初にその中に入った者は、どんな種類の疫病に苦しめられていたか、癒されました。

5 さて、そこには三十八年間病気を患っていた人がいました。

6

イエスは彼が横たわっているのを見て、彼が長い間横たわっていたことを聞いて、「あなたはいやされたいのですか」と言った。

7

病人は彼に答えた、「主よ、水が動いているとき、わたしを池に入れる人はいません。また、わたしに来るとき、また別の者がわたしの前に入ってくるでしょう。」

8 イエスは彼に言われた、「起きて、床を取り、行きなさい」。

9 すると、その人はすぐにいやされ、床について出て行った。さて、その日は安息日でした。

10

そこでユダヤ人たちは、いやされた者に言った、「今日は安息日です。あなたがたが寝床を運ぶのはふさわしくありません」。

11

イエスは彼らに答えた、「わたしを良くした方が⁹⁶わたしに言った。『寝床に着いて行きなさい』と」。

12

そこで彼らはイエスに尋ねた、「あなたがたに『寝床に着いて行きなさい』と言った人は、だれですか」。

13

しかし、癒された者は、イエスが去ったので、その場所には大勢の人々がいたので、それが誰であるかを知らなかった。

14

イエスは彼を宮で見つけて言われた、「あなたがたがいやされたことを確認しなさい。二度と罪を犯さないでください。何かひどいことがあなたに降りかかることのないように」。

15 その人は行って、ユダヤ人たちに、自分を癒してくださったのはイエス様であると告げた。

16

そこで、ユダヤ人たちはイエスを迫害し、殺そうとしたが、それはイエスが安息日にこのようなことをしたからである。

17

しかし、イエスはあなたがたに答えた、「わたしの父は今まで働いてきました。また、わたしも働いています」。

18

それゆえ、ユダヤ人たちは彼を殺すこと、彼が安息日を破っただけでなく、神が彼の父であると言い、自分自身を神のようにすることを求めた。

19

イエスは答えて言われた、「まことに、まことに、あなたがたに言うておくが、子は自分では何もできない。父がするのを見ることは、彼が何をするにしても、子も行うのである。

20

しかし、父なる神は御子を愛し、御子の行いのすべてを示し、さらに大きなわざを御子に示されるので、あなたがたは驚くでしょう。

21 父が死者をよみがえらせ、彼らに命を与えるように、子もまた、その望む者に命を与える。

22 父はだれもさばかないが、すべてのさばきを子に下したのは、

23

それは、彼らが皆、父を敬うように、子をも敬うためである。御子を敬わない者は、彼を遣わされた父を敬わないのです。

24

まことに、まことに、あなたがたに告げる、わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわした者を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばくことなく、死からいのちに移ったのである。

25

まことに、まことに、あなたがたに告げるが、死者が神の子の声を聞き、それを聞く者が生きる時が来ている、そして今、その時が来ている。

26

父が自分自身のうちに命を持っているように、父は子に自分自身のうちに命を持つようにお与えになり、

27 彼にさばきを行う力を与えたのである。なぜなら、彼は人の子だからである。

28 これを驚いてはいけない、墓の中にいるすべての者が彼の声を聞く時が来ているからである、

29

そして、善を行った者は生命の復活のために出て来るが、悪を行った人々は、審判の復活に来るであろう。

30

私は自分では何もできない。私が聞くように、私は判断し、私の判断は正しい。なぜなら、私は自分自身の意志を求めているのではなく、私を遣わされた父の意志を求めているからです。

31 もしわたしが自分自身について証言するなら、わたしの証言は真実ではありません。

32

わたしについて証言するのは別の者であり、彼がわたしについて証言する証言が真実であることを、わたしは知っている。

33 あなたはヨハネにつかわして、彼は真実をあかしした。

34

しかし、わたしは人々から証言を受けるのではなく、⁹⁷あなたがたが救われるために、これらのことを言うのです。

彼は燃えるような輝く光でしたが、あなたは彼の光の中で少しの間喜びたかったのです。

36

しかし、わたしにはヨハネの証しよりも大きな証しがあります、なぜなら、父がわたしに完成させるために与えてくださったわざ、わたしが行っているこれらのわざは、わたしが父がわたしに遣わされたことを証ししているからです。

37

そして、わたしをつかわした父は、わたしについて証しした。あなたは彼の声を聞いたことも、彼の姿を見たこともなく、

38

そして、彼の言葉があなたの中に宿っていない、なぜなら、彼が遣わした彼を信じていないからである。

39

聖書を調べなさい、あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思っているのに、わたしのことを証言するのは彼女だからです。

40 そして、あなたは命を望むために、私のところに来たくないのです。

41 わたしは人から名誉をもらわない。

42 しかし、あなたがたの中には神の愛がないことを、わたしは知っています。

43

わたしは父の名によって来たのに、あなたがたはわたしを受け入れない。もし別の人が彼自身の名前で来るなら、あなたは彼を受け入れるでしょう。

44 互いから栄光を奪い合う者たちよ、どうして信じることができようか。

45

わたしが父なる神の前であなたがたを訴えるとは思わないで、あなたがたを告げるのは、あなたがたが望んでいる者、モーセである。

46 もしあなたがモーセを信じたなら、彼もわたしについて書いたので、わたしをも信じた。

47 しかし、もし彼の言葉を信じないなら、どうしてわたしの言葉を信じるであろうか。

6

1 それから、イエスは海を渡ってガリラヤのティベリアスの町へ出かけられた。

2 そして、多くの人々が彼について来たのは、彼が病人にしたしるしを見たからである。

3 イエスは山に登って、弟子たちと一緒にそこにすわられた。

4 さて、それは復活祭、すなわちユダヤ人の祭りに近づいていた。

5 イエスは目をあげて、だれいの人々がご自分のところに来るのを見て、ピリポに言われた、「彼らに食べるパンはどこで買えばよいですか」。

6 そして、彼は自分が何をしようとしているのかをよく知っていたので、彼を誘惑するだろうと言った。

7 ピリポは彼に答えた、「彼らの中には、おのおのパン二百ペニーが少しずつ取るのに十分ではありません」。

8 彼の弟子の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレは彼に言った、「

9 ここに、大麦五斤と魚二匹を持っている男の子がいます。しかし、これは大勢の者のうちで何なのでしょうか。

10 しかし、イエスは言われた、「民が宿営していることを確認しなさい」。でも、その場所にはたくさん草が生えていました。5000人の兵士が野営していた。

11 しかし、イエスはパンを取り、彼らに感謝し、弟子たちに、また弟子たちには横たわっていた人々に、また魚を彼らが望むだけ与えた。

12 しかし、彼らが満足すると、イエスは弟子たちに言った、「残りの欠片を集めなさい。そうすれば、何も朽ちることはありません」。

13 そこで彼らは集めて、食べさせられた人々に残った五つの大麦のパンの塊を十二の籠に詰めた。

14 人々は、イエスが行なわれたしるしを見て、「まことに、この世に来る預言者こそが」と言った。

15 イエスは、彼らが来て自分を捕らえ、自分を王にしようとしていることを知ると、自分一人で再び山に逃げた。

16 夕方、弟子たちは海に下って行き、

17 舟に乗り、海を渡ってカペナウムに着いた。すると、すでに暗くなっていたので、イエスは彼らのところに来ていなかった。

98

18 すると、海は大風によって引き上げられた。

19 彼らが二十五四方か三十四方を漕いでいたとき、イエスが海の上を歩いて船に近づいて来るのを見て、彼らは恐れた。

20 イエスは彼らに言った、「それはわたしです。恐れることはありません」。

21 そこで、彼らは彼を舟に寄せようとしたが、すぐに舟は陸に出て、彼らが行くところに着いた。

22 翌日、海のこちら側に立っていた人々は、そこには弟子たちが乗った船のほかには船がなく、イエスが弟子たちと一緒に船に乗ったのではなく、弟子たちだけが出発したことを見た。

23 また、他の船は、主の感謝によってパンを食べて、その場所に近づいた。

24 民はイエスがそこにおらず、弟子たちもいないのを見て、自分たちも船に乗り込み、カペナウムに来てイエスを求めた。

25 そして、海の向こう岸で彼を見つけると、彼に言った、「ラビ、あなたはいつここに来たのですか」。

26 イエスは彼らに答えて言われた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたがわたしを求めるのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満たされたからです。」

27 朽ちる食べ物を食べてはならないが、永遠のいのちにとどまるもの、すなわち人の子があなたがたに与えるものを食べてはならない。

28 そこで彼らはイエスに言った、「神のわざをなさるために、わたしたちは何をすべきでしょうか」。

。

29 イエスは答えて言われた、「これが神のわざです。あなたがたは、彼がつかわされた者を信じることです」。

30 そこで彼らはイエスに言った、「わたしたちが見て信じるために、あなたはどのようなしるしをしているのですか」。お仕事は何をなさっていますか。

31 わたしたちの先祖たちは、「彼は彼らに天からパンを与えて食べさせた」と書かれているように、荒野でマナを食べた。

32 イエスは彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。モーセが天からパンをくれたのではなく、わたしの父が天から正しいパンをあなたがたに与えたのです」。

33 これが神のパンであり、天から下って来て、世に命を与えるものです。

34 そこで彼らは彼に言った、「主よ、いつもこのパンをお召し上がりください」。

35 イエスは彼らに言われた、「わたしは命のパンです」。だれでもわたしのところに来る者は飢えることはない。わたしを信じる者は、決して渴くことがない。

36 しかし、わたしはあなたがたに、わたしを見たのに、信じないと言った。

37 父がわたしに与えるすべてのものは、わたしのところに来て、わたしのところに来る者は、わたしを追い出すことはない。

38 わたしが天から来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをつかわされたかたののみこころを行うためである。

39 さて、これが、わたしを遣わされた父の御心であり、彼がわたしに与えてくださったすべてのものを、わたしが失うことなく、最後の日にそれをよみがえらせるようにというものである。

40 これが、わたしをつかわした者の御心であり、御子を見て信じる者はだれでも永遠のいのちを得るためであり、わたしは彼を終わりの日によみがえらせる。

41 すると、ユダヤ人たちはつぶやいた、「わたしは天から下ってきたパンだ」と言い、

42 言った、「このイエスは、ヨセフの子で、わたしたちの知っている父であり母ではないか」。彼はどのように「私は天から来た」と言うのでしょうか？

43 イエスは答えて言われた、「あなたがたは、つぶやいてはいけない。

44 だれも、わたしをつかわされた父が彼を引き寄せ、わたしが彼を終わりの日によみがえらせるのでなければ、だれもわたしのところに来ることはできない。

45 預言者たちには、「彼らはみな神に教えられる」と書かれています。父なる神からそれを聞いて学ぶ者は、だれでも私のところに来る。

父を見た者は、父から出た者、すなわち父を見た者以外には、だれも父を見たということではありません。

47 まことに、まことに、あなたがたに告げる、わたしを信じる者はだれでも永遠のいのちを持つ。

48 わたしは命のパンである。

49 あなたがたの先祖は荒野でマナを食べて死んだ。

50 これは天から下ってくるパンであり、それを食べる者が死ぬことのないようにするためである。

51 わたしは天から来た生けるパンである。このパンを食べる者は、永遠に生きる。そして、わたしが与えるパンは、わたしの肉であり、わたしはこれ世界のいのちのために与える。

52 そこでユダヤ人たちは、自分たちの間で口論して言った、「この人は、どうしてその肉をわたしたちに食べさせることができようか」。

53 イエスは彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたのうちに命はありません。

54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持ち、わたしは彼を終わりの日によみがえらせる。

55 わたしの肉は正しい食物であり、わたしの血は正しい飲み物である。

56 だれでもわたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしは彼の中にとどまる。

57 生ける父がわたしをつかわされたように、わたしは父のために生きているのだから、わたしを食べる者は誰でもわたしのために生きるのである。

58 これは天から下ってきたパンであり、あなたがたの先祖のようにマナを食べて死んだのではなく、このパンを食べる者はだれでも永遠に生きるのである。

59 彼は、カペナウムで教えていたとき、学校でこれらのことを言った。

60 彼の弟子たちの多くは、これを聞いて言った、「これは厳しい言葉です。だれがそれを聞くことができましょうか」。

61 しかし、イエスは弟子たちがこのことをつぶやいているのを見て、彼らに言った、「これはあなたがたを怒らせるか」。

もし、人の子が以前にいた場所に昇っていくのを見たらどうなるでしょうか。

63 いのちを与えるのは霊であり、肉体は何の役にも立たない。私が話す言葉は霊であり、いのちです。

64 しかし、あなたがたの中には信じない者もいます。(イエスは最初から、どの者が信じず、どちらが自分を裏切るかをよく知っていたからです。

65 彼は言った、「だから、わたしはあなたがたに言った。『父から与えられなければ、だれもわたしのところに来ることはできない』」。

66 そのときから、彼の弟子たちの多くは彼の後ろに回り、もはや彼と共に歩むことはなくなった。

67 そこでイエスは十二弟子たちに言われた、「あなたたちも出て行ってくれるのか」。

68 そこでシモン・ペテロは彼に答えた、「主よ、わたしたちはどこへ行きましょうか」。あなたには永遠の命の言葉があります。

69 そして、あなたがたが生ける神の子であるキリストであることを、わたしたちは信じ、知っていました。

70 イエスは彼らに答えられた、「わたしはあなたがたを十二人選んだではありませんか」。

71 彼はまた、シモンの子ユダであるイスカリオテについて語ったが、ユダは後に彼を裏切ったが、彼は十二弟子の一人であった。

1

7

それからイエスは、ユダヤ人が彼を殺すので、ユダヤを歩き回りたくなかったので、ガリラヤを歩き回った。

2 また、ユダヤ人、幕屋の近くで祭りがあった。

3

そこで、兄たちは彼に言った、「そこから立ち上がって、ユダヤに行きなさい。そうすれば、あなたの弟子たちも、あなたがたの行っているわざを見ることができるでしょう」。

誰も

秘密裏に何かをしながら、自由に明らかにされることを望んでいません。そうすれば、自分自身を世界に明らかにしてください。

5 彼の兄弟たちも彼を信じなかったからである。

6

イエスは彼らに言われた、「わたしの時はまだここにはありませんが、あなたがたの時はいつもここにあります」。

7

この世はあなたを憎むことはできませんが、わたしを憎むのです。なぜなら、わたしはこの世から、その業が悪であると証言するからです。

8

100

この祭りに上りなさい、わたしはこの祭りに上らない、わたしの時はまだ満ちていないからである。

9 しかし、イエスが彼らにこう言ったとき、彼はガリラヤに留まった。

10 しかし、兄たちが上ったとき、彼もまた、公然とではなく、ひそかに祭りに上った。

11 そこでユダヤ人たちは、祭りの席で彼を捜して言った、「彼はどこにいるのか」。

12

すると、民の間に大きなざわめきが起こった。ある人は、「彼は敬虔です。しかし、他の者たちは、「いや、彼は人々を欺いている」と言いました。

13 しかし、ユダヤ人を恐れていたので、だれも彼について自由に話さなかった。

14 しかし、祭りの途中で、イエスは神殿に上って教えられた。

15

ユダヤ人たちは驚いて言った、「この人は、まだ聖書を学んでいないのに、どうして聖書を学ぶことができるのか」。

16

イエスは彼らに答えて言われた、「わたしの教はわたしのものではなく、わたしをつかわされた者のものです」。

17

もしだれでも自分の意志を行おうとするなら、その人は、この教義が神から出たものなのか、それともわたしが自分自身について語っているのかを知るでしょう。

18

自分のことを語る者は、自分の栄光を求めるが、自分をつかわした者の誉れを求める者は真実であり、彼には不義がない。

19 モーセがあなたがたに律法を賜わなかったか。なぜ私を殺そうとしているのですか？

20 民は答えて言った、「あなたには悪魔がいます。だれがあなたを殺そうとしているのですか」。

21 イエスは答えて言われた、「わたしは一つの業を成し遂げた。それはあなたがた全員を驚かせた。

22

それゆえ、モーセはあなたがたに割礼を与えたが、それはモーセからではなく、先祖たちからであり、あなたがたは安息日に人に割礼を施した。

23

もし人が安息日に割礼を受け入れるなら、モーセの律法が破られることのないように、わたしが安息日にすべての人をいやしたからといって、あなたがたはわたしに怒っているのか。

24 評判で判断するのではなく、正しい判断を下しなさい。

25 すると、エルサレムから来た人たちが言った、「彼らが殺そうとしたのは、この人ではないか」。

26

見よ、彼は自由に語り、彼らは何も言わない。私たちの支配者たちは、彼が確かにキリストであることを今、確信を持って知っているのでしょうか。

27

しかし、私たちは彼がどこから来たのかを知っていますが、キリストが来られるとき、彼がどこから来たのかはだれも知りません。

28

そこでイエスは神殿で叫んで言われた、「はい、あなたがたはわたしを知っていて、わたしがどこから来たのかも知っています。わたしは自分自身から来たのではなく、わたしを遣わした真の者がいて、そのことをあなたがたは知らないのです」。

29

しかし、わたしは彼を知っている、なぜなら、わたしは彼から出た者であり、彼はわたしをつかわしたからである。

30

そこで彼らは彼を捕まえようとしたが、まだ彼の時が来ていなかったのも、だれも彼に手を置かなかった。

31

しかし、多くの民が彼を信じて言った、「キリストが来るとき、彼もまた、彼よりも多くのしるしを行うのであろうか」。

32

パリサイ人の前で、民が彼についてこれらのことをつぶやいた。そこで、パリサイ人と祭司長たちは、彼を捕らえるためにしもべたちを送りました。

33

そこでイエスは彼らに言われた、「わたしはしばらくあなたと一緒にいましょう。それから、わたしをつかわされた方のところに行きます」。

34 あなたはわたしを探しても見つけられず、わたしのいるところに行くことができない。

35

そこでユダヤ人たちは互に言った、「この人はどこに行けばいいのでしょうか。わたしたちは彼を見つけれませんか」。彼はギリシア人の中に散らばった人々のところに行き、ギリシア人に教えるのでしょうか？

36

彼が言った、「あなたがたはわたしを捜し求めるが、わたしを見つけることはできない。そして、私がいるところには、あなたはそこにたどり着けない」と？

37

しかし、最も輝かしい祭りの最後の日に、イエスは立って叫んで言われた、「渇いている者は、わたしのところに来て飲んでください」。

38 わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、からだから生ける水の川が流れ出る。

39

彼は、自分を信じる者たちが受け入れるべき霊についてこのように言った、なぜなら、聖霊はまだそこにおらず、イエスはまだ変容していなかったからである。

40 このことわざを聞いた多くの人々は、「これがまことに預言者だ」と言った。

41

他の人々は、「彼はキリストである」と言った。またある者は、「キリストはガリラヤから来るのか」と言いました。

42

聖書は、「ダビデの子孫と、ダビデのいたベツレヘムの村から、キリストが来るであろうか」と言っているのではないのでしょうか。

43 それで、彼について民の間に不和が生じた。

44 また、ある者は彼を捕まえようとしたが、だれも彼に手を出さなかった。

45

しもべたちは祭司長やパリサイ人のところにきて言った、「なぜ彼を連れてこなかったのですか」。

46 しもべたちは答えた、「この人のように話した人は、だれもいない」。

47 パリサイ人たちは彼らに答えた、「あなたがたもだまされているのですか。

48 彼を信じる支配者やパリサイ人はいますか。

49 しかし、律法について何も知らない人々はのろわれている。

50 夜、彼のところに来たニコデモは、その中の一人で、彼らに言った、「

51

「われわれの法律は、人が調べられる前に、また、その人が何をしているのかをも、さばくのですか」。

52

彼らは答えて言った、「あなたもガリラヤ人ですか。探してみれば、ガリラヤからは預言者は一人も出てこない。

53 そして、おのおの家に帰った。

1 イエスはオリーブ山に行かれた。

8

2 そして、朝早く神殿に戻ると、すべての民が彼のところに来て、彼はすわって彼らに教えた。

3 ところが、律法学者たちとパリサイ人たちは、姦淫の罪に問われた一人の女を彼のところに連れてきて、

4 彼に言った、「先生、この女は姦淫の行為に捕らわれています」。

5 しかし、モーセは律法によって、彼らを石で打ち打ちにするように命じた。何を言っているのですか。

6 そして、彼らは彼を誘惑して、彼に対して訴訟を起こすために、このように言った。しかし、イエス様は身をかがめて、指で地面に書きました。

7 そこで、彼らが立ち止まって尋ねると、イエスは立ち上がって彼らに言った、「あなたがたのうちで罪のない者は、最初の石を彼らに投げつけなさい」。

8 彼はまた身をかがめて、地に書きしるした。

9 そして、これを聞いて、長老たちからひとりずつ出て行ったので、イエスはひとり残され、その女は真ん中に立っていた。

102

10 しかし、イエスは立って彼女に言われた、「女よ、あなたがたを訴える者たちはどこにいますか」。

。だれもあなたを非難しなかったのですか？

11 しかし、彼女は言った、「主よ、だれもです」。しかし、イエスは言われました、「わたしもあなたを罪に定めません。行って、もう罪を犯さないでください。

12 それから、イエスは再び彼らに語りかけられた、「わたしは世の光です」と言われた。わたしに従う者は、暗やみの中を歩むのではなく、命の光を持つ。

13 パリサイ人たちは彼に言った、「あなたがたは自分自身について証しをしています、その証言は真実ではありません」。

14 イエスは答えて言われた、「たとえわたしが自分自身について証言しても、その証言は真実です。わたしはどこから来て、どこへ行くのかは知っていますが、あなたがたはわたしがどこから来てどこへ行くのかを知らないからです。」

15 あなたがたは肉に従ってさばく、わたしはだれもさばかない。

16 しかし、もしわたしがさばくなら、わたしのさばきは正しい、なぜなら、わたしはひとりではなく、わたしをつかわした者だからである。

17 あなたがたの律法には、ふたりの人の証言は真実であると書かれています。

18 わたし自身について証しするのはわたしであり、わたしをつかわされた父もまた、わたしについて証ししている。

19 そこで彼らはイエスに言った、「あなたの父はどこにおられますか」。イエスは答えた、「あなた

は私も私の父も知りません。もし私を知っていたなら、私の父も知っていた。

20 イエスは、神殿で教えていたとき、神の御胸でこれらの言葉を語られたが、まだその時が来ていなかったの、だれも彼をつかまなかった。

21 そこでイエスは再び彼らに言われた、「わたしは去ります。あなたがたはわたしを探し求めて、あなたの罪のうちに死ぬでしょう」。私が行くところに、あなたは行けません。

22 するとユダヤ人たちは言った、「彼は自殺したいのか。『わたしの行くところには、お前たちは行けない』と言うのか」。

23 イエスは彼らに言った、「あなたがたは下から来た者で、わたしは上から来た者であり、あなたがたはこの世の者であって、わたしはこの世の者ではない」。

24 それゆえ、わたしはあなたがたに言った、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬ、なぜなら、もしわたしがわたしであることを信じないなら、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬことになるからである。

25 そこで彼らはイエスに言った、「あなたは誰ですか。イエスは彼らに言われた、「なぜ、わたしは今もあなたがたに話すのか」。

26 わたしはあなたについて言いたいこと、判断したいことがたくさんあります。しかし、私を遣わした者は真実であり、私が彼から聞いたことを私は世界に語っています。

27 しかし、彼らはイエスが父について語っていることを理解していなかった。

28 イエスは彼らに言われた、「あなたがたが人の子をあがめるとき、わたしが彼であり、わたしは自分に対して何もせず、父がわたしに教えられたとおりに、わたしが話すことを知るでしょう」。

29 わたしをつかわした者は、わたしと共にいる。父は私を放っておかない。私はいつも彼の喜ぶことをするからだ。

30 彼がこれらのことを語ったとき、多くの者が彼を信じた。

31 イエスは、自分を信じるユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉を続けるなら、あなたがたは真理をもってわたしの弟子となり、

32 真理を知り、真理によってあなたがたを自由にするであろう」。

33 そこで彼らは答えた、「わたしたちはアブラハムの子で、だれのしもべになったことはありません」。「あなたは自由になるでしょう」とどう言うのですか?

34 イエスは彼らに答えた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。罪を犯す者は、だれでも罪の奴隷です。

35 しかし、しもべは永遠に家にとどまるのではなく、子はとこしえにとどまる。

ですから、もし息子があなたを自由にするなら、あなたは自由です。

37 あなたがアブラハムの子孫であることを、わたしはよく知っていますが、あなたはわたしを殺そうとしています。

38 わたしは父から見たことを語り、あなたがたは父から聞いたことを行います。

39 彼らは答えて言った、「アブラハムはわたしたちの父です」。イエスは彼らに言われた、「もしあなたがたがアブラハムの子供であったなら、アブラハムのわざをするであろう」。

40 しかし、今、あなたがたは、わたしが神から聞いた真理をあなたがたに告げたような、わたしを殺そうとしている。アブラハムはそうしませんでした。

41 あなたがたは、父の業を行なっているのです。それから彼らは彼に言った、「私たちは婚外子ではありません。私たちに父、神がおられます」。

42 イエスは彼らに言われた、「もし神があなたがたの父であるならば、あなたがたはわたしを愛するでしょう。わたしは出て行って神から来たのであり、わたしは自分自身から出たのではなく、神がわたしを遣わしたのです」。

43 なぜ私の言語がわからないのですか?なぜなら、あなたは私の言葉を聞くことができないからです。

44 あなたは父のために悪魔を持っていて、父の望みをかなえるでしょう。彼は最初から殺人者であり、真実に立っていません。真理は彼の中にはないからです。彼が嘘をつくとき、彼は自分自身のことを話す。彼は嘘つきであり、嘘の父だからです。

45 しかし、わたしは真理を語っているので、あなたがたはわたしを信じない。

46 あなたがたのうち、だれがわたしの罪を訴えることができるでしょうか。しかし、もし私が真実を言うなら、なぜあなたは私を信じないのですか?

47 神から出た者は、神の言葉を聞くのであり、したがって、あなたがたは神から出ていないので、聞くことができない。

48 そこでユダヤ人たちは答えて言った、「あなたがたがサマリヤ人で、悪霊を持っていると、わたしたちは正しく言っているのではないのでしょうか」。

49 イエスは答えた、「私には悪霊はありません。しかし、わたしは父を敬い、あなたがたはわたしを軽んじています。

50 わたしは自分の栄光を求めないが、それを求め、それを裁く者である。

51 まことに、まことに、わたしはあなたがたに告げる、「わたしの言葉を守る者があれば、その人は永遠に死を見ることはない」。

52 そこでユダヤ人たちは彼に言った、「あなたがたが悪霊を持っていることが、わたしたちは知っています」。アブラハムが死に、預言者たち、そしてあなたたちは、「もしだれでもわたしの言葉を守るなら、彼は永遠に死を味わうことはない」と言います。

53 あなたがたは、死んだわたしたちの父アブラハムよりも多いのか。そして、預言者たちは死にました。あなたは自分自身をどう思いますか？

54 イエスは答えられた、「もし私が自分を敬うなら、私の栄誉は無意味です。しかし、私を敬うのは私の父であり、あなたがたは彼について「彼は私たちの神である

」と言い、55 あなたは彼を知らないが、私は彼を知っている。そして、もし私が「彼を知らない」と言うなら、あなたと同じように、私は嘘つきになるはずです。しかし、私は彼を知っており、彼の言葉を守ります。

56 あなたの父アブラハムは、わたしの日を見ることを喜び、それを見て喜んだ。

57 そこでユダヤ人たちは彼に言った、「あなたはまだ五十歳で、アブラハムを見ましたか」。

58 イエスは彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムがいたときから、わたしはいます。

59 そこで彼らは石を拾い上げて、彼に投げつけた。しかし、イエスは身を隠して神殿に出て行かれました。

1 イエスは通り過ぎて、生まれつき盲目の者を見た。

9

2

弟子たちはイエスに尋ねた、「先生、この人、あるいはその両親、だれが罪を犯したのですか。彼は生まれつき盲目だったのですか」。

3

イエスは答えた、「この人も、その両親も罪を犯したことがない。しかし、神のわざが彼のうちに現れるであろう」。

4 わたしは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼のうちに行わなければならない。

5 私がこの世にいる間、私は世の光です。

6 こう言うと、彼は地につばきを吐き、その唾液でお粥を作り、そのお粥を盲人の目に当てて言った、「シロアムの池に行って、洗ってください」。それで彼は行って体を洗って、見に来ました。

。

8

近所の人々や、彼が物乞いであることを以前に見た人々は、¹⁰⁴「この人は物乞いをしているのではないか」と言った。

9

ある者は「彼だ」と言ったが、ある者は「いや、しかし彼は彼に似ている」と言った。しかし、彼自身は「それは私です」と言いました。

10 そこで彼らはイエスに言った、「あなたの目は、どのように開かれていますか」。

11

彼は答えた、「イエスという名の人がお粥を作って、わたしの目に当てて言った。『シロアムの池に行って洗ってください』。体を洗ってみて、見ることができました。

12 そこで彼らはイエスに言った、「彼はどこにいるのか」。彼は言った、「わからない」。

13 そこで彼らは、それまで盲目だった彼をパリサイ人のところに連れて行った。

14 さて、イエスがお粥を作って目を開けられた日は安息日であった。

15

そこで、パリサイ人を含む彼らは再び彼に、どうして見に来たのかと尋ねた。イエスは彼らに言った、「彼はわたしの目にお粥を当て、わたしは体を洗った。そして今、わたしは見える」。

16

そこで、パリサイ人の何人かが言った、「この人は神から出た者ではない。なぜなら、彼は安息日を守らないからだ」。他の者たちは、「罪深い人間がどうしてそのようなしるしを行なうことができる

のでしょう」と言いました。そして、彼らの間には不和がありました。

17

彼らはまた盲人に言った、「彼について、あなたがたの目を開けたと、あなたは何と言いますか」。彼は言った、「彼は預言者です」。

18

ユダヤ人たちは、彼が盲目で、その視力を受けたとは思わなかったが、その視力を受けた者の両親に電話して、

19

「これは、あなたが盲目として生まれたと言っているあなたの息子ですか」と尋ねた。彼はどのように見ているのでしょうか？

20

彼の両親は彼らに答えて言った、「私たちは、この子が私たちの息子であり、彼が盲目で生まれたことを知っています」。

21

しかし、彼がどう見ておられるか、また、だれが彼に目を向けられたのか、私たちは知らない。彼は十分に年をとっている、彼に尋ねなさい、彼自身に話させてください。

22

彼の両親は、ユダヤ人を恐れていたので、これらのことを言った。ユダヤ人たちはすでに同意していたからである:もし誰かが彼をキリストと告白するなら、彼は呪文にかけられるべきである。

23 そこで、両親は言った、「彼は十分に年をとっているから、彼に尋ねなさい」。

24

そこで彼らは、二度目に盲目になった男を呼んで、「神に栄光を帰してください」と言った。私たちは、この男性が罪人であることを知っています。

25

彼は答えた、「彼は罪人ですか」。知りません;しかし、私が知っていることは、私は盲目だった、そして今、私は見えているということです。

26

そこで彼らは彼に言った、「彼はあなたに何をしたのですか」。彼はどうやってあなたの目を開けましたか？

27

イエスは彼らに答えた、「わたしはすでにあなたがたに話しましたが、あなたがたはそれを聞いていません」。なぜもう一度聞きたいのですか?あなたも彼の弟子になりたいですか？

28

そこで彼らはイエスをなだめて言った、「あなたは彼の弟子ですが、私たちはモーセの弟子です」。

29 私たちは、神がモーセに語られたことは知っていますが、彼がどこから来たのかは知りません。

30

その人は答えて言った、「これは不思議なことです。あなたがたは彼がどこから来たのか知らないのに、彼はわたしの目を開けました。」¹⁰⁵

31

神は罪人の言うことを聞かないことを私たちは知っていますが、神を恐れ、神の意志を行うなら、その人は彼の言うことを聞いています。

32 世の初めから、生まれつき盲目の人の目を開ける者はいなかった。

33 もしこの人が神から出た者でなければ、彼は何もできなかったであろう。

34

彼らは答えて言った、「あなたは罪の中に生まれました。そして、私たちに教えてください」。そして彼を押し出した。

35

彼らがイエスを追い出したのは、イエスの前であった。そして、彼を見つけると、彼は彼に言った、「あなたは人の息子を信じますか。」。

36 彼は答えて言った、「主よ、それはだれですか。わたしが彼を信じるためです」。

37 イエスは彼に言われた、「あなたがたは彼を見た。あなたに語りかける者は彼である。

38 しかし、彼は言った、「主よ、信じます」と言い、彼の前にひれ伏しました。

39

イエスは言われた、「わたしがこの世に来たのは、さばくためである。それは、見えない者が見、見える者が盲目になるためである。

40

彼と一緒にいたパリサイ人の何人かは、これらのことを聞いて彼に言った、「私たちもまた盲目ですか」。

41

イエスは彼らに言われた、「もし盲目であったなら、罪はないでしょう。しかし、今、あなたがたは『なるほど、あなたの罪のままです』と言います。

1

10

まことに、まことに、あなたがたに告げるが、戸口から羊小屋に入らず、他の場所に登る者は、泥棒であり、強盗である。

2 しかし、戸口から入る者は羊の羊飼いである。

3

門番が戸を開けると、羊たちは彼の声聞き、彼は自分の羊を名指しで呼んで、彼らを外に連れ出す。

4

そして、彼が自分のすべてを吐き出すと、彼の前に行き、羊たちは彼の声を知っているので、彼について来る。

5 しかし、彼らは見知らぬ人の声を知らないで、見知らぬ人を追いかけて、彼から逃げる。

6 イエスは彼らにこう言われたが、彼らはイエスが何を言ったのか理解できなかった。

7

そこでイエスは再び彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしは羊の門です。

8 わたしの前に来た者はみな、盗人や強盗であるが、羊たちはそれに従わなかった。

9 わたしは門であり、だれでもわたしを通して入るならば、その人は救われ、出入りして牧草地を見つかるであろう。

10

盗人は、盗むため、絞め殺すためだけに来る。彼らが命を持ち、すべてを手に入れるために来たのです。

11 わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てます。

12

しかし、羊飼いでない雇い人は、羊を所有していないので、狼が来るのを見て、羊を離れて逃げ、狼は羊を捕まえて散らします。

13 雇い人は逃げる、なぜなら彼は雇い人で、羊に注意を払わないからである。

14 わたしは良い羊飼いであり、わたしは自分の羊飼いを知っており、わたし自身も知っている、

15

父がわたしを知っており、わたしが父を知っているように、わたしは父を知っている。そして、私は羊のために命を捨てます。

16

また、わたしにはこの囲いに属さない他の羊がいるので、これも連れてこなければならない。そうすれば、彼らはわたしの声を聞き、一つの羊飼いとなる。

17

それゆえ、父は私を愛している、なぜなら、私は自分の命を捨てて、再びそれを取ることができるからである。

18

だれもわたしからそれを奪わないが、わたしはそれを自分から残す。私にはそれを残す力があり、それを取り戻す力があります。これが私が父から受けた命令です。

19 これらの言葉をめぐって、ユダヤ人の間に再び意見の相違が生じた。

20

彼らの多くが言った、「彼には悪霊がいて、愚かである。なぜ、あなたがたは彼の言うことを聞くのか」。

21

他の者たちは言った、「これは悪霊に取り憑かれた人の言葉ではありません。悪霊が盲人の目を開けることができるでしょうか」。

22 それはエルサレムの神殿の奉獻式であり、それは冬であった。

23 イエスはソロモンの広間の神殿を歩かれた。

24

そこでユダヤ人たちは彼を取り囲んで言った、「あなたはいつまでわたしたちの魂を不安なままにするのですか」。あなたがキリストであるなら、率直に言ってください。

25

イエスは彼らに答えられた、「あなたがたに言ったのに、あなたがたは信じない。父の名によって私が行う仕事は、私を証ししています。

26 しかし、あなたがたは信じない、なぜなら、あなたはわたしの羊ではないからである。

27 わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知り、彼らはわたしに従い、

28

わたしは彼らに永遠の命を与え、彼らは決して滅びず、だれも彼らをわたしの手から奪い取ることはない。

29

彼らをわたしに与えた父は、すべてのものにまさって偉大であり、だれもそれを父の手から奪い取ることはできない。

30 わたしと父は一つである。

31 そこで、ユダヤ人たちは再び石を拾い上げて、彼を石で打とうとした。

32 イエスは彼らに答えた、「わたしは父から多くの良いわざをあなたがたに示しました。あなたがたは、その中の何のわざのためにわたしを石で打ちますか」。

33

ユダヤ人たちは彼に答えた、「われわれがあなたがたを石で打つのは、良い行いのためではなく、冒涇のためであり、また、あなたがたが人として自分自身を神としているからである」。

34

イエスは彼らに答えた、「あなたがたの律法(詩篇第82篇6節)には、「わたしは『あなたがたは神である』』と言った」と書いてあるではありませんか。

35 彼が神々を、神の言葉がなされた者と呼び、聖書を破ることのできない者と呼んでいるとき、

36

父が聖別して世に遣わされた者に対して、わたしが『わたしは神の子である』と言ったからといって、どうして『神を冒涇する』と言うのか。

37 もしわたしが父のわざを行わないなら、わたしを信じてはならない。

38

しかし、もしわたしがそれを行うならば、もしわたしを信じないならば、その行いを信じ、あなたがたがそれを知り、その中にとどまるように、父がわたしの内におられ、わたしが彼の中におられることを。

39 それから、彼らは再び彼を捕らえようと試みた。しかし、彼は彼らの手から逃れ、

ヨハネが以前に洗礼を授けた場所であるヨルダン川の向こう岸に戻り、そこにとどまりました。

41

すると、多くの者が彼のところに来て言った、「¹⁰⁷ヨハネは署名しなかったが、ヨハネがこれについて言ったことはすべて真実である」。

42 そこで、多くの人々が彼を信じた。

11 ¹さて、マリヤの村ベタニヤ出身のラザロという病人と、その妹マルタが横たわっていた。
²

しかし、主に香油を注ぎ、その髪の毛で彼の足を乾かしたのはマリヤであった。彼女の兄ラザロは病気でした。

3

そこで、彼の姉妹たちはつかわして彼に言った、「主よ、見よ、あなたは病んでいる人を愛しています」。

4

イエスはこれを聞いて言った、「この病気は死のためではなく、神の栄光のためであり、神の子がそれによって栄光を受けるためです」。

5 しかし、イエスはマルタとその姉妹、ラザロを愛された。

6 彼は病気だと聞いて、その場所に二日間滞在した。

7 それから彼は弟子たちに言った、「ユダヤに帰ろう」。

8

弟子たちは彼に言った、「先生、ほんの少し前にユダヤ人があなたを石で打ちたがっていました。あなたはまたそこに行きたいですか。

9

イエスは答えた、「一日のうち十二時間あるんじゃないのか」。昼間を歩く者は罪を犯さない。彼はこの世の光を見ているからです。

10 しかし、夜に歩く者はつまずく、彼には光がない。

11

彼はこれらのことを言って、それから彼らに言った、「わたしたちの友ラザロは眠っていますが、わたしは彼を起こそうとしています」。

12 弟子たちは言った、「主よ、彼が眠れば、彼は良くなります」。

13

しかし、イエスは自分の死について語られたが、彼らはイエスが肉体的な睡眠について語っていると思った。

14 そこでイエスは彼らにはっきりと言われた、「ラザロは死んだ。

15

そして、わたしがそこにいなかったことを、あなたがたが信じるために、わたしはあなたがたのためにうれしく思います。しかし、彼のところに行きましょう！

16

そこで、双子と呼ばれているトマスは、弟子たちに言った、「彼と一緒に死ぬために、私たちも一緒に行きましょう」。

17 そこでイエスが来て、彼が四日間墓に横たわっているのを見つけた。

18 ベタニヤは三十分の時にエルサレムの近くにいた。

19 また、多くのユダヤ人がマルタとマリヤのところに来て、彼らを兄弟のことを慰めようとした。

20 マルタはイエスが来ると聞いて、彼に会いに行った。しかし、メアリーは家に座ったままでした。

21

マルタはイエスに言った、「主よ、あなたがここにいたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょう。

22

しかし、今でも、あなたが神に求めることは何でも、神があなたに与えてくださることを、わたしは知っています。

23 イエスは彼女に言われた、「あなたの兄弟はよみがえるでしょう」。

24

マルタは彼に言った、「わたしは、彼が終わりの日の復活によってよみがえることをよく知っています。

25

イエスは彼女に言われた、「わたしは復活者であり、いのちです。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。

26 生きてわたしを信じる者は、決して死ぬことがない¹⁰⁸。あなたはそれを信じますか？

27

彼女は彼に言った、「主よ、はい、あなたがこの世に来られた神の子、キリストであると信じます」。

28

こう言ってから、彼女は行って、ひそかに妹のマリヤに電話して、「あるじがここにいる、あなたを呼んでいる」と言った。

29 彼女はこれを聞いて、急いで立ち上がって彼のところに来た。

30 しかし、イエスはまだ村には来ていなかったので、マルタが彼を迎えに来た場所にまだいた。

31

彼女と一緒に家にいて彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリヤが急いで起きて出て行くのを見て、「彼女は墓に行ってそこで泣くのだろう」と思って、彼女について行きました。

32

それでマリヤは、イエスのいるところに来て、イエスを見ると、彼の足元にひれ伏して言った、「主よ、あなたがここにいたら、私の兄弟は死ななかつたでしょう」。

33

イエスは、彼女が泣いているのを見て、彼女と一緒に来たユダヤ人たちも泣いていたので、心の中で激怒し、

34

「彼をどこに寝かせたのですか」と言った。彼らは彼に言いました、「主よ、来て見てください」。

35 イエスの目はひっくり返った。

36 するとユダヤ人たちは言った、「見よ、彼はどんなに彼を愛していたことか」。

37 彼らのうちの何人かは言った、「盲人の目を開けた者は、彼を死なせなかったのか」。

38

そこで、イエスは再び怒って、墓に来られた。しかし、それは洞窟であり、その前に石が置かれていました。

39

イエスは言われた、「石を持ち上げなさい」。故人の妹であるマルタは彼に言いました、「主よ、彼はすでに悪臭を放ちます。彼は四日間眠っていたからである」。

40

イエスは彼女に言われた、「わたしはあなたに言ったではありませんか。『もし信じるなら、神の栄光を見るでしょう』」。

41

そこで彼らは石を持ち上げた。しかし、イエスは目を上げて、「父よ、あなたが私の話を聞いてくださったことを感謝します」と言われました。

42

あなたがいつもわたしの声を聞いていることをわたしはよく知っていましたが、わたしが話したのは、あなたがわたしを遣わしたと彼らが信じるためです。

43 こう言ってから、彼は大声で叫んだ、「ラザロよ、出て来てください」。

44

すると、死んだ人は、手と足に重布をはね、顔をハンカチで覆って出てきた。イエスは彼らに言われました、「包帯をほどいて、彼を放しなさい」。

45

そして、マリヤのところに来て、イエスがなさっていることを見た多くのユダヤ人は、イエスを信じた。

46

しかし、彼らのうちの何人かはパリサイ人のところに行って、イエスがなさったことを彼らに告げた。

47

そこで、祭司長たちとパリサイ人たちは、会議を集めて言った、「私たちは何をしていますのですか。この人は多くのサインをします」。

48

もしわたしたちが彼をこのように放っておくと、彼らはみな彼を信じ、ローマびとはきて、わたしたちの土地と民を奪うであろう。

49 しかし、その年の大祭司であったカヤパという者も彼らに言った、「あなたがたは何も知らない」。

50

また、あなたがたは、全民が滅びるよりも、一人の¹⁰⁹人が民のために死ぬ方が自分にとって良いとは考えていません。

51

しかし、彼はこれらのことを自分自身で話さなかったが、その年の大祭司であったので、預言した。イエスは民のために死ぬべきであり、

52 民のためだけでなく、散らばった神の子らを集めるためにも死なれるはずであった。

53 その日から、彼らは彼を殺すと決心した。

54

しかし、イエスはもはやユダヤ人たちの間を公然と歩むことはなく、荒野の近くのエフライムという町に行って、弟子たちと共にそこに滞在した。

55

さて、ユダヤ人の復活祭が近づいていたので、彼らの多くが復活祭の前に、その地方からエルサレムに上って、自分たちを清めようとした。

56

そこで彼らは立ってイエスについて尋ね、神殿で互に言った、「あなたがたはどう思いますか」。彼はフェスティバルに来るのだろうか？

57

さて、祭司長たちとパリサイ人たちは、もし彼の居場所を知っている者がいたら、それを知らせて、彼を捕らえることができるようにという命令を発した。

12

復活祭の六日前に、イエスは死者の中からよみがえらせたラザロのいるベタニヤに来られた。

2

そこで彼らは彼に食事をさせ、マルタは奉仕した。しかし、ラザロは彼と一緒に食卓に着いた者の一人でした。

3

それからマリヤは、純粋で貴重なスパイクナードの軟膏を一ポンド取り、イエスの足に油を塗り、彼女の髪で彼の足を乾かしたので、家はその香油の匂いで満たされた。

4 すると、弟子の一人、イスカリオテのユダは、後に彼を裏切って言った、「

5 なぜ、この香油は銀三百枚で売られて貧しい人々に与えられないのですか」。

6

しかし、彼は貧しい人々のことを尋ねたので、これを言ったのではなく、彼は盗人であり、財布を持っていて、与えられたものを取った。

7

そこでイエスは言われた、「彼らを安らかに放っておきなさい」。それが私の葬儀の日にも当てはまりますように。

8 あなたがたにはいつも貧しい人々がいますが、いつもわたしがいるわけではありません。

9

すると、多くのユダヤ人がイエスがそこにいることを知り、イエスのためだけでなく、彼が死者の中からよみがえらせたラザロを見るためにも来た。

10 しかし、祭司長たちは、自分たちもラザロを殺すべきだと決めた。

11 彼のために、多くのユダヤ人が行ってイエスを信じた。

12 翌日、祭りに来ていた多くの人たちが、イエスがエルサレムに来ると聞いたとき、

13

彼らは、しゅろの枝を持って出て行って、「ホサナ」と叫びながら、イエスに会いに行った。イスラエルの王、主の名によって来る者は幸いです。

14 イエスは一頭の子馬を見つけて、それに乗った。

15 「恐れるな、シオンの娘よ。見よ、あなたの王様が子馬に乗って来ている。」

16

しかし、弟子たちは最初、このことを理解していなかったが、イエスが栄光を受けたとき、これらのことが彼について書き記されていたこと、また、これらのことが彼に対してなされたことを思い出した。

17

しかし、彼がラザロを墓から呼び戻し、死者の中からよみがえらせたとき、彼と共にいた人々は、その行いをほめたたえた。

18 それで、民は彼がこのしるしを行ったと聞いて、彼に会いに行った。

19 パリサイ人たちは互に言った、「あなたがたは、何もしていないのがわかります。見よ、全世界が彼を追いかけています」。

20 また、祭りの時に礼拝するために上って来た人々の中に、ギリシヤ人がいた。

21

彼らはガリラヤのベツサイダから来たピリポのところに来て、「主よ、わたしたちはイエス様に会いたいのです」と頼んだ。

22 ピリポがきて、アンデレに告げたので、ピリポとアンデレはイエスに告げた。

23 しかし、イエスは彼らに答えて言われた、「人の子が栄光を受ける時が来た」。

24

まことに、まことに、あなたがたに告げるが、一粒の麦が地に落ちて枯れない限り、それは一人に残り、死ぬと多くの実を結ぶ。

25

自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世で自分のいのちを憎む者は、永遠のいのちとしてそれを受け取る。

26

だれでもわたしに仕えたい者は、わたしについてきなさい。そうすれば、わたしのいるところには、

わたしのしもべもいるであろう。そして、私に仕える者は誰でも、父は彼を敬うでしょう。

27

今、わたしの魂は悲しんでいます。そして、私は何を言うことができますか?お父さん、この時間から助けてください。いや、だから今の時間になったんだ。

28

父よ、あなたの名をほめたたえてください。すると、天から声がして、「私は彼を讃えました。そして、また彼を讃えます」と言いました。

29

すると、そばに立って聞いていた人々は、「雷鳴がした」と言った。他の者たちは、「天使が彼に話しかけた」と言いました。

30 イエスは答えて言われた、「この声はわたしのためではなく、あなたがたのためでした。

31 さばきは世に広がっており、今やこの世の君は追い出される。

32 そして、わたしが地から引き上げられたとき、彼ら全員を自分のところに引き寄せる。

33 しかし、彼がこのように言ったのは、自分がどのような死を迎えるかを示すためであった。

34

そこで民はイエスに答えた、「わたしたちは律法で、キリストがとこしえにとどまると聞いています。それに、どうして『人の子は上げられなければならない』と言うのですか」。この人の息子は誰ですか?

35

そこでイエスは彼らに言われた、「光はしばらくの間、あなたがたと共にあります。暗闇に襲われないように、光がある限り歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、自分がどこに向かっているのかわからない。

あなたが光を持っている限り、光を信じなさい、そうすれば、あなたは光の子となることができます。イエスはこのように語り、彼らから身を隠して去っていった。

37 イエスが彼らの前でそのようなしを行なったにもかかわらず、彼らは彼を信じなかった。

38

それは、預言者イザヤの言葉、「主よ、だれがわたしたちの説教を信じますか。そして、主の腕は誰に示されるのか。

39 それゆえ、彼らは信じることができなかった、というのも、イザヤは再び言った、「

彼は彼らの目をくらませ、彼らの心をかたくなにさせた。だから、彼らは目で見ること、心で聞くこともできない。だから、わたしが彼らを助ける」。

41 イザヤは、彼の栄光を見て、これらのことを言って、彼について語った。

42

しかし、多くの支配者たちも彼を信じていたが、パリサイ人のために、彼らが追放されることのないように、それを告白しなかった。

43 彼らは、神と共に栄光を帰するよりも、人との栄光を好んだからである。

44

しかし、イエスは叫んで言われた、「わたしを信じる者は、わたしを信じるのではなく、わたしをつかわされたかたを信じているのです」。

45 わたしを見る者は、わたしをつかわした者を見る。

46

わたしが光としてこの世に来たのは、わたしを信じる者がだれでも暗闇にとどまることのないようにするためである。

47

わたしの言葉を聞いて守らない者は、彼をさばかない、なぜなら、わたしが来たのは世をさばくためではなく、世を救うためだからである。

48

わたしを軽蔑し、わたしの言葉を受け入れない者は、すでにそのさばき手を持っており、わたしが語ったことばは、終わりの日に彼をさばくであろう。

49

わたしは自分のことを話さなかったが、わたしをつかわされた父が、何を言い、何を話すべきかについて、わたしに命じを与えた。

50

そして、彼の戒めが永遠の命であることを、わたしは知っている。ですから、私が話すことは、父が私に言われたとおりに話すのです。

13¹

しかし、復活祭の祭りの前に、イエスは自分の時が来たこと、自分がこの世を出て父のもとに行くこと、そして、この世にいる自分自身の人々を愛したように、彼らを最後まで愛したことを知っていた。

2

そして、晚餐のとき、悪魔がすでにユダ、シモンの息子イスカリオテの心に侵入し、彼を裏切ろうとしていたとき、

イエスは父なる神がすべてのものを彼の手に乗せたこと、そして彼が神から来て神のもとに行くことを知っていたので、

4彼は主の晚餐から立ち上がり、服を脱ぎ、エプロンを取り、身に帯を締めた。

5

それから、洗面器に水を注ぎ、弟子たちの足を洗い始め、自分が身に着けていたエプロンで彼らを乾かした。

6

それから彼はシモン・ペテロのところに来て、ペテロは彼に言った、「主よ、わたしの足を洗ってください」。

7イエスは答えて言われた、「わたしが何をしているのか、今は知らないが、後でわかるだろう」。

8

そこでペテロは彼に言った、「あなたは決してわたしの足を洗ってはならない」。イエスは彼に答えた、「もし私があなたを洗わないなら、あなたは私の中に何の役にも立たないでしょう」。

9シモン・ペテロは彼に言った、「主よ、足だけでなく、手と頭も」。

10

イエスは彼に言われた、「洗われる者は、足を洗うだけでよい。彼はすっかり清いからである。そして、あなたは純粋ですが、すべてではありません。

11彼は自分の裏切り者をよく知っていたので、「あなたがたはみな清くない」と言った。

12

彼らの足を洗った後、彼は着物を取り、再びすわって、再び彼らに言った、「わたしがあなたがたに何をしたか、あなたがたは知っていますか」。

13あなたがたはわたしを主人、主と呼び、正しく言う、わたしもそうである。

14

それゆえ、あなたがたの主であり主であるわたしがあなたがたの足を洗ったならば、あなたがたも互の足を洗い合うであろう。

15

わたしは、わたしがあなたがたにしたように、あなたがたも行うべきであるという模範をあなたがたに示しました。

16

まことに、まことに、あなたがたに告げるが、しもべはその主人よりも偉大ではなく、使徒も彼を遣わした者よりも偉大ではない。

17これらのことを知っているなら、それを行なうのは幸いです。

18

わたしはあなたがたのすべてについて語っているわけではありませんが、わたしが選んだのは誰であるかを知っています。しかし、聖書は成就されなければなりません(詩篇41:10):「私のパンを食べる者は、私の足元を踏みにじる」。

19

さて、それが起こる前に、あなたがたに告げるのは、それが成し遂げられたとき、あなたがたがそれがわたしであると信じるためである。

20

まことに、まことに、あなたがたに告げる、すなわち、わたしが人を遣わすとき、受ける者はわたしを受け入れるが、わたしを受け入れる者は、わたしをつかわした者を受け入れる。

21

イエスがこれらのことを言ったとき、彼は心を痛めて証言した、「まことに、まことに、あなたがた

に告げます。あなたがたのうちの一人がわたしを裏切るでしょう」。

22 そこで弟子たちは互いに顔を見合わせ、イエスが語った者を恐れた。

23 さて、イエスが愛した弟子の一人がいて、イエスの胸の食卓に横たわっていた。

24

ペテロは彼を招いて言った、「彼が語っているのは、だれですか。わたしに教えてください。彼はだれを語っていますか。

25 彼はイエスの胸に寄りかかって言った、「主よ、それはだれですか。

26

イエスは答えた、「わたしが一口を浸して渡すのは、彼です」。そして、その一口をその中に浸して、それを取り、シモン・イスカリオテの息子ユダに渡した。

27

そして、噛まれた後、サタンが彼にはいった。それからイエスは彼に言われた、「何をするにしても、すぐにしなさい」。

28 しかし、そのテーブルには、彼が何を言っているのか、誰も知らなかった。

29

ある人々は、ユダが財布を持っていたので、イエスが彼に「私たちが祝宴に必要なものを買うか、それとも貧しい人々に何かを与えるべきだ」と言ったと考えました。

30 彼は一口を取った後、すぐに出て行った。そして、夜になった。

31

ユダが出て行ったとき、イエスは言われた、「今、人の子は栄光を受け、神は彼によって栄光を受ける」。

32

もし神が彼にあって栄光を受けるなら、神は彼自身によっても彼に栄光を帰し、ただちに彼に栄光を帰すであろう。

33

愛する子供たちよ、私はもう少しあなたと一緒にいます。あなたは私を求めるでしょう。そして、わたしがユダヤ人に言ったように、『わたしの行くところには、あなたがたは行くことができない』と言ったので、今、あなたがたに言う。

34

わたしは、わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合い、あなたがたも互いに愛し合うように、新たな戒めをあなたがたに与える。

35

それによって、あなたがたが互いに愛し合うなら、あなたがたがわたしの弟子であることを知るでしょう。

36

シモン・ペテロは彼に言った、「主よ、あなたはどこへ行くのですか」。イエスは彼に答えた、「わたしが行くところに、今度はわたしについて来ることはできない。しかし、あなたは後で私について来るでしょう。」¹⁷³

37

ペテロは彼に言った、「主よ、なぜわたしは今度はあなたについて来られないのですか」。君のために命を捧げたい。

38

イエスは彼に答えた、「わたしのために命を捨てますか」。まことに、まことに、あなたがたに言います、あなたが私を三度否定するまで、意志は鳴きません。

14 ¹心を惑わしてはならない。神を信じ、私を信じてください!

²

父の家にはたくさんの邸宅があります。もしそうでなかったら、私はあなたに「あなたのために場所を用意します」と言ったでしょうか。

3

そして、もしわたしがあなたのために場所を整えるために行くなら、わたしは再び来て、あなたを自分のところに迎え入れ、わたしのいるところに、あなたがたがいるようにする。

4 そして、わたしが行くところへ、あなたは道を知っています。

5

トマスは彼に言った、「主よ、私たちはあなたがどこへ行くのか知りません。また、どうして道を知

ることができますか」。

6 イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、だれも父のみもとに来ることはできない」。

もしあなたが私を知っていたなら、私の父も知っていた。そしてこれからは、あなたは彼を知り、彼を見てきました。

8

ピリポは彼に言った、「主よ、父をわたしたちに示してください。そうすれば、わたしたちにはそれで十分です」。

9

イエスは彼に言われた、「ピリポよ、わたしはいつからあなたと一緒にいたのに、あなたはわたしを知らないのですか」。私を見る者は父を見る!「父を見せてください」と、あなたはどのように言いますか?

10

あなたがたは、わたしが父の中におり、父がわたしの中におられることを信じないのか。私があなたに話す言葉は、自分自身について話すものではありません。しかし、私の内に宿る父は、その働きをします。

11

わたしが父のうちにおり、父がわたしの内におられることを、わたしに信じなさい。もしそうでなければ、あなたがたの業について、わたしを信じなさい。

12

まことに、まことに、あなたがたに告げるが、わたしを信じる者は、わたしが行う業をも行い、また、わたしが父のもとに行くので、これらよりも大きなことをするであろう。

13

また、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、わたしが行い、父が子にあって栄光を受けるようにする。

14 あなたがわたしの名によって求めることは、何でもわたしが行います。

15 もしあなたがわたしを愛するなら、わたしの戒めを守るでしょう。

16

そして、父なる神に求めると、父はあなたがたにもう一人の慰め主を与えてくださり、彼が永遠にあなたがたと共にいることができるように、

17

真理の霊は、この世が受け入れることのできない、彼を見ることも知らないの、彼を知らないからである。しかし、あなたは彼を知っています、なぜなら彼はあなたと共にあり、あなたの中にいるからです。

18 わたしはあなたがたを孤児にしないで、あなたがたのところに来る。

19

まだ少しの間ですが、そのとき、この世はもうわたしを見ることはないでしょう。しかし、あなたがたは私を見るでしょう、なぜなら私は生きており、¹¹⁴ あなたも生きるからです。

20

その日、あなたがたは、わたしが父の中におり、あなたがたがわたしの中におり、わたしがあなたがたの中にいることを知るでしょう。

21

わたしの戒めを持って、それを守る者は、わたしを愛する方である。しかし、わたしを愛する者は誰でも父に愛され、わたしは彼を愛し、彼に自分を明らかにする。

22

イスカリオテではなく、ユダが彼に言った、「主よ、あなたは、世にではなく、われわれにご自身を現わそうとしているのは、何なのですか」。

23

イエスは答えて言われた、「わたしを愛する者は、わたしの言葉を守り、わたしの父は彼を愛するでしょう。そして、わたしたちは彼のところに来て、彼と共に家を建てよう」。

24

しかし、わたしを愛さない者は、わたしの言葉を守らない。そして、あなたが聞く言葉は私のものではなく、私をつかわした父の言葉です。

25 これらのことは、わたしがあなたと共にいたときに、あなたがたに話しました。

26

しかし、父がわたしの名によって遣わす慰め主、聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたし

があなたがたに言ったすべてのことを、あなたがたに思い出させるであろう。キリストの平安
27

わたしはあなたがたに平安を残し、わたしの平安をあなたがたに与える。私は、この世が与えるままに、あなたに与えることはありません。あなたの心を悩ませたり、恐れたりしてはいけません。

28
あなたがたは、わたしがあなたがたに言った、「わたしは行って、あなたがたのところに帰ってきます」と言ったのを聞いた。もし私を愛しているなら、私が父のもとに行くことを喜ぶでしょう、なぜなら、父は私よりも偉大だからです。

29
さて、わたしは、それが起こる前にあなたがたに話した、それは、それが起こったとき、あなたがたが信じるようになるためである。

30
わたしはこれ以上、あなたがたに多くを語らない、世の君が来るからである。彼は私に対して何の力も持っていない

、しかし、私が父を愛し、父が私に命じたように行っていることを、世間は知るだろう。立ち上がって、ここから始めましょう。

1 わたしはまことのぶどうの木であり、父はぶどうの木の栽培者です。

15²

彼はわたしのうちで実を結ばない枝をことごとく取り去り、実を結ぶすべての枝を清めて、より多くの実を結ぶようにする。

あなたがすでに清いのは、わたしがあなたに話した言葉のゆえにです。

4
わたしの内にとどまり、わたしがあなたがたの中にとどまりなさい。枝がぶどうの木にとどまらなければ、それ自体で実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにとどまらなければ、実を結ぶことができない。

5
わたしはぶどうの木であり、あなたがたは枝である。わたしの中にとどまり、わたしが彼の中にとどまる者は、多くの実を結ぶ。なぜなら、私がいなければ、あなたは何もできないからです。

6
わたしにとどまらない者は、枝のように投げ捨てられて枯れ、彼らがそれを集めて火に投げ入れると、それは燃える。

7
もしわたしの内にとどまり、わたしの言葉があなたがたの内にとどまるなら、あなたがたは自分が何を望んでいるかを尋ねるでしょう。

8 これにより、わたしの父は栄光を現し、あなたがたは^{1/5}多くの実を結び、わたしの弟子となる。

9
ちょうど父がわたしを愛しているように、わたしもあなたを愛しています。私の愛にとどまりなさい!

10
もしわたしの戒めを守るなら、わたしが父の戒めを守るように、あなたがたもわたしの愛にとどまり、あなたがたも父の愛にとどまるでしょう。

11
わたしがこれらのことをあなたがたに語っているのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにとどまり、あなたがたの喜びが満ち満ちるためである。

12
これがわたしの戒めであり、わたしがあなたがたを愛するように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

13 彼が友人のために自分の命を捨てたことに、これほど大きな愛を持っている人はいない。

14 あなたがたは、わたしが命じることを行うなら、わたしの友である。

15
わたしは、あなたがたがしもべであるとは言わない、なぜなら、しもべは自分の主人が何をしているのか知らないからである。しかし、私はあなたに友人であると言いました。父から聞いたすべてのことを、あなたがたに知らせました。

16

あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを定めて、行って実を結び、あなたがたの実を結ぶように命じた。そうすれば、わたしの名によって父に求めるならば、父はそれをあなたがたに与えることができる。

17 わたしは、あなたがたが互いに愛し合うように命じる。

18

もしこの世があなたを憎むなら、あなたがたを憎む前に、私を憎んでいたことを知っておきなさい。

19

もしあなたがこの世のものであったなら、この世は自分自身のものを愛するでしょう。しかし、あなたがこの世のものではないから、私があなたをこの世から選んだので、この世はあなたを憎んでいるのです。

20

わたしがあなたがたに言った言葉を思い出しなさい、『しもべは、その主人よりも偉大ではない』。もし彼らがわたしを迫害したなら、あなたがたも迫害するでしょう。彼らが私の言葉を守ったなら、あなたの言葉も守るでしょう。

21

しかし、彼らはわたしの名のために、これらのことをみなあなたがたに行うであろう、なぜなら、彼らはわたしをつかわした者を知らないからである。

22

もしわたしが来て彼らに告げなかったら、彼らは罪を犯さなかったでしょうが、今は自分たちの罪を弁解するために何もすることができません。

23 わたしを憎む者は、わたしの父も憎む。

24

もしわたしが彼らの間で、だれも行わなかった業を行わなかったならば、彼らには罪がなかったであろう。しかし、今、彼らはそれを見てしまったのに、私と父の両方を憎んでいる。

25

しかし、彼らの律法に書かれていることわざ(詩篇69:5)は、「彼らは理由もなくわたしを憎む」という言葉は、必ず成就されなければなりません。

26

しかし、わたしが父からあなたがたを遣わす慰め主、すなわち父から出る真理の霊が来るとき、彼はわたしについて証言するであろう。

27 また、あなたがたもまた、初めからわたしと共にいたので、わたしの証人となるでしょう。

1

16

わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたが気分を害しないようにするためである。

彼らはあなたを呪文の下に置きます。そう、あなたを殺す者が、自分が神に奉仕していると考え時¹¹⁶が来ているのです。

3 そして、彼らがそうするのは、彼らがわたしの父や私を知らないからです。

4

しかし、わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、その時が来たとき、わたしがあなたがたに告げたことを、あなたがたが思い出すためである。しかし、わたしはこれらのことを最初からあなたがたに話したではありません。なぜなら、わたしはあなたと共にいたからです。

5

しかし、今、わたしは人をつかわされた方のところに行きますが、あなたがたのだれもわたしに『どこに行くのですか』と尋ねる者はいません」。

6

しかし、わたしがこれらのことをあなたがたに話したために、あなたがたの心は悲しみでいっぱいになった。

7

しかし、真実を言うと、わたしが行くことは、あなたがたにとって良いことである。もし私が行かなければ、掛け布団はあなたのところに来ないからです。しかし、私が行くとき、彼をあなたのところに送ります。

8 彼が来るとき、彼は世の目を罪と義とさばきとに開く。

9 罪については、彼らがわたしを信じない。

10

義については、わたしが父のもとに行っても、今からあなたがたがわたしを見ることがないようにするためである。

11 裁きについては、この世の君が裁かれるということである。

12

わたしはまだあなたがたに言いたいことがたくさんありますが、あなたがたは今それに耐えられませんか。

しかし、真理の霊が来ると、彼はあなたをすべての真理へと導くでしょう。彼は自分自身について語らないからである。しかし、彼が聞くことは彼が語り、来るべきことを彼はあなたに告げ知らせるでしょう。

14 彼はわたしをあがめる、わたしからそれを取り取って、あなたがたに宣べ伝えるからである。

15

父が持っているものはすべて私のものです。だから、わたしは言った、「彼はそれをわたしから取って、あなたがたに告げ知らせるであろう」。

16 小さいものの上には、わたしが見えず、また小さなものの上には、わたしを見るであろう。

17

そこで、弟子たちの何人かが互に言った、「彼がわたしたちに言うのは、何である。『小さなひとりについては、わたしを見ることはない。また、ひとりひとりについては、わたしを見るであろう』」。

18

そこで彼らは言った、「彼が『ひとりひとりについて』と言うのは、どういうことなのでしょう。彼が何を言っているのかわかりません」。

19

イエスは、彼らがイエスに尋ねたがっているのを見て、彼らに言われた、「あなたがたは、このことについて互いに尋ね合いなさい。なぜなら、わたしが言った、『小さな者については、そうすれば、あなたがたはわたしを見ることができなくなります。また、小さな者については、また、わたしを見るでしょう』」。

20

まことに、まことに、あなたがたに告げる、あなたがたは泣いて泣くが、世は喜ぶであろう、あなたがたは悲しむであろうが、あなたがたの悲しみは喜びに変わるであろう。

21

女が産むとき、彼女は悲しむ、なぜなら、その時が来たからである。しかし、彼女が子供を産んだとき、彼女はもはや人間がこの世に生まれた喜びのために恐怖について考えることはありません。

22

あなたがたも今は悲しみに暮れていますが、わたしは再びあなたに会い、あなたの心は喜び、だれもあなたの喜びを奪うことはないでしょう。

23

そして、その日のうちに、あなたはわたしに何も尋ねない。まことに、まことに、あなたがたに告げる、もし父に何かを求めるならば、父はわたしの名によってそれをあなたがたに与えるであろう。

24

これまで、あなたはわたしの名において何も求めていません。求めなさい、そうすればあなたは受け取るでしょう、あなたの喜びが完全になるかもしれません。

25

これらのことは、わたしが箴言と像であなたがたに語った。しかし、私がもはや写真であなた方に話すのではなく、私の父について公然とあなた方に宣言する時が来ています。

26

その日のうちに、あなたがたはわたしの名によって求めるであろう。そして、私は、君達のために父に祈るとは言わない。

27

父なる彼自身があなたを愛しているのは、あなたがわたしを愛し、わたしが神から来たと信じているからです。

28 わたしは父を離れて世に出て、再び世を離れて父のもとに行く。

29

弟子たちは彼に言った、「見よ、あなたがたは今、自由に語り、もはや像に造られることはなくなりました」。

30

さて、あなたがたはすべてのことを知っており、だれにも尋ねてもらう必要はないことを、わたしたちは知っている。だから、あなたがたは神から来たのだと、わたしたちは信じる。

31 イエスは彼らに答えられた、「さて、あなたがたは信じますか。

32

見よ、あなたがたが散らばり、おのおの自分のところに散らされ、わたしを放っておいて、その時が来ている。しかし、父が私と共にいるので、私は一人ではありません。

33

わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしのうちに平安を持つためである。この世では、あなたは恐れている。しかし、慰められてください、私は世界を克服しました。

1

17

イエスはこれらのことを語り、目を天に上げて言われた、「父よ、その時が来ました。あなたの御子をほめたたえ、御子があなたをあがめるように、

2

あなたが彼にすべての肉なる者に対する権威を与えたように、また、あなたが彼に与えたすべての者に永遠のいのちを与えることができるように」。

3

しかし、これが永遠のいのちであり、彼らがあなた、ただ一人がまことの神であり、あなたが遣わしたイエス・キリストを知るためです。

4 わたしは地上であなたを讃え、あなたが私に与えてくださった働きを終えました。

5

さて、父よ、この世が誕生する前に、私があなたと共に持っていた明晰さをもって、あなたと共に私を賛美してください。

6

わたしは、あなたがわたしに与えた世の人々に、あなたの名を明らかにしました。彼らはあなたのものであり、あなたはそれらを私に与え、彼らはあなたの約束を守りました。

7

今や彼らは、あなたがわたしに与えたすべてのものは、あなたから出たものであることを知っています。

8

あなたがわたしに与えた言葉を、わたしが彼らに伝えたので、彼らはそれを受け入れ、わたしがあなたから出たことを真に知り、あなたがわたしをつかわしたと信じた。

9

わたしは彼らのために祈るが、それは世のためではなく、あなたがわたしに与えてくださった者たちのためである。

118

10

そして、わたしのものはすべてあなたがたのものであり、あなたがたのものはすべてわたしのものであり、わたしはそれらによって栄光を受ける。

11

わたしはもはやこの世にはいませんが、彼らはこの世にいて、わたしはあなたがたのところに来ます。聖なる父よ、あなたが私に与えてくださったあなたの名によって彼らを守り、彼らが私たちと同じように一つとなるようにしてください。

12

わたしが彼らと共にいる限り、わたしはあなたがわたしに与えてくださったあなたの名によって彼らを受け入れ、それを守り、聖書の言葉が成就するために滅びの子を除いては、だれも失われませんでした。

13

しかし、今、わたしはあなたがたのところに來て、これらのことを世で語り、彼らがわたしの喜びを完全に得ることができるようにするためである。

14

わたしが彼らにあなたの言葉を伝えたが、世は彼らを憎んだ、なぜなら、わたしが世のものではないのと同じように、彼らも世のものではないからである。

15

わたしが求めているのは、彼らをこの世から取り除いてほしいではなく、彼らを悪から守ることです。

16 彼らは世のものではない、ちょうど私がこの世のものではないのと同じように。

17 彼らを真理によって聖別しなさい、あなたの言葉は真理である。

18 あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わします。

19 わたしは彼らのために自分を聖別し、彼らも真理によって聖別されるようにする。

20 しかし、わたしは彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、

21

父なるあなたと同じように、わたしのうちにわたしが一つになり、わたしもまたわたしの中にいるように、彼らもまたわたしの内にいて、あなたがわたしを遣わしたと世が信じるように祈る。

22

そして、あなたがわたしに与えてくださった栄光を彼らに与えたのは、私たちが一つであるように、彼らが一つになるためであり、

23

わたしが彼らのうちにあり、あなたがたがわたしのうちにあるように、彼らが完全に一つとなり、あなたがわたしを遣わしたことを世が知り、あなたがわたしを愛するように彼らを愛するためです。

24

父よ、あなたが私に与えてくださった者たちが、私がいる場所で私と一緒にいてほしい、あなたが私に与えてくださった私の栄光を彼らが見ることができるようになりたいのです。なぜなら、あなたは世界が建国される前から私を愛していたからです。

25

義なる父よ、この世はあなたを知らないが、わたしはあなたを知っている。そして、彼らはあなたがわたしを遣わしたことを知っている。

26

わたしは、あなたがたの名を彼らに知らせ、また、それを知らせるつもりです。そうすれば、あなたがわたしを愛する愛が彼らの中にあり、わたしも彼らの中にとどまるようになります。

1

18

イエスはこれらのことを言われて、弟子たちと共にキドロン川を渡って出かけたが、そこにはイエスと弟子たちが入った園があった。

2

しかし、彼を裏切ったユダも、イエスが弟子たちと一緒によくそこに集まったので、その場所を知っていた。

3

ユダは、兵士たち、祭司長、パリサイ人のしもべたちを連れて、松明とともしびととを持ってそこに来る。

4

イエスは、自分に起こることをすべて知って、出て行って彼らに言った、「だれを捜しているのですか」。

5

彼らは彼に答えた、「ナザレのイエス」。イエスは彼らに、「それはわたしです」と言いました。しかし、彼を裏切ったユダもまた、彼らと共に立っていました。

6 それで、イエスが彼らに「わたしです」と言われると、彼らは後ずさりして地に倒れた。

7

それから彼は再び彼らに尋ねた、「だれをお探しですか」。彼らは言った、「ナザレのイエス様」。

8

イエスは答えた、「わたしだと言ったでしょう。わたしです。私を探しているなら、彼らを手放してください」。

9

それは、彼が言った言葉、「あなたがわたしに与えてくださった者を、わたしはだれも失っていない」という言葉が成就するためです。

10

そこでシモン・ペテロはつるぎを持っていたので、それを抜いて大祭司のしもべを撃ち、その右耳を

切り落とした。そして、しもべの名前はマルコスでした。

11

イエスはペテロに言われた、「あなたのつるぎをその鞘に入れなさい」。父がくれた杯を飲んでみませんか？

12 そこで、一行と、ユダヤ人の長としもべたちは、イエスを捕まえて縛り、

13 まず彼を、その年の大祭司であったカヤパの義父であるアンナスのところに連れて行った。

14 さて、カヤパは、ユダヤ人たちに、人が民のために死ぬのは良いことだと忠告した。

15

シモン・ペテロは、イエスともう一人の弟子の後を追った。この弟子は大祭司に知られており、イエスと共に大祭司の宮殿に行きました。

16

しかし、ペテロは戸の外に立っていた。それから、大祭司に知られていたもう一人の弟子が出て行って門番に話しかけ、ペテロを中に導きました。

17

そこで、門番の女中がペテロに言った、「あなたもこの人の弟子の一人ではありませんか」。彼は言った、「それは私ではありません」。

18

しもべたちとしもべたちは立って、炭火を焚いていたが、それは寒かったので、自分たちを暖めていた。しかし、ピーターは彼らのそばに立って、自分を温めました。

19 しかし、大祭司はイエスに弟子たちについて、また彼の教えについて尋ねた。

20

イエスは彼に答えた、「わたしは世の前で、公の場で自由に話しました。私はいつも、すべてのユダヤ人が集まる会堂や寺院で教えてきましたが、秘密裏に話したことは一度もありません。

21

何を聞いているの？わたしが彼らに言ったことを聞いた者に尋ねなさい。見よ、彼らはわたしが言ったことを知っている。

22

彼がこう言っていると、そばに立っていた人のしもべがイエスの頬を叩いて言った、「あなたはどのように大祭司に答えているのですか」。

23

イエスは答えた、「もしわたしが悪を語ったのなら、それが悪であることを証明しなさい。しかし、もしわたしが正しいことを言ったのなら、なぜわたしを打つのですか」。

24 アンナスは彼を大祭司カヤパに縛り付けて送った。

25

しかし、シモン・ペテロは立って、自分を暖めた。そこで彼らは彼に言った、「あなたは彼の弟子の一人ではありませんか」。しかし、彼はそれを否定し、「それは私ではない」と言いました。

26

大祭司のしもべの一人、ペテロが耳を切り落とされた¹²⁹人の親戚は、「わたしは、あなたが彼と一緒に園にいるのを見ませんでしたか」と言います。

27 そこでペテロが再び否定すると、たちまち人々は泣き叫んだ。

28

それから彼らはカヤパのイエスをさばきの家に連れて行った。そして、それは早かった。彼らは汚れないように、さばきの家には行かず、イースターを食べた。

29

そこでピラトは彼らのところへ出て言った、「あなたはこの人に対して、何の訴えをお持ちですか。

30

彼らは答えて言った、「もしこの人が悪を行なう者でなかったら、わたしたちは彼をあなたがたに引き渡さなかったでしょう」。

31

そこでピラトは彼らに言った、「だから、彼を連れて行き、あなたがたの律法に従って彼をさばきなさい。そこでユダヤ人たちは彼に言った、「私たちはだれも殺してはならない」 32

それは、彼が死ぬであろう死を示すために語られたイエスの言葉が成就するためである。

33 そこでピラトはさばきの家に戻り、イエスを呼んで言った、「あなたはユダヤ人の王ですか」。

34

イエスは答えられた、「あなたは自分のことを言っているのですか、それともほかの人がわたしのことを話しているのですか」。

35

ピラトは答えた、「わたしはユダヤ人ですか」。あなたの民と祭司長たちは、あなたを私に引き渡しました。あなたは何をしましたか？

36

イエスは答えられた、「わたしの国は、この世のものではありません。もし私の王国がこの世のものであったなら、私のしもべたちは、私がユダヤ人に引き渡されないように戦うでしょう。しかし、今、私の王国はこの世のものではありません。

37

そこでピラトは彼に言った、「それでは、あなたはまだ王ですか」。イエスは答えた、「あなたがそう言うなら、私は王です」。私は、真理を証しするために、この目的のために生まれ、この世に生まれました。真理に属する者は、わたしの声を聞く。

38

ピラトは彼に言った、「真理とは何でしょうか」。そして、これを言うと、彼は再びユダヤ人のところへ出て行き、彼らに言った、「彼には欠点はありません」。

39

しかし、あなたがたは、わたしが復活祭に捕虜を釈放する習慣があるのに、あなたがたをユダヤ人の王として釈放してほしいのですか。

40

すると、彼らは再び叫んで言った、「こっちではなく、バラバだ」。しかし、バラバは強盗でした。

1 それからピラトはイエスを捕まえて、むち打たせた。

19

2 兵士たちはいばらの冠を編んで彼の頭にかぶり、紫色の衣を着せ、

3 彼のところに来て、「ユダヤ人の王様、こんにちは」と言って、彼の頬を打った。

4

そこでピラトは再び出て行って、彼らに言った、「見よ、わたしが彼をあなたがたのところに連れて行くのは、わたしが彼を責めるべきではないと、あなたがたに知らせるためだ」。

5

それから、イエスはいばらの冠と紫色の衣を着て出て行かれた。ピラトは彼らに言った、「見よ、なんという人であろうか。

6

祭司長たちとしもべたちは彼を見て、叫んで言った、「十字架につけてください。ピラトは彼らに言った、「彼を捕まえて十字架につけなさい。私は彼に何の欠点も見つけません」。

7

ユダヤ人たちは彼に答えた、「私たちには律法があり、彼はその律法に従って死ななければなりません。なぜなら、彼は自分自身を神の子としたからです」。

8 ピラトはその言葉を聞くと、いっそう恐れ、

9

さばきの家に戻ってイエスに言った、「あなたはどこから来たのですか」。しかし、イエスは彼に答えを与えませんでした。

10

そこでピラトは彼に言った、「あなたはわたしに話しかけていないのですか」。わたしにはあなたたちを解放する力があり、あなたを十字架につける力があることを知らないのか。

11

イエスは答えた、「上から与えられなければ、あなたがたはわたしを支配する力を持たない」。ですから、私をあなたに引き渡した者は、より大きな罪を犯しています。

12

それ以来、ピラトは彼を手放す方法を見つけようとしていました。しかし、ユダヤ人たちは叫んで言った、「もし彼を放すなら、あなたはカイザルの友ではありません。自分を王とする者は、カエサルに敵対するからである。

13

ピラトはその言葉を聞くと、イエスを連れ出して、ヘブル語でガバタと呼ばれる場所の裁きの座に着いた。

14

さて、それは復活祭の準備の日、およそ六時であった。彼はユダヤ人に言った、「見よ、これがあなたの王である」。

15

しかし、彼らは叫んだ、「彼と一緒に離れなさい」。彼を十字架につけろ!ピラトは彼らに言った、「私はあなたの王を十字架につけましょうか」。祭司長たちは答えた、「私たちにはカイザル以外に王はありません」。

16 そこで彼は、イエスを十字架につけるために彼らに引き渡した。十字架刑と死

そして、彼らは彼を連れて行き、

17

彼は十字架を背負って、ヘブライ語でゴルゴタと呼ばれる「髑髏の場所」と呼ばれる場所に出て行った。

18

そこで彼らはイエスを十字架につけ、他の二人も両側に十字架につけたが、イエスは彼らの中におられた。

19

ピラトは見出しを書いて、それを十字架につけた、「ユダヤ人の王、ナザレのイエス」と書かれていた。

20

多くのユダヤ人がこの見出しを読んだ、なぜなら、イエスが十字架につけられた場所は町の近くだったからである。そして、それはヘブライ語、ラテン語、ギリシャ語で書かれていました。

21

そこで、ユダヤ人の祭司長たちはピラトに言った、「『ユダヤ人の王』と書くのではなく、彼が『わたしはユダヤ人の王です』と言ったと書きしるしなさい」。

22 ピラトは答えた、「わたしが書きしったことは、わたしが書きました。

23

しかし、兵士たちはイエスを十字架につけた後、イエスの衣服を取り、兵士一人につき一つずつ、四つの部分と上着を作った。しかし、コートは縫い付けられておらず、上から最後まで織られていました。

24

そこで彼らは互いに言った、「それを分けるのではなく、あるべきもののためにくじを投げよう」と聖書の言葉が成就するように(詩篇22:19):「彼らはわたしの衣を自分たちに分け、わたしの上着にくじを引いた」。これは兵士たちによって行われました。

25

彼の母はイエスの十字架のそばに立っていた、母の妹、クレオパの妻マリヤ、マグダラのマリヤと。

26

イエスは、母と愛する弟子がそばに立っているのを見て、母に言った、「女よ、見よ、これがあなたの息子です」。

27

それから彼は弟子に言った、「見よ、これがあなたの母です。そしてその時から、弟子は彼女を自分のところに連れて行きました。

122

28

その後、イエスは、聖書が成就するために、すべてのことがすでに成し遂げられたことを知ったとき、「わたしは渇いている」と言われた。

29

酢でいっぱいので器がありました。そして、スポンジに酢を入れ、それをヒソップにのせて、彼の口に持っていきました。

30 イエスが酢を飲んだとき、「もう終わった」と言って、頭を下げた。

31

しかし、ユダヤ人たちは、その日が安息日に十字架上の死体が残らないように、また大きな安息日であったため、準備の日であったため、ピラトに足を折って連れ去るように頼んだ。

32

そこで兵士たちがきて、ひとりの足を折ったし、ひとりのひとりも彼と一緒に十字架につけられたひとりの足を折った。

33

しかし、彼らがイエスのところに来て、イエスがすでに死んでおられるのを見ても、その足を折らなかった。

34 ところが、兵士の一人が槍で彼のわき腹を開いたので、すぐに血と水が流れ出た。

35

そして、これらのことを見た者は、彼らを証しし、その証言は真実であり、また、自分が真実を語っ

ていることを知っているの、あなたがたも信じることができる。

36 それは、聖書の「あなたがたは彼の足を折ってはならない」という言葉が成就するためである。

37 そしてまた、聖書は、「彼らは自分たちが刺した者を見るであろう」と言っています。

38

その後、イエスの弟子であったアリマタヤのピラト・ヨセフは、ユダヤ人を恐れて、ピラトにひそかにイエスの遺体を降ろすことを許してほしいと頼みました。そして、ピラトはそれを許しました。それから彼は来て、イエスの体を下ろしました。

39

また、夜にイエスのところに来たニコデモも来て、没薬とアロエを混ぜ合わせた百ポンドで持って来た。

40 そこで彼らはイエスの遺体を取り、ユダヤ人がいつも葬る香料で亜麻布で縛った。

41

彼が十字架につけられた場所には園があり、その園には新しい墓があり、そこには誰も葬られなかった。

42 彼らがイエスをそこに置いたのは、ユダヤ人の準備の日のためで、墓が近かったからである。

1

20

週の初めの日、マグダラのマリアは、まだ暗いうちに早く墓に来て、石が墓から取り除かれているのを見ました。

2

そこで彼女は走って、シモン・ペテロとイエスが愛したもう一人の弟子のところに来て言った、「彼らは主を墓から取り出しました。どこに彼を置いたのか、私たちは知りません」。

3 それから、ペテロともう一人の弟子は出て行って、墓に来た。

4 ふたりは共に走り、もう一人の弟子はペテロよりも速く先に走り、最初に墓に来て、

5 中を覗くと、亜麻布の包帯が置かれているのが見えたが、彼は入らなかった。

6 そこでシモン・ペテロは彼の後に来て、墓にはいって、包帯が敷かれているのを見た、

7

そして、包帯と一緒に置かれていないが、脇に巻かれているイエスの頭に巻かれたハンカチとが、特別な場所に敷かれているのを見た。

8 それから、墓に来たもう一人の弟子が、まず墓に入って見て信じた。

9

彼らは、イエスが死者の中からよみがえらなければならないという聖書をまだ理解していなかったからである。

10 それから弟子たちは再び家に帰った。

11 しかし、マリアは墓の前に立って、外で泣いた¹²。彼女が泣きながら墓

12を覗くと、白い衣を着た二人の御使いが、一人は彼らの頭に、もう一人は足元に座っていました。

13

彼らは彼女に言った、「お嬢さん、なぜ泣いているのですか」。彼女は彼らに言った、「彼らは私の主を連れ去った。そして、彼らが彼をどこに置いたのか、私にはわからない」。

14

こう言ったので、振り返ってイエスが立っているのが見えたが、それがイエスだとは知らなかった。

15

イエスは彼女に言われた、「女よ、なぜ泣いているのですか」。あなたは誰を探していますか?彼女はそれが庭師だと思い、彼に言います、「主よ、もし彼を連れ去ったのなら、どこに彼を置いたのか教えてください。そうすれば、私が彼を連れてきます。」

16

イエスは彼女に言われた、「マリア」。それから彼女は振り返り、ヘブライ語で彼に言いました、「ラブニ!」。つまり、マスターです!

17

イエスは彼女に言われた、「わたしに触れないでください。わたしはまだ父のもとに昇っていないのです」。しかし、私の兄弟たちのところに行って、彼らに言いなさい、『私は、私の父とあなたの父、私の神とあなたの神に昇っています』。

18

マグダラのマリアが来て、弟子たちに告げる、「わたしは主を見ました。主はわたしにこれらのことを言われました」。

19

しかし、その週の初めの日の夕方、弟子たちが集まって、ユダヤ人たちの恐れて戸が閉められたとき、イエスが来て、彼らの中に入って来て、「あなたがたに平安がありますように」と言われた。

20

こう言ってから、彼は自分の手とわき腹とを彼らに示した。すると、弟子たちは主を見て喜びました。

21

それから、イエスは再び彼らに言われた、「平安があなたがたと共にありますように」。父が私を遣わしたように、私もあなたを遣わします。

22 イエスはこう言って、彼らに息を吹きかけて、「聖霊を受けなさい」と言った。

23 あなたが罪を赦す人には、その罪は赦され、あなたが罪を守る人には、罪は保持されます。

24 しかし、十二弟子トマスは、イエスが来たとき、彼らと一緒にいなかった。

25

すると、他の弟子たちは彼に言った、「わたしたちは主を見ました」。そして、彼らに言った、「もし私が彼の手の中に釘の跡を見ず、その釘の跡に指を入れ、彼のわき腹に手を入れないなら、信じられません」。

26

そして、八日後、弟子たちは再び中に入り、トマスも彼らと一緒にいた。イエス様は、戸が閉められると、来て、真ん中に入って、「平安があなたと共にありますように」と言いました。

27

それから彼はトマスに言った、「あなたの指を伸ばしてわたしの手を見なさい。そして、あなたの手を伸ばしてそれをわたしのわき腹に置きなさい。そして、信じないで信じなさい」。

28 トマスは答えて言った、「わが主、わが神よ」。

29

イエスは彼に言われた、「トマス、あなたがたはわたしを見たから信じている。見ずながら信じる者は幸いです」。

30 イエスは弟子たちの前で、この書には書かれていない多くのしるしを行なった。

31

しかし、あなたがたは、イエスがキリストであり、神の子であると信じ、信仰によってイエスの名によっていのちを得ると、これらのことが書かれています。

21

1 それから、イエスは再びティベリアの海で弟子たちにご自身を現されました。

2

シモン・ペテロとトマス(その名は双子)、ガリラヤのカナのナサナエル、ゼベダイの息子たち、その他二人の弟子たち。

3

ペテロは彼らに言った、「わたしは漁に行きます」。彼らは彼に言った、「それなら、私たちも一緒に行きましょう」。彼らは外に出て船に乗り込みましたが、その夜は何も見つかりませんでした。

4

しかし、朝が来ると、イエスは岸に立っておられましたが、弟子たちはそれがイエス様であることを知らなかった。

5

イエスは彼らに言われた、「子供たちよ、あなたがたは何も食べるものがないのですか」。彼らは彼に「いいえ」と答えました。

6

イエスは彼らに言った、「舟の右に網を投げれば、きっと見つかることができるでしょう」。それから彼らは投げてしまい、もはやたくさんの魚の前に引っ張ることができませんでした。

7

すると、イエスが愛した弟子がペテロに言った、「それは主です」。シモン・ペテロはそれが主であると聞くと、裸だったので上着を締め、海に身を投げました。

8

他の弟子たちは、陸地から遠くないところに二百キュビトのところにいたので、舟で来て、魚で網を

引いた。

9 そこで彼らが地に出て行くと、その上には炭と魚とパンが置かれているのが見えた。

10 イエスは彼らに言われた、「今捕まえた魚を持ってきなさい」。

11

シモン・ペテロは入って、大きな魚、百五十三匹の地に網を引っ張った。そして、その数は多かったのに、ネットは割れませんでした。

12

イエスは彼らに言われた、「さあ、食事をしなさい」。しかし、弟子たちの中では、だれも彼に「あなたは誰ですか」と尋ねる勇氣はありませんでした。彼らはそれが主であることを知っていたからである。

13 すると、イエスが来て、パンと魚を彼らに渡す。

[14] イエスが死者の中からよみがえった後、弟子たちに啓示されたのは、これが三度目です。

15

彼らが食事を終えたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたがたは、彼らがわたしを愛する以上に、わたしを愛していますか」。彼は彼に言いました、「はい、主よ、あなたは私があなたを愛していることをご存知です。」イエスは彼に言われた、「わたしの子羊を養いなさい」。

16

彼は二度目に彼に言った、「ヨハネの子シモンよ、あなたはわたしを愛していますか」。彼は彼に言いました、「はい、主よ、あなたは私があなたを愛していることをご存知です。」イエスは彼に言われた、「わたしの羊を飼いなさい」。

17

彼に三度目に言う、「ヨハネの子シモン、あなたはわたしを愛していますか」。ピーターは悲しんで、三度目に「あなたは私を愛していますか?」と言いました。そして彼に言った、「主よ、あなたはすべてのことをご存知です。私があなたを愛していることをご存知でしょう。」イエスは彼に言われた、「わたしの羊を飼いなさい」。

18

まことに、まことに、あなたがたに告げるが、あなたがたは若い頃は、身を包み、行きたいところを歩いたが、年をとると、手を伸ばし、他の誰かがあなたがたを導いて、行きたくないところに導いてくれるだろう。

19

しかし、彼がこのように言ったのは、どんな死をもって神をほめたたえるかを示すためであった。そして、こう言ってから、「わたしについてきなさい」と言った。

20

しかし、ペテロが振り向くと、イエスが愛した弟子が、夕食時に彼の胸に横たわっていた弟子が続いているのを見て、「主よ、あなたを裏切る者は誰ですか」と言った。

21 ペテロはこれを見て、イエスに言った、「主よ、¹²⁵この人はどうなるのでしょうか」。

22

イエスは彼に言われた、「もしわたしが来るまで彼にとどまってほしいのなら、あなたがたにとって何の問題があるのか」。付いて来てください！

23

すると、兄弟たちは言った、「この弟子は死なない」。しかし、イエスは彼に「彼は死なない」とは言わず、「もし私が来るまで彼にとどまってほしいと願うなら、それはあなたにとって何ですか」と。

24

この弟子は、これらのことを証しし、これらのことを書き記した者であり、私たちは彼の証言が真実であることを知っています。

25

イエスがなさったことは他にもたくさんあります。しかし、もしそれらが次々と書かれるとしたら、書かれるべき書物が世界に含まれなくなるように、私はそれを見届けます。